

令和2年度

主要施策の成果説明書

松 島 町

<主要施策の成果説明書について>

主要施策の成果説明書とは、地方自治法第233条第5項に基づき、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として作成するものである。

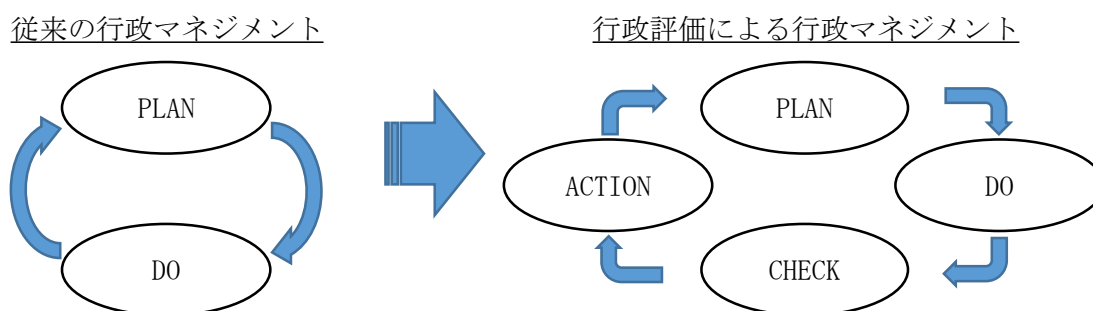
この作成にあたっては、町民に対する説明責任や行政の透明性確保を目的として、令和元年度説明書から松島町行政評価制度の評価結果も併せて記載している。

1 松島町行政評価制度とは

行政評価制度とは、行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていく仕組みである。

これにより、全ての行政活動を計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のマネジメントサイクルの中で行うことで、常に施策や事業の目的・目標を確認し、その遂行状況を把握・評価することにより、問題や課題を速やかに発見し、その見直し・改善等を行うことで、次の計画（PLAN）をより良い状態にしていくことを目的とした制度である。

また、行政活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることはもとより、町民に対して評価結果を公表することで、町民に対する説明責任や行政の透明性確保も目的としている。



2 導入目的

真に地域や時代のニーズにあった行政サービスを展開していけるよう、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図り、業務の改善・改革に取り組む仕組みとして、次のような行政運営を目指すことを目的として導入した。

- ・長期総合計画における“まちづくり政策”の着実な実現、住民満足度の向上
- ・事業の選択、改廃等における住民や関係者への適切な説明責任の確保
- ・職員の改善改革意識の醸成
- ・行財政改革の推進

3 運用状況

平成28年度の導入以降、平成30年度までの3カ年を試行期間と位置付け、全職員を対象とした基礎研修等によりその目的などの情報共有を行い、全事務事業に対する評価の実施及び施策評価のマネジメントサイクルの実践を行うことにより制度構築を行った。

令和元年度からは本格運用を開始しており、今後ますます財政状況が厳しくなっていくことが想定される中、継続的に政策・施策を構成する事務事業の見直しを図りながら、必要な行政サービスを提供できるよう取り組んでいるところである。

< 主要施策の成果説明書の見方 >

							①当該費目の予算額と決算額を記載しています。		
款	項	目							
担当部署名							(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	①	決算額	②					
					財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
目的	③				②財源内訳には、国庫支出金、県支出金、地方債、その他、一般財源の区分により内訳を記載しています。				
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	③当該費目の目的（趣旨、目標）を記載しています。				
	④	⑤	⑥	⑦	④「事務事業名」を記載しています。				
					⑤松島町行政評価制度において分類している業務タイプを記載しています。 Aタイプ…政策事業、主要な事業など Bタイプ…法定受託事務、定型的・継続的な事務など Cタイプ…作業管理・補助的作業、内部管理のための事務など				
実績	⑨				⑥ ※Aタイプの場合 松島町行政評価制度におけるの必要性評価3項目（必要性・妥当性・公平性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…ますます必要性が高くなっている 3.1～4.0…依然、必要性が高い 2.1～3.0…必要である 1.1～2.0…必要性が低くなりつつあり、改善が必要 0.0～1.0…必要性がなく、早急な改善が必要 …Bタイプ、Cタイプの事業のため評価なし				
					⑦ ※Aタイプ、Bタイプの業務の場合 松島町行政評価制度における有効性評価3項目（適切性・有効性・効率性）各5点の平均点を記載しています。 4.1～5.0…適切且つ効率的に実施しており、目標以上の成果・達成度であった 3.1～4.0…適切且つ効率的に実施しており、目標水準に達している 2.1～3.0…概ね目標水準に達している 1.1～2.0…目標水準をやや下回っており、改善が必要 0.0～1.0…目標水準を大きく下回っており、早急な改善が必要 …Cタイプの事業のため評価なし				
課題 方向性	⑩				⑧当該事業の目的がどのように達成されたのか、施策の執行においてどのような成果が出たのかを記載しています。				
				⑨当該費目の予算執行に係る実績を記載しています。					
				⑩当該施策の現況や課題と併せて、今後の方向性を記載しています。					

＜松島町行政評価制度における評価項目について＞

○必要性評価

行政として当該事務事業を引き続き実施していく必要があるかどうかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
必要性	事業の必要性が事業開始時と比べて小さくなっていないかを評価する。 [5点]ますます必要性が高くなっている [4点]依然、必要性が高い [3点]必要である [2点]必要性が低くなりつつある [1点]必要性がなくなっている
妥当性	行政の関与が必要な事業かどうかを評価する。 [5点]法的な制限などがあり、行政が実施すべき事業である [4点]行政以外には実施できない事業である [3点]行政が行うことが妥当な事業である [2点]民間等でも実施でき、民間等で行うことが妥当な事業である [1点]民間等で実施すべき事業である
公平性	受益者に偏りがあるかどうかを評価する。 [5点]広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない [4点]広い範囲に対して、概ね広く便益の享受がなされている [3点]目的となる対象者に対して、便益を提供している [2点]限定された個人や団体等にものみ便益がもたらされており、改善が必要である [1点]実施による便益を提供できておらず、早急な改善が必要である

○有効性評価

行政として当該事務事業が機能しているか、有効なものであるかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
適切性	事業の実施手段・プロセスが目標に対して適切なものを評価する。 [5点]現在の手法が最も適切である [4点]現在の手法が適切性が高い [3点]現在の手法が一般的であり、特に問題はない [2点]現在の手法にはやや問題があり、改善の必要がある [1点]手法を変更する必要がある
有効性	事業の目的や目標とされる成果が達成されているかを評価する。 [5点]目標以上の成果・達成度であった [4点]目標水準に達している [3点]概ね目標水準に達している [2点]やや目標を下回っており、改善が必要である [1点]目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である
効率性	費用対効果など事業効率が十分な水準にあるかを評価する。 [5点]効率は相当高められている [4点]効率は徐々に高まっている [3点]比較的効率的である [2点]効率は徐々に低くなっている [1点]効率はかなり低下している

目 次

◆一般会計

款		項		目	ページ
1	議会費	1	議会費	1 議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1 一般管理費	4
				2 文書費	8
				3 広報広聴費	10
				6 財産管理費	13
				8 企画費	15
				9 交通安全費	20
				10 諸費	22
				11 電子計算費	24
				12 町民バス運行費	25
				13 施設管理費	28
				15 地上デジタル放送無線共聴施設管理費	30
				18 復興推進費	31
				19 ふるさと納税費	32
				20 特別定額給付金事業費	34
				21 新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費	35
		2	徴税費	1 税務総務費 2 賦課徴収費	46
		3	戸籍住民基本台帳費	1 戸籍住民基本台帳費	50
		5	統計調査費	1 統計調査総務費	52
				2 指定統計費	53
3	民生費	1	社会福祉費	1 社会福祉総務費	54
				2 障害者福祉費	56
				3 老人福祉費	61
				4 国民年金費	64
				5 介護保険対策費	65
				6 保健福祉センター管理費	66
		2	児童福祉費	2 児童措置費	68
				3 保育所費	69
				4 母子福祉費	71
				5 子ども医療対策費	72
				6 子育て支援事業費	73
				7 児童福祉施設費	76
				8 児童館費	77
				9 子育て世帯への臨時特別給付金事業費	79
				10 認定こども園推進事業費	80
		3	災害救助費	1 災害救助費	81

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	82
				2	予防費	84
				3	健康館費	88
				4	母子衛生費	89
				5	環境衛生費	91
				6	公害対策費	95
		2	清掃費	1	塵芥処理費	96
				2	し尿処理費	97
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	98
				2	労働諸費	100
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	101
				3	農業振興費	103
				4	農地費	106
				5	園芸振興費	109
				6	畜産振興費	110
		2	林業費	2	林業振興費	111
		3	水産業費	2	水産業振興費	117
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	119
				3	観光費	120
				4	文化観光交流館費	127
8	土木費	2	道路橋梁費	2	道路維持費	129
				3	道路新設改良費	131
		3	河川費	1	河川総務費	135
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	136
				3	公園管理費	137
				5	街路事業費	140
		6	住宅費	1	住宅管理費	142
				2	木造住宅等震災対策事業費	144
				3	住宅環境整備費	145
9	消防費	1	消防費	1	非常備消防費	146
				2	水防費	148
				3	災害対策費	149
				4	避難施設管理費	151

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	153
		2	小学校費	1	小学校管理費	156
				2	教育振興費（小学校）	158
				3	学校保健衛生費（小学校）	160
				4	学校建設費（小学校）	162
		3	中学校費	1	中学校管理費	163
				2	教育振興費（中学校）	164
				3	学校保健衛生費（中学校）	166
				4	学校建設費（中学校）	168
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	169
				2	公民館費	173
				3	文化財保護費	175
				4	町民の森費	178
				5	地域交流センター費	180
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	181
				2	海洋センター費	183
				3	給食施設費	184
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	187
11	災害復旧費	1	農林水産業施設災害復旧費	1	農地災害復旧費	190
				2	農業用施設災害復旧費	191
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	193
		3	文教施設災害復旧費	2	保健体育施設災害復旧費	195

◆特別会計

国民健康保険特別会計	196
後期高齢者医療特別会計	199
介護保険特別会計	201
介護サービス事業特別会計	208
観瀾亭等特別会計	209
下水道事業特別会計	215

一 般 会 計

一 般 会 計

1 款	1 項	1 目	議会費										
担当部署名			議会事務局										(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳								
	112, 075		109, 361		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
										109, 361			
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	議会事務経費		B	-	3.0	概ね目標水準に達している。							
	会議録作成経費		B	-	3.3	概ね目標水準に達している。							
	議会広報広聴経費		B	-	3.3	概ね目標水準に達している。							
実績	【議会事務経費】												
	1 会議の開催状況												
	○定 例 会												
		会 期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	一般質問 人数 件数		備 考
	第1回	3月6日 ～ 3月19日	14	30	30	0	0	0	0	0	7	11	令和元年度
	第2回	6月12日 ～ 6月16日	5	23	23	0	0	0	0	0	7	12	
	第3回	9月4日 ～ 9月18日	15	32	32	0	0	0	0	0	8	11	
	第4回	12月3日 ～ 12月7日	5	14	14	0	0	0	0	0	6	10	
	第1回	3月3日 ～ 3月18日	16	27	27	0	0	0	0	0	9	15	
	○臨 時 会												
		会 期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	備 考		
	第1回	2月 3日	1	6	6	0	0	0	0	0	令和元年度		
	第2回	5月25日	1	14	14	0	0	0	0	0			
	第3回	7月 9日	1	5	5	0	0	0	0	0			
	第4回	11月13日	1	2	2	0	0	0	0	0			
第5回	11月30日	1	9	9	0	0	0	0	0				
第1回	1月 26日	1	3	3	0	0	0	0	0				
第2回	3月 22日	1	1	1	0	0	0	0	0				
【会議録作成経費】													
1 全員協議会の開催状況													
・ 開催回数 3回 (開催日 令和2年11月13日・令和3年1月26日・令和3年3月22日)													
・ 案件概要 報告事項 3件 ・ 協議事項 4件													
2 議員懇談会の開催状況													
・ 開催回数 4回 (開催日 令和2年5月8日・10月9日・30日・12月7日) (次頁へ続く)													

1 款	1 項	1 目
実績	3	特別委員会の設置状況 ・ 東日本大震災復興対策特別委員会（平成29年12月20日設置） ・ 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（令和2年5月25日設置） 【議会広報広聴経費】 1 広報「議会だより」の発行 ・ 発行回数 年4回 【定例会ごと】 ※発行月 5月・8月・11月・2月 ・ 発行費用 943,800円 ・ 発行部数 5,500部（全104ページ） 【その他の活動】 1 議会議員受講研修 ・ 宮城県町村議会議員講座・研修会 少子高齢化が進む町村が生きのびるために県が戦略的に行っている施策とは 他 ・ 宮城黒川地方町村議会議員研修 議員の活動は健康づくりから 2 委員会調査・審査 (1) 総務経済常任委員会 ○委員会開催日数 13日間 ○所管事務調査内容 ◇観光振興の施策について ※調査期間 令和2年3月～令和3年9月 ○所管事務審査 ◇陳情第2号宮城県が導入を検討している宿泊税の撤回を求める陳情書について ※調査期間 令和2年3月～令和2年9月（令和2年9月18日宮城県知事へ提出） ◇請願第1号中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を求める請願について ※調査期間 令和2年12月～令和3年3月（令和3年3月8日請願者へ通知） ◇請願第2号上竹谷地区に緊急一時避難所の新設を求める請願について ※調査期間 令和2年3月～令和3年6月 ◇陳情第3号女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について ※調査期間 令和2年12月～令和3年9月 (2) 教育民生常任委員会 ○委員会開催日数 6日間 ○所管事務調査内容 ◇保育教育環境におけるICT活用について ※調査期間 令和元年12月～令和3年9月 ○所管事務審査 ◇陳情第1号 2021年度の介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情について ※調査期間 令和2年3月～令和2年9月（令和2年9月18日政府へ提出） (3) 広報広聴常任委員会 ○委員会開催日数 25日間 （広報分科会24日間 広聴分科会1日間） ◇議会広報紙の編集・発行及び配布 ◇議会における情報通信技術の活用 ◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整 (4) 東日本大震災復興対策特別委員会 ○委員会開催日数 2日間 ○所管事務調査内容 ◇震災に係る復興状況の調査及び復興対策に関する事項について （松島町地域防災計画、東日本大震災復興交付金事業の進捗状況）
		（次頁へ続く）

1 款	1 項	1 目									
実績	委員会調査・審査（続き） (5) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 ○委員会開催日数 6日間 ○所管事務調査内容 ◇町内事業者等の新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査及び新型コロナウイルス感染症の経済対策に関する事項について ◇生活支援策などの提言書を町へ提出										
	3 意見書等の提出 <table border="1"> <thead> <tr> <th>提出年月日</th><th>提出先</th><th>内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和2年 9月18日</td><td>宮城県知事</td><td>宿泊税の導入を撤回することを求める意見書</td></tr> <tr> <td>国及び政府</td><td>令和3年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める意見書</td></tr> <tr> <td>国及び政府</td><td>新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書</td></tr> </tbody> </table>		提出年月日	提出先	内 容	令和2年 9月18日	宮城県知事	宿泊税の導入を撤回することを求める意見書	国及び政府	令和3年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める意見書	国及び政府
提出年月日	提出先	内 容									
令和2年 9月18日	宮城県知事	宿泊税の導入を撤回することを求める意見書									
	国及び政府	令和3年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める意見書									
	国及び政府	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書									

一 般 会 計

2	款	1	項	1	目	一般管理費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	264, 167		260, 826			895		9, 367	250, 564	
目的	最少の経費で最大の効果を上げるため、人事管理の面から職員の研修、福利厚生を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	職員衛生管理費		C	—	—	松島町職員安全衛生管理規程に基づき各種健康診断やストレスチェックを実施した。受診結果において再検査が必要な職員に対し医療機関受診勧奨通知を行い、職員の心身の健康管理に対する意識啓発を行うことができた。				
	研修経費		A	3.0	3.7	新型コロナウイルス感染症の影響により県外研修は中止したが、市町村職員研修所主催の研修は実施された。 また、庁内研修はリモート研修を実施し、感染症対策を行いながら職務に必要な知識、技能の習得に貢献することができた。				
実績	【職員衛生管理経費】									
	健康診断									
	・ 職員等健康診断実施状況									
	健 診 区 分		職員 (派遣職員含む)		会計年度 任用職員	計	受診区分 割合			
	定期健康診断		30人		69人	99人	40.7%			
	人間ドック (30歳以上の職員で希望者)		144人			144人	59.3%			
	町福利厚生事業		97人			97人				
	市町村共済事業・地方職員共済事業		47人			47人				
	未受診者		0人		0人	0人	0.0%			
	計		174人		69人	243人	100.0%			
	・ 受診結果									
	受 診 結 果 区 分		職員 (派遣職員含む)		会計年度 任用職員	計	受診結果 区分割合			
			定期健診	人間ドック	定期健診					
	異常なし		5人	4人	2人	11人	4.5%			
	軽度異常の項目あり		5人	13人	5人	23人	9.5%			
要経過観察の項目あり		16人	52人	30人	98人	40.3%				
要治療の項目あり		1人	8人	8人	17人	7.0%				
要精密検査の項目あり		3人	67人	24人	94人	38.7%				
(うち要医療継続項目あり)		(1人)	(35人)	(22人)	(58人)					
計		30人	144人	69人	243人	100.0%				
・ 各種がん検診等受診状況 (職員)										
健診区分		対象区分		受診人数						
脳ドック		希望者		13人						
子宮がん検診		希望者		26人						
乳がん検診		希望者		27人						
前立腺がん検診		希望者		1人						
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

・ストレスチェック実施状況

区分	対象者数	受験者数	高ストレス判定者数	高ストレス割合
職員	168人	168人	29人	17.3%
会計年度 任用職員	70人	70人	6人	8.6%
合計	238人	238人	35人	14.7%

※対象者は、病休及び育休・産休の職員を除く

・心と身体の健康相談会（個別相談会）相談者数

4人

【研修経費】

職員研修

（研修所等派遣）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基本知識と技能を学ぶことで、職務遂行能力の向上を図る。	・公務員としての使命 ・人間関係とコミュニケーション ・地方公務員制度 ・自治体職員とまちづくり ・地方自治のしくみ ・CS接遇	5人
一般職員研修Ⅰ	実務を振り返り、職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、地方公共団体を取り巻く環境の変化に対応するために必要な能力の向上を図る。	・まちづくりの視点 ・発想力・創造力育成 ・行政法入門 ・対人対応力向上	5人
監督者研修Ⅰ	監督者としての職責を自覚し、地方公共団体を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉えチームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・財務基礎実務 ・監督者としての心構え	2人
契約事務研修	地方公共団体における契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識を学ぶ。	・契約事務	1人
私債権管理・回収研修	私債権の管理・回収に関する知識を必要とする職員を対象に、基礎知識の習得と実務遂行能力の向上を図る。	・私債権管理回収	5人
条例・規則作成研修（基礎）	法制執務の基礎や条例・規則の立案形式などを学び、基礎的な条例の一部改正等が理解できるなど実務遂行能力の向上を図る。	・条例・規則作成	3人

（次頁へ続く）

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
政策形成研修	政策形成の着眼点や技法を学ぶことにより、地域ニーズに即した政策を展開し、具体的ビジョンを示すための政策形成能力の向上を図る。	・政策形成	1人
地域資源を活かしたまちづくり研修	社会情勢が激変する中で、持続可能な自治体経営を目指す手段として、地域にある資源のブランド化やブランド力の可視化の手法、長期戦略やアクションプランについて学ぶ。	・地域ブランディング	1人
民法研修	法律の仕組み等の基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について、事例や判例を通して習得する。	・民法入門	3人
条例・規則作成研修（実践）	多くの改正演習を通じて、基礎的な条例・規則の立案方式の理解をさらに深め、実践的な立法技術や法令読解力の向上を図る。	・条例・規則作成	2人
第5世代移動通信システム（5G）	少子高齢化や過疎化など地域が抱える課題に対し、農作業の自動化や自動運転車による人の移動などにポテンシャルを有する第5世代移動通信システム（5G）の概要や活用事例について学ぶ。	・5Gの整備状況やサービスの開始状況、制度概要 ・自治体での利活用	4人
地方公務員の定年延長制度とこれからの人事行政	地方自治体職員の定年延長制度についての実務を学ぶ。	・公務員定年制度 ・公務員定年延長制度概要 ・法令整備	1人

（職場研修）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	入庁して日の浅い職員に対し、町役場職員として最低限必要な知識を身につける。	（総務課総務管理班） ・松島町について ・法令について ・公務員とは ・財政について ・予算・決算について ・決裁について ・起案について ・文書について ・経理について ・契約について	3人
職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー（4回開催）	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図ることを目的とする。	（一般財団法人宮城県成人病予防協会） ・ストレスチェック結果の見方とセルフケア	159人

（次頁へ続く）

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

	<table><tr><th>研修名</th><th>研修の目的</th><th>研修内容</th><th>受講者数</th></tr><tr><td>モチベーション向上 研修 (2回開催) ※リモートによる研 修</td><td>マイナス思考や消極的思考 に陥ったり引きずったりする のではなく、自らを動機付 け、プラス思考で積極的な姿 勢に転換する手法を習得す る。</td><td>(株式会社ぎょうせい) ・モチベーションマネジメン トの全体像 ・目的の確認 ・目標の設定 ・思考の癖を知る</td><td>44人</td></tr></table>	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数	モチベーション向上 研修 (2回開催) ※リモートによる研 修	マイナス思考や消極的思考 に陥ったり引きずったりする のではなく、自らを動機付 け、プラス思考で積極的な姿 勢に転換する手法を習得す る。	(株式会社ぎょうせい) ・モチベーションマネジメン トの全体像 ・目的の確認 ・目標の設定 ・思考の癖を知る	44人				
	研修名	研修の目的	研修内容	受講者数									
モチベーション向上 研修 (2回開催) ※リモートによる研 修	マイナス思考や消極的思考 に陥ったり引きずったりする のではなく、自らを動機付 け、プラス思考で積極的な姿 勢に転換する手法を習得す る。	(株式会社ぎょうせい) ・モチベーションマネジメン トの全体像 ・目的の確認 ・目標の設定 ・思考の癖を知る	44人										
実績	【一般庶務経費】 ・顧問弁護士への法律相談 9件 (債権、土地利用、任用、労務管理、法令の解釈に関すること) ・障害者雇用状況（令和2年6月1日現在） <table><tr><th>職員数</th><th>法定雇用率</th><th>法定雇用 定数</th><th>障害者で ある職員数</th><th>実雇用率</th><th>不足数</th></tr><tr><td>180人</td><td>2.50%</td><td>4人</td><td>2人</td><td>1.17%</td><td>2人</td></tr></table> ※職員数は、教育委員会事務部局を除く算定基礎となる職員数 (会計年度任用職員も含む) ※R2年10月までに障害者枠で会計年度任用職員を2人採用したことにより 不足は解消された。	職員数	法定雇用率	法定雇用 定数	障害者で ある職員数	実雇用率	不足数	180人	2.50%	4人	2人	1.17%	2人
職員数	法定雇用率	法定雇用 定数	障害者で ある職員数	実雇用率	不足数								
180人	2.50%	4人	2人	1.17%	2人								
課題 方向性	人間ドックのほか定期健診を実施し、対象職員全員が健康診断を受診できるよう職員衛生環境の整備に努め、受診結果において再検査が必要な職員については医療機関を受診するよう通知し、適切な健康管理を行う。 研修については、新型コロナウイルス感染症対策としてリモートによる研修が実施され、今後もリモート研修は増えていくことが見込まれることから、職員が進んで研修を受講できる環境を構築する。												

一 般 会 計

2	款	1	項	2	目	文書費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,080		4,684						4,684	
目的	町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。 文書收受・整理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。 規程形式文書審査については、例規システムを活用し、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	情報公開事務経費		B	—	3.3	松島町情報公開条例に基づき、適切な情報の開示を行い、町民の知る権利の充実を図ることができた。				
	文書收受・整理に関する事務経費		C	—	—	日々送付される文書を事務局ごとに遅滞なく適切な処理を実施し、保存文書を明確にし、適正な公文書管理ができた。				
	例規関係審査・追録等経費		C	—	—	例規システムを活用し、規程類の改廃について、統一かつ適正な審査及び改正を行うことができた。				
実績	【情報公開事務経費】									
	・松島町情報公開条例及び松島町個人情報保護条例の規定による開示等の件数 (単位:件)									
	処理内容		開示 請求件数	全部開示 決定件数	部分開示 決定件数	不開示 決定件数	不服申立 処理件数			
	件 数		1	1	0	0	0			
	【文書收受・整理に関する事務経費】									
・総務管理班において行った文書整理、文書收受及び文書保存の冊数										
文書整理 (単位:冊)										
区 分		文書引継冊数		文書廃棄冊数						
冊 数		95		0						
文書收受 (単位:件)										
事 務 部 局		収 受 総 数								
町 長 の 事 務 部 局		3,603								
教育委員会の事務局		623								
選 挙 管 理 委 員 会		13								
農 業 委 員 会		96								
固定資産評価審査委員会		4								
計		4,339								
(次頁へ続く)										

2 款	1 項	2 目
-----	-----	-----

- ・ 文書保存 (単位：冊)

事 務 部 局	保 存 総 数
町 長 の 事 務 部 局	3,003
教育委員会の事務局	59
選 挙 管 理 委 員 会	246
農 業 委 員 会	96
固定資産評価審査委員会	2
計	3,406

※令和3年3月31日現在における庁舎書庫内保存文書冊数

【例規関係審査・追録等経費】

- ・ 規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数

(単位：件)

区 分	条例	規則	訓令	その他	計
件 数	27	23	12	61	123

- ・ 松島町例規集編纂等業務委託 2,486,000 円
 - ・ 例規システムの導入により、法令情報の提供、条例・規則等の審査の効率化を図り、例規集等編纂事務の向上と経費縮減に努めた。

実績

課題
方向性

書庫内の保存文書をリスト化し、適切な管理を行うとともに、保存年限の過ぎた文書は適宜廃棄していく。また、改正を行った規定形式文書については、インターネット版例規集への登載を速やかに行う。

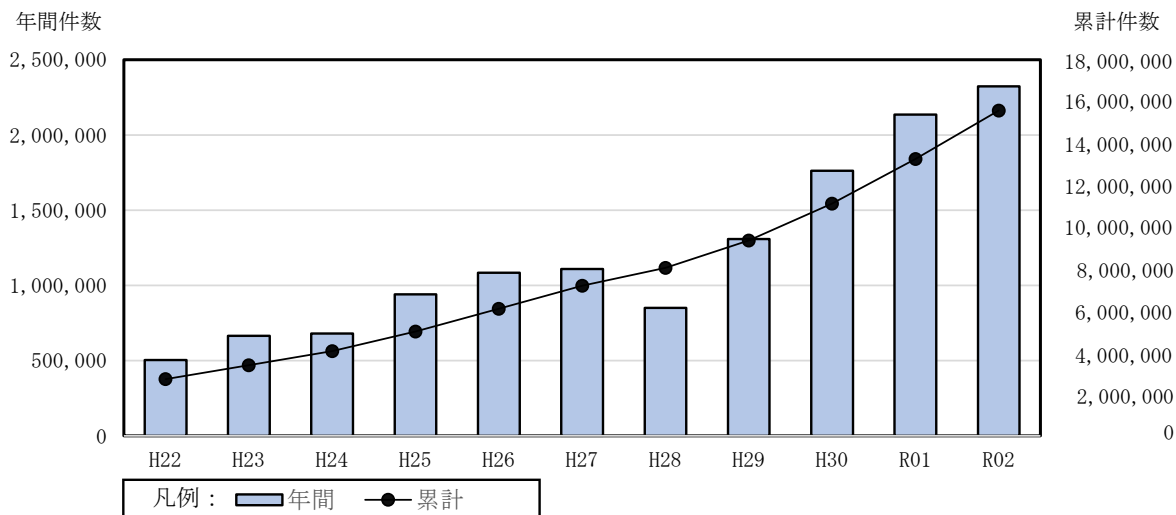
一 般 会 計

2	款	1	項	3	目	広報広聴費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,259		6,110					720	5,390	
目的	あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	広報紙発行経費		B	-	3.3	系統的な紙面構成に努め、町内のイベントや地域の身近な情報から町政や町の動向に至るまで見やすく分かりやすい紙面づくりができた。				
	広報事務経費		B	-	3.3	町ホームページや各種SNSの活用により、新型コロナウイルス感染症の関連情報などを適宜発信することができた。				
	広聴事務経費		C	-	-	定例相談会の相談件数は小数だが、定例で設置することで住民生活の不安の解消に繋がっている。				
実績	【広報紙発行経費】 広報まっしま発行 3,171,322円 ・発行回数及び部数 通常版 毎月 5,700部 (年間 68,400部) 別冊版 年6回 5,700部 (年間 34,200部) (コロナウイルス感染症対策に関する各種支援事業周知用)									
	【広報事務経費】 (近年におけるアクセス数等の推移の状況については次頁参照) 1 松島町ホームページの管理・運営 ・アクセス数 令和2年4月1日～令和3年3月31日 2,323,074 件 ・外国語翻訳機能利用回数 令和2年4月1日～令和3年3月31日 7,565 件									
	2 松島町フェイスブックアカウントの管理・運営 ・アクセス数 令和2年4月1日～令和3年3月31日 130,037 件 ・フェイスブックページへの「いいね」数 令和2年4月1日～令和3年3月31日 123 件									
	3 松島町Instagramアカウントの管理・運営 ・フォロワー数 令和2年4月1日～令和3年3月31日 342 件									
課題 方向性	【広聴事務経費】 行政相談及び法律相談 42件 ・行政相談 (毎月第1火曜日) 5件 ①近隣トラブル関係 (1件) ②行政関係 (3件) ③その他 (1件) ・弁護士無料法律相談 (毎月第2金曜日) 37件 ①近隣トラブル関係 (4件) ②金銭関係 (4件) ③相続関係 (16件) ④その他 (13件)									
	広報紙の発行についてはデザインを刷新したことを踏まえ、限られた紙面の中で、町民が求める情報を見やすさと分かりやすさに留意し、系統的な紙面構成に努める。									
	LINE公式アカウントも運用を開始し、他の媒体とその特性に応じた運用を行い町内外への情報の適時発信に努める。									
	また、行政相談及び法律相談を引き続き開催するとともに、相談日時を適宜発信し、住民生活の不安の解消に努める。									

【松島町ホームページ閲覧状況】

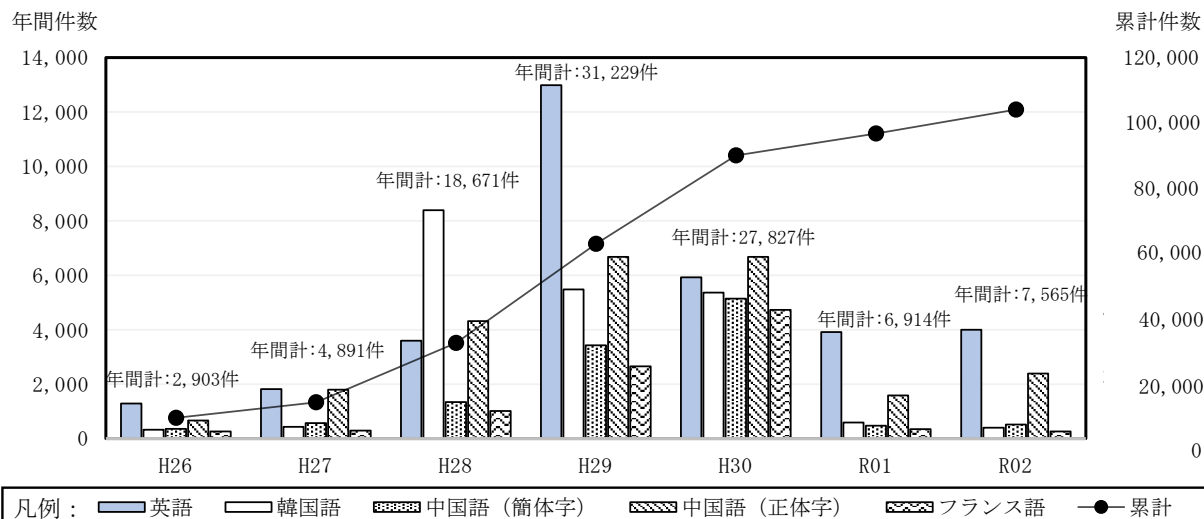
○ アクセス数

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 2,323,074 件
 平成9年10月 開設 ～ 令和3年3月31日 15,568,740 件



○ 外国語翻訳機能利用回数

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 7,565 件
 平成24年4月 開設 ～ 令和3年3月31日 103,615 件



○ 言語別利用回数

① 年間件数 (令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日)

■ 英語	4,000 件
■ 韓国語	396 件
■ 中国語 (簡体字)	520 件
■ 中国語 (正体字)	2,393 件
■ フランス語	256 件

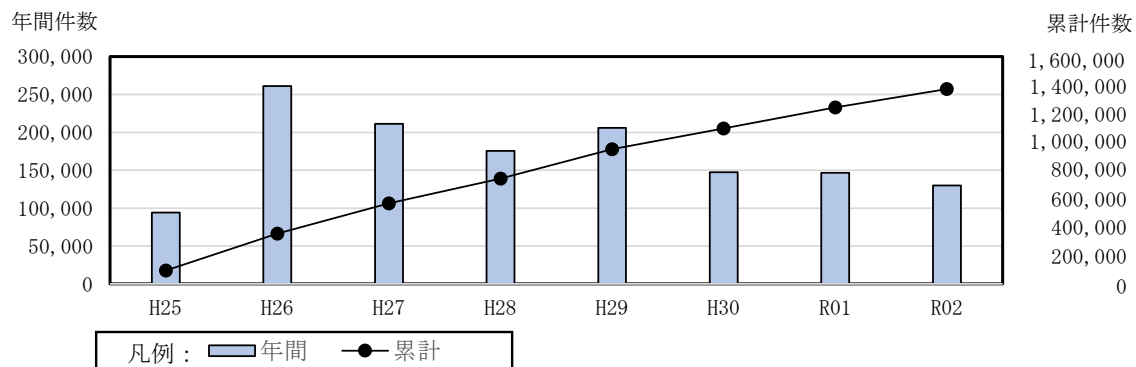
② 累計件数 (平成24年4月1日 ～ 令和3年3月31日)

■ 英語	35,539 件
■ 韓国語	21,121 件
■ 中国語 (簡体字)	12,394 件
■ 中国語 (正体字)	24,840 件
■ フランス語	9,721 件

【松島町フェイスブックアカウント閲覧状況】

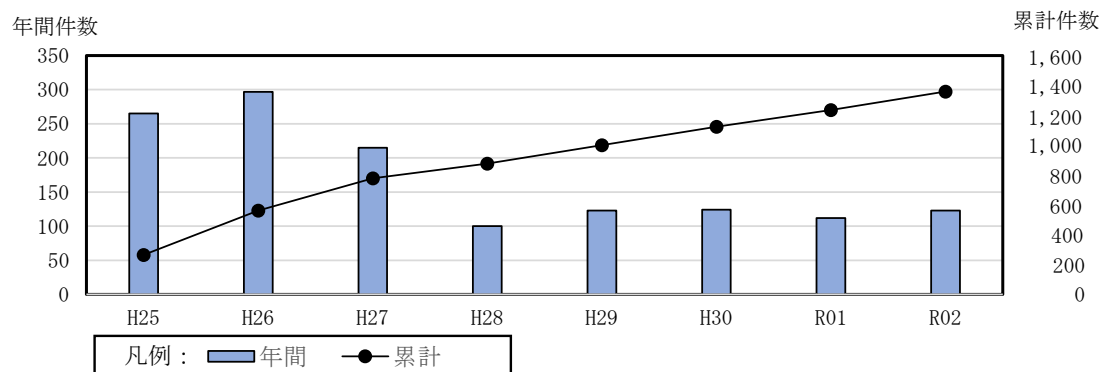
○ アクセス数

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 130,037 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和3年3月31日 1,371,381 件



○ フェイスブックページへの「いいね」数

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 123 件
 平成25年4月 開設 ～ 令和3年3月31日 1,359 件



【松島町Instagram閲覧状況】

○ フォロワー数

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 342 件
 平成30年10月 開設 ～ 令和3年3月31日 1,003 件

一 般 会 計

2	款	1	項	6	目	財産管理費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	74, 446		65, 424					9, 196	56, 228	
目的	財政班所管町有財産の維持管理に努めながら、貸付等により資産の有効活用を図っていく。また、財務諸表を作成することにより、本町の財政状況等を把握していく。 さらに公用車による事故防止等の啓発や、適切な契約事務等についてより一層の効率化を図っていく。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	庁舎外施設維持管理経費		B	-	4.0	庁舎等施設の適切な維持管理に努めるとともに、契約の複数年化や他施設との合併発注を活用することで、事務の効率化や経費削減が図られた。				
	公用車管理経費		C	-	-	公用車の適切な管理を行うとともに、職員等を対象に交通安全研修会等を開催し、事故防止の啓発が図られた。				
	契約事務経費		B	-	4.0	入札監視委員会の審議において、特に指摘事項はなく、入札及び契約事務の適正化が図られた。また、塩釜・黒川地区合同による業者登録事務の広域化により、事務の効率化が図られた。				
	普通財産管理経費		B	-	4.0	普通財産の維持管理を行いながら、貸付、使用許可、払い下げなど資産の活用が図られた。				
	公共財産管理経費		B	-	4.0	公共物（共用財産）の維持管理を行いながら、貸付、使用許可など資産の活用が図られた。				
	松島フットボールセンター管理経費		B	-	4.0	松島フットボールセンター施設の適切な維持管理が図られた。				
	地方公会計整備事業		A	3.0	3.7	統一的な基準による財務書類等を作成する中で、本町財政状況の把握を図り、同規模自治体平均値と比べ、おおむね堅調な財政運営となっているものの、資産の老朽化比率は避難施設を除くと高い状況であり、老朽化した施設の更新が課題である。				
	各種基金管理		A	3.0	3.7	基金の適切な運用が図られた。				
実績	【庁舎外施設維持管理経費】									
	・修繕料	庁舎トイレ便座交換他	(	2 件)		250, 800 円				
	・手数料	庁舎内線電話移設手数料他	(	7 件)		917, 745 円				
	・業務委託	宿日直・清掃業務委託他	(	8 件)		9, 543, 468 円				
	・用地賃借	庁舎用地賃借	(	1 件)		11, 580, 360 円				
	・機器等賃借	電話交換機等設備リース他	(	5 件)		549, 934 円				
	・備品購入	電話機購入他	(	2 件)		55, 800 円				
	【公用車管理経費】									
	・修繕料	公用車修繕	(	2 件)		105, 644 円				
	・手数料	公用車車検整備手数料他	(	4 件)		151, 883 円				
	・賃借	公用車リース	(	4 件)		2, 081, 868 円				
		マイクロバス運行	(	46 件)						
	・研修会等	安全運転適性検査（8月27日開催）			動体視力反応測定、俊敏性測定他					

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2	款	1	項	6	目
実績	【契約事務経費】				
	・ 業務委託	入札参加資格登録（令和3・4年度登録分）			
		情報入力業務委託	（ 2,591 者）		407,000 円
		建設工事	（ 1,053 者）		
		設計コンサル	（ 417 者）		
		物品・役務	（ 1,121 者）		
	・ 入札監視委員会	7月31日開催	審議案件（建設工事 3件	業務委託 3件）	
		1月25日開催	審議案件（建設工事 3件	業務委託 3件）	
	【公共財産管理経費】				
	・ 業務委託	自然公園他草刈等業務委託他	（ 3 件）		2,368,300 円
実績	【松島フットボールセンター管理経費】				
	・ 修繕料	屋外受変電設備塗装補修他	（ 2 件）		511,940 円
	・ 手数料	簡易専用水道施設検査	（ 1 件）		14,667 円
	・ 業務委託	機械警備業務委託他	（ 6 件）		1,008,493 円
	【地方公会計整備事業】				
	・ 業務委託	財務書類作成等			2,018,500 円
	【財産運用】				
	・ 行政財産目的外使用許可		（ 21 件）		310,671 円
	・ 公共物（公共財産道水路）使用許可		（ 57 件）		2,340,382 円
	・ 土地貸付		（ 24 件）		2,400,864 円
課題 方向性	・ 土地建物貸付		（ 3 件）		1,010,340 円
	・ 土地売払い		（ 2 件）		256,636 円
	・ 役場庁舎転貸借		（ 1 件）		1,344,414 円
	施設の経年による修繕や町有地の草刈・支障木の撤去など維持管理費用の増加が見込まれる。				
	引き続き、町有財産の貸付等による有効活用を図るとともに、財務諸表の分析・検討を行い今後の				
	財政運営に活用していく。				

一 般 会 計

2	款	1	項	8	目	企画費			
担当部署名				企画調整課				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	354, 581		144, 620			452		101, 200	42, 968
目的	町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」、「今後も住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進する。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	企画事務経費(総合計画審議会)		B	-	3.7	長期総合計画後期基本計画の策定に際し、後期基本計画(素案)の審議並びにその他策定に関する事項について議論を行い、適正な会議運営が図られた。			
	企画事務経費(広域行政等)		B	-	3.7	コロナ禍における塩釜地区広域行政連絡協議会の協働事業として、「ふるさとの魅力てんこもりセット」を当町が事務局となり実施し、用意した1,000セットが2日で完売した。 仙台都市圏広域行政推進協議会において、「どこでもパスポート」を発行し、仙台都市圏域内の小学生に配布することで、公共施設の活用の促進と学習機会の創出を行った。			
	長期総合計画関連費		B	-	3.7	長期総合計画後期基本計画の策定にあたり、町の現状と課題の分析、課題の解決策の検討、主要施策等の再検討等、後期基本計画に係る各種確認や検討、議論を行い、効果的かつ適切な計画策定が図られた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各種委員会等の中止、延期等により長期総合計画後期基本計画の策定は令和2年度末から令和3年7月まで延期となった。			
	景観形成推進経費		B	-	3.3	事前協議や届出制度による景観形成に係る協議等を通じて適切な誘導を行うことにより、良好な景観の形成ができた。			
	企業立地・誘致関連経費		A	4.7	4.0	宮城県主催の企業立地セミナーや各種会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、町の企業立地ガイド更新や宮城県が発行する企業立地ガイドにおいて県内主要工業団地として位置付け掲載されるなど、PR効果が向上したことで、初原地区への立地に意欲を示す企業の創出に繋がった。			
	定住促進事業費		A	3.7	3.3	地方移住を検討している方に対し、オンラインで開催された移住フェア等を通じ、町のPRや情報発信が図られた。 また、今後開催されるイベント等で配布することを目的とし、移住定住促進ガイドブックの刷新も行った。			
	定住促進事業費(震災復興定住促進事業補助金)		B	-	3.7	移住・定住と併せてマイホームの夢を叶えたいと考える方に対し、自治体からの定住促進事業補助金が候補地を選ぶ大きな動機付けとなることから、本町においても同補助金については皆様から好評を頂き、定住施策に大きく寄与した。			
	定住促進事業費(津波被災住宅再建支援事業補助金)		B	-	3.7	令和2年度においては新規で1件申請があったほか、過年度に交付されたものの上限まで申請されなかった方に対し、改めて案内を送付し、申請を受け、かさ上げ交付を実施した。			
(次頁へ続く)									

2	款	1	項	8	目
---	---	---	---	---	---

評価 成果	国土利用計画法関連経費	C	-	-	町士の適正かつ効率的な活用のための国土利用計画に基づき、一定規模以上の土地の売買の届出を受け付け、適正かつ合理的な土地利用を確保できた。
	行政評価事務経費	A	4.0	3.7	各事務事業の目的や達成度を評価する数値目標を明確化した上で、各事務事業に要する人件費についても考慮した評価の構築を図った。
	松島海岸駅整備事業	A	4.3	4.0	令和2年5月26日に令和2年度松島海岸駅整備事業に係る補助金を東日本旅客鉄道株式会社へ交付した。整備事業は令和3年度内の竣工を予定している。

実績

【企画事務経費(総合計画審議会)】

・ 総合計画審議会の開催

開催日	内 容	場 所
令和3年 2月18日	○後期基本計画（素案）について (出席17人、欠席2人)	役場3階 大会議室

【企画事務経費(広域行政等)】

1 塩釜地区広域行政連絡協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催(協議会6回、幹事会4回、ブロック幹事会1回)

・ 宮城県に対する要望

・ 塩釜県税事務所及び塩釜県税管内二市三町協働徴収体制について

(2) 宮城県に対する要望

・ 塩釜地区二市三町の圏域振興にかかる行政課題について要望を行った。

・ 塩釜地区二市三町の圏域振興にかかる震災復旧・復興に必要な要望を行った。

(3) 新型コロナウイルス感染症に伴う事業

・ ふるさとの魅力てんこもりセット(詳細は39頁参照)

・ 新型コロナウイルス感染症に係る高校生就活支援対策事業(詳細は40頁参照)

(4) 負担金

37,000 円

・ 塩釜地区広域行政連絡協議会負担金

2 仙台都市圏広域行政推進協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催(協議会2回、幹事会2回)

・ 国及び宮城県に対する要望

(2) 国及び宮城県に対する要望

・ 圏域振興にかかる行政課題について要望

(3) 「どこでもパスポート」事業の実施

・ 圏域内の小学生約2万人に対し配布

(4) ホームページの公開

(5) 負担金

68,000 円

・ 仙台都市圏広域行政推進協議会負担金

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

【長期総合計画関連費】

- 1 松島町長期総合計画後期基本計画策定業務委託（2020年度分） 2,980,000 円

- 2 まちづくり検討委員会の開催

開催日	内 容	場 所
令和2年 6月	○まちづくりの現状と課題の分析について（書面ヒアリング） 「本町のまちづくり等に関する問題・課題等の抽出等」 （長期総合計画基本計画4～6章分）	役場3階 大会議室
令和3年 1月8日	○町のまちづくり等に関する課題の解決策の検討（前半部分） （ワークショップ） （出席12人（委員11人、アドバイザー1人）、欠席3人）	
令和3年 1月15日	○町のまちづくり等に関する課題の解決策の検討（後半部分） （ワークショップ） （出席8人（委員7人、アドバイザー1人）、欠席7人）	
令和3年 2月9日	①課題解決に向けた取り組みの抽出結果について ②後期基本計画（素案）について ③実施計画の概要について ④パブリックコメントの実施について （出席11人（委員10人、アドバイザー1人）、欠席4人）	

- 3 まちづくり検討庁内委員会の開催

開催日	内 容	場 所
令和2年 6月	○主要施策等の見直し方針の目標・指標に関する確認等 （書面ヒアリング）	役場1階 101会議室
令和2年 11月17～19日	○主要施策等再検討に関するヒアリング調査	
令和3年 1月29日	①まちづくり検討委員会の検討結果について ②主要施策の見直し結果について ③後期基本計画の作成方針について ④実施計画の作成方針について ⑤パブリックコメントの実施について （出席19人（うち代理出席2人）、欠席1人）	役場3階 大会議室

実績

【景観形成推進経費】

- 1 景観計画の運用状況について

- (1) 景観条例における事前協議 50 件

景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施するもの。

建築物 8 件（松島：8件）

工作物 41 件（松島：11件、高城：13件、磯崎：10件、手樽：1件、北小泉：1件
竹谷：1件、幡谷：2件、根廻：1件、初原：1件）

開発行為 0 件

土砂の採取等 1 件（北小泉：1件）

- (2) 景観法における届出 8 件

景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施するもの。

建築物 0 件

工作物 6 件（竹谷：1件、幡谷：2件、根廻：1件、初原：2件）

開発行為 0 件

土砂の採取等 2 件（北小泉：1件、初原：1件）

（次頁へ続く）

【企業立地・誘致関連経費】

- ・ 企業訪問 20社
- ・ 松島町企業立地ガイド更新
- ・ 松島町企業立地ガイド送付 51社

【定住促進事業費】

- 1 移住・定住フェアへの参加 4回

名 称	開催日	内 容	問合件数	場 所
第3回 みやぎ移 住フェア	令和2年 7月19日	出展自治体各30分間で個別相談会を行った。(2部構成で計4回実施) 【出展自治体】 栗原市、東松島市、松島町	3	オンライン開催 (松島町役場会議室)
第4回 みやぎ移 住フェア	令和2年 9月19日	「知りたい地方のあれこれ」「みやぎで出来る暮らし方」をテーマに町の魅力をPRした。 【出展自治体】 気仙沼市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、松島町、女川町、南三陸町	4	オンライン開催 (松島町役場会議室)
ふるさと 回帰フェア	令和2年 10月10日 ～ 10月11日	約300自治体に参加した全国規模の移住希望者向けイベント。 【出展自治体】 白石市、登米市、東松島市、大崎市、松島町	1	オンライン開催 (松島町役場会議室)
宮城まる ごとオン ライン移 住フェア	令和3年 2月14日	宮城県主催の初めての移住フェア。宮城で住みたい、働きたい方を対象に出展自治体と個別相談会を行った。 県内の35市町村が参加した。	6	オンライン開催 (松島町役場会議室)

実績

- 2 移住・定住促進ガイドブックの作成

発行部数 1,600部 334,400 円

【定住促進事業費(震災復興定住促進事業補助金)】

松島町復興支援定住促進事業補助金
交付世帯数 町内 3世帯 8人 町外 21世帯 63人 12,000,000 円

(繰越明許費)

松島町復興支援定住促進事業補助金
交付世帯数 町内 1世帯 3人 町外 1世帯 2人 1,000,000 円

【定住促進事業費(津波被災住宅再建支援事業補助金)】

松島町津波被災住宅再建支援事業補助金
交付世帯数 町内 1世帯 4人 町外 0世帯 0人 1,500,000 円

(かさ上げ交付分)

松島町津波被災住宅再建支援事業補助金
交付世帯数 町内 5世帯 17人 町外 2世帯 7人 5,900,000 円

(次頁へ続く)

実績

【国土利用計画法関連経費】

1土地売買等届出書5件（松島：2件、高城、1件、手樽：1件、根廻：1件）

国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定面積以上の土地の取引をしたときに届け出るもの。

2土地有償譲渡届出書2件（高城：2件）

公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、公有地の拡大の計画的な推進を図り、地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的として、都市計画区域内の一定規模以上の土地を有償で譲渡しようとするときに届け出るもの。

【行政評価事務経費】

松島町行政評価システムリース1,782,000円

地域や時代のニーズに合った、効果的・効率的な行政サービスを展開していけるよう、各事務事業に対して投入された予算や成果について、PDCAサイクルによる継続的な検証と見直しを図る仕組みを構築するとともに、評価に用いるシステムの導入を図るもの。

【松島海岸駅整備事業】

（繰越明許費）

松島海岸駅整備事業費補助金116,503,000円

東日本旅客鉄道株式会社が実施する松島海岸駅整備事業に対して、松島海岸駅整備事業費補助金交付要綱に基づく令和元年度繰越明許費分補助金。

【タウンミーティング】

○実施内容

開催日	参加人数	団体名	開催テーマ
令和2年 6月 3日（水）	17人	利府松島商工会青年部	商工・観光等について
令和2年11月 5日（木）	8人	くぬぎ台地区 （同地区在住の子育て世代）	定住・子育て支援について

【空き家バンク】

新規登録及び賃貸等契約成立件数

（単位：件）

区 分	住宅	土地	計
年度当初登録数	4	15	19
年度内新規登録数	3	3	6
年度内賃貸等契約成立数	1	1	2
年度末登録数	6	17	23

課題
方向性

町民等の満足度を高める各種施策を引き続き推進し、本町の特色を生かした魅力あふれるまちづくりを進めることで、住民が安心して働き、潤いのある豊かな生活を送れ、「住んでよかった」、「住み続けてよかった」と感じられるまちづくりを目指す。

特に、移住・定住に強く関連する施策については、より多くの子育て世代や生産年齢人口の呼び込み施策について検討していく。

一 般 会 計

2 款		1 項		9 目		交通安全費					(単位:千円)																																				
担当部署名				総務課環境防災班																																											
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																										
	7,281		6,197		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																						
							224		115	5,858																																					
目的																																															
住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。 さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。																																															
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																									
	交通安全指導事業経費		B	-	3.3	交通安全指導員による交通安全日の街頭指導により、歩行者の交通事故防止や、交通安全教室等、交通安全啓発活動を実施し、交通安全ルールの周知及びマナー向上を図ることができた。																																									
	交通安全啓発事業経費		B	-	3.3	町と交通安全団体、警察が連携し、春・秋の交通安全運動をはじめ、高齢者並びに児童に対する事故防止啓発活動や飲酒運転撲滅啓発活動を実施し、交通安全意識の向上を図ることができた。																																									
	交通安全施設整備事業経費		B	-	3.3	カーブミラーの設置、交換を実施し、安全・安心な交通環境の整備を推進することができた。																																									
	その他交通安全関係経費		B	-	3.7	松島町交通安全母の会・塩釜地区交通安全協会松島支部へ補助金を交付し、交通安全啓発活動を実施し交通事故防止を啓発することができた。																																									
	臨時運行許可事務経費		B	-	3.7	自動車臨時運行に伴う許可申請の審査及び許可について、道路運送車両法第34条第2項の規定に基づき適正な受付業務を行うことができた。																																									
実績	【交通安全指導事業経費】																																														
	1 交通安全指導員による街頭指導 (交通安全指導員数14人) ・総出動回数 延べ 528回 (月平均 延べ44回) ・出動内容 ①交通安全日街頭指導 ②春の交通安全運動 ③秋の交通安全運動 ④交通安全教室交通指導 ⑤全日本実業団女子駅伝競走大会 ⑥成人式 ⑦各種行事の街頭指導																																														
	2 松島町内における交通事故発生件数の推移																																														
<table><tr><td></td><td>令和2年</td><td>令和元年</td><td>平成30年</td><td>平成29年</td><td>平成28年</td><td>平成27年</td></tr><tr><td>発生件数</td><td>23</td><td>31</td><td>35</td><td>40</td><td>48</td><td>60</td></tr><tr><td>(前年比)</td><td>(△ 8)</td><td>(△ 4)</td><td>(△ 5)</td><td>(△ 8)</td><td>(△ 12)</td><td>(1)</td></tr><tr><td>死者数</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>傷者数</td><td>30</td><td>41</td><td>42</td><td>55</td><td>82</td><td>84</td></tr></table>														令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	発生件数	23	31	35	40	48	60	(前年比)	(△ 8)	(△ 4)	(△ 5)	(△ 8)	(△ 12)	(1)	死者数	2	0	0	0	0	0	傷者数	30	41	42	55	82	84
	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年																																									
発生件数	23	31	35	40	48	60																																									
(前年比)	(△ 8)	(△ 4)	(△ 5)	(△ 8)	(△ 12)	(1)																																									
死者数	2	0	0	0	0	0																																									
傷者数	30	41	42	55	82	84																																									
※期間は、各年1月1日から12月31日まで																																															
(次頁へ続く)																																															

2 款	1 項	9 目
実績	3 交通安全教育 ・ 小学校・幼稚園における交通安全教室 3回 (松島第二小学校、松島第五小学校・松島第五幼稚園、松島第一幼稚園) 【交通安全啓発事業経費】 1 交通安全思想普及活動 ・ 春の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 : 4月6日 ～ 4月15日 (10日間) ・ 秋の交通安全町民総ぐるみ運動 運動期間 : 9月21日 ～ 9月30日 (10日間) ・ 交通安全施設の点検 毎月 2 交通安全啓発活動 ・ 高齢者等事故防止啓発活動 5回 (5施設) ・ 飲酒運転撲滅啓発活動 1回 ・ 広報車による啓発活動 毎月 【交通安全施設整備事業経費】 交通安全施設整備事業 ・ カーブミラー設置工事 N = 10基 1,925,000 円 ○ シングルミラー設置工 N = 2 基 ○ ダブルミラー交換工 N = 2 基 ○ シングルミラー交換工 N = 3 基 ○ ミラー取付金具交換工 N = 1 基 ○ 鏡面交換工 N = 1 基 ○ シングルミラー撤去工 N = 1 基 ・ カーブミラー修繕 N = 1 基 99,000 円 ○ ダブルミラー支柱修繕 N = 1 基 【その他交通安全関係経費】 交通安全団体に対する事業費補助 ・ 塩釜地区交通安全協会松島支部 250,000 円 ・ 松島町交通安全母の会 100,000 円	
課題 方向性	本町における交通事故の発生件数は減少しているが令和2年中には交通死亡事故が2件発生しているため、継続的な交通安全啓発活動が重要である。なお、近年では高齢者による運転操作による事故や自転車乗車中の事故が全国的に多発していることから、高齢者啓発活動や交通安全教室等の実施に努める。 カーブミラー等の交通安全施設については、住民等より整備要望が寄せられているが学校周辺や通学路など緊急性が高い箇所から整備を行っていく。	

一 般 会 計

2	款	1	項	10	目	諸費				
担当部署名			総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課					(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	28,647		27,786		22	287			27,477	
目的	自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。 警察や学校などの関係機関と連携して、防犯対策等の普及を図り、犯罪を未然に防ぎ住民の安全を確保する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	自治振興経費 ※総務課 総務管理班所管		B	－	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により行政区長移動研修会は中止となったが、区長等を通じて町と町民との連絡を密にすることで、行政事務の円滑かつ効果的な運営を図ることができた。				
	表彰式典関係経費		B	－	4.0	当初表彰式典実施を予定していた行事が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、単独での表彰式を実施し、善行・功労のあった表彰者への表彰状の贈呈を行うことができた。				
	災害補償等関係経費		B	－	3.7	全国町村会総合賠償補償保険に加入し、町の損害賠償責任が発生した事案に対する申請等の事故対応を適正に行うことができた。				
	防犯対策関係経費		B	－	3.0	各地区防犯指導隊など関係団体と連携し地域の防犯対策に努め、地域住民の安全安心及び防犯意識の高揚を図ることができた。また、各地区の防犯灯維持管理並びに電気料の助成を行う等、犯罪が発生しにくい環境づくりに取り組み、各地域の防犯・非行の未然防止が図られた。				
	自治振興経費 ※企画調整課所管		B	－	4.0	品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化に繋がった。				
	自衛官募集関係経費		C	－	－	自衛官募集に係る情報を広報周知等実施し、町内在住者の採用に繋がった。				
実績	■総務課 総務管理班所管									
	【自治振興経費】									
	・行政区長等報償 114人 18,331,920円 ・行政区長移動研修会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止									
	【表彰式典関係経費】									
	1 善行者・功労者表彰 ・開催日 令和2年11月6日（金） ※文化観光交流まつりの中止により役場大会議室で実施 ・表彰該当者 功労者（5名）									
	【災害補償等関係経費】									
	・全国町村会総合賠償補償保険 1,393,056円 ・保険適用申請対応件数 1件									

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2	款	1	項	10	目
---	---	---	---	----	---

■総務課 環境防災班所管

【防犯対策関係経費】

1 松島町における犯罪認知件数

	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
認知件数	33	86	66	55	95	97
(前年比)	(△ 53)	(20)	(11)	(△ 40)	(△ 2)	(△ 1)

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

2 主な防犯活動

- ・地域安全運動による防犯パトロール等
 - 春の地域安全運動 (運動期間：4月15日～5月14日)
 - 夏の地域安全運動 (運動期間：7月15日～8月25日)
 - 全国地域安全運動 (運動期間：10月11日～10月20日)
 - 年末年始特別警戒 (運動期間：12月15日～1月7日)
- ・定期的な町内パトロール活動 (随時)

実績

- 3 防犯指導隊への補助 6 団体 360,000 円
- 4 防犯灯設置等補助 61 基 946,133 円
(松島区・本郷区・手樽区・北小泉区・下竹谷区・幡谷区・初原区・桜渡戸区)
- 5 防犯灯電気料助成 1,569 基 3,811,738 円
(12行政区・品井沼街灯組合)
- 6 東北電力(株)寄贈防犯灯 10 基
(高城区・本郷区・磯崎区・下竹谷区・根廻区・桜渡戸区)

■企画調整課所管

【自治振興経費】

品井沼ステーション運営費補助金 852,000 円

課題
方向性

■総務課 総務管理班所管

令和2年度より区長等の身分が私人扱いになるため、業務上の取り扱い等変更点に留意しつつ、適切な運営を図る。

善行者・功労者の表彰については、町への貢献に敬意を表し、引き続き年1回の表彰を行う。

■総務課 環境防災班所管

地域住民が安全安心に暮らすことのできる生活環境づくりのため、各地区防犯指導隊による協力を得ながら継続した防犯パトロールを行い犯罪の抑止に努めていく。

また、特殊詐欺や犯罪に巻き込まれることのないよう「安心安全メール」を活用した迅速な情報提供や広報誌による防犯啓蒙活動に努める。

防犯灯については、町管理防犯灯の適正管理を図るとともに、今後も地区管理防犯灯の修繕やLED化更新にあたり、各地区の負担軽減を図るため町補助金を交付する。

■企画調整課所管

品井沼駅の利便性向上及び地域コミュニティの維持・活性化を図るため、引き続き運営費の補助を実施する。

また、自衛官募集事務については、市町村委託事務として継続し、安定的な自衛官採用に繋げる。

一 般 会 計

2	款	1	項	11	目	電子計算費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	85, 192		85, 019		3, 267			2, 644	79, 108	
目的	電算システムの円滑な処理と安定化による事務処理の高度化・効率化を図り、高度情報化社会における住民ニーズへの対応、行政サービスの向上に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	基幹系システム経費		A	4. 6	3. 7	基幹系（住基システム、税務情報システム、介護保険システム他）の業務をシステム化することにより、事務の効率化及び適正化が図られた。				
	公会計システム経費		A	4. 3	3. 7	財務会計システムにより、事務の効率化及び適正化が図られた。				
	地域情報システム整備事業経費		B	-	4. 0	事務用端末を最新のオペレーションシステムの端末に入替え、インターネットの脅威から個人情報等を保護するためのセキュリティレベルの確保が図られた。				
実績	【基幹系システム経費】									
	・ 基幹系システム大量データ作成業務委託 464, 640 円									
	・ 基幹系システム賃借料 56, 477, 436 円 (ハードウェア、ソフトウェア、LGWAN及びセキュリティ強化対策保守含む)									
	・ 自治体中間サーバー・プラットフォーム次期システム移行業務委託 1, 540, 000 円									
実績	【公会計システム経費】									
	・ 公会計システム賃借料 12, 506, 400 円 (ハードウェア及びソフトウェア保守含む)									
	【地域情報システム整備事業経費】									
	・ 地域情報システム賃借料 5, 536, 512 円									
課題 方向性	自治体の情報システムの標準化に関する動きが今後加速化することが見込まれるため、国の動向に注視しながら、システムの入れ替えを遅滞なく行うことができるよう検討する必要がある。 また、社会保障・税番号制度等に伴う個人情報の保護についても引き続き努める必要があり、従来のセキュリティ対策に加え、ソフト面として、ユーザ管理の徹底はもとより、情報セキュリティに対するモラルや情報倫理の向上を図っていく必要がある。									

一 般 会 計

2 款	1 項	12 目	町民バス運行費					
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	36, 978	34, 971				1, 376	33, 595	
目的	公共交通空白地域における生活利便性の向上及び福祉の増進を図るとともに、高齢者等の交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通の地域格差の是正に努める。 また、総合交通対策に努めることにより、町民の地域間交流を促進し活力のあるまちづくりに寄与する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	町民バス運行事務経費	A	4. 3	3. 3	地域公共交通会議を開催し、避難道整備完了に伴う路線変更の協議を行うとともに東北運輸局への変更・更新の登録を行う等、適切な運行管理が図られた。			
	町民バス運行経費	A	4. 0	3. 0	高齢者をはじめとする交通弱者の交通手段を確保し、住民生活の利便性向上、福祉の増進、さらには交通の地域格差の是正が図ることができた。また、旧三小学区及び旧四小学区の児童・幼児の通学便を運行し、通学手段を確保することができた。			
実績	○ 運行・利用状況							
	内容 路線	便数	運行日数	走行距離 (km)	利用人数 (人)	収入金額(円)		
	北松島線 〔中廻含む〕	14 (4)	300	112, 513 (17, 030)	19, 595 (6, 230)	257, 900		
	松島東線	8 (4)	300	46, 537 (12, 656)	8, 640 (5, 059)	79, 400		
	松島西線	5	300	37, 842	6, 959	123, 800		
	定期券・回数券	—	—	—	—	428, 030		
	計	—	—	196, 892 (29, 686)	35, 194 (11, 289)	889, 130		
※ () 内は通学便分								
課題 方向性	全国的に交通弱者への対応が社会問題となっているほか、高齢者の交通移動支援策としての公共交通の重要性が高まっている。当町の町営バスは、利用者の減少、事業費の増加、運行効率等の課題が山積している状況であり、人口減少や高齢化に対応し、まちづくりとも連携した持続可能な公共交通を再構築する必要性がある。今後、運行効率の改善及び運行形態やルートの見直し等を検討していく。							

令和2年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	8,366	327	6	19	87	112	56	6	5	67	19	262	787	17,900	13日～30日通学便運休
5	26	8,352	277	0	26	75	101	192	27	32	251	0	256	885	18,200	1日～6日通学便運休
6	26	10,389	609	54	45	83	182	692	33	48	773	141	340	2,045	21,400	
7	27	10,306	625	65	43	89	197	692	26	31	749	88	307	1,966	20,900	
8	26	9,045	582	47	57	96	200	415	14	16	445	31	253	1,511	20,800	
9	25	9,686	524	58	59	95	212	650	15	8	673	110	303	1,822	19,800	26日路線バス運休
10	27	10,705	653	68	55	110	233	708	0	21	729	118	346	2,079	24,100	
11	25	9,681	672	61	51	112	224	617	2	33	652	103	287	1,938	25,700	
12	24	9,497	518	69	48	129	246	634	0	43	677	90	315	1,846	30,100	29日～31日運休
1	19	7,489	393	37	30	70	137	528	1	40	569	71	231	1,401	18,000	1～3日運休、26日～31日路線バス運休
2	22	8,684	433	27	42	64	133	553	10	14	577	103	252	1,498	14,200	1日～2日路線バス運休
3	27	10,313	614	23	32	124	179	529	39	20	588	92	344	1,817	26,800	
合計	300	112,513	6,227	515	507	1,134	2,156	6,266	173	311	6,750	966	3,496	19,595	257,900	
月平均		9,376	519	43	42	95	180	522	14	26	563	81	291	1,633	21,492	

(松島東線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	3,085	80	1	8	20	29	46	2	9	57	23	7	196	4,900	13日～30日通学便運休
5	26	3,198	87	0	11	20	31	188	8	22	218	0	1	337	6,200	1日～6日通学便運休
6	26	4,515	202	1	15	29	45	550	16	53	619	126	0	992	11,100	
7	27	4,325	150	4	13	26	43	506	25	46	577	84	1	855	9,800	
8	26	3,394	157	4	18	17	39	307	33	16	356	20	4	576	5,000	
9	25	4,323	149	2	12	14	28	474	23	40	537	117	0	831	6,800	26日路線バス運休
10	27	4,577	239	1	12	9	22	505	9	27	541	98	12	912	4,500	
11	25	4,219	215	2	17	11	30	442	22	38	502	105	2	854	6,000	
12	24	3,920	208	2	5	15	22	443	17	58	518	91	1	840	8,800	29日～31日運休
1	19	3,220	145	3	6	21	30	385	13	29	427	92	1	695	7,100	1～3日運休、26日～31日路線バス運休
2	22	3,649	158	0	2	14	16	435	15	27	477	100	0	751	5,500	1日～2日路線バス運休
3	27	4,112	232	0	8	9	17	430	17	19	466	86	0	801	3,700	
合計	300	46,537	2,022	20	127	205	352	4,711	200	384	5,295	942	29	8,640	79,400	
月平均		3,878	169	2	11	17	29	393	17	32	441	79	2	720	6,617	

(松島西線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	26	3,279	244	30	10	37	77	0	1	0	1	0	75	397	7,400	
5	26	3,167	220	0	11	39	50	0	2	2	4	0	57	331	8,000	
6	26	3,325	399	2	18	63	83	2	0	4	6	0	880	1,368	13,000	
7	27	3,322	396	44	9	68	121	6	0	1	7	0	71	595	13,700	
8	26	3,243	350	44	8	54	106	2	0	2	4	2	72	534	11,000	
9	25	3,130	340	28	14	47	89	0	0	0	0	0	83	512	9,400	26日運休
10	27	3,463	435	57	14	61	132	9	0	3	12	0	96	675	12,500	
11	25	3,097	356	58	7	53	118	5	1	0	6	0	89	569	10,600	
12	24	3,130	373	59	7	52	118	1	4	3	8	0	95	594	10,700	29日～31日運休
1	19	2,524	240	41	4	39	84	0	0	0	0	4	55	383	7,800	1～3日、26日～31日運休
2	22	2,749	257	20	9	46	75	0	1	1	2	0	55	389	9,300	1日～2日運休
3	27	3,413	436	26	20	51	97	0	0	2	2	0	77	612	10,400	
合計	300	37,842	4,046	409	131	610	1,150	25	9	18	52	6	1,705	6,959	123,800	
月平均		3,154	337	34	11	51	96	2	1	2	4	1	142	580	10,317	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月13日～5月6日まで通学便運休、9月26日路線バス運休、1月26日～2月2日まで路線バス運休

(合 計)

定期券・回数券	428,030
---------	---------

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
合計	300	196,892	12,295	944	765	1,949	3,658	11,002	382	713	12,097	1,914	5,230	35,194	889,130	

(回数券・定期券販売実績)

種類	回数券		定期券									還付金	販売金額
区分	一般	小中学生	中学生			高校生			一般(69歳以下)			定期券 ※	
	2,000円	1,000円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円		
販売数(件)	66	40	37	9	3	16	1	0	9	0	0	-7,760	428,030

※ 還付金内訳

種類	定期券									還付金合計
区分	中学生			高校生			一般(69歳以下)			
	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円	
還付額	400円	400円	400円	880円	880円	880円	1,520円	1,520円	1,520円	
件数	6	2	1	2	1	0	1	0	0	7,760

一 般 会 計

2	款	1	項	13	目	施設管理費				
担当部署名				総務課総務管理班・建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	8,937		8,601					4,000	4,601	
目的	集会施設の適切な維持管理を行い、住民のための地域コミュニティの場として、安全かつ利用しやすい環境を提供する。また、公衆便所の適切な維持管理を行い、利用しやすい環境を提供する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	集会施設指定管理経費		B	－	3.0	集会施設27施設のうち古浦集会場を除く26施設について、行政区等への指定管理により適正な管理運営を行うことができた。				
	高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費		B	－	3.7	公衆便所の清掃等、適切な維持管理を実施することにより、利用しやすい環境を提供した。				
	集会施設等維持管理経費		B	－	3.7	集会施設の設備修繕並びに、適切な維持管理を実施することにより、良好な利用環境の整備を図り、地域住民のコミュニティ構築の場を提供した。				
実績	■総務課 総務管理班所管									
	【集会施設等維持管理経費】									
	1 集会施設の在り方に関する住民意見交換 希望のあった地区へ訪問し意見交換会を開催 参加者数等 3回 計62名 ※その他文書による意見、要望等に対する回答実施									
	2 補助金 ・ 磯崎区民会館解体事業支援補助金 4,000,000 円									
	【集会施設指定管理経費】									
	1 委託料 ・ 集会施設26施設 2,403,371 円									
	■建設課 管理班所管									
	【高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費】									
	1 役務費（火災保険料） ・ 公衆便所（3箇所） 5,074 円									
	2 委託料 253,000 円 ・ 公衆便所清掃業務委託 高城町駅前公衆便所（月3回） 愛宕駅前公衆便所、元禄潜穴公衆便所（月2回）									

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2 款	1 項	13 目																														
実績	【集会施設等維持管理経費】 <table> <tr> <td>1</td><td>需用費（修繕料）</td><td>965,360 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 大日向サブセンター修繕（襖）</td><td>50,600 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 北小泉・下竹谷コミュニティーセンター修繕（止水栓、排煙窓）</td><td>99,000 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 本郷ふれあいセンター修繕（電灯分電盤）</td><td>135,300 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 華園集会場修繕（トイレ手洗、集会室カーペット）</td><td>547,800 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 高城コミュニティーセンター修繕（非常警報設備）</td><td>60,060 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 中通支館修繕（台所水栓）</td><td>39,600 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 中才サブセンター修繕（トイレタンク）</td><td>33,000 円</td></tr> <tr> <td>2</td><td>役務費（火災保険料）</td><td>532,710 円</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 集会施設（27箇所）</td><td></td></tr> </table>		1	需用費（修繕料）	965,360 円		・ 大日向サブセンター修繕（襖）	50,600 円		・ 北小泉・下竹谷コミュニティーセンター修繕（止水栓、排煙窓）	99,000 円		・ 本郷ふれあいセンター修繕（電灯分電盤）	135,300 円		・ 華園集会場修繕（トイレ手洗、集会室カーペット）	547,800 円		・ 高城コミュニティーセンター修繕（非常警報設備）	60,060 円		・ 中通支館修繕（台所水栓）	39,600 円		・ 中才サブセンター修繕（トイレタンク）	33,000 円	2	役務費（火災保険料）	532,710 円		・ 集会施設（27箇所）	
1	需用費（修繕料）	965,360 円																														
	・ 大日向サブセンター修繕（襖）	50,600 円																														
	・ 北小泉・下竹谷コミュニティーセンター修繕（止水栓、排煙窓）	99,000 円																														
	・ 本郷ふれあいセンター修繕（電灯分電盤）	135,300 円																														
	・ 華園集会場修繕（トイレ手洗、集会室カーペット）	547,800 円																														
	・ 高城コミュニティーセンター修繕（非常警報設備）	60,060 円																														
	・ 中通支館修繕（台所水栓）	39,600 円																														
	・ 中才サブセンター修繕（トイレタンク）	33,000 円																														
2	役務費（火災保険料）	532,710 円																														
	・ 集会施設（27箇所）																															
課題 方向性	■総務課 総務管理班所管 集会施設の老朽化等による今後の維持管理費増大を鑑み、施設の統廃合を含めた適正配置を検討するべく、集会施設の個別管理計画を策定する。 ■建設課 管理班所管 集会施設や公衆便所は利用頻度が高く、設備数も多いことから、故障等が発生した場合には適宜修繕しながら適切な維持管理を継続し、安全かつ利用しやすい施設環境を提供していく。																															

一 般 会 計

2	款	1	項	15	目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費					(単位:千円)
担当部署名				企画調整課・建設課管理班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	1,954		1,549		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,549	
目的	町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。 また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）		B	-	4.0	難視聴になっている地区の組合に対し補助金を交付することで、良好な地上デジタル放送の受信環境維持に寄与した。					
	地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）		B	-	3.7	地上デジタル放送無線共聴施設の設備修繕並びに、保守点検等を行い、施設の維持管理を行った。					
実績	■企画調整課所管 【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）】 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金 131,000 円 ・ 帰命院地区テレビ共同受信組合（135世帯） 120,000 円 ・ 霞ヶ浦テレビ共同受信施設組合（36世帯） 11,000 円 ※ 霞ヶ浦テレビ共同受信施設組合は令和2年4月から9月まで事業実施（9月末で組合廃止） ■建設課 管理班所管 【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）】 地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理 ・ 松島海岸、小石浜地区（受信点：3箇所 送信点：5箇所） ・ 反町、初原地区（受信点：1箇所 送信点：2箇所） 1 需用費（修繕料） ・ 三十刈局幹線ケーブル嵩上げ修繕 198,000 円 2 委託料 ・ 地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託（年1回） 968,000 円										
	課題 方向性										
	■企画調整課所管 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、当該地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。 ■建設課 管理班所管 電波障害が発生した場合の原因究明や部品調達に時間を要する可能性があるため、今後も適切な保守点検を実施し、常に良好な視聴環境の維持に努める。										

一 般 会 計

2	款	1	項	18	目	復興推進費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	13,306		13,293					9,487	3,806	
目的	松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの具現化に向けて、復興事業の事業間調整、関係機関協議を行い復興交付金事業計画を作成の上、各種復興事業を推進し、早期の復興を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	松島地区等復興まちづくり推進事業		A	4.0	4.0	東日本大震災復興交付金事業は、避難施設、避難道路の整備等多岐に渡るが、各種事業の進捗により防災機能の向上が図られている。				
実績	【松島地区等復興まちづくり推進事業】									
	1 委託料 ・松島地区等復興まちづくり推進事業業務委託 12,650,000 円 ○業務内容 復興事業に関する包括的な支援業務として、松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの早期実現と、復興まちづくりの具現化に向けた技術的な支援や協議・調整、復興交付金事業計画の進行管理補助、関連事業・関係機関との調整等を行うもの。 本年度は、「復興・創生期間」の最終年度となったことから、完了した事業においては実績評価作成に向けた指標設定について復興庁及び事業担当課と協議を実施し、継続中の事業に対しては事業進捗管理を実施したことで、東日本大震災復興交付金事業の推進を図った。 ○復興交付金事業復興庁協議実施（町事業のみ） 第29回 町道高城・松島線外道路整備事業の期間延伸について ○東日本大震災復興交付金事業の事業進捗管理に関する事業担当課会議実施（4回実施） 第1回 令和2年 4月17日 第2回 令和2年 6月 4日 第3回 令和2年 8月 6日 第4回 令和2年12月17日 ○東日本大震災復興交付金事業の事業完了実績評価作成に関する事業担当課会議実施（2回実施） 第1回 令和2年 6月 4日 第2回 令和2年 8月31日									
課題 方向性	令和2年度までに、東日本大震災復興交付金事業町事業分49事業中48事業は完了しているが、1事業については令和3年度へ繰越していることから、令和4年度の実績評価公表に向け、作成、取りまとめの進捗を図り、全事業の完遂を目指す。									

一 般 会 計

2	款	1	項	19	目	ふるさと納税費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	45,039		38,336					26,094	12,242	
目的	松島町を応援して下さる方からの寄附金を活用し、寄附者の思いを反映した魅力あるまちづくり事業を展開する。また、返礼品により町の魅力を発信するとともに、返礼品事業者の販路拡大と、松島町に対する興味・関心を高め、来町を促すことで地域の活性化を図ることを目的とする。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ふるさと納税費		A	4.3	3.7	前年度と比較して寄附件数はほぼ同程度であるが、寄附金額は減少となった。新型コロナウイルス感染症の影響により来町が難しい状況の中ではあったが、返礼品により本町の魅力を引き続き発信することができた。また、5件の事業に対し財源として活用することができた。				
実績	【ふるさと納税費】									
	1 ふるさと納税費 ・手数料 郵便振替手数料 (47 件) 1,410 円 クレジット決済手数料 (646 件) 224,524 円 アプリ決済手数料 (145 件) 171,931 円 ふるさと納税サイト掲載料 1,415,952 円 ・ふるさとチョイスホームページ掲載料 1,265,736 円 ・楽天ふるさと納税ホームページ掲載料 150,216 円 ・業務委託 松島町ふるさと納税業務委託 10,380,804 円 2 ふるさと納税実績 (845 件) 26,057,400 円 ・使途別 ①道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業 (144 件) 5,331,000 円 ②環境、安全・防災に関する事業 (127 件) 4,216,000 円 ③福祉・保健・医療に関する事業 (152 件) 3,960,000 円 ④教育に関する事業 (137 件) 3,881,500 円 ⑤観光、歴史・文化に関する事業 (86 件) 2,463,000 円 ⑥産業振興、コミュニティに関する事業 (49 件) 1,508,900 円 ⑦その他魅力あるまちづくりを推進するため必要と (150 件) 4,697,000 円 認められる事業 ・金額別 10,000円未満 (2 件) 10,500 円 10,000円以上30,000円未満 (600 件) 6,310,900 円 30,000円以上50,000円未満 (106 件) 3,214,000 円 50,000円以上100,000円未満 (52 件) 2,610,000 円 100,000円以上200,000円未満 (35 件) 3,562,000 円 200,000円以上 (50 件) 10,350,000 円 ・返礼品カテゴリ別 米・パン (140 件) 1,910,000 円 野菜・果物 (0 件) 0 円 水産物 (95 件) 964,000 円 肉類 (7 件) 460,000 円 加工食品 (272 件) 4,710,000 円 菓子・スイーツ (56 件) 586,000 円 飲み物・酒類 (3 件) 90,000 円 (次頁へ続く)									

2 款	1 項	19 目
-----	-----	------

セット・詰め合わせ	(181 件)	3,408,900 円
雑貨	(1 件)	12,000 円
民芸・工芸	(1 件)	32,000 円
宿泊券・チケット	(84 件)	13,724,000 円
希望無し	(3 件)	150,000 円
対象外	(2 件)	10,500 円

3 ふるさと納税基金残高

(単位 円)

使 途		積立残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業
①	道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	5,760,000	5,331,000	5,300,000	5,791,000	松島海岸駅周辺整備事業
②	環境、安全・防災に関する事業	9,472,100	4,216,000	1,500,000	12,188,100	松くい虫防除事業
③	福祉・保健・医療に関する事業	31,347,000	3,960,000	0	35,307,000	
④	教育に関する事業	5,546,000	3,881,500	0	9,427,500	
⑤	観光、歴史・文化に関する事業	10,456,000	2,463,000	1,628,000	11,291,000	プロモーション動画作成事業
⑥	産業振興、コミュニティに関する事業	1,996,000	1,508,900	1,000,000	2,504,900	創業者支援事業
⑦	その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	308,186,000	4,697,000	10,900,000	301,983,000	松島海岸駅周辺整備事業 6,900,000 磯崎区民会館解体事業 4,000,000
基金運用利子収入分		5,766	36,843		42,609	
合計		372,768,866	26,094,243	20,328,000	378,535,109	

実績

課題
方向性

令和2年12月から既存のポータルサイトである「ふるさとチョイス」に「楽天ふるさと納税」を加え、寄附窓口の拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊券を返礼品とした寄附を中心に寄附額が減少した。当事業は返礼品により町の魅力を発信でき、返礼品事業者の販路拡大と、松島町に対する興味・関心を高め、地域の活性化を図ることができる事業であることから、「楽天ふるさと納税」に次ぐ新たなポータルサイトについて検討し、引き続き地域活性化につなげていきたい。

一 般 会 計

2	款	1	項	20	目	特別定額給付金事業費				
担当部署名				総務課特別定額給付金推進室					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,386,064		1,386,060		1,386,060					
目的	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速、かつ、的確に家計への支援を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	特別定額給付金事業費		A	—	4.3	迅速な準備によりオンライン申請受付を5月1日から実施し、5月8日から振込を実施することができた。郵送による申請受付についても5月中旬から実施し、単身世帯で申請前に本人死亡により給付できなかった者2世帯2人及び意思確認を行ったうえで未申請となった2世帯4人、計4世帯6人を除く13,811人に給付することができた。				
実績	1. 実施期間 オンライン申請受付 令和2年5月 1日～令和2年8月14日 郵送等申請受付 令和2年5月15日～令和2年8月14日									
	2. 申請及び給付実績									
	申請方法別				世帯	人	給付額(千円)			
	給付対象				5,656	13,817	1,381,700			
	申請合計				5,652	13,811	1,381,100			
	オンライン申請				100	271	27,100			
	郵送又は窓口申請				5,552	13,540	1,354,000			
	未申請				4	6	600			
	※未申請には単身世帯で申請前に本人死亡により給付できなかった者2世帯2人含む									
	給付方法別				世帯	人	給付額(千円)			
口座振込				5,647	13,805	1,380,500				
窓口給付				5	6	600				
給付合計				5,652	13,811	1,381,100				
課題 方向性	4月下旬に国の方針が示され、4月30日国補正予算が成立、5月1日オンライン申請受付開始とタイトなスケジュールであったが関係機関との事前調整や作業手順について職員が意見を出し合い、経費を抑え効率良く実施することができた。									

一 般 会 計

2 款	1 項	21 目	新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費					(単位:千円)
担当部署名		議会事務局・総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課・町民福祉課福祉班・町民福祉課こども支援班・健康長寿課健康づくり班・産業観光課産業振興班・産業観光課観光班・建設課管理班・水道事業所・教育課学校教育班・教育課生涯学習班・中央公民館						
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
	390,936	387,410	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
			302,592	58,600		3,000	23,218	
目的	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の趣旨に基づくきめ細やかな施策を推進し、感染拡大防止に係る取組や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活に対する支援等の迅速かつ着実な実施を目的とする。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	No.1 避難施設等感染拡大防止 事業	A	3.7	3.7	避難施設における感染症に対応した資機材を整備したことで、災害時に町民等が安心して避難できる体制が確保された。			
	No.2 感染拡大防止事業	A	4.3	3.7	全戸へ不織布マスクを配布できたことで、第2波の前に町民の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を実施することができた。			
	No.3 Web会議実施環境構築事業	A	4.0	4.0	Web会議を実施する環境を構築したことで、オンラインで開催された様々な会議に参加することができ、町内外関係機関や近隣自治体と協議を行うことができた。			
	No.4 母子父子家庭臨時特別給 付金事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症の影響等を受けた母子父子家庭世帯に対し、給付を実施したことで生活支援ができた。			
	No.5 帰省自粛学生支援事業	A	4.0	3.7	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策により帰省自粛を余儀なくされている本町出身の県外学生に対し、地元食材等を送付したことで学生生活を支援することができた。			
	No.6 安心療養・健康支援事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者に対し、自宅での体調管理に必要な医療機器を貸し出すことで、安心して自宅療養できるよう支援ができた。			
	No.7 新型コロナウイルス感染 症拡大防止協力金事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、宮城県が行った休業要請等に全面的に協力した事業者に対し、一事業者あたり30万円の協力金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。			
	No.8 地域産業支援事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、令和2年3月～5月の月額事業収入が対前年同月比20%以上減少した事業者に対し、一事業者あたり10万円の支援金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。			
	No.9 事業所家賃補助事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、令和2年3月～5月の月額事業収入が対前年同月比20%以上減少した事業者のうち、一事業者あたり10万円を上限として月額家賃の3月分の50%相当分を補助金として交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。			
	No.10 飲食・サービス業等応援 クーポン券支給事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた飲食・サービス業の事業継続支援と地域経済活性化のため、町内全世帯に一世帯あたり1,000円のクーポン券を支給したことで、事業者の事業継続と町内経済の活性化に寄与した。			
	No.11 Go To Travel松島キャン ペーン事業	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症の流行及び拡大防止対策により打撃を受けた観光産業の回復を促すために、キャンペーン参加店で利用できる宿泊利用券と割引クーポン券がセットになったクーポンを発行するGo To Travel松島キャンペーン事業に対し補助金を交付したことで、事業者の事業継続と観光誘客促進に寄与した。			
(次頁へ続く)								

2 款	1 項	21 目				
評価 成果	No. 12 児童生徒支援事業（就学 援助費等受給認定者）	A	3.7	3.7	就学援助費及び特別支援就学奨励費を受給している保護者に対して、学校休業の長期化に伴い増大した児童生徒の家庭での食費の一部を助成することで、児童生徒の心身の健康維持を図った。	
	No. 13 小中学校ICT端末整備事業	A	4.0	3.7	GIGAスクール構想のもと小中学校の児童生徒に1人1台の端末を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備を図った。	
	No. 14 避難施設等感染拡大防止 事業（国第二次補正分）	A	3.7	3.7	避難施設における感染症に対応した資機材を充実させたことで、災害時に町民等が安心して避難できる体制が強化された。	
	No. 15 新生児給付金事業	A	4.0	4.0	国の特別定額給付金の支給対象外となった新生児を対象に給付金を支給したことで、子育て家庭の生活支援を図った。	
	No. 16 オンライン健康相談事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症の流行により、感染への懸念から相談機関への来所を躊躇し、閉じこもりがちになった町民に対し、ビデオ通話で相談対応することで、不安の軽減を図った。	
	No. 17 避難所感染対策事業	A	4.3	4.0	指定避難所である第五小学校体育館において、多目的トイレ改修工事を実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図った。	
	No. 18 店舗等感染拡大防止対策 事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、飛沫感染防止や換気のための備品購入費用等を、一事業者あたり20万円を上限として補助金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。	
	No. 19 一次産業事業者継続支援 事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、令和2年3月～5月の月額事業収入が対前年同月比20%以上減少した一次産業事業者に対し、一事業者あたり10万円の支援金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。	
	No. 20 松島産食材活用事業	A	3.7	3.7	感染拡大防止のための外出自粛により消費が減少している町内産食材（米、野菜、果樹）を保育所児童の給食に活用し、町内産食材を子ども達にも認識できる機会を設けるとともに消費拡大を図った。	
	No. 21 地元飲食店消費喚起支援 事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、町外からの利用客が減少している飲食店について、地元町民の消費喚起を図るためのパンフレットを作成したことで、地元飲食店の消費喚起に寄与した。	
	No. 22 まつしま応援商品券給付 事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、影響を受けている町内の事業者を支援するため、町内全世帯に一世帯あたり5,000円の商品券を給付したことで、事業者の事業継続と町内経済の活性化に寄与した。	
	No. 23 観光施設感染拡大防止事 業	A	3.7	4.7	観瀾亭等特別会計1款1項1目及び2款1項1目に充当。 事業の成果は209頁及び212頁参照。	
	No. 24 水道事業会計繰出・補助 （水道料金減免事業）	A	4.0	4.0	水道事業会計営業外収益他会計補助金で受入れ。 新型コロナウイルス感染症対応により影響を受けた地域住民の生活基盤の安定と事業者の負担軽減が図られた。	
	No. 27 感染症拡大防止対策等の 住民への周知協力依頼事 業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症における地域住民に対する感染拡大防止対策や各種支援等の迅速で効率的な周知及びマスク等の配布に協力していただいた12行政区に対し、協力金を交付した。	
(次頁へ続く)						

2 款	1 項	21 目				
評価 成果	No. 28 感染症予防対策換気型空調整備事業	A	3.7	3.0	希望園の老朽化した空調設備を撤去し、空調設備設置工事を実施したことで、利用者（障がい児・障がい者等）の感染症予防対策を図った。	
	No. 29 障がい者臨時特別給付金事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、外出機会が減少している障がい者に対して給付金を支給し、社会参加及び地域消費喚起を図った。	
	No. 30 インフルエンザ予防接種費用助成事業	A	4.0	4.0	7割以上の高齢者がインフルエンザ予防接種を受けたことにより、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防止し、感染症患者の増加による医療の逼迫を防ぐことができた。	
	No. 31 公共的空間安全・安心確保事業（高城町駅前公衆便所建設事業）	A	4.0	4.0	新築建物により感染症等に対する安全性が向上し、密集回避や衛生面での感染拡大防止、クラスター発生リスクの軽減を図った。また、高城駅利用者にとって利便性が向上した。	
	No. 32 校外学習感染対策支援事業	A	3.7	3.3	町内小中学校が実施する校外学習において、三密対策として必要になった経費について補助金を交付し、感染拡大防止対策を図った。	
	No. 33 保育所絵本整備事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症対応に従事する保護者及び児童への支援として、全ての保育所に絵本を購入し、三密対策及び心のケアに活用した。	
	No. 34 感染症対応資金調達事業者支援事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、政府系金融機関及び民間金融機関から関連する融資を受けている事業者に対し、融資額に応じ一事業者あたり5～100万円の支援金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。	
	No. 35 新型コロナウイルス感染症対応事業者支援事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、令和2年3月～5月の月額事業収入が対前年同月比20%以上減少した事業者に対し、一事業者あたり10万円の支援金を上乗せして交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。	
	No. 36 観光バス等応援事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症の流行及び拡大防止対策により打撃を受けた町内のバス、タクシー事業者に対し支援金を交付したことで、事業者の事業継続に寄与した。	
	No. 37 町立学校大型提示装置等整備事業	A	3.7	3.3	GIGAスクール構想による1人1台端末整備により、これらを有効活用するため大型提示装置を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備を図った。	
	No. 38 公共施設等の管理維持体制持続化事業	A	3.7	3.7	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため施設休業等を実施し、収入が大幅に減少した公共施設（指定管理者）の事業継続を図るために協力金を支援した。	
	No. 39 保育所児童・幼稚園児エクスカーション事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止となった保育所及び幼稚園における町外親子遠足の代替事業として、町内の観光事業を実施し、地元愛の醸成と地域活性化を図った。	
	No. 40 教育旅行誘致・受入準備事業	A	3.7	3.3	今後の教育旅行の再開を見据えた誘致活動や、コンテンツ整備などの受入れ準備を進めるため、新学習指導要領に対応した学習ツール（ワークブック）を作成したことで、観光誘客促進に寄与した。	
	No. 41 観光親善大使プロモーション事業	A	4.3	3.7	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた観光地を支援するため、宣伝効果の高い観光親善大使とともに新しい生活様式に沿った観光地を広く宣伝することで、コロナ収束後の観光誘客促進を図った。	
	No. 42 「ふるさとの魅力で食卓を応援します」事業	A	3.7	4.3	予定していた1,000セットが2日で完売するなど、予想以上に好評であり、巣ごもり家庭の食卓応援や生産者の事業支援、そして塩釜圏域のPRにも寄与することができた。	
(次頁へ続く)						

（次頁へ続く）

2 款	1 項	21 目
-----	-----	------

評価 成果	No. 43 新型コロナウイルス感染症に係る高校生就活対策事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けた雇用環境において二市三町に本社を置く事業者に対し、高校新卒者の採用に対する奨励金制度を通じ地域の雇用促進を図った。
	No. 44 議場中継システム整備事業	A	3.7	3.3	庁舎内の共聴テレビに議会中継を配信することで議場へ入場することなく誰でも傍聴する機会を確保することができた。
	No. 45 避難所感染対策事業	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定避難所である品井沼農村環境改善センターのトイレについて、改修工事を実施したことで、施設での感染防止を図った。
	No. 46 避難所感染症予防対策換気型空調整備事業	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定避難所である品井沼農村環境改善センターに、エアコン設置工事を実施したことで、施設での感染防止を図った。
	No. 47 避難所感染症予防対策換気型空調整備事業	A	4.0	3.7	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定避難所である勤労青少年ホームに、エアコン設置工事を実施した。
	No. 48 感染症予防対策施設整備事業	A	3.7	3.0	希望園の老朽化した手洗い機器等を整備することにより、利用者（障がい児・障がい者等）の感染症予防対策を図った。

実績	■議会事務局所管				
	【No. 44 議場中継システム整備事業】				
	1 備品購入費				
	・ 議場中継システム機器購入（カメラ2台、中継システム） 一式				6,600,000 円
	■総務課 総務管理班所管				
	【No. 27 感染症拡大防止対策等の住民への周知協力依頼事業】				
	1 補助金				
					(単位：円)
	行政区	世帯数	均等割	世帯割	補助額
	松島	811	100,000	454,000	554,000
	高城	1,266	100,000	708,000	808,000
	本郷	767	100,000	429,000	529,000
	磯崎	1,262	100,000	706,000	806,000
	手樽	212	100,000	118,000	218,000
	北小泉	69	100,000	38,000	138,000
	下竹谷	85	100,000	47,000	147,000
	上竹谷	97	100,000	54,000	154,000
	幡谷	389	100,000	217,000	317,000
	根廻	68	100,000	38,000	138,000
	初原	228	100,000	127,000	227,000
	桜渡戸	66	100,000	36,000	136,000
	計	5,320	1,200,000	2,972,000	4,172,000
※世帯数は4月～8月の広報紙配布世帯数の平均値					
(次頁へ続く)					

2 款	1 項	21 目
実績	■総務課 環境防災班所管	
	【No. 1 避難施設等感染対策防止事業】	
	1 消耗品類	
	・ サージカルマスク	147,000 枚 3,169,320 円
	2 備品購入費	
	・ 次亜塩素酸水生成器	3 台 1,760,000 円
	(設置箇所：役場庁舎・温水プール美遊・学校給食センター)	
	・ 非接触型体温計	47 基 641,080 円
	【No. 2 感染拡大防止事業】	
	1 消耗品費	
	・ サージカルマスク (全戸配布用)	285,000 枚 6,144,600 円
	【No. 14 避難施設等感染拡大防止事業】	
	1 消耗品費	
	・ アルコール消毒液 (手指消毒用)	220 個 435,600 円
	・ フェイスシールド (メガネ型)	1,200 枚 130,020 円
	2 備品購入費	
	・ 間仕切りパーティション	1,680 個 5,266,800 円
	・ ワンタッチパーティション	220 個 6,534,000 円
	・ 簡易ベッド (アルミベッド)	220 個 1,919,060 円
	・ 隔離用テント	44 張 2,632,960 円
	・ 受付用簡易テント	40 張 3,432,000 円
	・ サーマルカメラ	4 基 1,760,000 円
■企画調整課所管		
【No. 3 Web会議実施環境構築事業】		
1 事務用端末周辺機器の購入		
(Webカメラ、マイク機能内蔵スピーカー、モバイルルータなど) 一式 726,000 円		
【No. 42 「ふるさとの魅力で食卓を応援します」事業】		
●塩釜地区広域行政連絡協議会による事業		
コロナ禍における地域の共通課題への取組について、塩釜圏域の二市三町が連携することにより、課題解決に向けより効果的に対応することが可能となることから、同協議会において実施した事業である。		
1 事業内容		
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、停滞した地域経済の状況を受け二市三町の地元産品の詰め合わせ (てんこもりセット) を特価で提供することで圏域内の食卓を応援し、また販路が縮小した事業者の支援をするとともに、事業を通じて二市三町の魅力のPRを図った。		
2 作業部会 (5回)		
・ 商品内容の検討、搬入方法		
・ 商品の募集方法		
・ 決済方法		
・ 商品の梱包発送方法 (梱包発送作業4回)		
・ てんこもりセット出発式		
(令和3年1月21日、初回発送に合わせて二市三町首長、幹事、担当者出席)		
(次頁へ続く)		

2	款	1	項	21	目				
実績		3	販売期間 令和3年1月12日～	※令和3年1月13日完売					
		4	商品発送先 ・宮城県内 ・宮城県外	846 セット 154 セット	計1,000セット				
		5	アンケートの回答（てんこもりセットに同封して実施） ・アンケートの回収結果 163人 （うち二市三町分 93人）						
		【No. 43 新型コロナウイルス感染症に係る高校生就活対策事業】							
		1	事業内容 圏域内に居住する高校新卒者を雇用する、圏域内に本社を置く事業者に対し採用者1人につき10万円の奨励金を交付することにより、地域の雇用促進を図った。						
		2	受付期間 令和3年2月19日から令和3年3月31日						
		3	実績件数						
			塩竈市	多賀城市	松島町	利府町	七ヶ浜町	合計	
			交付件数	13	15	2	3	3	36
			交付額	1300千円	1500千円	200千円	300千円	300千円	3600千円
		■町民福祉課 福祉班所管							
		【No. 4 母子父子家庭臨時特別給付金事業】							
		1	給付実績 10,000円×282人（親115人＋子167人）						2,820,000 円
		【No. 28 感染症予防対策換気型空調整備事業（希望園）】							
		1	工事实績 ・老朽化した空調設備の撤去 4基 ・新たな空調設備の設置 4基						3,484,800 円
	【No. 29 障がい者臨時特別給付金事業】								
	1	給付実績 10,000円×363人（重度の障害を持つ方）						3,630,000 円	
	【No. 48 感染症予防対策施設整備事業（希望園）】								
	1	工事实績 ・手洗い洗面器等衛生環境改善整備 手洗場化粧台取替、各室抗菌クロス等張替 ・換気用設備整備 サーキュレーター取付、網戸取付						1,353,000 円	
(次頁へ続く)									

(次頁へ続く)

2	款	1	項	21	目
実績	■町民福祉課　こども支援班所管				
	【No. 5　帰省自粛学生支援事業（実施主体：利府松島商工会）】				
	1	支援対象者数		54 人	
	2	補助金交付額			650,000 円
	【No. 15　新生児給付金事業】				
	1	支給対象者数		44 人	
	2	給付金支給実績			4,400,000 円
	【No. 20　松島産食材活用事業】				
	1	食材購入額			1,849,875 円
	【No. 33　保育所絵本整備事業】				
	1	絵本購入額	415 冊		746,986 円
		(内訳：高城保育所 91冊、高城保育所分園 111冊、松島保育所 67冊、磯崎保育所 146冊)			
	【No. 39　保育所児童・幼稚園児エクスカッション事業（町民福祉課分）】				
	1	観光ガイド謝礼及び見学科等			71,350 円
		・観光ガイド料	9,200円		
		・遊覧船乗船料	42,000円		
		・瑞巖寺見学科	20,150円		
	■健康長寿課　健康づくり班所管				
	【No. 6　安心療養・健康支援事業】				
					583,000 円
	1	パルスオキシメータの貸出	13件		
	2	自動血圧計の貸出	1件		
	【No. 16　オンライン健康相談事業】				
					325,402 円
	1	利用件数	5件		
【No. 30　インフルエンザ予防接種助成事業】					
				7,412,374 円	
	・高齢者に対し、季節性インフルエンザ予防接種の接種費用を全額助成し、3,888人がインフルエンザ予防接種を行った。※接種率　73.7%				
	・受験期及び就職期における健康不安に対応するため、中学3年生相当又は高校3年生相当に該当する者に町内4医療機関でのインフルエンザ予防接種費用を全額助成した（111人） ※接種率57.5%				
(次頁へ続く)					

(次頁へ続く)

2	款	1	項	21	目
実績	■産業観光課 産業振興班所管				
	【No. 7 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業】				
	1	交付対象事業者		168事業者	
	2	交付金額			50,400,000 円
	【No. 8 地域産業支援事業】				
	1	交付対象事業者		200事業者	
	2	交付金額			20,000,000 円
	【No. 9 事業所家賃補助事業】				
	1	交付対象事業者		50事業者	
	2	交付金額			4,047,000 円
	【No. 10 飲食・サービス業応援クーポン券支給事業（実施主体：利府松島商工会）】				
	1	補助金交付金額			2,857,000 円
	2	クーポン券発行総数		5,665セット	
	3	クーポン券発行金額			5,665,000 円
	4	クーポン券換金総数		2211.7セット	
	5	クーポン券換金金額			2,211,700 円
	6	クーポン券利用率（登録店舗56件のうち53件で利用）		39.0%	
	【No. 18 店舗等感染症拡大防止対策事業（実施主体：利府松島商工会）】				
	1	補助金交付金額			19,340,982 円
	2	交付対象事業者		150事業者	
	3	交付金額			18,812,316 円
	【No. 19 一次産業事業者継続支援事業】				
	1	交付対象事業者		17事業者	
	2	交付金額			1,700,000 円
	【No. 21 地元飲食店消費喚起支援事業（実施主体：利府松島商工会）】				
	1	補助金交付金額			1,020,000 円
	【No. 22 まつしま応援商品券給付事業（実施主体：利府松島商工会）】				
	1	補助金交付金額			31,482,000 円
	2	商品券発行総数		56,850枚	
	3	商品券発行金額			28,425,000 円
	4	商品券換金枚数		53,117枚	
	5	商品券換金金額			26,558,500 円
	6	商品券利用率（登録店舗173件中150件で利用）		93.4%	

（次頁へ続く）

2	款	1	項	21	目
実績	【No. 34 感染症対応資金調達事業者支援事業】				
	1	交付対象事業者	153事業者		
	2	交付金額			25,350,000 円
	【No. 35 新型コロナウイルス感染症対応事業者支援事業】				
	1	交付対象事業者	395事業者		
	2	交付金額			39,500,000 円
	【No. 45 避難所感染対策事業（品井沼農村環境改善センタートイレ改修事業）】				
	1	工事請負費			
		・ 避難所感染対策改修工事			6,831,000 円
	【No. 46 避難所感染症予防対策換気型空調整備事業（品井沼農村環境改善センター）】				
	1	工事請負費			1,749,000 円
		・ 老朽化した空調設備の撤去	2基		
		・ 新たな空調設備の設置	3基		
	■産業観光課 観光班所管				
	【No. 11 Go To Travel松島キャンペーン事業】				21,795,300 円
	1	内容	宿泊利用券10,000円分及び割引クーポン券2,000円分を1セットとし8,000円で県民限定販売。 4,750セットを販売。		
	2	日程	宿泊利用券及び割引クーポン券使用期間 令和2年7月11日～10月4日		
	3	参加数	宿泊利用券対象 16施設 割引クーポン券対象 102施設等		
	【No. 23 観光施設感染拡大防止事業】				880,000 円
	観瀾亭等特別会計（1款1項1目及び2款1項1目）へ全額充当し、事業を実施した。 （事業の成果は209頁及び212頁を参照。）				
【No. 36 観光バス等応援事業】				6,000,000 円	
1	内容	バス、タクシー事業者に対し保有する台数に応じた支援金を交付。 貸切バス1車両あたり200,000円 タクシー1車両あたり100,000円 上限 1事業者につき20台			
2	日程	申請期間 令和2年10月7日～10月30日			
3	申請	3事業者			

(次頁へ続く)

2	款	1	項	21	目	
実績		【No. 40 教育旅行誘致・受入準備事業】				3,440,800 円
	1	松島町教育旅行ワークブック企画デザイン業務委託				2,494,800 円
		・ 内容	今後の教育旅行の再開を見据えた誘致活動や、コンテンツ整備などの受入れ準備を進めるため、新学習指導要領に対応した学習ツール（ワークブック）のデザインを作成した。			
	2	松島町教育旅行ワークブック印刷				946,000 円
		・ 部数	20,000部			
		・ 配布先	旅行会社、学校・教育機関 等			
		【No. 41 観光親善大使プロモーション事業】				9,790,000 円
	1	松島観光プロモーション業務委託				
		・ 内容	観光親善大使による動画出演、観光親善大使直筆メッセージを使用したノベルティおよび啓発シールの制作。			
		・ 部数	松島観光プロモーション動画 2種 合計4本 折りたたみ式バッグ 4種 合計1,000枚 啓発ステッカー 2種 合計200枚			
	■建設課 管理班所管					
		【No. 31 公共的空間安全・安心確保事業（高城町駅前公衆便所建設事業）】				
	1	役務費（手数料）				33,100 円
		・ 高城町駅前公衆便所建設工事建築確認申請等手数料				25,000 円
		・ 高城町駅前公衆便所建設工事水道設計審査等手数料				8,100 円
	2	委託料				
		・ 高城町駅前公衆便所実施設計業務委託				1,980,000 円
	3	工事請負費				
		・ 高城町駅前公衆便所建設工事				19,800,000 円
	4	負担金補助及び交付金				
		・ 高城町駅前公衆便所建設工事水道加入金				88,000 円
	■水道事業所所管					
		【No. 24 水道事業会計繰出・補助（水道料金減免事業）】				
	1	水道基本料金の5割減免を3ヶ月実施				15,460,000 円
	■教育課 学校教育班所管					
		【No. 12 児童生徒支援事業（就学援助費等受給認定者）】				
	1	児童生徒支援給付金	100人×10,000円			1,000,000 円
	【No. 13 小中学校ICT端末整備事業】					
1	備品購入費					
	・ 町立学校可動式教育用コンピュータ購入				10,609,500 円	
	児童生徒用 170台	教職員用 70台				
(次頁へ続く)						

（次頁へ続く）

2	款	1	項	21	目
実績	【No. 17 避難所感染対策事業（第五小学校体育館多目的トイレ改修事業）】				
	1	委託料			
		・ 避難所感染対策改修設計業務委託			1,265,000 円
	2	工事請負費			
		・ 避難所感染対策改修工事			3,465,000 円
	【No. 32 校外学習感染対策支援事業】				
	1	補助金交付実績	6件		557,498 円
		・ 三密対策として増便したバスの借上分	5件		
		・ 修学旅行の行程変更に伴うキャンセル料分	1件		
	【No. 37 町立学校大型提示装置等整備事業】				
	1	備品購入費			
		・ 町立学校大型提示装置等購入	28台		8,426,000 円
		(内訳：第一小学校 13台、第二小学校 4台、第五小学校 1台、松島中学校 10台)			
	【No. 39 保育所児童・幼稚園児エクスカッション事業（教育課分）】				
	1	観光ガイド謝礼及び見学科等			105,600 円
		・ 観光ガイド料	10,000円		
		・ 遊覧船乗船料	59,850円		
		・ 瑞巖寺見学科	35,750円		
	■教育課 生涯学習班所管				
	【No. 38 公共施設等の管理維持体制持続化事業】				
	1	補助金交付実績	2団体		600,000 円
		・ 松島運動公園			300,000 円
		・ 温水プール			300,000 円
■中央公民館所管					
【No. 47 避難所感染症予防対策換気型空調整備事業（勤労青少年ホーム）】					
1	工事請負金額			2,612,500 円	
	・ 換気型空調設備の設置	3基			

一 般 会 計

2	款	2	項	1 2	目	税務総務費 賦課徴収費				
担当部署名				財務課税務班・特別滞納整理室					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	63,859		62,937			6,212		494	56,231	
	43,500		40,876			8,939		379	31,558	
目的		課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。 また、的確な滞納整理を行い、徴収率の向上及び収入未済額の縮減を図る。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	納税貯蓄組合関係事務		A	2.0	2.5	個人町民税賦課に関する確定申告の受付については、申告会場において新型コロナウイルス感染症への感染予防対策を行い実施した。 固定資産税賦課事務に関しては、次年度の評価替えに向けて、路線価の見直し等、最終的な調整を実施した。 今年度の徴収率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、現年課税分の徴収率は94.3%で前年度より5.1%の減、現年課税分及び滞納繰越分を合わせた町税全体の徴収率については、調定額1,657,304千円に対し、収入済額が1,535,868千円で92.7%となり前年度より3.7%の減となったが、納税相談等により徴収猶予の受付を行うなど、個人の実情に即した対応が図れた。				
	住民税賦課事務		B	-	3.7					
	固定資産税賦課事務		B	-	4.0					
	徴収関係事務		B	-	3.7					
	その他賦課関係事務		B	-	3.7					
	特別滞納整理事務		A	4.3	4.0					
	(参考) 国保税賦課徴収事務		B	-	4.0					
実績	1 個人町民税									
	・ 現年課税分の内訳									
	所得区分		課税額 (千円)			納税義務者 (人)				
	給 与 所 得 者		448,331			5,036				
	営 業 等 所 得 者		24,911			318				
	農 業 所 得 者		1,432			22				
	その他の所得者		56,595			1,326				
	家屋敷等のみ		25			7				
	計		531,294			6,709				
	内 訳	特別徴収にかかる課税		436,806			5,428			
		普通徴収にかかる課税		94,488			1,281			
	※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。 ※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。									
・ 申告相談受付 期 間 令和 3 年 2 月 16 日 ～ 3 月 15 日 場 所 松島町文化観光交流館 件 数 確定申告 1,088 件 町・県民税申告 553 件										
2 法人町民税										
・ 現年課税分の内訳										
区 分		課税額 (円)			納税義務者 (事業所)					
均等割		31,518,300			336					
税 割		19,043,700			124					
計		50,562,000			460					
※納税義務者 (事業者) 均等割のうち税割分も含む。										

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

2 款	2 項	1 2 目
-----	-----	----------

3 固定資産税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	213,010,900	5,255
家 屋	400,147,200	4,839
償 却 資 産	215,123,800	207
国有資産等所在市町村交付金	1,992,600	3
計	830,274,500	10,304

4 軽自動車税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
種別割	原動機付自転車	700,000 328
	軽 自 動 車	32,738,900 4,123
	小型特殊自動車	887,100 339
	二輪の小型自動車	852,000 142
計	35,178,000	4,932

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
環境性能割	軽 自 動 車	1,180,100 63

5 町たばこ税

区 分	課税額 (円)	売上本数 (本)
製 造 た ば こ	79,128,015	13,521,578
手 持 ち 品	255,429	594,030
計	79,383,444	14,115,608

6 入湯税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	入湯者数 (人)
宿 泊	21,025,050	140,167
日 帰 り	1,274,350	25,487
計	22,299,400	165,654

7 都市計画税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	28,642,400	3,512
家 屋	40,718,500	3,397
計	69,360,900	6,909

実績

(次頁へ続く)

8 徴収の状況

・ 現年課税分

区 分 税 目	令和2年度			令和元年度			比較増減（令和2年度-令和元年度）		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
町民税	581,856	578,274	99.4	604,870	601,562	99.5	△ 23,014	△ 23,288	△ 0.1
（個人）	531,294	528,359	99.5	542,558	539,580	99.5	△ 11,264	△ 11,221	0.0
（法人）	50,562	49,915	98.7	62,312	61,982	99.5	△ 11,750	△ 12,067	△ 0.8
固定資産税	830,275	748,935	90.2	820,582	815,525	99.4	9,693	△ 66,590	△ 9.2
軽自動車税	36,358	36,310	99.9	34,458	34,375	99.8	1,900	1,935	0.1
町たばこ税	79,383	79,383	100.0	83,434	83,434	100.0	△ 4,051	△ 4,051	0.0
入湯税	22,299	22,299	100.0	44,663	44,201	99.0	△ 22,364	△ 21,902	1.0
都市計画税	69,361	62,715	90.4	68,612	67,962	99.1	749	△ 5,247	△ 8.7
計	1,619,532	1,527,916	94.3	1,656,619	1,647,059	99.4	△ 37,087	△ 119,143	△ 5.1

※ 国民健康保険税	234,494	226,603	96.6	259,586	253,038	97.5	△ 25,092	△ 26,435	△ 0.9
-----------	---------	---------	------	---------	---------	------	----------	----------	-------

・ 滞納繰越分

区 分 税 目	令和2年度			令和元年度			比較増減（令和2年度-令和元年度）		
	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	徴収率 (%)
町民税	18,641	3,382	18.1	23,658	3,466	14.7	△ 5,017	△ 84	3.4
（個人）	17,797	3,229	18.1	22,683	3,255	14.3	△ 4,886	△ 26	3.8
（法人）	844	153	18.1	975	211	21.6	△ 131	△ 58	△ 3.5
固定資産税	16,723	3,700	22.1	30,055	1,958	6.5	△ 13,332	1,742	15.6
軽自動車税	357	40	11.2	517	25	4.8	△ 160	15	6.4
町たばこ税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
入湯税	462	370	80.1	101	101	100.0	361	269	△ 19.9
都市計画税	1,589	460	28.9	2,943	142	4.8	△ 1,354	318	24.1
計	37,772	7,952	21.1	57,274	5,692	9.9	△ 19,502	2,260	11.2

※ 国民健康保険税	56,795	8,301	14.6	90,656	9,783	10.8	△ 33,861	△ 1,482	3.8
-----------	--------	-------	------	--------	-------	------	----------	---------	-----

9 納税貯蓄組合関係

・ 納税貯蓄組合からの収入状況

税 目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税	258	6,822,300	29
固定資産税・都市計画税	2,036	32,304,400	
軽自動車税	269	1,667,100	
国民健康保険税	1,075	13,690,300	
計	3,638	54,484,100	

※本表の件数は、期別単位で集計している。

・ 補助金交付額	町税関係（一般会計）	1,003,845 円
	国民健康保険税関係（国保会計）	283,098 円

10 口座振替の状況

税 目	口 座 振 替					
	請求(依頼) 件数(件)	請求(依頼) 金額(千円)	振替件数 (件)	振替金額 (千円)	振替不能 件数(件)	振替不能 金額(千円)
	①	②	③	④	①-③	②-④
個人町県民税	1,088	30,673	1,057	29,928	31	745
固定資産税・都市計画税	8,544	190,678	8,416	188,656	128	2,022
軽自動車税	577	3,459	561	3,335	16	124
国民健康保険税	5,632	65,503	5,484	63,106	148	2,397
計	15,841	290,313	15,518	285,025	323	5,288

※本表の件数は、期別単位で集計している。

(次頁へ続く)

11 コンビニ収納の状況

税 目	コ ン ビ ニ 収 納					
	現年課税分		滞納繰越分		計	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
個人町県民税	2,106	43,121	104	1,862	2,210	44,983
固定資産税・都市計画税	6,239	92,143	8	79	6,247	92,222
軽自動車税	2,096	15,879	4	32	2,100	15,911
国民健康保険税	4,308	50,100	496	7,339	4,804	57,439
計	14,749	201,243	612	9,312	15,361	210,555

12 催告文書等発送

区分	件数
督促状	5,977
催告書	1,715

13 滞納処分等状況

区 分		件数
差 押	不動産	1
	預貯金	154
	給与（賞与）・年金	8
	国税・県税還付金	13
	その他債権	3
	自動車・小型船舶	0
	動産	2
参加差押	不動産	2
差押・参加差押計		183
交付要求		3
徴収猶予		54
うち、新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例		51
換価の猶予		28
捜索		4
滞納処分執行停止		56

実績

課題
方向性

課税事務については、税務署や県税事務所等と連携、協力をしながら、課税資料の収集等を行い、公平・公正な課税を行っていく。

徴収事務においては、新型コロナウイルス感染症による影響が続く中ではあるが、新たな滞納を発生させないこと（現年課税分優先）に主眼を置き、税收の確保や租税負担の公平を期するため、早期の交渉、財産調査及び差押等を行い、納税相談により把握した個々の実態に即した猶予制度の活用も含め、的確な滞納整理を実施していく。

また、口座振替の推進やスマートフォン等アプリ決済の利用促進により、納税者の納付機会の拡大や、納税意識の啓発を図る取組を引き続き実施していく。

一 般 会 計

2	款	3	項	1	目	戸籍住民基本台帳費					
担当部署名				町民福祉課町民サービス班						(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	49, 429		46, 032		12, 437	18			33, 577		
目的	戸籍法や住民基本台帳法等の各種法令に基づき、住民の居住関係、身分関係等を正確、迅速に記録し、住民ニーズに即した各種証明書や個人番号カード等の交付に努め、行政サービスの向上を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	戸籍・住民基本台帳事務 経費		B	-	3. 7	身分関係や居所関係等を登録した戸籍や住民基本台帳について、正確な記録等の事務処理を行ったことにより行政サービスの向上に繋がった。 また、戸籍法等の改正に伴い、戸籍総合システム及び住基システムについて適切に改修作業を実施した。					
	住民基本台帳ネットワー クシステム業務経費		B	-	3. 7	住民基本台帳ネットワークシステムについて、正確な記録等の事務処理を行ったことで、本人確認情報の記録や、住民票等の記載事項に関する通知等の送受信が行われ、行政サービスの向上に繋がった。					
	番 号 制 度（マイナン バー）導入事業		B	-	3. 7	社会保障、税、災害対策等の分野で活用する個人番号カードについて、未作成者への申請書再送付により交付件数が増えたが、細心の注意を払い迅速に事務処理を行うことで普及に努めた。					
実績	1 戸籍事務										
	・ 本籍数・本籍人口数(令和3年3月31日現在)										
	本 籍 数		7, 434								
	本 籍 人 口 数		17, 349								
	・ 戸籍編纂 (単位: 件)										
	新 戸 籍 編 製 数		96								
	除 籍 数		153								
	・ 戸籍届出件数 (単位: 件)										
	出 生	115	死 亡	273	養 子 離 縁	3					
	転 籍	78	養 子 縁 組	10	離 婚	45					
	法第77条の2※	23	認 知	4	失 踪	2					
	入 籍	29	分 籍	6	不 受 理 申 出	1					
	職 権 訂 正	14	婚 姻	126	氏 の 変 更	1	合 計	730			
	※ 戸籍法第77条の2（離婚の際に称していた氏を称する届）										
	・ 戸籍謄抄本交付件数 (単位: 件)										
種 別	一 般 交 付		公 用 交 付		合 計						
戸 籍 謄 本	2, 132		798		2, 930						
戸 籍 抄 本	464		40		504						
除 籍 謄 本	1, 863		2, 434		4, 297						
除 籍 抄 本	10		4		14						
受 理 証 明	31		0		31						
戸 籍 届 出 証 明	1		0		1						
(次頁へ続く)											

(次頁へ続く)

2	款	3	項	1	目
実績	2 住民基本台帳事務				
	・ 住民基本台帳登録者数（令和3年3月31日現在）				
	人口及び世帯数	日 本 人	13,526 人	5,619 世帯	
		外 国 人	68 人	57 世帯	
		計	13,594 人	5,676 世帯	
	・ 異動関係				
	区 分		処 理 件 数		
	転 入 届		237 件	336 人	
	転 出 届		327 件	390 人	
	転 居 届		98 件	173 人	
	世 帯 主 変 更 届		121 件		
	住 民 票 職 権 修 正		397 件		
	内 訳	出 生	47 件		
		死 亡	226 件		
		その他修正	124 件		
	・ 交付件数				
	種 別		一 般 交 付	公 用 交 付	合 計
	住 民 票 謄 本		1,950 件	180 件	2,130 件
	住 民 票 抄 本		3,683 件	386 件	4,069 件
	住 民 票 閲 覧		13 件	219 件	232 件
	附 票		290 件	886 件	1,176 件
	広 域 交 付 住 民 票		9 件	0 件	9 件
	・ 住基カード登録済件数 151 件 ・ 個人番号カード登録済件数 3,582 件 交付件数 1,658 件 （マイナンバーカード）				
	3 印鑑登録事務				
	・ 新規登録件数		263 件	登録済件数	9,768 件
	・ 印鑑再登録		157 件		
	・ 印鑑証明	一般交付	3,848 件	公用交付	1 件
	4 埋火葬許可に関する事務				
	・ 許可件数		225 件		
	5 戸籍住民基本台帳等手数料				
	種 別		交付数(件)	金額(円)	延長窓口 交付数(件)
	戸 籍 関 係		4,448	2,557,000	53
	住 民 票 関 係		5,818	1,196,600	118
	印 鑑 証 明		3,924	784,800	81
	住基ネット	広域	8	2,400	1
	その他証明	身分証明	183	36,600	1
		独身証明	9	1,800	1
		不在住証明等	22	4,400	
	通知カード		11	5,500	
	個人番号カード		17	13,600	1
	計		14,440	4,602,700	256
課題 方向性	各種法令に基づき、適法な記録、証明等を行い、正確、迅速な事務処理によって行政サービスの向上に努める。				
	なお、戸籍法等の改正により、本籍地以外での戸籍謄本の取得や、戸籍の附票への記載事項の追加等が今後行われるため、新たな事務を正確に行えるよう制度改正について引続き注視する。				

一 般 会 計

2	款	5	項	1	目	統計調査総務費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,018		6,902			20		4	6,878	
目的	正確かつ円滑な統計調査の実施のため、統計調査員を確保する。また、調査結果などを基に松島町統計資料を作成・発行する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	統計調査事務経費		C	-	-	登録調査員、関係機関との連絡調整を実施し、各種統計調査を円滑に実施することができた。				
	統計書等発行経費		C	-	-	統計資料を作成し発行することで、町の概要を広く周知し、各種施策の企画、立案の基礎資料として活用されている。				
	統計調査員確保対策経費		C	-	-	統計調査員の研修会実施、町統計調査員協議会への補助金交付事務により、統計調査員の資質向上、新規の統計調査員の加入促進を図り、また各種統計調査への協力を得ることができた。				
実績	【統計書等発行経費】									
	「松島町統計資料」の発行 ・発行時期 令和3年3月 ・発行部数 松島町統計資料：100部 松島町統計資料ダイジェスト版：300部									
	【統計調査員確保対策経費】									
	統計調査員事務研究会会員数 (単位：人)									
	年度	総数	男	女						
	平成30年度	30	24	6						
	令和元年度	25	19	6						
	令和2年度	26	18	8						
課題 方向性	統計調査員事務研究会の会員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、新規会員を募集し、統計調査員の次世代育成を図っていく。 また、松島町統計資料の作成・発行を継続し、各種行政施策に活用していく。									

一 般 会 計

2	款	5	項	2	目	指定統計費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,755		6,745			6,745			0	
目的		各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	国勢調査		B	-	3.0	令和2年国勢調査を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で、令和2年10月1日を基準日とし、町内に居住する全ての人、世帯を対象に調査を実施し、人口・世帯数、男女・年齢別、産業別等の人口の構造や世帯の構成・居住状況の情報が得られた。				
	経済センサス		B	-	3.0	令和3年経済センサス-活動調査の準備事務として、対象事業所の名簿作成、調査員推薦事務を実施し、準備事務が完了し、令和3年度本調査の円滑な実施に繋がった。また、経済センサス調査区設定において、設定調査区を報告した。				
	農林業センサス		B	-	3.0	2020年農林業センサスの事後事務として、調査疑義照会、未使用調査書類等の返送等を実施し、町内の農林業の生産、就業構造等の確報結果公表に繋がった。				
	工業統計調査		B	-	3.0	2020年工業統計調査を地域の実情に合わせ国統一の調査要領で実施し、町内の製造業の事業所情報が得られた。				
実績	【国勢調査】									
	・ 令和2年国勢調査：町内に居住する全ての人、世帯を対象に調査を実施し、調査書類等の国、県への提出が完了した。 ※ 調査基準日：令和2年10月1日 ※ 指導員：11名 調査員：72名 ※ 設定調査区：107調査区									
	【経済センサス】									
	・ 令和3年経済センサス-活動調査準備事務：令和3年経済センサス-活動調査の準備事務として、対象事業所の名簿作成、調査員推薦を実施し、事務完了した。 ・ 経済センサス調査区管理：事業所又は企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料として利用するため、令和元年経済センサス調査区管理において設定した調査区を管理し、必要な修正を実施した。 ※ 設定調査区：31調査区									
	【農林業センサス】									
	・ 2020年農林業センサス事後事務：2020年農林業センサスの事後事務として、調査疑義照会、未使用調査書類等の返送等を実施し、事務完了した。									
	【工業統計調査】									
	・ 2020年工業統計調査：製造業に属する事業所のうち4人以上の事業所を対象に調査を実施した。令和2年度は国勢調査年のため、市町村は事業所への調査依頼、調査票配布事務まで実施した。また、3人以下の事業所についても調査員が事業所の状況（事業所名、従事者数等）を確認（準備調査）した。 ※ 調査基準日：令和2年6月1日 ※ 調査員：1名 ※ 調査票配付対象事業所：従業員4名以上の15事業所									
課題 方向性		国や地方公共団体の行政施策に係る基礎資料を得るため、無事故で正確かつ円滑な調査に引き続き努める。								

一 般 会 計

3	款	1	項	1	目	社会福祉総務費				
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	213,722		212,054						212,054	
目的	地域社会における社会福祉の諸問題に取り組み、福祉の向上を図るため、関係団体との連携、支援を行い、その活動の円滑な推進を図る。また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、生活の安定に向けた支援を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	民生委員等に要する経費		B	-	4.0	社会情勢の変化に伴い、所得格差による貧困・虐待・高齢化などの問題が山積みしているが、このような問題を顕在化するためにも民生委員児童委員の活動は重要な役割を果たした。				
	社会福祉協議会に要する経費		B	-	3.7	社会情勢の変化に伴い、社会福祉協議会のニーズは高まっている。民生委員・児童委員、各種団体との連携を取りながら地域福祉の推進を図ることができた。				
	社会福祉団体等に要する経費		B	-	3.0	人権擁護委員会、遺族会、保護司会、更生保護女性会の活動を支援することにより、町民へ必要情報等を定期的に周知することができた。				
	その他社会福祉に要する経費		B	-	3.7	低所得者や高齢の核家族者等からの相談支援を、関係機関等の連携しながら適切に行うことができた。				
実績	【民生委員等に要する経費】									
	・ 民生委員児童委員活動報償 支給人数 40人						1,920,000 円			
	【社会福祉協議会に要する経費】									
	・ (社)松島町社会福祉協議会 社会福祉協議会の地域福祉活動、ボランティア活動及び運営に関する事業の経費について助成を行った。						8,500,000 円			
	【社会福祉団体等に要する経費】									
	1 塩釜地区人権擁護委員協議会 塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。						45,000 円			
	2 松島町保護司会 保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年1月31日で事業中止し、一部返還となった。						100,000 円			
	3 松島町更生保護女性会 更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。						30,000 円			
	4 松島町遺族会 戦没者遺族の援護事業に関する事業の経費について助成を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年1月31日で事業中止し、補助金返還となった。						0 円			
									(次頁へ続く)	

(次頁へ続く)

3	款	1	項	1	目
実績	【その他社会福祉に要する経費】				
	1	生活保護申請受付件数	24 件	相談件数	30 件
	2	法外援護旅費(行旅人扶助費)受付件数	31 件	支給額	12,000 円 *1件400円の償還実績あり
課題 方向性	民生委員児童委員はコロナ禍に即した活動をしており、住民の福祉向上や安心な生活環境づくりに 寄与している。各種団体も社会福祉の増進のため、事業を実施している。それぞれが各地域に根ざし 現在の状況を踏まえた活動を実施していることから、今後も継続して行っていく必要がある。				

一 般 会 計

3	款	1	項	2	目	障害者福祉費					
担当部署名				町民福祉課福祉班						(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	351, 840		340, 944		142, 151	86, 600		63	112, 130		
目的	障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。 また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	障害者自立支援給付事業		B	-	3.3	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス（介護給付及び訓練給付）の支給決定、補装具費及び自立支援医療給付を実施し、障がい者の日常生活の支援に努めることができた。 また、児童福祉法に基づく障害児通所支援給付も行った。					
	相談支援事業		B	-	3.3	町内の障がい者（児）からの相談に対し、相談支援専門員による支援を行えるよう、特定指定相談支援事業所を設置し、適切な計画作成業務や障害福祉サービスの適正な利用ができるよう努めた。					
	地域活動支援センター事業		B	-	3.3	障がい者（児）並びに保護者や家族が交流できる場所として、希望園を地域活動支援センターとして創作作業等を実施し、日常生活や社会生活への支援を実施することができた。					
	地域生活支援事業		B	-	3.3	障がい者（児）に対して、日常生活用具（ストーマ・人工鼻等）購入に係る助成を実施し、また、外出のための移動支援、訪問入浴サービスの支給を実施し、日常生活の支援を行うことができた。					
	障害者医療対策費		B	-	3.3	重度の身体障がい者（身体障害者手帳1級と2級）及び内部障害3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費に関して助成を行い、経済的負担の軽減を図った。					
	在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業		B	-	3.7	町内に住所を有する在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用による電気料を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができた。					
	身体障害者相談員事業		B	-	3.3	相談員は、障がい者からの相談を受け、必要に応じ助言や指導を行い、地域活動の促進や関係団体との連携を図り、広く福祉の増進に努めることができた。					
	福祉団体等に要する経費		B	-	3.7	松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会及び松島町身体障害者福祉協会の移動研修会や奉仕活動、運動会などの活動への助成を行うことで、会員相互の交流や情報交換、関係機関との連携などが図られた。					
	障害者自立支援推進委員会経費		A	3.7	3.3	障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画の策定及び見直しを行う際に民意の反映や適正な実施を図るため、障害者自立支援推進委員会を設置し、意見を伺うことができた。					
	障害者福祉助成事業		B	-	3.7	在宅で障がいの重い方々を対象に、外出支援として福祉タクシー券及びガソリン利用券の共通券を配布し、また、在宅生活で常時おむつを必要とする方に、紙おむつ購入費用を助成し、経済的負担と軽減を図った。					
	難聴児補聴器購入助成事業		B	-	3.0	町内在住の身体障害者手帳の交付対象とならない軽度または中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用が助成される事業があることにより、難聴児を養育する家庭の精神的負担の軽減に繋がる体制を確保した。					
(次頁へ続く)											

3 款	1 項	2 目
実績	【障害者自立支援給付事業】	
	1 障害支援区分にかかる審査判定	
	障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害支援区分審査会にて実施し、支給決定を行った。	
	○ 令和2年度審査受付数	30 人
	2 障がい福祉サービス等事業	
	○ 障がい福祉サービス	207,965,907 円
	・ 障がい福祉サービス受給者証交付	101 人
	・ 支給決定者数及び利用者数	
	サービス種類	支給決定者数（人） 延利用者数（人）
	居宅介護	28 262
	重度訪問介護	1 0
	行動援護	2 0
	同行援護	8 27
	療養介護	2 24
	生活介護	32 352
	短期入所	27 149
	施設入所支援	14 152
	共同生活援助（グループホーム）	17 170
	宿泊型自立訓練	1 11
	就労移行支援	5 29
	就労継続支援（A）	9 97
	就労継続支援（B）	37 390
	就労定着支援	2 15
	計画相談支援	100 362
	地域定着支援	3 26
	○ 障がい児通所支援	11,257,157 円
	・ 障がい児通所支援受給者証交付	18 人
	・ 支給決定者数及び利用者数	
	サービス種類	支給決定者数（人） 延利用者数（人）
	児童発達支援	11 63
	放課後等デイサービス	7 52
	障害児相談支援	18 55
	○ 補装具費給付事業（購入及び修理） （補聴器、短下肢装具、車いすなど） 給付人数 延べ 35人	2,938,906 円
	○ 高額障害福祉サービス等給付事業 給付世帯 2世帯	187,954 円
	○ 特別介護給付事業 給付人数 1人	47,980 円
	○ 自立支援医療（更生医療）給付事業 ・ 利用者 実人数 65人 （腎臓62人、心臓2人、免疫1人）	51,011,702 円
	○ 自立支援医療（育成医療）給付事業 ・ 利用者 実人数 2人 （聴覚・平衡機能障害1人、音声・言語・そしゃく機能障害1人）	163,098 円

（次頁へ続く）

3 款	1 項	2 目
実績		○療養介護医療給付事業 1,446,901 円 ・利用者 実人数 2人 (身体障害者2人) ○未熟児養育医療給付事業 670,139 円 ・利用者 実人数 2人 【相談支援事業】 在宅の障がい者の自立を目的として各種の事業を行った。 ○地域生活支援拠点等及び緊急短期入所居室確保事業 2,368,000 円 在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、その家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等について、相談及び緊急支援事業を実施した。 また、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備を行う宮城東部地域自立支援協議会の業務を行った。 ・相談件数 103件 ・実人数(緊急受入支援対応1人含む) 22人 ○障がい者等一般相談支援事業 5,300,000 円 松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。 ・相談件数 1,528件 ・延べ人数 353人 【地域活動支援センター事業】 障がい児や障がい者、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境づくりとして、希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1回は障がい者の交流サロンとして運営、週4日は、障がい児及び保護者の日中支援事業として、日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう事業を実施した。 ○地域活動支援センター基礎的事業(毎週水曜) 1,412,300 円 通所者 実10人 延べ 195人(1日平均4.0人) ○地域活動支援センター日中一時支援事業 6,062,000 円 通園者 実21人 延べ 823人(1日平均4.6人) 【地域生活支援事業】 ○日中一時支援事業(町外等利用分) 22,365 円 町外の施設を利用して、障がい児・障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。 ・利用者 実人数 2人 ・利用回数 延べ 7回 ○移動支援事業 546,840 円 一人では外出困難な障がい者や障がい児に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出を支援した。 ・利用者 実人数 7人 ・利用時間 延べ 254時間
		(次頁へ続く)

3

款

1

項

2

目

実績

○ 日常生活用具給付事業

障がい者に必要な日常生活用具の給付を実施し、自立支援を図った。

・ 利用者 実人数 45人

・ 利用件数（ストーマ用装具、人工鼻他） 延件数 450件

3,954,866 円

○ 訪問入浴サービス事業

・ 訪問入浴サービス利用者 2人

1,293,750 円

○ 知的障害者グループホーム体験ステイ推進事業

・ グループホーム体験利用者 1人

20,000 円

○ 障害者用自動車改造費助成

・ 障害者用自動車改造費 利用者 1人

100,000 円

【障害者医療対策費】

身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級所持者、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費を助成し、障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数(人)	助成件数(件)	助成額(円)
平成30年度	371	8,254	35,577,827
令和元年度	359	8,186	35,323,065
令和2年度	350	7,662	32,093,711

※対象者数（人）は、各年度10月1日現在

【在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業】

在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障害のある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。

・ 利用者 12人

159,790 円

【身体障害者相談員事業】

身体障害者相談員は、障がいのある方の更生援護（身体障害者手帳の交付、自立支援医療、補装具の修理、年金など）に関する相談を受け、助言・指導を行う。

・ 相談員 2人

・ 相談件数 31人

48,960 円

【福祉団体等に要する経費】

○ 松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会

障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

51,000 円

○ 松島町身体障害者福祉協会

会員である障がい者の自立更正に努め、地域在住の障がい者の福祉増進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年1月20日で事業中止し、補助金返還となった。

0 円

(次頁へ続く)

（次頁へ続く）

3 款	1 項	2 目
実績		【障害者自立支援推進委員会経費】 1 報償費 100,700 円 令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「障がい福祉計画（第6期）」及び「障がい児福祉計画（第2期）」を策定するため、委員会を開催した。 ・委員 8名（委員長1名、委員7名） ・開催回数 2回 2 委託料 2,464,000 円 ・第6期障がい福祉計画第2期障がい児福祉計画策定業務委託料 【障害者福祉助成事業】 ○障害者福祉タクシー券・燃料費助成事業 3,302,000 円 在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障がい者を対象にタクシー利用と燃料費助成を実施し、社会参加できるよう外出の支援を図った。 ・支援対象者 身体障害者手帳1・2級所持者 療育手帳A所持者 精神保健福祉手帳1・2級所持者 特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方 ・障害者（児）タクシー利用助成とガソリン等燃料費助成の共通券の交付者数 306人 ○障害者（児）紙おむつ購入助成事業 9,000 円 在宅で生活する常時おむつを使用している障がい者（児）を対象に、紙おむつ購入に係る費用を助成し、介護者の負担軽減を図った。 ・支援対象者 満64歳以下で松島町の住民基本台帳に登録され、かつ、居住する方で、身体障害者手帳又は療育手帳保持者（社会福祉施設、医療施設に入所又は入院している方、他制度での給付者は除く） ・交付者数 3人
課題 方向性		町内在住又は町外の施設入所されている障がい者及び障がい児へ適切な障害サービスを提供するため、相談支援事業所等と連携し、利用者のニーズに対応できるよう努めると共に経済的な支援を含め、事業を継続していく。 また、松島町内のサービス提供事業所は多くはないが、塩釜圏域等の事業所を利活用できるよう、二市三町で構成している宮城東部地域自立支援協議会での協議を重ね、さらに、障がい者や障がい児とその家族や支援者とコロナ禍を踏まえた交流を行っていく。

一 般 会 計

3	款	1	項	3	目	老人福祉費				(単位:千円)	
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	334, 158		331, 257			573		5, 861	324, 823		
目的	高齢化社会の実情を踏まえ、高齢者自身が意欲や目標を持って生活機能の維持・向上が図れるよう、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し、在宅福祉に努める。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	老人クラブ助成事業		B	-	3.3	新型コロナウイルス感染症対策として、町内外でのスポーツ活動等が中止・縮小となったが、地域での声がけ活動等により閉じこもり予防や感染症予防の啓発を実施した。					
	ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業		B	-	3.3	緊急時に迅速に駆け付け、適切な救急対応を行うことができた。					
	老人福祉施設入所措置事業		B	-	3.7	やむを得ない事情により保護が必要な高齢者の対象者に対し適切な措置及び保護を行い、必要な支援を実施した。					
	敬老会関係経費		B	-	3.7	新型コロナウイルス感染症対策として敬老会を中止し、77歳以上の町内高齢者を対象に、記念品を郵送した。					
	敬老祝金等支援事業		B	-	3.3	88歳(米寿)の祝金として2万円、99歳(白寿)は10万円支給した。					
	宅配夕食サービス事業		B	-	3.7	事業を松島町社会福祉協議会へ委託し、栄養バランスのとれた食事を提供すると共に、配達時の見守りにより、高齢者が安心して生活ができる一助となった。					
	高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）		B	-	3.7	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯等の他、在宅の要介護4、5の認定者に対しタクシー利用に係る外出支援及び経済的負担の軽減を図ることができた。また、在宅で常時紙おむつを必要とする高齢者に対し紙おむつ購入に係る経済的負担の軽減を図ることができた。					
	特別養護老人ホーム長松苑事業関係経費		B	-	5.0	特別養護老人ホーム長松苑建設事業の償還に対する負担金の支払いを償還計画どおり実施した。そのうち七十七銀行借入分については償還を終了した。					
	松島ケアハウス建設事業負担金		B	-	4.3	松島ケアハウス建設事業の償還に対する負担金の支払いを償還計画どおり実施した。					
	避難行動要支援者対策事業		B	-	3.3	対象要件に該当する方の把握と名簿作成を行い、地域の避難協力関係機関へ配布をすることにより、避難協力関係機関と情報共有を実施し、災害協力体制の構築の推進が図られた。					
	ふれあい施設等維持管理経費		B	-	3.7	高齢者の介護予防に関する事業や余暇活動が安全・快適に行えるよう、ふれあいの家等の維持管理業務として、光熱水費の管理や施設保守点検業務等適切に行うことができた。					
(次頁へ続く)											

3	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

高年齢者の状況

(令和2年3月31日現在)

	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	世帯数(世帯)	割合
松島町	5,339	38.6	2,933	21.2	938	17.6	1,798	31.9
宮城県	638,003	27.9	319,877	14.0	132,690	20.8	—	—
国	3,583万	28.4	1,855万	14.7	—	—	—	—

※国は令和元年10月1日現在(総務省データ)

※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合

【老人クラブ助成事業】

- 1 主な活動内容
県老連健康づくり研修会、県老連シルバーリーダー研修会、モデル指定老連関係会議、石巻ブロック会議、友愛訪問
- 2 会員数 635 人
- 3 単位老人クラブ(12クラブ)補助金 676,000 円
- 4 町老人クラブ連合会補助金 240,000 円

【ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業】

高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。緊急装置による通報のうち、固定電話利用型の2件が救急搬送に繋がった。

- 1 固定電話回線利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数(年間) 14 台
 - ・事業費 344,057 円
- 2 携帯端末利用型
 - ・緊急通報システム機器利用実台数(年間) 16 台
 - ・事業費 497,049 円

実績

【老人福祉施設入所措置事業】

家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を養護老人ホームへ1名、視覚障害老人ホームへ1名計2名継続して措置を行った。

- 1 施設入所措置者数(養護老人ホーム1人・視覚障害老人ホーム1人) 2 人
- 2 事業費 6,098,716 円

【敬老会関係経費】

- 1 対象 77歳以上の高齢者
- 2 内容 敬老会の開催は中止し、対象者に郵送で記念品と祝辞を送付した。
- 3 人数 2,612 人
- 4 事業費 2,214,699 円

【敬老祝金等支援事業】

- 1 88歳に達した方(米寿 2万円) 124 人
- 2 99歳に達した方(白寿 10万円) 13 人
- 3 支給総額 3,780,000 円

(次頁へ続く)

【宅配夕食サービス事業】

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数（日）	295
延べ配食数（食）	10,456
1日平均食数（食）	35

※登録者数 76人（男性：26人、女性：50人）
 ※利用頻度 週6回：37人、週5回：5人
 週3～4回：13人、週1～2回：21人

・事業費 10,733,046 円

【高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）】

① 高齢者タクシー助成事業

対象要件	対象者数	交付者数	1人(世帯)あたりの助成額
75歳以上の生活保護世帯又は住民税非課税世帯	370人	308人	6,000円
在宅の要介護4又は5の認定者	9人	5人	12,000円

② 紙おむつ購入助成事業

対象要件	対象者数	交付枚数	使用枚数	1人あたりの助成額
65歳以上で常時紙おむつが必要な在宅の方	延べ 312人	936枚	825枚	1,500円×2回(6月・12月) (1回あたり500円券3枚)

実績

【特別養護老人ホーム長松苑事業関係経費】

・2,272,950円（独立行政法人福祉医療機構借入金）

【松島ケアハウス建設事業負担金】

・2,330,000円（独立行政法人福祉医療機構借入金）

【避難行動要支援者対策事業】

- ・対象者 要介護3～5、身体障害者手帳1,2級、精神障害者手帳1級、療育手帳A、B、
その他高齢単身または高齢世帯で登録を希望する方
- ・避難行動要支援者名簿登録者数 793 人
- ・事業費 198,965 円

課題
方向性

特別敬老祝金においては高齢化による対象者の増加が進む中、米寿及び白寿それぞれの金額の検討を行っていくことが課題。
 また、75歳以上の高齢者のみの非課税世帯及び在宅で重度の介護を要する方の外出時の負担軽減と、常時おむつを使用している方への紙おむつの購入に係る負担軽減として助成事業を行った。ひとり暮らし高齢者世帯が増加している一方、元気な高齢者が多いことから、老人クラブの協力を得ながら交流や活躍の場づくり支援に努めていく。

一 般 会 計

3 款		1 項		4 目		国民年金費				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,228		5,829		4,262				1,567	
目的	法定受託事務である国民年金の事務事業として年金事務所との協力・連携を行い、資格取得・喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、相談業務や広報等について推進を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	国民年金事務に要する経費		B	-	3.7	国民年金の法定受託業務として、年金事務所と協力しながら各種手続きや相談対応、年金制度の周知等を円滑に行うことができた。				
実績	【国民年金事務に要する経費】									
	1 法定受託事務（町の受付状況）									
	(単位：人)									
	年度 区分		令和2年度	令和元年度	年度 区分		令和2年度	令和元年度		
	資格取得届		335	221	任意加入		6	3		
	資格喪失届		13	15	付加年金加入		2	6		
	種別変更届		53	36	免除申請(一般)		358	360		
	口座振替 納付申出		8	2	免除申請(学生)		105	77		
	老齢基礎 年金請求		20	6	免除該当(法定)		19	8		
	障害基礎 年金請求		4	8						
未支給 年金請求		96	36							
課題 方向性	2 被保険者状況									
	第1号被保険者状況 (単位：人)									
	年度 区分		令和2年度	令和元年度						
	年間平均被保険者		1,342	1,382						
	内 訳	付加年金加入者数	41	46						
		免除者数	629	615						
		20歳到達者	82	88						
	法定受託事務である被保険者の資格取得・種別変更届、保険料の免除申請、国民年金の裁定請求等の受付及び進達を日本年金機構仙台東年金事務所と連携を図りながら行う。									
	また、老齢基礎年金や障害年金等の各国民年金制度の周知や相談対応を年金事務所と協力して務め、経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な方への免除申請についての制度の周知を行い、申請漏れ等のないように務める。									

一 般 会 計

3	款	1	項	5	目	介護保険対策費				
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	315,642		315,564		9,218	4,837			301,509	
目的	低所得者の利用者負担額を軽減することにより、施設等のサービス利用を円滑にする。また、軽減措置を実施した社会福祉法人等に対し、軽減額に応じ補助金を交付する。 一般会計から介護保険特別会計へ町負担分の繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	介護保険対策費		B	-	3.3	社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。 法人への補助は、基準額に満たないため町からの補助は該当が無かった。				
	介護保険特別会計繰出		B	-	3.7	介護保険特別会計に必要な人件費及び事務費を適切に繰り出すことで、介護保険事業を安定的に運営することができた。				
実績	【介護保険対策費】									
	利用料の軽減対策									
	・社会福祉法人等利用者負担軽減措置									
	特別養護老人ホーム(2施設)、短期入所(1施設)						利用者数	5人		
							軽減額	380,783円		
	※社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業補助金は、対象事業所なし。									
	【介護保険特別会計繰出】									
	介護保険特別会計への繰出金						315,474,000円			
	(内訳)									
	・介護給付費分(12.5%)						231,309,000円			
・地域支援事業分										
介護予防・日常生活支援総合事業分(12.5%)						4,492,000円				
包括的支援・任意事業分(19.25%)						7,526,000円				
・低所得者保険料軽減分(25%)						19,263,000円				
・職員給与費等分						26,946,000円				
・事務費分						25,938,000円				
課題 方向性	今後も継続的に円滑な介護保険制度の運営を図るため、適切な事務処理を実施すると共に、低所得者の相談業務や制度の周知・情報提供を継続して行う。									

一 般 会 計

3	款	1	項	6	目	保健福祉センター管理費							
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班							(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
	45,314		41,856					5,904	35,952				
目的	保健福祉センター「どんぐり」を拠点として、住民が健やかに生まれ、健やかに老い、生涯元気で暮らせるよう、健康増進、疾病予防、健康診査等の保健福祉事業を実施する。												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	保健福祉センター維持管理経費		A	4.0	3.7	ふれあいの湯については、施設の保守点検や修繕を適正に実施し、利用者の安心・安全な利用に寄与することができた。							
実績	【保健福祉センター維持管理経費】												
	1 保健福祉センター利用状況												
	(単位:人)												
		各種保健福祉事業他						ふれあいの湯			合計		
		健康増進事業	母子保健事業	地域支援事業	介護保険事業	その他	小計	町内	町外	小計			
	4月	38	19	63	74	12	206	0	0	0	206		
	5月	20	16	21	66	35	158	0	0	0	158		
	6月	57	158	60	151	42	468	1,822	114	1,936	2,404		
	7月	166	81	99	136	22	504	2,100	146	2,246	2,750		
	8月	854	66	90	142	27	1,179	1,680	171	1,851	3,030		
	9月	2,629	76	95	132	42	2,974	1,366	76	1,442	4,416		
	10月	146	20	100	133	74	473	2,118	134	2,252	2,725		
	11月	174	48	124	105	42	493	2,068	133	2,201	2,694		
	12月	80	70	67	143	61	421	1,820	109	1,929	2,350		
	1月	124	14	47	125	63	373	1,800	137	1,937	2,310		
	2月	65	86	60	139	27	377	2,031	137	2,168	2,545		
	3月	109	66	102	165	59	501	2,307	137	2,444	2,945		
	計	4,462	720	928	1,511	506	8,127	19,112	1,294	20,406	28,533		
	※令和2年3月4日から5月31日まで新型コロナウイルス感染防止対策のためふれあいの湯を休館とした。												
	【保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業】												
・ 健康増進事業 総合健診・健康相談・30分でE-Styleクラブサポート・食生活改善推進員会議													
・ 母子保健事業 3～4か月児健診・1歳6か月児健診・2歳6か月児歯科健診・3歳6か月児健診・母子健康手帳交付、他													
・ 地域支援事業 介護予防事業(まっしま元気塾他) 地域包括支援センター業務(総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、他)													
・ 長寿健康増進事業 健康体操教室													
(次頁へ続く)													

[illegible]

3	款	2	項	2	目	児童措置費					
担当部署名				町民福祉課福祉班							(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	151,345		151,230		105,024	23,141			23,065		
目的	児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	児童手当等支給経費		B		3.7	中学校修了前までの児童を養育している保護者に児童手当を年3回(6月、10月、2月)支給し、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。					
実績	【児童手当等支給経費】										
	○ 児童手当の支給(令和2年6月・10月、令和3年2月支払分) 中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。 ・支給額(月額) 3歳未満 一律 15,000 円 3歳以上小学校修了前 - 第1子 10,000 円 - 第2子 10,000 円 - 第3子以降 15,000 円 - 中学生 一律 10,000 円 - 特例給付 一律 5,000 円										
	年 度	給付 区分	3歳未満 対象児童 (人)	3歳以上 小学校修了前 対象児童 (人)	小学校修了後 中学校修了前 対象児童 (人)	支給額 (円)					
	令和元年度	一般	2,206	1,326 (第3子～) 7,285 (第1・2子)	3,062	158,425,000					
		特例	30	246	119						
	令和2年度	一般	2,079	1,333 (第3子～) 6,969 (第1・2子)	2,829	151,230,000					
		特例	12	282	120						
課題 方向性	少子化が課題となっていることから、子育てしやすい環境づくりが必要であり、児童手当の支給はその一助となっている。今後も、適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図っていく必要がある。										

一 般 会 計

3	款	2	項	3	目	保育所費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	258,429		253,430		4,167	1,269		35,727	212,267	
目的	保護者が仕事等で子どもの保育ができない家庭の子どもを預かり、月齢にあった保育を行うことで、子どもの心身の健やかな成長を促すことを目的とする。 また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子どもたちが安心して快適に楽しく過ごせる環境づくりに努めるとともに、保護者とのよりよい信頼関係を築けるよう保護者との対話を大切にした保育所をめざす。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	保育所管理運営費		A	3.3	3.7	幼児教育・保育の無償化により、保護者の負担が軽減され、多くの保護者に就労の機会を提供することができた。保育士派遣や給食調理を民間委託することで、経験豊かな人材を確保し、入所児童の安全確保や保育士の負担軽減、安全安心な給食の提供など安定した保育所運営をすることができた。				
	一時預かり保育事業		A	3.3	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少してはいるが、育児疲れが心配な母親に早めに一時預かりを利用してもらうことで、母親のメンタルケアにもつながった。また、就労や緊急時の預け先がない保護者のニーズに対応することができた。				
実績	【保育所管理運営費】									
	1 通常保育事業									
	○ 入所児童状況（令和3年3月31日現在）									
	保育所名		定員（人）		保育実児童数（人）		年間延保育児童数(人)		充足率（%）	
	高城保育所		120		94		1,127		78.3	
	高城保育所分園		29		19		197		65.5	
	松島保育所		60		56		636		93.3	
	磯崎保育所		60		51		600		85.0	
	計		269		220		2,560		81.8	
	2 （特別）延長保育事業									
保護者の就労形態の多様化に対応するため、4保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育を実施した。更に高城保育所では、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施し、勤務先が遠い保護者や勤務時間が長い保護者などが利用した。										
○ 延長保育（4保育所） (単位：人)										
		高城保育所		高城保育所分園		松島保育所		磯崎保育所		
入所児童数（月平均）		94		16		53		50		
延長保育 児童数（延べ）	7:30～ 8:00	7,046		897		2,190		2,935		
	16:00～18:00	10,458		2,722		6,297		6,941		
一日平均 児 童 数	7:30～ 8:00	24		3		7		10		
	16:00～18:00	36		9		21		24		
○ 特別延長保育（高城保育所） (単位：人)										
実保育児童数		7:00～7:30			18:00～19:00					
33	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均				
	2,994	10.2	12.3	5,110	17.4	21				
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

3	款	2	項	3	目
---	---	---	---	---	---

3 施設等修繕 1,925,076 円

- ・磯崎保育所廊下回りクロス張替及び遊戯室カーテンレール修繕
- ・高城保育所廊下非常灯器具修繕
- ・松島保育所ファンコイルユニット及びフィルター修繕
- ・松島保育所ボイラー設備部品交換修繕 等

4 委託料 55,223,355 円

- ・保育所給食調理等業務委託
- ・保育士派遣業務委託 等

【一時預かり保育事業】

1 一時預かり事業

磯崎保育所において、保護者の就労や求職活動、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・災害時のボランティア活動・学校行事等の際に、預け先のない1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）（単位：人）

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
10	38	88	100	15	0	0	11

○利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

○保育対策総合支援事業費補助金事業

- 加湿空気清浄機 11台
- 非接触型体温計 18基
- 自動手指消毒器、ペーパータオル、ゴム手袋、マスク他

1,448,010 円

○新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業

- アクリルパーテーション 70台
- スポットクーラー 11台
- 消毒液、ハンドソープ他

1,704,341 円

実績

課題
方向性

幼児教育・保育の無償化や核家族世帯及び女性の社会進出の増加により、年々、保育所の入所希望が増えている。特別延長保育の利用を希望する子どもも増加し、未満児から長時間、保育所で過ごす子が増えているため、快適で安心した生活が送れるよう保育環境を充実させることが必要である。
新型コロナウイルス感染症対策など新たな業務も加わり、人材を確保することにより保育士の負担を軽減することが必要である。また、近年、増加している支援が必要な子どもの個性を生かしたきめ細かい保育を行うため、専門的知識の習得の必要性も生じてきている。

一 般 会 計

3	款	2	項	4	目	母子福祉費																			
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,498		2,256			1,065			1,191																
目的	母子父子家庭に医療費を助成することにより、経済的負担を軽減し、生活の質を高める。また、母子福祉協議会へ補助金を交付し、母子家庭の支援や相談援助の充実を図る。																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																			
	母子・父子家庭医療費支給		B		3.7	母子父子家庭にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会の確保と、経済的負担軽減をさせることができた。																			
	母子相談に要する経費		B		3.0	母子福祉協議会に補助金を交付することにより、会員の母子寡婦福祉事業、各種行事への参加が促され、母子福祉の充実向上に寄与した。																			
実績	【母子・父子家庭医療費支給】																								
	助成対象者 ・ 母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童 ・ 母子家庭の母、父子家庭の父 ・ 父母のいない18歳の年度末までの児童																								
	<table><tr><td>年 度</td><td>対象者数 (人)</td><td>助成件数 (件)</td><td>助成額 (円)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>307</td><td>788</td><td>2,579,849</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>281</td><td>731</td><td>2,229,416</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>260</td><td>713</td><td>2,078,197</td></tr></table>									年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)	平成30年度	307	788	2,579,849	令和元年度	281	731	2,229,416	令和2年度	260	713	2,078,197
	年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)																					
平成30年度	307	788	2,579,849																						
令和元年度	281	731	2,229,416																						
令和2年度	260	713	2,078,197																						
※対象者数は、各年度10月1日現在																									
課題 方向性	【母子相談に要する経費】																								
	福祉団体等に対する補助事業 ・ 松島町母子福祉協議会 29,000 円 母子寡婦福祉事業及び行事を実施し、母子家庭の暮らしに対する相談、支援を充実し、母子家庭の母子が地域において安心して暮らすことができるように努めた。 令和3年3月31日をもって協議会解散となった。																								
	【ひとり親世帯臨時特別給付金事業】 ・ ひとり親世帯への給付事業 事務費 26,133円（通信運搬費等）延べ268件、17,420,000円																								
課題 方向性	医療費の助成は、母子父子家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県の補助金を活用して継続的に実施していきたい。また、病院窓口への申請書の提出忘れがないよう周知を図っていく。																								

一 般 会 計

3	款	2	項	5	目	子ども医療対策費			
担当部署名				町民福祉課福祉班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43, 535		41, 764			5, 314			36, 450
目的	子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目標とする。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	子ども医療費支給		B	—	3.7	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。			
実績	【子ども医療費支給】								
	1 助成対象年齢 通院・入院 0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日まで								
	2 助成実績								
	年 度		対象者数 (人)		助成件数 (件)		助成額 (円)		
	平成30年度		1, 710		23, 595		46, 989, 380		
	令和元年度		1, 642		23, 221		47, 773, 419		
課題 方向性	令和2年度		1, 570		18, 327		40, 546, 578		
	※対象者数は、各年度10月1日現在								
	入通院ともに対象年齢を18歳までとすることにより医療機会の確保が図られ、子育て支援の一助となり子どもの福祉向上と経済的負担の軽減が図られている。								

一 般 会 計

3	款	2	項	6	目	子育て支援事業費				
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,083		8,281		953	3,220			4,108	
目的	子育て支援事業として、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。また、虐待等が心配な家庭や発達に支援が必要な子どもが地域で安心して生活するため、子どもと保護者間の育児に対する負担・不安を軽減し、様々なニーズに対して柔軟に対応できるよう支援体制のネットワークの構築や指導者の育成を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	ファミリー・サポート・センター事業		A	3.3	3.3	昨年度に比べて支援活動回数は増加した。利用会員、協力会員がお互いコミュニケーションを常に取りながら活動することができ、保護者の仕事と育児の両立の一助となるよう子育て支援を行うことができた。				
	子育て支援事業		A	3.3	4.0	児童館は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用を控える傾向が見られた。そのような中でも、親子教室等で児童館来館の際は、感染対策を講じたうえで活動を行い、親子が安心して楽しめる環境づくりに努めた。 発達に関して支援が必要な子ども及びその保護者を対象に発達相談等を実施し、各関係機関と連携して安心して子育てできるよう早期支援を行った。				
	施設型給付費		B	-	4.0	保護者の就労などのため、入所を希望する町外施設に対して経費を負担することで、安定的な施設運営を支援し、希望施設に継続して入所することができた。				
実績	次世代育成支援対策費		A	4.3	4.0	令和2年度から子ども・子育て支援事業計画（第二期）の計画年度に入った。子育て支援ホームページについては、サイトの改修業務を行い、情報量の増加やサイト訪問者が利用しやすくなったことにより、サイト閲覧数が増加し、住民への情報発信の向上に繋がった。				
	【ファミリー・サポート・センター事業】 ・利用会員 53 人 ・協力会員 7 人 ・両方会員 1 人 ・支援活動回数 76 回									
	【子育て支援事業】 1 各種相談事業									

(次頁へ続く)

2 仲間づくり支援事業

事業名	実施回数(回)	参加者(人)
あそびの広場(自由来館)	242	2,698
計	242	2,698

3 親子教室関係

教室名	実施回数(回)	参加者(延べ人数)
読み聞かせの会	9	179
リズム遊びの会	5	62
親子ヨガ教室	3	52
3B体操	1	16
なかよし教室	9	235
計	27	544

(参加者は、保護者と子どもの人数)

4 社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事業名	回数(回)	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,700部 (※全戸配布)
育児サークル支援	2	親子35名参加

※広報紙に児童館だよりを掲載

5 子ども虐待防止事業(要保護児童対策地域協議会関係)

事業名	実施回数(回)	参加者(人)
代表者会議	1	23
実務者会議	3	18
ケース会議	5	39
計	9	80

訪問支援 21 回
電話件数 46 件

6 障がい児等育児支援

事業名	実施回数(回)	利用者(人)
親の会定例会 (いるかの会)	9	66
希望園に行ってみよう会	3	6
発達障害児支援 (のびっこクラブ)	5	97
計	17	169

7 子育てボランティア協力・育成事業

事業名	実施回数(回)	活動者数(人)
読み聞かせの会	9	28

(次頁へ続く)

3	款	2	項	6	目
実績	【施設型給付費】 - 塩竈市塩釜カトリック幼稚園 665,550 円 - 仙台市小さき花幼稚園 541,396 円 - 利府町利府聖光幼稚園 460,880 円 - 美里町みつばち保育園 90,590 円 【施設等利用給付費】 - 磯崎保育所（一時預かり保育） 13,000 円 【次世代育成支援対策費】 - 子ども・子育て会議 - 委員報酬 1回開催 53,700 円 - 委託料 - 子育て支援ホームページ保守管理業務委託 745,800 円 - 子育て支援ホームページ改修業務委託 749,100 円 - 施設等利用給付システム保守管理業務委託 264,000 円				
	課題 方向性 子育て支援事業及びファミリーサポートセンター事業は、指定管理者制度を導入しており、次年度も子ども支援班と児童館の職員との連携を強化し、事業の充実を図っていく。特にファミリーサポートセンター事業は、利用頻度が増加傾向となっており、今後も広報紙や子育て支援サイトを通じて、引き続き協力会員の人数を増やす取り組みを行っていく。 本年度、子育て支援ホームページ改修の業務委託を行い、新たなコンテンツを増加させたが、子育て家庭が求めている情報を発信していくよう努めていく。 要保護児童対策については、家庭環境がそれぞれ異なるため、今後も児童相談所等関係機関との情報連携を図っていき、児童の安全や健やかな成長を育むことができるよう、見守りの強化や早期発見に努める。また、令和4年度を目標にしている「子ども家庭総合支援拠点」設置の準備を進めていく。				

一 般 会 計

3	款	2	項	7	目	児童福祉施設費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,815		1,667						1,667	
目的	児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とし、児童に安全かつ健全な遊び場所を提供するため、公園環境の適切な維持管理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	児童公園・遊園維持管理費		B	-	3.7	事故を未然に防ぐため、遊具等の点検及び修繕を実施し、児童が安全に遊べる場所を提供した。 また、公園内の除草や清掃活動については、地域住民の協力を得ながら環境整備を行った。				
実績	【児童公園・遊園維持管理費】									
	児童公園（22箇所）の維持管理									
	1 需用費（修繕料）		268,233 円							
	・品井沼児童公園遊具修繕（ブランコ）		214,500 円							
	・本郷ふれあい児童公園トイレ修繕（水栓、給水管）		27,944 円							
	・華園児童公園トイレ修繕（手洗器）		9,713 円							
	・垣の内児童公園トイレ修繕（手洗器）		10,510 円							
	・根崎山神児童公園手洗い場修繕（給水管）		5,566 円							
	2 委託料		759,611 円							
	・児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所：月1回）		275,000 円							
	・児童公園遊具定期点検業務委託（20箇所：年1回）		350,900 円							
	・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）		45,711 円							
	・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）		88,000 円							
課題 方向性	定期的な点検及び修繕に加えて、防犯面や衛生面においては地域住民の協力により、健全な公園環境が保たれている。 今後は中長期的に利用実態が無い児童公園については、再編等を関係各課と検討していく。									

一 般 会 計

3	款	2	項	8	目	児童館費									
担当部署名				町民福祉課こども支援班										(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
	34,114		34,075		6,974		6,974				2,605		17,522		
目的	児童館は、子育て家庭支援の拠点施設として、子どもたちへ遊びの場を提供し、遊びを通して子どもの心身の健全な発達を促す。また、留守家庭児童学級では、就労等で放課後保護者が家庭にいない子どもに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。														
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	児童館運営費		A	4.0	4.0	新型コロナウイルスの影響により、4月、5月は休館となったため、利用者数は前年度より減となった。各種イベント事業についても開催することはできなかったが、出張児童館を実施し、少人数でコロナ対策を講じながら児童館活動を行った。									
	留守家庭児童学級運営費		A	3.7	4.0	新型コロナウイルス対策による学校休校時には、留守家庭児童学級を各学級毎に臨時開級し、コロナ禍でも休むことができない保護者の支援を行うことができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら学級活動を行い、子どもたちが放課後安心して過ごすことができる場を提供することができた。									
実績	【児童館運営費】														
	1 年間利用者数														
	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	小学生	0	0	58	34	55	24	46	43	39	24	23	57	403	
	中学生	0	0	3	0	8	9	3	2	9	0	5	14	53	
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般	0	0	39	36	48	66	52	69	38	80	55	24	507	
	相談	0	0	0	0	4	1	0	2	1	0	0	1	9	
	合計	0	0	100	70	115	100	101	116	87	104	83	96	972	
	※4.5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自由来館を中止した。														
2 出前事業：たんぼぼ学級・ひまわり学級															
事業名		実施回数 (回)				参加者 (人)									
割りばし鉄砲づくり		1				11									
紙コップ工作		1				30									
クリスマス工作		1				26									
伝承遊び		1				28									
パルコキノシタワークショップ		1				21									
計		5				116									
【留守家庭児童学級運営費】															
1 留守家庭児童学級															
・学級児童数 (令和3年3月31日現在) (単位:人)															
施設名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計							
松島第一小学校 (たんぼぼ学級)		27	18	18	3	2	0	68							
松島第二小学校 (ひまわり学級)		11	6	6	9	5	0	37							
松島第五小学校 (どんぐり学級)		4	5	2	5	0	2	18							
計		42	29	26	17	7	2	123							
※実施場所															
一小: 児童館 (土曜日は合同学級・長期休業はひまわり学級と合同)															
二小: 学校内															
五小: 品井沼農村環境改善センター															

3	款	2	項	8	目
---	---	---	---	---	---

2 年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数 (単位：人)
下段：開設日数 (単位：日)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校 (たんぼぼ学級)	905 25	780 23	1,200 26	1,133 25	898 25	1,087 24	1,226 26	1,077 23	1,039 24	873 23	849 22	891 24	11,958 290
松島第二小学校 (ひまわり学級)	409 25	412 19	626 26	576 25	421 25	541 24	610 26	526 22	538 23	495 23	454 21	557 25	6,165 284
松島第五小学校 (どんぐり学級)	220 25	228 19	326 25	321 23	254 22	285 22	298 23	258 18	264 20	236 19	223 18	249 23	3,162 257
計(児童数)	1,534	1,420	2,152	2,030	1,573	1,913	2,134	1,861	1,841	1,604	1,526	1,697	21,285

実績

課題
方向性

児童館では、新型コロナウイルスの影響により、現状では大規模なイベント事業を行うことは難しいが、子どもたちの自主性や豊かな創造性を育成するため、感染症対策を徹底しながら事業の実施に努めていく。

共働き世帯の増加により、留守家庭児童学級のニーズが高まり、入級希望者が増加傾向にある。低学年の入級が増えているため、より安全に配慮し、安心して過ごすことができる学級運営を行い、子どもが健康で楽しく過ごせる場となるよう努める。また、異学年の交流活動を通して、子どもの自主性や社会性を育むことができるよう学級活動を進めていく。

一 般 会 計

3	款	2	項	9	目	子育て世帯への臨時特別給付金事業費					(単位:千円)	
担当部署名				町民福祉課福祉班								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	15,816		15,780		15,779					1		
目的	小学校等の臨時休校など新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯への生活支援を行うため、子育て世帯への臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。											
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果						
	子育て世帯への臨時特別給付金事業		B	—	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、低所得者層に限定せずに中間所得者層も含め、児童手当受給世帯に臨時・特別の一時金を支給した。						
実績	【子育て世帯への臨時特別給付金事業】											
	1 給付対象者 ・ 令和2年4月分（*3月分含む）児童手当の受給者 2 対象児童 ・ 令和2年4月分（*3月分含む）の児童手当に係る児童 ・ *15歳に達する日以後最初の3月31日を経過したことにより4月分対象外の児童の場合 3 支給額 ・ 対象児童1人につき10,000円 4 支給実績 ・ 対象者数 764名 （うち公務員 84名） ・ 対象児童数 1,310名 （うち公務員 138名） ・ 支給額 13,100,000円											

一 般 会 計

3	款	2	項	10	目	認定こども園推進事業費				
担当部署名				企画調整課認定こども園準備室					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,445		3,440						3,440	
目的	子ども達の心身の健全な育成及び子育て世帯の定住促進を図ることを目的とし、幼児教育・保育を一体的に行い幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持ち、地域の子育て支援を実施する認定こども園の施設整備を推進する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	認定こども園推進事業		A	3.7	3.3	認定こども園の整備に向け、造成及び建物の基本計画を行う事を目的とした「認定こども園基本計画策定業務委託」を行い、周辺環境を生かした計画を策定し、事業の推進が図られた。				
実績	【認定こども園推進事業】									
	事業主体となる松島町社会福祉協議会と「松島町における幼児教育・保育の充実に関する覚書」及び「松島町における認定こども園施設整備に関する協定書」を締結し、協働で事業を進めていくこととした。 1. 松島町における幼児教育・保育の充実に関する覚書締結 令和2年6月22日 2. 松島町における認定こども園施設整備に関する協定書締結 令和3年2月16日 3. 認定こども園基本計画策定業務委託 3,355,000円									
課題 方向性	令和3年度より松島町社会福祉協議会が、認定こども園建設に向け、各種設計業務並びに建設工事等に着手するとともに、認定こども園の施設運営の内容について検討を行う。 町は「松島町における認定こども園施設整備に関する協定書」で決定した費用負担割合に応じ、松島町社会福祉協議会に補助金を交付するほか、発注業務や各種申請について技術的支援を行う。 今後は、令和5年4月の開園に向け、適切にスケジュール管理を行い、町と松島町社会福祉協議会が協働で効率的に事業を進めていく。									

一 般 会 計

3	款	3	項	1	目	災害救助費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	290,941		70,084		37,288		32,200		596	
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）で発生した災害廃棄物の処理を行い、被災者の保護と社会秩序の保全に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	災害救助経費		A	4.7	3.7	災害で発生した災害廃棄物の処理を、国・県・関係団体等と連携を密にし取り組んだ結果、令和2年10月末までに処理を完了することができた。				
実績	【災害救助費経費】									
	(繰越明許費)									
実績	1 災害廃棄物処理事業									
	①運搬業務									
実績	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料(その1)(登米市) 10,029,800 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料(その3)(登米市) 9,350,880 円									
実績	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)運搬業務委託料(青森県東通村) 5,082,000 円									
	・台風第19号災害廃棄物(廃プラスチック、木材)運搬業務委託料 785,400 円									
実績	②中間処理業務									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)フレキシブルコンテナバック作成業務委託料 480,480 円									
実績	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)破碎処理業務委託料 7,634,000 円									
	③処理業務									
実績	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(登米市) 30,243,015 円									
	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(青森県東通村) 2,485,340 円									
実績	・台風第19号災害廃棄物(稲わら)処理業務委託料(秋田県にかほ市) 967,640 円									
	・台風第19号災害廃棄物(廃プラスチック)処理業務委託料 428,450 円									
実績	・台風第19号災害廃棄物(木片)処理業務委託料 220,220 円									
	④その他工事									
実績	・台風第19号浸水家屋解体工事 1,430,000 円									
	・台風第19号災害廃棄物仮置き場現状復旧工事 716,100 円									
実績	2 災害廃棄物処理量（令和2年度分）									
	廃プラスチック、木材分 17.80 t									
実績	浸水家屋解体分 24.40 t									
	稲わら 2,300.76 t									
実績	※処理方法 ・焼却処理 241.91 t									
	・堆肥化处理 1,832.91 t									
実績	・セメント処理 225.94 t									
課題 方向性	近年、自然災害が頻発していることから、災害発生時に迅速な対応を図れるよう、事前に処理体制等を整える必要がある。									

一 般 会 計

4	款	1	項	1	目	保健衛生総務費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	63,989		62,742		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
					534		7	62,201		
目的		町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながらライフサイクルに応じた多様な健康支援を行う。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	休日昼夜間診療に要する経費		A	3.7	3.0	年間を通して、松島病院において、休日・昼夜間の急患診療受入体制を確保したことにより、町民の安心に寄与し、健康の保持につながった。				
	保健活動事業経費		A	5.0	3.7	新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインの活用や感染予防に留意した事業に転換し、コロナ禍においても保健活動事業の継続を図ることができ、住民の健康増進に寄与した。				
	塩釜地区休日急患診療センター運営事業		A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響で受診者は減少したが、塩釜医師会管内2市3町で分担金を拠出し、塩釜地区休日急患診療センターを一次診療、7病院を二次医療機関として指定し、休日急患医療体制確保を継続して行った。				
	休日歯科診療に要する経費		A	4.0	3.0	塩釜医師会管内2市3町で分担金を拠出し、在宅当番医制度により休日・年末年始の歯科診療体制を確保し、住民の安心と健康保持に寄与した。				
	献血推進事業に要する経費		B	－	3.7	新型コロナウイルス感染症の流行で献血者が減少する中、献血事業に対して補助金を交付し、必要とする血液を確保でき、安全な輸血用血液製剤の安定かつ円滑な確保に協力できた。				
	地域医療対策事業に要する経費		B	－	3.7	塩釜地区地域医療対策委員会に参画し、管内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防事務組合、保健福祉事務所等と協力して、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする地域医療体制の確保を図った。				
	栄養指導業務に要する経費		B	－	3.3	行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活改善を推進し、住民の健康の保持・増進が図れた。				
	自殺対策緊急強化事業		A	3.0	3.0	自殺予防に関する普及啓発や相談体制の充実を図り、心の健康を維持するための取組を進め、健康の保持・増進につながった。				
実績	【休日昼夜間診療に要する経費】									
	休日昼夜間診療（松島病院） (単位：人)									
	市町名 年度	松島町	東松島市	その他	計					
	令和2年度	236 (75.9%)	26 (8.4%)	49 (15.8%)	311 (100.0%)					
	令和元年度	335 (76.7%)	27 (6.2%)	75 (17.2%)	437 (100.0%)					
・ 負担金		6,750,000 円						(次頁へ続く)		

(次頁へ続く)

4	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

【塩釜地区休日急患診療センター運営事業】

塩釜地区休日急患診療（塩釜地区休日急患診療センター）（単位：人）

市町名 年度		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和2年度	土・日 祝日	31 (6.1%)	168 (33.2%)	159 (31.4%)	23 (4.5%)	89 (17.6%)	36 (7.1%)	506 (100.0%)
令和元年度	土・日 祝日	152 (4.5%)	973 (28.9%)	1,124 (33.4%)	160 (4.7%)	577 (17.1%)	384 (11.4%)	3,370 (100.0%)

・ 分担金 3,028,533 円

【休日歯科診療に要する経費】

休日救急歯科診療（輪番制）（単位：人）

市町名 年度		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和2年度		14 (3.9%)	124 (35.2%)	97 (27.6%)	37 (10.5%)	40 (11.4%)	40 (11.4%)	352 (99.9%)
令和元年度		16 (5.8%)	81 (29.7%)	83 (30.4%)	24 (8.8%)	35 (12.8%)	34 (12.5%)	273 (99.9%)

・ 分担金 257,325 円

【献血推進事業に要する経費】

【献血実施状況】

献血種別	採血目標（人）	採血者数（人）	構成比（%）	達成率（%）
全血献血（200ml）	3	1	0.7	33.3
全血献血（400ml）	155	152	99.3	98.1
計	158	153	100.0	96.8

・ 献血推進事業補助金 200,000 円

【栄養指導業務に要する経費】

事業名	回数（回）	参加人数（人）
食生活改善推進員育成講習会	11	234
うす味定着化事業（訪問事業）	186	186
働き世代スキルアップ事業	4	82
計	201	延べ 502

・ 食生活改善推進事業補助金 130,000 円

【自殺対策緊急強化事業】

東日本大震災で被災した町民の孤立化を予防し、うつ発症や自殺の予防を図るため、住民及び地域の支援者を対象にメンタルヘルス向上の取組を実施した。

事業名	実施状況
保健福祉ネットワーク研修	「自死予防」をテーマに精神科医による研修を開催 (1回 34人参加)
心の健康サポーター養成講座	地域における支援者となるための研修を実施 (2回 57人参加)
自死対策本部会議（庁舎内戦略会議）	全国的に自殺者が増加していることを踏まえ、町の現状を共有し、今後の取組の方向性を協議
メンタルチェックシステム （こころの体温計）	パソコンやスマートフォン等を活用し、自身や家族のストレスや落ち込み等の精神状態をセルフチェックするシステム ※アクセス数：4,905件（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
心の体温計チラシ配付	乳幼児健診での配付、中学生への周知を実施

実績

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症の流行下にあっても、町民が心身の健康状態をより良く保ち、松島町で安心して暮らし健康長寿を享受できるよう、救急医療を含む医療体制の確保と健康支援施策を維持・推進する。

一 般 会 計

4	款	1	項	2	目	予防費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	72,381		70,356		702	1,184		9,407	59,063	
目的 町民が健康を保持し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう、個人の生活を尊重した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりの取組を支援する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	健康教育		A	4.0	3.3	生活習慣病の発症や重症化を予防するため、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、健康教育・健康相談を実施し、住民が主体的に生活習慣の改善に取り組む動機付けを適切に行うことができた。				
	健康診査		A	5.0	3.0	新型コロナウイルス感染症対策を行い、集団健診、個別検診の実施により、疾病の早期発見、生活習慣病の予防、健康増進を図ることができた。				
	予防接種事業		A	4.7	3.7	新型コロナウイルス感染症流行に伴い、受診控えなどの影響を受け接種率の低下はみられたが、従来の接種勧奨に加えて必要な措置を講じ、感染症のまん延予防を図った。				
	結核予防事業		A	4.0	3.7	乳児へのBCG接種により、結核の新規感染を防ぐとともに、高齢者の結核検診を実施し、結核の発生予防、早期発見、感染拡大予防ができた。				
	宮城ハンセン予防協会		B	-	4.0	宮城県市長会、町村会長より法令外負担金として承認された額を宮城ハンセン協会に助成し、ハンセン病回復者への支援及び病気を正しく理解する活動を支援した。				
実績	【健康教育】 健康増進事業及び健康教育事業の実施を通して、生活習慣病予防のための健康づくり、運動や食育、歯の健康に関する正しい知識と情報を普及啓発した。									
	1 健康増進事業（対象：40～64歳まで）									
	事業名		回数（回）	参加人数（人）		実施内容				
	総合健康相談		54	168		個別健康相談				
	重点健康相談		14	46		病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談				
	集団健康教育		68	518		生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育				
	2 健康教育事業（対象：全年齢）									
	事業名		回数(回)	人数(人)		実施内容				
	健康まつり		—	—		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
	まっしまの食育応援隊		—	—		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
	まちかど健康相談		4	82		町内の事業所（4カ所）において、生活習慣病予防や心の健康等について普及啓発及び健康相談を実施				
	食生活改善推進員育成事業		11	234		健康講話、実技研修他 （食生活改善推進員数28人）				
	地区栄養教室		—	—		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
	30分でE-Styleクラブ		32	78		生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導				
	30分でE-Styleクラブサポート事業		27	209		生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導				
	30分でE-Styleクラブフォローアップ研修		2	19		生活習慣病予防のための講話、運動の実技指導				
	30分でE-Styleクラブ筋トレ講座		5	73		運動の実技（ストレッチ、筋力トレーニング）				
	出前健康講座		5	90		各種団体の希望するテーマにあわせた健康講座				
(次頁へ続く)										

事業名	回数(回)	人数(人)	実施内容
ノルディックウォーキング教室	2	46	ノルディックウォーキングの実技指導
ウォーキングマップ普及事業	—	—	ウォーキングマップ（手樽編、北部編、西部編、海岸編）の普及（計1,098枚配布）
運動サポーターフォローアップ研修会	2	20	運動サポーターに対するフォローアップ研修
松島町オリジナル体操普及事業	—	—	どんぐりバランス体操のYoutubeへの掲載、DVDの作成・配布（配布者数：36人）
歯科保健指導	32	177	口腔ケア事業、口腔機能向上トレーニング

3 訪問指導事業

健診の要指導者、医療機関未受診者など健康上保健指導が必要な方（40～64歳）に対し保健師、栄養士、歯科衛生士による訪問指導を行った。被指導延べ人数 8人(実人数 8人)

4 長寿・健康増進事業

宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳を対象とする脳検診助成事業、転倒・骨折予防及び運動器の機能向上のための運動教室を実施した。

事業名	内 容	人 数
脳検診費用助成	40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に脳検診費用を助成	受診者106人(うち75歳6人)
健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動を実施（年24回）	受講者 43人、延べ 430人
健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施（年24回）	受講者 18人、延べ 203人

【健康診査】

実績

健康増進法、がん対策基本法等に基づく各種健（検）診、保健指導を実施した。広報、ホームページ、フェイスブックによる周知、乳幼児健診、各種保健事業、各種イベント等において健診の案内を行った。また健診未受診者に対し、追加健診に向けたハガキ等による受診勧奨を行い、受診率向上に努めた。

1 各種健（検）診受診状況

内訳 検診名	令和2年度			令和元年度		
	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
結核・肺がん検診	5,771	2,076	36.0	5,805	2,265	39.0
子宮がん検診 (※1)	4,636	1,099	23.7	3,826	1,157	30.2
胃がん検診	5,473	1,094	20.0	5,360	1,177	22.0
乳がん検診 (※2)	1,649	648	39.3	1,580	654	41.4
大腸がん検診	5,608	1,721	30.7	5,560	1,820	32.7
前立腺がん検診	1,895	638	33.7	1,862	516	27.7
青年健康診査	1,366	156	11.4	1,387	184	13.3
お達者健康診査	2,887	574	19.9	2,876	593	20.6
骨粗しょう症検診 (※3)	671	88	13.1	676	98	14.5
肝炎ウイルス検査	140	32	22.9	163	36	22.1
歯周病検診 (※4)	希望者	15	—	希望者	29	—

各種健診の対象者は、健診申込み者と家族申込み表未提出者とした。ただし、お達者健診については、健診実施日において後期高齢者医療制度加入者全員を対象者とした。

- *1 子宮がん検診及び乳がん検診の受診者数は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者を含む。（子宮頸がん検診5人、乳がん検診17人）
- *2 乳がん検診は、マンモグラフィー検査により実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。（40歳以上5,149人中、偶数年齢2,608人）
- *3 骨粗しょう症検診対象者以外で、40歳以上の希望者（男性含む）については骨量測定として同じ検査を行った。（68人に対して実施）
- *4 歯周病検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。

（次頁へ続く）

4 款	1 項	2 目
-----	-----	-----

2 申し込み状況							(人)
	申込	病院・職場等 町の検診以外 で受ける	入院・入所 中	寝たきりま たは歩行困 難等	その他 (不備を含 む)	不明(未提出)	計
結核・肺がん検診	2,502	2,949	134	55	837	3,269	9,746
子宮がん検診	1,721	1,105	88	45	333	2,915	6,027
胃がん検診	1,623	3,609	130	71	1,645	3,850	10,928
乳がん検診	813	486	39	23	514	836	2,711
大腸がん検診	2,307	2,720	130	58	1,230	3,301	9,746
青年健康診査	308	827	0	0	158	1,058	2,351

3 医療用ウィッグ購入費助成事業

がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴う脱毛に対応する目的で購入したウィッグに係る経費の一部を助成した。(上限額2万円)
助成人数:5人

【予防接種事業】

予防接種法に基づく定期接種を実施するため、生後1か月の乳児に対し予防接種手帳を交付し新生児訪問指導や各種乳幼児健診等の機会に周知を図った。未接種者に対しては、個別通知や広報等により接種勧奨した。

1 予防接種

種類	対象者(人)	接種者(人)	終了率(%)	対象者
B型肝炎	58	47	81.0	平成31年4月～令和2年3月生
ヒブ	86	77	89.5	3歳児
小児肺炎球菌	86	76	88.4	3歳児
四種混合	86	78	90.7	3歳児
二種混合	102	89	87.3	11～12歳
麻しん風しん混合1期	58	56	96.6	生後12月～24月未満
麻しん風しん混合2期	87	81	93.1	令和2年度就学予定の5歳以上7歳未満
水痘	86	75	87.2	3歳児
日本脳炎1期	89	65	73.0	90月(7歳5か月)
日本脳炎2期	102	74	72.5	12歳
風しんの追加的対策	—	34	—	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
風しん等ワクチン接種費用助成	—	2	—	抗体価の低い①妊娠を希望する19歳～49歳の女性②妊婦の配偶者③①の同居者
高齢者肺炎球菌ワクチン	649	153	23.6	65歳以上で5歳刻みの者。過去に1度も接種していない者。
高齢者インフルエンザワクチン	5,274	3,888	73.7	65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害を有する者。町外施設入所者に対し、償還払いによる費用助成15人を含む。
任意インフルエンザワクチン	193	111	57.5	中学3年生相当に該当(H17.4.2～H18.4.1生) 高校3年生相当に該当(H14.4.2～H15.4.1生)

(注1) 標準接種年齢で表記

※ 日本脳炎ワクチンは平成17年から平成21年度まで接種を見合わせていたため、その間に接種の機会を逃していた者について、通常の対象者(3～4歳)に加えて、小学校4年生、18歳に達する者に対して2期の接種勧奨を行った。令和2年度の接種者は、1期304人、2期102人であった。

※ 子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年4月から定期接種となったが、同年6月から積極的接種勧奨の見合わせが行われており、令和2年度の接種者は1件であった。

※ 風しんの追加的対策として昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に抗体検査・予防接種費用を助成し、抗体価が低い者に対して予防接種を実施した(令和2年度抗体検査147人、予防接種34人)。

(次頁へ続く)

4	款	1	項	2	目																			
実績	2 任意予防接種事業																							
	・ 風しんワクチン接種費用助成事業																							
	19歳から49歳までの男女、妊婦の配偶者を対象に通年で実施した（女性2人）。																							
	【令和2年度予防接種について】																							
	・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う季節性インフルエンザとの同時流行を避けるため、インフルエンザ予防接種の接種勧奨を目的に以下の措置を実施した(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)。																							
	①受験期及び就職期における健康不安に対応するため中学3年生またはその年齢に該当する者（平成17.4.2～平成18.4.1生まれ）と高校3年生またはその年齢に該当する者（平成14.4.2～平成15.4.1生まれ）にクーポン券を発行し、町内4医療機関でのインフルエンザ予防接種を自己負担無料で受けられるようにした（条件付きでかかりつけ医での接種も可とした）。																							
	②高齢者インフルエンザ予防接種費用助成を拡大し、対象者の自己負担を無料とした。																							
	・ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、医療機関の受診控えの傾向もみられ全体に接種率が低下した。子どもの予防接種に関しては各種検診や事業での予防接種歴の確認と受診勧奨に努めた。令和2年10月からは接種間隔が改正され、注射生ワクチン同士の接種間隔保持以外の制限が撤廃された。																							
	【結核予防事業】																							
	ア BCG																							
<table><tr><th>種 類</th><th>対象者(人)</th><th>接種者(人)</th><th>終了率(%)</th><th>対象者(注)</th></tr><tr><td>BCG</td><td>52</td><td>52</td><td>100.0</td><td>1歳未満の者</td></tr></table>					種 類	対象者(人)	接種者(人)	終了率(%)	対象者(注)	BCG	52	52	100.0	1歳未満の者										
種 類	対象者(人)	接種者(人)	終了率(%)	対象者(注)																				
BCG	52	52	100.0	1歳未満の者																				
イ 結核・肺がん検診																								
<table><tr><th rowspan="2">内 訳 検診名</th><th colspan="3">令和2年度</th><th colspan="3">令和元年度</th></tr><tr><th>対象者(人)</th><th>受診者(人)</th><th>受診率(%)</th><th>対象者(人)</th><th>受診者(人)</th><th>受診率(%)</th></tr><tr><td>結核・肺がん検診</td><td>5,771</td><td>2,076</td><td>36.0</td><td>5,805</td><td>2,265</td><td>39.0</td></tr></table>					内 訳 検診名	令和2年度			令和元年度			対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結核・肺がん検診	5,771	2,076	36.0	5,805	2,265	39.0
内 訳 検診名	令和2年度			令和元年度																				
	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)																		
結核・肺がん検診	5,771	2,076	36.0	5,805	2,265	39.0																		
【ハンセン病回復者支援】																								
宮城県市長会、町村会長より法令外負担金として承認された額を宮城ハンセン協会に助成し、ハンセン病回復者への支援及び病気を正しく理解する活動を支援した。																								
助成回数 1回 4,750円																								
課題 方向性	糖尿病等の生活習慣病、循環器疾患等の疾病を予防し、さらに重症化を予防することが課題である。そのために、町民が健康づくりに関心を持ち、日常生活改善に取り組むための一次予防を推進し、健康増進、疾病予防、重症化予防に向けた各種事業を継続的に実施する。																							

一 般 会 計

4	款	1	項	3	目	健康館費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,944		2,939					1,126	1,813	
目的	町民の生涯にわたる健康保持増進を図るとともに、地域との連携により高齢になっても住み慣れた地域で互いに支え合いながら暮らせるよう支援する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	健康館管理運営管理経費		B		3.0	地域住民及びデイサービス通所者が安全・安心に施設を利用できるよう、健康館の管理運営（保守・修繕）を実施した。				
実績	【健康館管理運営管理経費】									
	1 松島町健康館デイサービスセンター利用状況									
	指定管理期間		令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)							
	指定管理者		社会福祉法人 松島町社会福祉協議会							
		年間活動日数(日)		延べ人数(人)		1日平均利用人数(人)				
	令和2年度	291		4,514		15.5				
	令和元年度	288		4,718		16.4				
	平成30年度	292		4,774		16.3				
課題 方向性	2 修繕料									
	① 松島町健康館給湯循環ポンプ修繕						174,900 円 (うち社会福祉協議会負担分 74,900円)			
	② 松島町健康館エアコン修繕						49,247 円			
							計 224,147 円			
課題 方向性	施設・設備等の老朽化によりメンテナンスにかかる費用の増加が見込まれるが、利用者の安全に配慮し必要な修繕を行い、健康館の維持管理を図る。									
	また、健康館デイサービスセンターについては、指定管理者である松島町社会福祉協議会において、地域に密着した介護サービスが提供されるよう、管理運営を継続して実施する。									

一 般 会 計

4	款	1	項	4	目	母子衛生費			
担当部署名			健康長寿課健康づくり班				(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,851		8,965			150			8,815
目的	町で安心して出産でき、良好な親子関係のもと、子どもたちがより良い発育・発達ができるよう支援する。								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	母子保健事業		A	5.0	3.3	妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して総合的な相談・支援を行い乳幼児の健全な発育・発達を促し、良好な母子関係が築けるよう支援ができた。			
	特定不妊治療助成事業		B	-	3.3	不妊治療の治療に要する費用を助成し、経済的負担と精神的負担の軽減が図られた。			
実績	【母子保健事業】								
	1 母子手帳交付・育児相談等								
	事業名				回数(回)		参加延べ人数(人)		
	母子健康手帳交付				54		53(内1人双児)		
	妊婦支援プラン作成				53		53		
	妊産婦・新生児訪問指導				50		63		
	赤ちゃんほっとサロン				9		88		
	どんぐり保健室				9		84		
	3歳児ダイレクトメール事業				12		81		
	保育所・幼稚園児対象わんぱく教室				18		226		
	小学校・中学校歯科指導				8		166		
	希望園歯科指導				2		親5、子5		
	栄養だよりの発行				4		4,352		
	まっしらの食育通信				12		総アクセス数1,186		
	※小学生のための元気っ子クラブ、親子の食育教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。								
	2 思春期保健指導								
	内容				場所・対象		回数(回)		参加人数(人)
	講話「たばこ、お酒、ドラッグと依存症」				松島第五小学校 6学年		1		13
	3 健康相談・訪問指導								
	電話相談(件)				来所相談(件)		訪問指導(人)		
						乳児		幼児	
健診	予防接種	発育・発達	健康相談日	随時	実	延	実	延	
106	81	439	28	5	3	5	16	16	

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

エ 乳幼児健康診査事業

健診名	年度・内訳	令和2年度		
		対象(人)	受診者(人)	受診率(%)
3～4か月児健康診査		59	58	98.3%
1歳6か月児健康診査		68	66	97.1%
2歳6か月児歯科健康診査		105	105	100.0%
3歳6か月児健康診査		71	69	97.2%
乳幼児精神発達精密健康診査		0	0	0.0%

オ 乳幼児健診未受診者理由

未受診者へ再勧奨したが受診しない場合は、電話又は訪問による相談を実施し、さらに幼稚園・保育所と連携し状況確認を行った。

健診名	未受診者数(人)	未受診理由
3歳6か月児健康診査	2	日程調整できない(2)

- *乳幼児健診後の経過観察者については、児童相談所の乳幼児精神発達精密健康診査や希望園の紹介、医療機関の紹介、児童館等との連携を図り支援した。(延べ15人)
- *継続的な個別指導を特に必要とする場合は、担当保健師が家庭訪問や保育所・幼稚園訪問等、個別の相談対応を継続的に実施した。
- *1歳6か月児健診において自閉スペクトラム症のスクリーニングを目的に日本語版M-CHATを導入し、自閉スペクトラム症の疑いや発達の気になる子どもの早期対応、早期支援の場につなげ、母子への支援を実施した。

カ 妊婦・乳児一般健康診査

健診名	2か月	8～9か月	合計
受診人数(人)	55	46	101

キ 妊婦健康診査

妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～26週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計
受診人数(人)	51	44	41	38	40	39	39	43	36	40	41	35	27	14	528

※実人数：76人

- *妊娠中の健康管理と、経済的負担の軽減のため、計14回の妊婦健診自己負担分を助成した。里帰りによる県外の医療機関での受診分は償還払いによる助成を行った。(3人)
- *乳児一般(2か月児・8～9か月児)健康診査、妊婦健康診査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し、指定医療機関で実施した。

【特定不妊治療助成事業】

件数(件)	実人数
8	6

助成額 900,000 円

実績

課題
方向性

ホームページや子育て支援サイト、オンライン健康相談などSNSを活用して役立つ情報をタイムリーに発信し周知するとともに、児童館や町民福祉課等と連携を密に切れ目のない支援を実施する。また、令和3年度から産後ケアや産婦健診、乳幼児精神発達精密健康診査を実施し、より一層安心して子育てできるように支援していく。

一 般 会 計

4	款	1	項	5	目	環境衛生費				
担当部署名				総務課環境防災班・水道事業所施設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	22,841		19,618		1,067			381	18,170	
目的	清潔で安全な町民生活の確保と自然環境保全のため、春・秋に一斉清掃活動を全町で実施し、ごみの減量化をはじめ環境美化を推進し環境保全に努める。狂犬病の発生とまん延を防止するため、飼い犬の登録と予防注射接種を行う。 また、公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）において、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全等を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	環境衛生経費（公衆衛生）		A	4.3	4.3	小中学生をはじめ地域住民や各種団体が一丸となって地域の環境美化運動を展開し、快適で住みよい生活環境づくり並びに環境保全を図ることができた。 環境美化推進員24名（各行政区2名）による巡回パトロールを実施し、不法投棄ごみの回収や抑止等、環境美化を推進することができた。				
	環境衛生経費（狂犬病）		B	-	4.3	狂犬病の発生とまん延を防止するため、公益社団法人宮城県獣医師会の協力を得て飼い犬の登録並びに狂犬病予防注射接種率向上を図ることができた。				
	塩釜地区斎場運営経費		B	-	4.3	塩釜地区消防事務組合に対して塩竈斎場(火葬場)の管理運営に係る負担金並びに新斎場建設に係る投資的経費負担金を支出し、適正な管理運営と新斎場建設工事を進めることができた。				
	合併処理浄化槽設置事業		A	4.7	3.7	公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）における合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に寄与した。				
実績	■総務課 環境防災班所管									
	【環境衛生経費（公衆衛生）】 1 ゴミゼロ運動・秋の一斉清掃 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りながら、ゴミ拾いなどの地域清掃を町民参加のもと実施し、地域の環境美化・環境保全活動への積極的な参加の機会を設け、きれいなまちづくりを推進した。 ○一斉清掃実施回数 1回（9月） （ゴミゼロ運動については、感染防止の為、各地区で判断し実施している。） （各地区や各種団体において年間を通じて清掃活動を実施している。） ○ゴミ回収量 22 m ³ 2 松島町環境美化推進員の設置 ○環境美化推進員 24名（各行政区2名） ○不法投棄防止巡回パトロール 延べ 284回 【環境衛生経費（狂犬病）】 犬の登録及び狂犬病予防注射 ・窓口において、犬の登録並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を行った。また、今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年4月に実施していた狂犬病予防注射集合接種を緊急事態宣言解除後の10月に町内11会場で実施し、狂犬病予防注射の接種率向上を図った。 ○飼い犬台帳登録数 609頭 ※令和3年3月31日現在 ○飼い犬新規登録数 32頭 ○狂犬病予防注射済票交付数 499頭（盲導犬1頭含む） ※接種率81.93% (R1:78.11%) ○狂犬病予防注射集合接種（1次集合） 10/7・10/8・10/9 11会場 （2次集合） 10/11 1会場									
(次頁へ続く)										

【塩釜地区斎場運営経費】

1 利用実績

年度 種別	令和2年度 (件)	令和元年度 (件)	平成30年度 (件)
火 葬 件 数	212	185	185
前 年 比	27	0	△26

2 塩竈斎場負担金

6,195,000 円

※内訳 管理費負担金

3,146,000 円

投資的経費負担金

3,049,000 円

■水道事業所 施設班所管

【合併処理浄化槽設置事業】

1 補助金交付実績

公共下水道計画区域外

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	3 (1)	996,000
6 ～ 7人槽	4 (0)	1,656,000
8 ～ 10人槽	1 (0)	548,000
合 計	8 (1)	3,200,000

※上記表中、補助基数の内 () の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

公共下水道計画区域内

人槽区分	補助基数 (基)	補助金額 (円)
5人槽	0	0
6 ～ 7人槽	0	0
8 ～ 10人槽	0	0
合 計	0	0

2 浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数 (建築確認経由分を含む) ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	17 件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0 件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0 件

3 合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

斡旋申請 件数(件)	斡旋金額 (円)	利子補給金額	
		予算額 (円)	決算額 (円)
0	0	107,000	4,010

実績

課題
方向性

■総務課 環境防災班所管

コロナ禍において、活動自粛を余儀なくされ、環境美化活動も例年より制限された。住民一人一人の意識向上を図り、ゴミのない綺麗なまちづくりに努める。また、環境美化推進員が行う定期的な巡回パトロールによって不法投棄の抑止を図る。

狂犬病予防注射に関しては、更なる狂犬病予防注射接種率の向上を図るため、周知徹底を行う。

■水道事業所 施設班所管

交付金事業であるため事業の計画的な実施が求められており、適切なニーズの把握が必要である。公共下水道計画区域内も一部が補助対象となったため、広報紙等による情報提供を行い、合併処理浄化槽の普及促進を図っていく。

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年 度	設置基数 (基)	整備済人口 (累計:人)	設置基数内訳(基)				総事業費 (千円)	内訳(千円)			備 考
			5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	一般財源	
平成 3～27 年度	408	1,873	90	215	95	8	206,343	68,625	56,421	81,297	
平成 28 年度	14	1,926	3	9	2	0	5,818	2,049	0	3,769	
平成 29 年度	13	1,984	2	8	3	0	5,620	1,960	0	3,660	
平成 30 年度	12	2,015	6	5	1	0	4,610	1,183	0	3,427	下水道計画区域外 10基 下水道計画区域内 2基
令和 元 年度	5	1,991	2	2	1	0	2,040	477	0	1,563	下水道計画区域外 4基 下水道計画区域内 1基
令和 2 年度	8	1,994	3	4	1	0	3,200	1,067	0	2,133	下水道計画区域外 8基 下水道計画区域内 0基
計	460		106	243	103	8	227,631	75,361	56,421	95,849	

※補助金額(平成19年度より改定) (単位:千円)

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

(単位:基)

年 度	磯 崎	高 城	桜渡戸	手 樽	根 廻	初 原	幡 谷	竹 谷	北小泉	計
平成 3～27 年度	0	23	14	96	24	31	155	46	19	408
平成 28 年度	0	1	0	2	1	1	6	3	0	14
平成 29 年度	0	0	3	3	1	0	3	1	2	13
平成 30 年度	3	1	0	3	1	0	3	1	0	12
令和 元 年度	0	1	0	0	0	0	3	1	0	5
令和 2 年度	0	1	0	1	0	1	4	1	0	8
計	3	27	17	105	27	33	174	53	21	460

し尿処理の状況(人口内訳の推移)

年 度	計画処理区域面積 (km ²)	計画処理区域 内世帯数 (世帯)	総人口 (人)	計画処理区域内人口														水洗化率 (%)	備 考
					非水洗化人口			水洗化人口				浄化槽人口							
					し尿汲取り人口 (人)	自家処理人口 (人)		公共下水道人口 (人)	コンプラ人口 (人)	合併処理浄化槽人口				単独処理浄化槽人口 (人)					
										(人)	(人)	(人)	(人)		補助 (人)	農業 (人)	その他 (人)		
平成 23 年度	54.00	5,495	15,255	15,255	2,122	2,122	0	13,133	9,465	0	3,668	1,852	1,424	0	428	1,816	86.0		
平成 24 年度	54.00	5,507	15,104	15,104	1,488	1,488	0	13,616	9,731	0	3,885	2,087	1,630	0	457	1,798	90.1		
平成 25 年度	54.00	5,576	15,040	15,040	946	946	0	14,094	10,075	0	4,019	2,239	1,777	0	462	1,780	93.7		
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	14,918	961	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5		
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9		
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	14,632	626	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7		
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	14,366	565	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0		
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	14,073	1,752	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5		
令和 元 年度	53.56	5,637	13,820	13,820	1,654	1,654	0	12,166	8,939	0	3,227	3,073	1,991	0	1,082	154	88.0		
令和 2 年度	53.56	5,676	13,594	13,594	1,635	1,635	0	11,959	9,182	0	2,777	2,626	1,994	0	632	151	87.9		

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする

○用語の解説

コμπラ・・・コミュニティプラント

○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの

農業・・・農業集落排水施設

一 般 会 計

4	款	1	項	6	目	公害対策費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	586		474						474	
目的	生活環境(自動車交通騒音・環境騒音)の騒音に関する実態を把握するため、町内5地点において騒音測定を実施する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	公害対策事務事業経費(騒音)		C	-	-	自動車騒音測定を町内3地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値を満足する結果であった。 また、環境騒音測定については、町内2施設で実施し、共に環境基準値以内の結果となった。				
実績	【公害対策事務事業経費(騒音)】									
	1 自動車交通騒音測定(主要幹線道路3地点) (単位: dB)									
	測定地点						調査結果			
							昼 間	夜 間		
	①根廻交差点(国道45号・三陸自動車道)						66	62		
	②初原町営住宅入口(県道仙台松島線・三陸自動車道)						65	59		
	③磯崎長田(奥松島松島公園線)						69	62		
	環境基準値						70	65		
	規制(要請限度)基準値						75	70		
	※測定実施日: 令和2年11月10日～11日(昼間: 6時～22時/夜間: 22時～6時)									
	2 環境騒音測定(町内2地点) (単位: dB)									
	測定地点						調査結果			
							昼 間	夜 間		
	④華園集会場						49	41		
	⑤垣ノ内集会場						49	45		
	環境基準値						55	45		
	※測定実施日: 令和2年11月10日～11日(昼間: 6時～22時/夜間: 22時～6時)									
	○環境基準値 環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。 ①・②: 市街化調整区域で適用外だが、③を準用 昼間: 70db/夜間: 65db ③: 第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域 昼間: 70db/夜間: 65db ④・⑤: 第1種低層住居専用地域・第1種住居地域 昼間: 55db/夜間: 45db									
	○規制(要請限度)基準値 騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。 ①～③: 高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域 昼間: 75db/夜間: 70db									
	○測定時期について 測定時期は、騒音が1年間を通じて平均的な状況を呈する日(秋期の平日)を選定									
課題 方向性	自動車騒音と環境騒音の測定結果については、基準値以内ではあったが、今後も継続して測定を行うとともに、復興事業で完成した道路等の状況を踏まえ、関係機関と調整を図りながら対応・検討を行う。苦情並びに相談については、宮城県と連携して対応する。									

一 般 会 計

4	款	2	項	1	目	塵芥処理費					(単位:千円)
担当部署名				総務課環境防災班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
	255,702		255,574		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	20,149	235,425
目的	一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うと共に廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	塵芥処理経費		A	5.0	4.0	ごみ集積所に出される家庭系廃棄物について、迅速かつ適正な回収を行ったことによって、清潔な生活環境の保全を図ることができた。					
	宮城東部衛生処理組合負担金		B	-	4.3	多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町で構成する宮城東部衛生処理組合におけるごみ処理施設等でのごみ処理及び施設管理に係る事務の経費に関して、構成市町が負担金を支出して、適正な処理を行った。					
実績	【塵芥処理経費】										
	1 ゴミ処理実績										
	(単位: t)										
	区 分	種別		年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	家庭系ゴミ	可燃ゴミ				2,743		2,773		2,790	
		不燃ゴミ				112		88		84	
		プラスチック製 容器包装				102		90		93	
		粗大ゴミ				237		200		107	
		資源物				618		564		660	
		小計				3,812		3,715		3,734	
	事業系ゴミ	可燃ゴミ				1,288		1,734		1,781	
		不燃ゴミ				42		9		9	
		小計				1,330		1,743		1,790	
	直接搬入ゴミ					659		879		660	
	合計					5,801		6,337		6,184	
2 松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ゴミの収集）											
										69,168,000 円	
【宮城東部衛生処理組合負担金】											
・ 宮城東部衛生処理組合負担金										185,839,356 円	
※内訳 ごみ処理負担金										125,139,356 円	
投資的経費負担金										8,055,000 円	
特別負担金（焼却施設基幹的設備改良工事分）										52,645,000 円	
課題 方向性	コロナ禍の外出自粛により家庭系ゴミの排出量が増加し、事業系ゴミが減少した。 ゴミの排出量については、今後も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが想定されるが、家庭系ゴミ・事業系ゴミともに、廃棄物の抑制とリサイクルを促進し、ゴミの減量化に努める。										

一 般 会 計

4	款	2	項	2	目	し尿処理費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	59,358		59,358						59,358	
目的	町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	塩釜地区環境センター負担金		B	-	4.0	各家庭や事業所から出された、し尿及び汚泥について、塩釜地区環境センターで処理を行ったことにより、公衆衛生の保全を行うことができた。				
実績	【塩釜地区環境センター負担金】									
	1 塩釜地区環境センター負担金								59,358,000 円	
	2 し尿・汚泥処理実績									
	年度 種別		令和2年度 (t)		令和元年度 (t)		平成30年度 (t)			
	し 尿		2,780		2,849		2,802			
	汚 泥		1,405		1,282		1,348			
	合 計 (前 年 比)		4,185 (54)		4,131 (△ 19)		4,150 (△ 217)			
課題 方向性	公共下水道並びに浄化槽の普及により、し尿の処理量は年々減少している状況である。今後も塩釜地区環境センターと連携し適切な処理に努め、公衆衛生の向上を図る。									

一 般 会 計

5	款	1	項	1	目	勤労青少年ホーム費				
担当部署名				勤労青少年ホーム					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,485		10,700					389	10,311	
目的	施設の有効活用のために新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、町民への貸出しや自主グループの育成を図る。また、図書室については、利用促進に努め、知識や教養を培う場として管理運営を行う。業務委託を松の実福祉会に委託し連携を取りながら業務を進めていく。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	管理運営費		B	-	3.0	コロナ感染拡大防止対策による利用者制限や休館があったため、利用者が減少している。 また、コロナ感染拡大防止対策の補助金で空調を設置したため、利用者が利用しやすい施設となった。図書室の利用者は減少したが、貸出冊数は例年並みである。				
実績	【管理運営費】10,699,619 円									
	1 講座・事業等									
	名 称		内 容			期 日	回 数			
	図書巡回文庫		幼稚園、保育所、児童館、小学校などに移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会の提供を行った。			毎月	○幼稚園 7回 ○小学校 7回 ○保育所、児童館 8回 (磯保7回) コロナ閉所の為			
	ヨガ教室		中央公民館と共同企画でヨガ教室を行った。 1部：簡単な動きと呼吸で作るリラックスヨガ 2部：ラジオ体操のようなヨガ・太陽礼拝でダイナミックに動いてみよう。			3月23日	(参加人数) 26人 1部12人、2部14人			
	2 施設利用状況									
	・ 集会室、講座室、音楽室、調理室、研修室									
	区 分		利用回数		利用人数					
	一 般		467回		2,821人					
	3 図書室 利用人数等									
		区 分	利用人数及び貸出冊数		1日平均					
			人数(人)	冊数(冊)	人数(人)	冊数(冊)				
松 島 町 内		一 般	3,892	13,108	14.5	48.7				
		児 童	1,310	5,924	4.9	22.0				
松 島 町 外		一 般	40	73	0.1	0.3				
仙 台 都 市 圏		一 般	97	176	0.4	0.7				
県 図 書 館		一 般	87	482	0.3	1.8				
閱 覧 者		全	970	—	3.6	—				
合 計		—	6,396	19,763	23.8	73.5				
※開館日数 269日										
※上表に、図書巡回文庫の利用は含まない。										
(次頁へ続く)										

5	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

4 ブックラリー参加者

	実施期間	参加者数(人)	貸出冊数(冊)
夏のブックラリー	7月18日 ～ 8月30日	40	400
秋のブックラリー	10月24日 ～ 11月29日	41	410

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

5 蔵書内訳

区 分	蔵書冊数	蔵書比率
一 般 図 書	32,655	70.66 %
児 童 図 書	12,423	26.88 %
洋 書	96	0.21 %
参 考 図 書	17	0.04 %
郷 土 資 料	1,024	2.22 %
合 計	46,215	100 %

※令和3年3月末日の蔵書冊数は、46,215冊である。

(令和2年度新刊図書 一般図書 265冊 児童図書 149冊 寄贈 109冊 抹消4冊 計519冊)

実績

課題
方向性

新型コロナウイルス感染症対応については、今後とも利用者並びにスタッフの検温、手指消毒を徹底し、安心安全な施設運営を行っていく。
また、ブックラリー参加者が増えたこともあり、これからも継続して早い段階から読書の習慣が身につくよう児童の事業を充実させていく。
ITルームを廃止し研修室に変更したが、インターネット検索等利用者のため、図書室にパソコン機器を配備した。

一 般 会 計

5	款	1	項	2	目	労働諸費					(単位:千円)																																														
担当部署名						産業観光課産業振興班																																																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	38,781		38,781					33,000	5,781																																																
目的	中小企業勤労者の生活向上及び安定を推進するため、融資制度の推進を図る。 また、高齢者の就業機会の支援や勤労者の生活安定を図る。																																																								
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																																			
	松島町勤労者生活安定資金融資預託金		B	-	3.6	令和2年度中に自動車資金3件の新規融資があり、融資実績も概ね目標水準を達成している。																																																			
	勤労者福祉一般預託金		B	-	4.0	令和2年度中に30件の新規融資があり、融資実績も概ね目標水準を達成している。																																																			
	塩釜建設技能者訓練協会補助金		B	-	3.0	当町からの訓練生はいないが、同団体の運営は適正に行われている。																																																			
	宮城県労働保険事務組合連合会負担金		B	-	3.0	負担金だけの事務である。																																																			
	(公社)松島町シルバー人材センター事業補助金		B	-	3.0	会員数を増加することができ、コロナ禍においても概ね前年度並みの受注を確保することができた。																																																			
実績	【松島町勤労者生活安定資金貸付金】5,000,000円																																																								
	・生活資金 (限度額100万円、期間7年以内、金利3.00%) 件数1件 金額 529,802円																																																								
	・教育資金 (限度額300万円、期間10年以内、金利1.80%) 件数0件 金額 0円																																																								
	・福祉資金 (限度額100万円、期間7年以内、金利1.50%) 件数0件 金額 0円																																																								
	・自動車資金 (限度額200万円、期間7年以内、金利1.80%) 件数8件 金額 8,525,661円																																																								
	※うち令和2年度中新規 件数3件 金額 4,810,000円																																																								
	【勤労者福祉一般預託金】28,000,000円																																																								
	・使途、住宅ローン、教育ローン、マイカーローン等 件数309件 金額 1,215,567,898円																																																								
	※うち令和2年度中新規 件数 30件 金額 148,820,000円																																																								
	【塩釜建設技能者訓練協会補助金】171,000円																																																								
	・令和2年度訓練生…2名 (松島町からの訓練生は0名)																																																								
	【宮城県労働保険事務組合連合会負担金】10,000円																																																								
	【(公社)松島町シルバー人材センター事業補助金】5,600,000円																																																								
	<table><tr><td>項目</td><td>令和2年度実績</td><td>令和元年度実績</td><td>前年度との比較</td></tr><tr><td>会員数</td><td>113人</td><td>110人</td><td>3人増</td></tr><tr><td>うち男性</td><td>89人</td><td>88人</td><td>1人増</td></tr><tr><td>うち女性</td><td>24人</td><td>22人</td><td>2人増</td></tr><tr><td>受注件数</td><td>389件</td><td>399件</td><td>10件減</td></tr><tr><td>うち公共</td><td>20件</td><td>19件</td><td>1件増</td></tr><tr><td>うち民間</td><td>369件</td><td>380件</td><td>11件減</td></tr><tr><td>契約金額</td><td>44,318千円</td><td>42,271千円</td><td>2,047千円増</td></tr><tr><td>うち公共</td><td>21,445千円</td><td>18,854千円</td><td>2,591千円増</td></tr><tr><td>うち民間</td><td>22,873千円</td><td>23,417千円</td><td>544千円減</td></tr><tr><td>就業延人数</td><td>7,431人</td><td>7,457人</td><td>26人減</td></tr><tr><td>就業率</td><td>67.30%</td><td>68.20%</td><td>0.9%減</td></tr></table>										項目	令和2年度実績	令和元年度実績	前年度との比較	会員数	113人	110人	3人増	うち男性	89人	88人	1人増	うち女性	24人	22人	2人増	受注件数	389件	399件	10件減	うち公共	20件	19件	1件増	うち民間	369件	380件	11件減	契約金額	44,318千円	42,271千円	2,047千円増	うち公共	21,445千円	18,854千円	2,591千円増	うち民間	22,873千円	23,417千円	544千円減	就業延人数	7,431人	7,457人	26人減	就業率	67.30%	68.20%
項目	令和2年度実績	令和元年度実績	前年度との比較																																																						
会員数	113人	110人	3人増																																																						
うち男性	89人	88人	1人増																																																						
うち女性	24人	22人	2人増																																																						
受注件数	389件	399件	10件減																																																						
うち公共	20件	19件	1件増																																																						
うち民間	369件	380件	11件減																																																						
契約金額	44,318千円	42,271千円	2,047千円増																																																						
うち公共	21,445千円	18,854千円	2,591千円増																																																						
うち民間	22,873千円	23,417千円	544千円減																																																						
就業延人数	7,431人	7,457人	26人減																																																						
就業率	67.30%	68.20%	0.9%減																																																						
課題 方向性	勤労者向け融資については、生活安定資金の預託金額を増額し低金利で融資を受けられるよう努める。 シルバー人材センター事業は啓発活動が実り会員数が増加した。引き続き会員数の確保に努められる よう同団体への補助を継続したい。																																																								

一 般 会 計

6	款	1	項	1	目	農業委員会費																							
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																				
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
	13,064		12,180			2,359		516	9,305																				
目的	農業委員会等に関する法律が平成27年に改正され、農業委員会は、「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須業務として位置づけられたことにより、地域の実態に応じた取組を推進し、それに向けた対策の強化を図る。																												
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																							
	農業委員関係経費		A	3.7	3.3	遊休農地の発生防止・解消については、新たに発生した遊休農地もあるが、復元が著しく困難な農地の非農地判断を行い解消を図った。 ほ場整備実施地域での担い手への農地利用集積が図られた。 新規参入の相談に対し情報提供、活動等の実施、女性農業者に対する研修会を実施した。																							
実績	【農業委員関係経費】																												
	※農地等の利用の最適化の推進とは (1) 遊休農地の発生防止・解消 (2) 担い手への農地利用の集積・集約化 (3) 新規参入の促進 農地等の利用状況 1 遊休農地の発生状況																												
	<table><tr><td>年 度</td><td>農地面積</td><td>遊休農地面積</td><td>遊休農地割合</td><td>遊休農地面積（前年比）</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>1,067 ha</td><td>41.61 ha</td><td>3.90 %</td><td>1.11 ha 減</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1,047 ha</td><td>49.7 ha</td><td>4.75 %</td><td>8.09 ha 増</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1,045 ha</td><td>52.28 ha</td><td>5.00 %</td><td>2.58 ha 増</td></tr></table>									年 度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）	平成30年度	1,067 ha	41.61 ha	3.90 %	1.11 ha 減	令和元年度	1,047 ha	49.7 ha	4.75 %	8.09 ha 増	令和2年度	1,045 ha	52.28 ha	5.00 %	2.58 ha 増
年 度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）																									
平成30年度	1,067 ha	41.61 ha	3.90 %	1.11 ha 減																									
令和元年度	1,047 ha	49.7 ha	4.75 %	8.09 ha 増																									
令和2年度	1,045 ha	52.28 ha	5.00 %	2.58 ha 増																									
	(農地面積は、農業委員会が行う農地利用状況調査から集計)																												
	2 担い手への農地利用の集積・集約化																												
	<table><tr><td>年 度</td><td>農地面積</td><td>担い手への集積面積</td><td>担い手への集積率</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>954 ha</td><td>500 ha</td><td>52.4 %</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>949 ha</td><td>533 ha</td><td>56.1 %</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>942 ha</td><td>542 ha</td><td>57.5 %</td></tr></table>									年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率	平成30年度	954 ha	500 ha	52.4 %	令和元年度	949 ha	533 ha	56.1 %	令和2年度	942 ha	542 ha	57.5 %				
年 度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率																										
平成30年度	954 ha	500 ha	52.4 %																										
令和元年度	949 ha	533 ha	56.1 %																										
令和2年度	942 ha	542 ha	57.5 %																										
	(農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積)																												
	(次頁へ続く)																												

(次頁へ続く)

6	款	1	項	1	目
実績	農地法等によるその権限に属する事務				
	1	農地法第3条に基づく許可事務 (12件：18,744㎡)			(前年度 9件：79,628.84㎡)
	2	農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付） (9件：10,153㎡)			(前年度 13件：13,892㎡)
		農地転用に関する事務（市街化区域内） (2件：4,464㎡)			(前年度 1件：261.74㎡)
	3	非農地証明願 (9件：9,013.62㎡)			(前年度 5件：4,302㎡)
	4	農地中間管理事業における農用地利用配分（案） (16件：95,617㎡)			(前年度 37件：310,555㎡)
	5	農業経営基盤強化法促進法による農用地利用集積 所有権の移転 (2件：10,222㎡)			(前年度 2件：12,283㎡)
		利用権の設定 (54件：465,798㎡)			(前年度 73件：704,041㎡)
	6	農業者年金事業（受給者） (103人)			(前年度 106人)
	課題 方向性	農家の高齢化や後継者の不足が進み、農地の分散化による受け手不足により認定農業者への農地集積が難しくなっている。担い手の意向を踏まえ、農地の集約化のため、農地中間管理機構の活用等による農地の有効利用を推進する。			

一 般 会 計

6 款		1 項		3 目		農業振興費				(単位:千円)				
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課管理班										
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳									
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	45, 119		44, 503				34, 380				141		9, 982	
目的	町の農業振興については、経営所得安定対策に基づき、需要に応じた水稻の生産調整の円滑な実施と認定農業者及び生産組織等の担い手による集団転作・遊休農地の活用等を推進する。また、農業関係の各種団体活動への支援と農業制度資金への支援を実施し、農業振興と農業経営の安定に資する。 手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、利用者の憩いの場として、安全な公園環境を提供する。													
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	水田農業構造改革対策経費			B	-	3.7	仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、認定農業者及び生産組織等の担い手を主体として、米価の安定のために生産の目安内の水稻作付や大豆等の集団転作を推進し、産地づくり対策事業により円滑に実施された。							
	農業振興関係経費			A	4.0	3.0	中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を行った。令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農業経営体へ補助金を交付し、継続的な営農を支援した。							
	農業経営基盤強化資金利子等補給			B	-	3.3	農業制度資金への利子助成により農業経営の安定に資することができた。							
	農村環境改善センター管理運営経費			B	-	3.0	指定管理者による適切な管理運営がなされた。							
	農業振興地域整備事業			A	3.3	3.0	農地集積・集約化対策事業を活用し、認定農業者、地域の担い手への農地の利用集積が図られた。							
	中山間地農業ルネッサンス推進事業			A	4.0	3.3	ワークショップを開催し、松島町に見合った特産品の検討を図った。							
	手樽海浜公園等管理経費			B	-	3.3	手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、安全な公園環境の整備を行った。また、手樽海浜公園除草及び清掃業務については、公益社団法人松島町シルバー人材センター他に委託することにより、高齢者等の就労機会確保と社会参加に寄与した。							
実績	■産業観光課 産業振興班													
	1 経営所得安定対策等推進事業													
	協議会を構成する町、農協等の関係者が連携し、地域の実情に応じて、各種説明会や農協の地区別懇談会等を活用し、本対策の趣旨、内容の周知等の推進活動を行った。													
	○事業実施主体 松島町地域農業推進協議会													
	○補助額 1, 705, 000 円													
	○国から農業者への交付実績													
	水田活用の直接支払交付金													
	戦略作物助成 大豆 4 件 13, 226, 500 円													
飼料用米 29 件 52, 268, 648 円														
飼料作物（牧草） 9 件 1, 158, 500 円														
産地交付金 38 件 17, 562, 650 円														
(次頁へ続く)														

6	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

転作実施面積	290.5 ha
一般作物	113.0 ha
大豆	37.8 ha
飼料用米	71.9 ha
飼料作物	3.3 ha
備蓄米	30.0 ha
永年作物（果樹・花木他）	6.0 ha
特例作物（野菜）	24.1 ha
調整水田・養魚水田	1.2 ha
自己保全管理	112.0 ha
その他	4.2 ha

対 象 水 田：	829.5 ha
生産の目安面積換算：	525.0 ha
生産の目安割合：	63.3 %
主食用水稻作付面積：	538.9 ha
主食用米作付割合：	65.0 %
実 施 農 家 数：	464.0 戸

2 農業経営基盤強化資金利子助成事業

○ 融資対象農家数

1 戸

○ 利子助成額

3,604 円

3 品井沼農村環境改善センター管理運営経費

○ 指定管理料

4,718,652 円

・ 利用件数

535 件

・ 利用者数

6,204 人

4 農地集積・集約化対策事業補助金

農地中間管理機構を活用し、地域の担い手に対して農地の集積に協力した農業者への協力金

	地域集積協力金	経営転換協力金
補助対象	-	1 戸
補助金額	-	297 千円

実績

5 中山間地農業ルネッサンス事業

○ 特産物生産推進業務委託

1,524,600 円

生産者やホテル、飲食店等経営者を交えたワークショップを行い、需要と供給を加味した松島町に見合った特産品の検討を図った。

6 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業（被災農業者支援型）

令和元年東日本台風（台風19号）により被害を受けた農業経営体が継続して営農できるよう支援を行った。

○ 補助対象者

1 経営体

○ 補助額（繰越明許費）

29,843,000 円

（次頁へ続く）

6	款	1	項	3	目
実績	■建設課 管理班所管				
	【手樽海浜公園等管理経費】				
	手樽海浜公園、古浦農村公園、上竹谷農村公園、下竹谷・北小泉農村公園の維持管理				
	1	需用費（修繕料）			195,360 円
		・ 下竹谷・北小泉農村公園遊具修繕（ブランコ）			154,000 円
		・ 手樽海浜公園トイレ修繕（手洗器）			41,360 円
	2	役務費（手数料）			550,858 円
		・ 除草した草の処理料			500,500 円
		・ し尿汲取料			50,358 円
	3	委託料			2,031,560 円
	・ 手樽海浜公園除草業務委託（年2回）			1,012,220 円	
	・ 手樽海浜公園清掃業務委託（週1回）			631,400 円	
	・ 手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回）			52,800 円	
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）			61,900 円	
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）			273,240 円	
課題 方向性	■産業観光課 産業振興班				
	農業振興及び米価の安定のためには、町や県単位だけではなく、農業者個人による需要に応じた米生産が必要である。農業者の収入の確保には、国の需給に対応した米の生産及び水田を活用した高収益作物の作付を行う必要があるため、各農業者が営農を継続できるよう引き続き支援を行っていく。 また、担い手の育成や、担い手・集落営農組織へ農地集積を促し、地域農業を継続していくことが重要である。				
	■建設課 管理班所管				
	定期的な点検及び修繕により、健全な公園環境が保たれている。 施設の老朽化が進んでいるため、利用状況を考慮しながら維持管理に努めていく。				

一 般 会 計

6	款	1	項	4	目	農地費										
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課建設班・建設課管理班						(単位:千円)						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳											
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	87,238		84,540			16,825	3,600	26,287	37,828							
目的	松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業・農村整備事業により実施し、優良農地の区画整理による効率的利用と、基幹水利施設の整備により、湛水・冠水被害の防止を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。 また、農村・農地の多面的機能の維持・発揮を図り、農業振興に寄与するとともに、歴史ある土地改良施設を後世まで保全することを目的とする。 さらに、農業生産基盤整備と土地改良施設の整備改修等により、農地の保全と農業用排水等の円滑化を図り、農作物の安定生産と農作業の効率化に努める。															
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果											
	県営土地改良事業負担金 ＜ほ場＞	A	4.3	3.7	暗渠工事等の補完工事が実施され、農業者の補修要望の解消に努め、農地集積が図られた。											
	多面的機能支払交付金事業 (旧：農地・水・環境保全工 向上対策事業)	B	－	3.3	各地域の6協議会によって道刈り・泥上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。											
	土地改良事業費＜営農に係る経費＞	B	－	4.0	各種土地改良事業に係る団体の経常経費の負担することで、施設の運転管理や適切な維持管理が図られた。											
	中山間地域等農村活性化事業	B	－	3.7	歴史旧跡や農村・農地等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。											
	県営土地改良事業	B	－	4.7	県営かんがい排水事業については、用水路工事を実施し、農業用排水機能の充実が図られた。また、不來内排水機場の設備更新工事を実施し機能保全が図られた。											
	土地改良施設維持管理経費（建設班）	A	4.3	4.3	土地改良施設の各管理団体により、施設の運転管理等が実施され、適切な維持管理が図られた。											
	道路面補修事業	A	5.0	3.7	復旧・復興事業の大型工事車両の往来により損傷の著しい農道の舗装補修工事を実施し、通行車両の安全確保が図られた。											
	土地改良施設維持管理経費（管理班）	B	－	3.7	ため池補修等を行い、農業施設の維持管理を行った。											
実績	■産業観光課 産業振興班所管 【県営土地改良事業負担金＜ほ場＞】 県営農山漁村地域復興基盤総合整備事業（負担割合 8%） （復興基盤総合整備事業【手樽地区】）負担金（事業完了） <table><tr><td>・負担金</td><td>17,680,000 円</td><td>（事業費 221,000千円）</td></tr><tr><td>・事業内容</td><td>補完工事、換地業務</td><td>A=201.8ha</td></tr></table> (次頁へ続く)										・負担金	17,680,000 円	（事業費 221,000千円）	・事業内容	補完工事、換地業務	A=201.8ha
・負担金	17,680,000 円	（事業費 221,000千円）														
・事業内容	補完工事、換地業務	A=201.8ha														

6	款	1	項	4	目	
実績	【多面的機能支払交付金事業】					
	多面的機能支払交付金事業補助金					
	・ 協議会数				6 協議会	
	・ 補助金				21,966,790 円	
	【中山間地域等農村活性化事業】					
	中山間地域等農村活性化事業補助金					
	・ 事業主体				根廻ふるさと保全隊	
	・ 補助額				200,000 円	
	■建設課 建設班所管					
	【県営土地改良事業】					
	水利施設整備事業負担金					
	県営事業により用水路整備工事、不来内排水機場の設備更新工事および志田谷地排水機場の機能保全計画作成業務を実施した。					
	1	県営水利施設整備事業負担金				4,344,000 円
		・ 県営かんがい排水事業負担金（銭神地区）				4,071,000 円
		（負担割合 1.77%）				
		事業費 230,000,000 円				
		事業内容 用水路工 L=742.5m				
		・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（不来内地区）				272,000 円
		（負担割合 0.34%）				
		事業費 80,000,000 円				
		事業内容 不来内排水機場機械設備更新（ポンプ設備、付帯設備）				
		・ 県営土地改良事業等調査及び計画の委託に係る負担金（志田谷地地区）				1,000 円
		（負担割合 0.04%）				
		事業費 1,320,000 円				
		事業内容 志田谷地排水機場機能保全計画作成				
	【土地改良施設維持管理経費】					
	土地改良施設の各管理団体により施設の運転管理や補修等を行った。					
1	負担金及び補助金				5,173,803 円	
	・ 土地改良施設維持管理等負担金				3,208,803 円	
	国営造成施設2箇所、排水機場14箇所 他					
	・ 土地改良施設維持管理補助金				1,965,000 円	
	松島町土地改良事業（適正化事業、補修事業）					
	（繰越明許費）					
	【道路面補修事業】（東日本大震災復興交付金）					
	復旧・復興事業の大型車両の通行により損傷の著しい農道の舗装補修工事を実施した。					
1	工事請負費					
	・ 農道弁天1号線舗装補修工事				32,859,000 円	
	舗装補修工 L=1,299m					
	(次頁へ続く)					

（次頁へ続く）

6	款	1	項	4	目
実績	■建設課 管理班所管				
	【土地改良施設維持管理経費（管理班）】				
	1	委託料			1,650,000 円
		・ 土地改良施設維持管理業務委託（ため池補修等）			
	2	原材料費			99,000 円
		・ 維持管理用原材料（砕石）			
課題 方向性	■産業観光課 産業振興班				
	復興基盤総合整備事業（手樽地区）については、農地の大区画化整備の補完工事、換地業務を実施した。				
	■建設課 建設班				
	県営土地改良事業については、宮城県や関係市町と連携しながら、事業の完了を目指していく。 土地改良施設の維持管理経費については、ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策を行っていく。また、施設の適切な維持管理に努める。				
	■建設課 管理班所管				
	農業従事者が安心して農作を営めるよう、今後も継続して適正な維持管理に努める。				

一 般 会 計

6	款	1	項	5	目	園芸振興費				
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,063		1,438			51		72	1,315	
目的	松島町地産地消実行委員会に補助金を交付し、地産地消イベントへの支援を行い、地産地消の推進を図る。また、農村婦人の家の維持管理を行い、町内産の味噌の販売促進に寄与する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	園芸振興関係経費		A	3.3	3.0	新型コロナウイルスの影響により、まつの市等のイベント実施は出来なかったが、福箱販売会を行い、地産地消の推進を図ることができた。				
	農村婦人の家等維持管理経費		B	-	3.0	町内産の味噌加工のために使用され、適宜使用料を徴収し維持管理を図った。				
実績	【園芸振興関係経費】									
	1 松島町地産地消実行委員会への補助金 実施イベント								369,000 円	
	日付	イベント名		開催場所		販売数	福箱内容			
	11月1日	松島産品「福箱」販売会		文化観光交流館		100	カキ（殻付、剥き身）、ササニシキ、タケノコ水煮、松島とまと、白菜、大根、人参、梨			
	2 松島・夢・農業農村活性化推進協議会への補助金 実施事業 ・町花「石斛」の再生を目指し、培養事業を行った。								500,000 円	
	【農村婦人の家等維持管理経費】								322,349 円	
	・消耗品費（トイレットペーパー等）、光熱水費、火災保険料等									
課題 方向性	地産地消の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで実施していた地産地消イベントの実施が困難であったなか、福箱の販売会を行い、町内消費者へ地場産品の提供を行った。今後は、イベント実施時におけるコロナ対策要領等を定め、コロナ禍に対応したイベントを行い、生産者と消費者を繋ぐ機会確保に努める。 農村婦人の家については、引き続き施設の適正な維持管理に努める。									

一 般 会 計

6	款	1	項	6	目	畜産振興費																																		
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																															
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																			
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																															
	105		103					2	101																															
目的	稲作と畜産の複合経営推進と優良仔牛の生産のため、畜産団体への支援を図る。																																							
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																																		
	畜産業振興関係経費		A	3.7	3.0	本町の畜産農家は稲作との複業経営が主であり、専業は企業採卵鶏事業1件、酪農業者が1件である。 生産団体に補助金を交付し、経営継続の支援を行った。 また、宮城県と共催で鳥インフルエンザが発生した際の防疫演習を実施した。																																		
実績	1 和牛生産団体育成支援事業																																							
	・事業主体 松島町和牛改良組合 14戸 ・補助額 50,000円 ・事業内容 繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上及び町内産優良仔牛の保留																																							
	2 令和2年度出荷実績																																							
	・仔牛出荷頭数 46 頭 ・仔牛出荷額 (平均) 725,246 円 ・高額販売額 去勢牛 1,118,700 円 雌牛 892,100 円 ※松島町和牛改良組合の組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額																																							
	3 松島町の飼養頭羽数																																							
	<table><tr><td>畜種別 年度</td><td>繁殖牛 (頭)</td><td>乳用牛 (頭)</td><td>採卵鶏 (千羽)</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>125</td><td>26</td><td>151</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>121</td><td>24</td><td>193</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>120</td><td>32</td><td>194</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>123</td><td>28</td><td>193</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>119</td><td>24</td><td>143</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>112</td><td>27</td><td>143</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>106</td><td>34</td><td>141</td></tr></table>									畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)	平成26年度	125	26	151	平成27年度	121	24	193	平成28年度	120	32	194	平成29年度	123	28	193	平成30年度	119	24	143	令和元年度	112	27	143	令和2年度	106	34
畜種別 年度	繁殖牛 (頭)	乳用牛 (頭)	採卵鶏 (千羽)																																					
平成26年度	125	26	151																																					
平成27年度	121	24	193																																					
平成28年度	120	32	194																																					
平成29年度	123	28	193																																					
平成30年度	119	24	143																																					
令和元年度	112	27	143																																					
令和2年度	106	34	141																																					
	4 特定家畜伝染病防疫演習																																							
	日時：令和2年10月29日 午前9時～ 場所：東部地域交流センター																																							
課題 方向性	コロナ禍による肉用牛の取引価格が一時期下落するなど、生産者への継続的な支援が必要である。 また、全国各地で家畜伝染病が発生しており、引き続き関係機関との連携及び情報収集が必要である。																																							

一 般 会 計

6 款	2 項	2 目	林業振興費							
担当部署名		産業観光課産業振興班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
	40, 881	40, 709		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
					20, 040		5, 115	15, 554		
目的	特別名勝松島の景観保全のため、松くい虫被害の拡大防止に努める。 また、林業関係団体事業の支援と緑化推進を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	松くい虫防除事業	A	4. 7	3. 7	地域の松林等を守るために、薬剤の空中散布や地上散布、樹幹注入を実施し、併せて被害木の伐倒駆除などを行い、松くい虫被害の拡大防止が図られた。					
	林業振興事務経費	B	-	3. 3	民有林の林業振興・担い手育成並びに特用林産の振興に寄与した。					
実績	【松くい虫防除事業】									
	1 特別防除事業（空中散布）									
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主 な 実 施 箇 所				
	宮城県分	50. 89		3, 038, 099		雁金森・湯ノ原 白坂山・三十刈				
	松島町分	43. 68		2, 607, 666						
	全 体	94. 57		5, 645, 765						
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注									
	2 地上散布事業									
	区 分	実施面積 (ha)		事業費 (円)		主 な 実 施 箇 所				
	宮城県分	17. 39		1, 511, 191		大沢平・雁金森 銭神・西ノ浜 長松園				
	松島町分	22. 91		1, 990, 879						
	全 体	40. 3		3, 502, 070						
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注									
	3 樹幹注入事業									
	実施本数 (本)	事 業 費 (円)		主 な 実 施 箇 所						
	30	330, 000		東浜						
	32	363, 000		手樽字軽地						
	4 伐倒駆除事業（上段：R1実績・下段：R2実績）									
	区 分	被害本数 (本)		材積 (m³)		事業費 (円)				
	補 助 対 象	841		762. 561		21, 053, 442				
		652		553. 469		18, 509, 216				
	対 象 外	7		8. 880		355, 066				
		102		109. 022		3, 547, 241				
	計	848		771. 441		21, 408, 508				
		754		662. 491		22, 056, 457				

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

6	款	2	項	2	目
---	---	---	---	---	---

実績

5

松くい虫被害木調査業務委託

880,000 円

6

森林機能回復事業（抵抗性植樹下刈）業務委託
松島字雁金森周辺に抵抗性松を植樹した箇所の下刈と新たに苗木を植樹した。

1,848,000 円

7

ナラ枯れ被害駆除事業

実施本数（本）	材積（m³）	事業費（円）	主な実施箇所
69	45.431	1,925,000	富山観音参道

【林業振興事務経費】

1

林業振興事業

・ 長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託
○刈払面積：100,500m²

4,400,000 円

・ 森林情報管理システム保守管理業務委託

297,000 円

2

林業団体活動育成事業補助

No.	団 体 名 等	補助額
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円

主な事業内容

・ 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援

・ 町内の地域緑化活動、みどりの少年団活動への支援

課題
方向性

松くい虫被害は未だ増加傾向にあり、特別名勝「松島」の景観を守るため、薬剤散布や伐倒駆除を継続し、松林保全のためこれまで植樹した抵抗性松の下刈り等育成事業も継続していく。

また、地域緑化活動やみどりの少年団活動の他、小学5年生を対象とした林業体験や木工教室なども支援していく。

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(被害発生状況)

1, 年度別松くい虫被害発生状況

令和3年3月末現在

(単位:m³)

年度 市町	昭和 55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5
塩 竈 市	52	37	16	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456	561
多 賀 城 市	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	16	27
松 島 町	11	20	9	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249	923
七 ケ 浜 町	13	9	2	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207	306
利 府 町	10	1	1	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35	19
東松島市(旧鳴瀬町)	68	30	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203	1,865
特別名勝計(A)	154	100	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166	3,701
県全体 (B)	2,521	3,661	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402	17,651
(A)／(B) (%)	6.1%	2.7%	2.6%	2.5%	4.2%	7.1%	6.3%	8.2%	12.2%	12.3%	16.8%	15.5%	17.2%	21.0%

年度 市町	平成 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
塩 竈 市	313	1,719	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	325	364
多 賀 城 市	15	50	13	10	-	34	-	-	-	-	15	9	3	-
松 島 町	602	1,189	1,198	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	643	779
七 ケ 浜 町	469	362	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	630	256
利 府 町	169	370	524	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	1111	672
東松島市(旧鳴瀬町)	2,502	3,115	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705
特別名勝計(A)	4,070	6,805	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776
県全体 (B)	21,185	27,731	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445
(A)／(B) (%)	19.2%	24.5%	28.5%	34.4%	30.5%	34.5%	24.2%	21.0%	23.5%	23.9%	19.8%	24.5%	24.0%	21.6%

年度 市町	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2
塩 竈 市	198	120	206	261	617	708	223	518	629	442	393	178	86
多 賀 城 市	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	4	0	0
松 島 町	577	457	506	312	655	933	1,658	3,192	2,416	2,271	1,632	1,433	1,201
七 ケ 浜 町	161	125	134	157	349	2167	987	1,249	105	821	594	612	653
利 府 町	597	260	308	40	649	731	1069	1,513	1,204	907	1,141	622	533
東 松 島 市	1,681	1,751	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386	1,944	1,511
特別名勝計(A)	3,214	2,713	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150	4,789	3,984
県全体 (B)	14,213	13,742	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215	9,612	10,151
(A)／(B) (%)	22.6%	19.7%	23.2%	16.0%	36.5%	47.3%	48.9%	56.6%	44.8%	50.6%	46.5%	49.8%	39.2%

旧鳴瀬町のみ計上

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:空中散布)

2-1, 年度別松くい虫防除事業実施状況(空中散布)

(単位:ha)

年度		昭和									平成				
市町		55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	110	113	113	113	150	150	150	160	160	160	160	160	100	90
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	30	32	33	33	33	33	156	156	188	189	189	182	96	75
	特別名勝計(D)	218	145	146	146	183	183	306	316	348	349	349	342	196	165
	県全体(E)	539	467	327	327	391	424	577	622	636	654	647	625	402	312
	(D)／(E) (%)	40.4%	31.0%	44.6%	44.6%	46.8%	43.2%	53.0%	50.8%	54.7%	53.4%	53.9%	54.7%	48.8%	52.9%

年度		平成													
市町		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	98	98	98	98
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	75	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	67
	特別名勝計(D)	165	163	163	163	163	163	163	163	163	163	171	171	171	165
	県全体(E)	312	310	344	459	388	386	418	417	415	415	434	392	392	386
	(D)／(E) (%)	52.9%	52.6%	47.4%	35.5%	42.0%	42.2%	39.0%	39.1%	39.3%	39.3%	39.4%	43.6%	43.6%	42.7%

年度		平成											令和	
市町		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
空中散布	塩竈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	98	98	98	-	-	98	98	98	98	98	98	95	95
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市	67	67	67	-	-	67	61	58	58	57	57	57	80
	特別名勝計(D)	165	165	165	-	-	165	159	156	156	155	155	151	174
	県全体(E)	386	386	386	-	-	386	379	377	377	376	376	370	392
	(D)／(E) (%)	42.7%	42.7%	42.7%	-	-	42.7%	42.0%	41.4%	41.4%	41.2%	41.2%	40.8%	44.4%

※H23,24は東日本大震災の影響ため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:地上散布)

2-2, 年度別松くい虫防除事業実施状況(地上散布)

(単位:ha)

年度		昭和									平成				
市町		55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5
地上散布	塩竈市	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	6
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	80	80	80	80	90	90	90	75	73	73	73	73	74	74
	七ヶ浜町	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利府町	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	12	15	-	-	-	-	-	-	10	15	15	17	17	17
	特別名勝計(D)	127	108	80	80	90	90	90	75	83	88	94	96	97	97
	県全体(E)	150	133	88	93	103	115	120	138	192	196	203	207	240	243
	(D)／(E) (%)	84.7%	81.2%	90.9%	86.0%	87.4%	78.3%	75.0%	54.3%	43.2%	44.9%	46.3%	46.4%	40.4%	39.9%

年度		平成													
市町		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
地上散布	塩竈市	6	6	6	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	74	74	74	91	91	91	90	94	62	62	62	62	62	61
	七ヶ浜町	-	-	40	40	40	61	50	45	45	50	50	50	51	50
	利府町	-	-	11	11	14	15	15	13	8	8	8	8	9	8
	東松島市(旧鳴瀬町)	17	17	17	17	17	37	37	37	37	37	26	37	67	68
	特別名勝計(D)	97	97	148	181	184	226	214	211	174	179	168	179	211	209
	県全体(E)	279	323	412	477	452	540	478	487	487	490	524	430	593	547
	(D)／(E) (%)	34.8%	30.0%	35.9%	37.9%	40.7%	41.9%	44.8%	43.3%	35.7%	36.5%	32.1%	41.6%	35.6%	38.2%

年度		平成											令和		
市町		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	
地上散布	塩竈市	22	22	22	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町	66	65	65	43	65	65	64	64	61	61	52	47	40	40
	七ヶ浜町	50	50	50	0	28	36	36	35	33	25	25	25	25	25
	利府町	8	8	8	0	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	東松島市	67	67	67	0	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別名勝計(D)	213	212	212	62	126	128	127	126	121	113	104	99	92	92
	県全体(E)	580	577	586	106	200	227	223	221	211	183	178	157	143	143
	(D)／(E) (%)	36.7%	36.7%	36.2%	58.5%	63.0%	56.4%	57.0%	57.0%	57.3%	61.7%	58.4%	63.1%	64.3%	64.3%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況:樹幹注入)

2-3, 年度別松くい虫防除事業実施状況(樹幹注入)

(単位:本)

年度		昭和									平成				
市町		55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5
樹幹注入	塩 竈 市	-	-	-	-	-	-	-	-	25	20	90	66	139	69
	多 賀 城 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松 島 町	-	-	-	-	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725	833
	七ヶ浜町	-	-	-	-	-	21	-	21	21	20	22	23	21	22
	利 府 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	47	112
	特別名勝計(D)	0	0	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932	1,036
	県全体 (E)	0	0	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951	3,213
	(D) / (E) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	77.4%	72.7%	60.0%	53.6%	55.1%	50.9%	51.7%	47.8%	32.2%

年度		平成													
市町		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
樹幹注入	塩 竈 市	90	69	154	776	848	1,097	832	841	900	799	845	-	809	797
	多 賀 城 市	-	-	-	-	-	60	34	76	28	41	25	34	44	-
	松 島 町	793	838	793	838	887	819	419	588	661	430	-	691	722	363
	七ヶ浜町	25	25	68	105	114	243	466	81	269	442	-	68	256	306
	利 府 町	-	21	58	60	101	115	177	140	111	140	-	120	111	117
	東松島市(旧鳴瀬町)	422	440	780	702	613	366	-	596	394	453	-	325	587	364
	特別名勝計(D)	1,330	1,393	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238	2,529	1,947
	県全体 (E)	3,463	3,629	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818
	(D) / (E) (%)	38.4%	38.4%	44.9%	51.2%	53.5%	60.3%	56.8%	53.8%	54.5%	51.7%	26.1%	37.6%	50.4%	69.1%

年度		平成											令和		
市町		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	
樹幹注入	塩 竈 市	466	258	845	248	170	177	-	-	1945	52	846	151	155	
	多 賀 城 市	66	69	-	73	43	70	44	68	29	51	80	37	28	
	松 島 町	253	696	558	105	31	-	-	551	1258	1,793	705	744	62	
	七ヶ浜町	96	68	203	0	292	-	-	-	891	195	114	0	0	
	利 府 町	0	133	93	93	115	-	-	134	432	-	-	819	1,178	
	東 松 島 市	94	673	455	566	108	65	-	-	183	477	152	29	0	
	特別名勝計(D)	975	1,897	2,154	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897	1,780	1,423	
	県全体 (E)	2,914	3,773	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519	3,310	2,402	
	(D) / (E) (%)	33.5%	50.3%	53.0%	47.7%	41.1%	12.5%	2.4%	36.4%	75.6%	51.6%	42.0%	53.8%	59.2%	

一 般 会 計

6 款	3 項	2 目	水産業振興費				
担当部署名		産業観光課産業振興班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
	3,669	3,643	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							3,643
目的	カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	水産業振興関係経費	A	4.0	3.0	コロナ禍の影響でカキの取引額が減少するなど、厳しい状況下においても生産を継続した漁業者の支援を継続した。		
実績	○宮城県漁業協同組合松島支所への補助金						
	1 水産振興事業補助金 3,000,000 円 (1) カキ衛生対策支援 ・ 目的… 生食用カキ出荷に求められる衛生対策、検査体制の強化 ・ 状況… 出荷当初から年末にかけ成育が非常に悪く、かつ新型コロナウイルス感染症の影響で消費が急激に落ち込み、取扱数量において前年比60%減、取引金額は50%まで落ち込んだ。 ・ 効果… 上記のような厳しい状況下においても、処理施設を停止することなく安心安全なカキを常時供給できるよう、施設の衛生管理や各種検査を徹底することがで (2) アサリ稚貝撒布支援・サキグロタマツメタ貝駆除支援 ・ 目的… 混獲されるアサリ稚貝購入による再放流、自然増殖の増加及びサキグロタマツメタ貝の駆除による漁場整備 ・ 状況… 磯崎、松島、名籠、古浦地区で採取時に混獲されるアサリ稚貝購入により、再放流し増殖を図った。 また、サキグロタマツメタ貝の成貝又は卵塊の駆除を実施しアサリ資源の減少を図った。 ・ 効果… 稚貝撒布や漁場環境の整備等により、徐々にではあるが資源が回復傾向に向かっている。						
	2 松島産カキPR事業補助金 300,000 円 ・ 目的… 町内のカキ直売所に「松島産かき」のぼり旗の設置、パンフレット作成による松島産カキのPR ・ 状況… 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となり、また外出自粛の影響もありカキの消費量は落ち込んだ。 ・ 効果… コロナ禍の状況下においても、直売所の利用者に松島産カキをPRできるよう努めた。						
	○宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会への補助金 50,000 円 1 漁業後継者育成支援事業補助金 ・ 目的… 漁業後継者育成のための新たな養殖方法への取組等 ・ 状況… 従来の垂下式による養殖に加え、石巻湾や牡鹿半島周辺で実施されている延縄式による養殖を実施するための漁場の見極め等を行った。 ・ 効果… コロナ禍の影響により例年青年研究会で参加していたイベントが中止となったが、そのような状況下においても後継者育成のための事業を実施した。						
	○第40回全国豊かな海づくり大会記念行事「食材王国みやぎ第17回大会記念リレー放流」 ・ 令和2年10月19日、磯崎鷺島漁港でホシガレイの稚魚1,000匹を放流。						
課題 方向性	コロナ禍に伴う外食産業等の落ち込みが漁業者にも影響を及ぼしている。また、イベント等も中止となり当面の間はこれまでと同じようなPRの実施も困難だが、関係機関と協力し引き続き安心・安全なカキを提供していけるよう支援を継続する。						

令和2年度 カキ水揚げ高調べ

(資料:宮城県漁業協同組合松島支所)

令和2年9月～令和3年3月

(単位 : kg ・ 円)

地 区	松 島		磯 崎		名 込		古 浦		合 計		備 考
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
9月	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
10月	1,180.4	1,824,353	4,209.2	9,715,164	300.0	670,539	240.0	713,014	5,929.6	12,923,070	
11月	1,296.0	1,323,512	5,688.7	8,248,146	330.0	453,827	10.0	15,552	7,324.7	10,041,037	
12月	2,355.0	2,962,636	2,750.7	3,734,836	730.0	1,149,637	0.0	0	5,835.7	7,847,109	
1月	1,894.3	1,321,563	3,457.9	3,611,656	850.0	772,103	120.0	138,985	6,322.2	5,844,307	
2月	2,165.8	1,057,780	3,606.5	2,739,629	950.0	675,549	110.0	77,294	6,832.3	4,550,252	
3月	1,172.6	566,459	1,759.1	1,290,766	610.0	374,015	0.0	0	3,541.7	2,231,240	
計	10,064.1	9,056,303	21,472.1	29,340,197	3,770.0	4,095,670	480.0	944,845	35,786.2	43,437,015	
kg当たり 単価		899.9		1,366.4		1,086.4		1,968.4		1,213.8	

一 般 会 計

7 款	1 項	2 目	商工業振興費																				
担当部署名		産業観光課産業振興班					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	53,329	51,730		475		43,000	8,255																
目的	商工業振興と商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携を進め、適正な育成と指導を行う。 また、消費者の保護とトラブル防止を図るため、消費生活相談員による相談受付や注意喚起を行う。																						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果																		
	消費者生活相談員設置事業	A	3.7	3.0	相談員と協力し相談業務を受け付け、また広報誌等で注意喚起を継続して行うことができた。																		
	経営改善普及・商工振興助成経費	A	4.0	3.0	利府松島商工会ではコロナ関連の事業者支援制度と並行し経営支援や創業セミナー等を継続して実施していた。																		
	利子補給経費	B	-	3.0	町の中小企業振興資金制度より有利な条件で融資を受けられるコロナ対応型の融資制度が創設されたため、本年度は町の融資制度の利用が少なかったが、保証料の補給については滞りなく対応できた。																		
	宮城黒川地域地場産業振興協議会経費	C	-	-	鍋まつりは中止となったが、仙台港アウトレットでの物販イベントはコロナ対策を行い無事に開催できた。																		
	中小企業事業資金等融資	B	-	3.0	町の中小企業振興資金制度より有利な条件で融資を受けられるコロナ対応型の融資制度が創設されたため、本年度は町の融資制度の利用が少なかったが、新規の融資あっせんについては滞りなく対応できた。																		
	起業家支援事業	A	3.3	3.0	コロナ禍においても、意欲ある新規創業者に対し補助金を交付し、開業をサポートすることができた。																		
実績	【消費者生活相談員設置事業】 ・相談員の数…1名、相談日…週2日（火・金） ・相談件数…18件（架空請求、訪問・電話勧誘、送り付け商法等） ・啓発活動…出前講座（2回）、啓発品送付（敬老記念品及び成人式記念品に同封） 【経営改善普及・商工振興助成経費】 ・利府松島商工会への補助金 ①地域総合振興事業…6,000,000円 ・商工会会員数（松島地区） <table><tr><td>業種</td><td>製造業</td><td>建設業</td><td>卸売業</td><td>小売業</td><td>サービス業</td><td>その他</td><td>計</td></tr><tr><td>会員数</td><td>19</td><td>73</td><td>9</td><td>99</td><td>125</td><td>15</td><td>340</td></tr></table> ②松島ブランド推進事業…500,000円 ・松島ブランド新規認定…5品（特産品部門2品、観光プログラム部門3品） ・松島ブランド認定商品販売会in宮城県庁…5日間（12月21日～25日）開催、来場者約6,000人 ※松島出合いサポート事業はコロナ禍の影響で中止 【利子補給経費】 ・保証料補給件数…5件（新規融資3件、条件変更2件） ・保証料補給金額…377,342円 【宮城黒川地域地場産業振興協議会経費】 ・負担金…65,880円 【中小企業事業資金等融資】 ・貸付金…42,000,000円 ・融資利用者数…50事業者 ・保証債務残高…136,476,100円 【起業家支援事業】 ・補助金交付件数…2件 ・補助金交付金額…2,000,000円							業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	計	会員数	19	73	9	99	125	15	340
	業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	計															
	会員数	19	73	9	99	125	15	340															
	課題 方向性																						
	消費生活相談は内容が幅広く、引き続き相談員と協力し相談業務と情報発信を継続する。 商工業振興に関しては、コロナ禍の影響が当面の間は続くことが見込まれるので、引き続き商工会と連携して支援に努めたい。																						

一 般 会 計

7 款	1 項	3 目	観光費					
担当部署名		産業観光課観光班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	55,904	50,484					5,834	44,650
目的	松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。 また、観光客の利便と安全を確保するため、観光施設等の整備・管理を図る。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	観光行政費	A	3.7	2.7	新型コロナウイルス感染症の流行及び感染対策のため、観光客数が大幅に減少した。状況が改善された夏から秋にかけて観光客数の回復がみられたものの、冬に再び感染が拡大するなど、感染対策と状況の不透明さからイベント等の中止が相次いだ。 コロナ禍に対応するため可能なものについては事業形態を変更して実施し、マイクロツーリズムや新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて情報発信を図った。			
	国際交流関係経費	A	3.0	3.0	国際交流員を任用し、外国人観光客受入体制整備のため観光事業者向けの英語表記の整備等を実施した。また、町民向けの生活情報に関する配布物を英訳し、多文化共生事業を推進した。 プロモーション事業に関しては、東日本大震災の伝承と、松島湾でのSDGs（持続可能な開発目標）達成を目指した事業に関する動画を日本語・英語・フランス語で作成し、世界に向けて発信をした。			
	施設維持管理経費	B	-	3.7	観光施設の維持管理については、適切な維持管理を行い、観光客の利便性と安全性を確保すると共に、概ね業務を委託することにより効率化を図った。			
実績	【観光客等年別入込数】							
	・観光客等年別入込数(令和2年1月～令和2年12月)				1,607,172 人（前年 2,981,516 人）			
	・観光客等年別宿泊数(令和2年1月～令和2年12月)				340,361 人（前年 569,645 人）			
	・主要観光イベント入込数				別頁（P125）のとおり			
	・観光案内所外国人観光客利用者実績				860 人（前年 66,855 人）			
	【観光行政費】						23,005,249 円	
	・松島町観光審議会の開催 ○第1回 日程 令和3年3月19日 内容 令和3年度当初予算について 松島町観光振興計画について							
	・ディスカバー松島プロジェクト推進事業「松島町商談会」 ○日程 中止							
	・「日本三景の日」記念事業 ○内容 中止							
	・JR東日本連携企画「駅長オススメの小さな旅」 ○春編 内容 中止 ○秋編 内容 『晩秋の松島で「日本遺産“伊達”な文化に触れる」』 日程 令和2年11月10日 参加者 15人							
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

7 款	1 項	3 目
実績	・ 松島町観光施設Wi-Fi環境保守運用業務委託 646,800 円 ○ 場所 町内観光施設4箇所（松島町文化観光交流館、カフェ・ベイランド、松島パノラマハウス、観瀾亭・松島博物館） ・ 松島ファンクラブ事業 会員数 986人 ・ 松島湾アマモ再生事業「松島湾 うみっこ たづっこ プロジェクト」 ○ 「橋の日」記念イベント（アマモ生育環境整備） - 日程 令和2年8月9日 - 場所 福浦橋 - 参加者 一般参加者 789人 ○ 「文化の日」記念イベント（アマモ生育環境整備） - 日程 令和2年11月3日 - 場所 福浦橋 - 参加者 一般参加者 1,270人 ・ JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」おもてなし ○ 日程 令和2年12月3日～12月24日（全4回） ○ 場所 JR松島駅構内 ・ 世界で最も美しい松島湾清掃ツアー ○ 日程 令和2年11月3日 ○ 場所 福浦島、瑞巖寺 等 ○ 参加者 一般参加者 20人 ・ 第66回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会 ○ 内容 紙面開催 ○ 参加数 1,536句 ・ 合同プロモーション「倉敷×塩竈×松島 観光・特産品交流フェアin仙台駅」 ○ 内容 中止	
	【国際交流関係経費】 ・ 国際交流員の任用（令和2年8月4日まで） 1人 ・ 海外からの要人等来客の対応 ○ 内容 中止 ・ 国際交流員活用による事業 ○ 「松島町からの英語によるコンサルティング」事業 - 町民向けの生活情報に関する配布物の英訳 等 ○ 「Visit Matsushima」フェイスブックページの運営 ・ 世界で最も美しい湾クラブ事業 ○ 第16回世界で最も美しい湾クラブ世界会議 - 日程 令和3年3月19日 - 内容 オンライン開催 ○ 世界湾の日啓発事業（松島湾の取り組みについて） - 内容 中止 ・ 松島町プロモーション動画作成業務委託 1,628,000 円 ○ 内容 東日本大震災の記憶を伝えるための動画と、松島湾でのSDGs（持続可能な開発目標）達成のための取り組みとして実施している藻場再生活動を紹介するための動画を作成。 ○ 言語 日本語、英語、フランス語	

（次頁へ続く）

7 款	1 項	3 目
実績	【施設維持管理経費】 23,792,524 円 ・ 観光施設清掃業務委託 ○ 内容 観光施設公衆便所清掃他 3,848,400 円 ○ 場所 西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所、西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、双観山公衆便所、松島パノラマハウス ・ 観光施設日常清掃業務委託 ○ 内容 松島公園清掃他 2,349,600 円 ○ 場所 三十刈駐車場、西行戻しの松公園、国際交流村、白衣観音周辺、新富山、双観山、雁金森、観瀾亭・松島博物館 ・ 観光施設樹木剪定等業務委託 ○ 内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他 2,794,000 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場 ・ 観光施設除草業務委託 ○ 内容 除草・集草・側溝清掃他 4,006,200 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園	
	課題方向性	新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、本町の観光事業にも大きな影響を受けた。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、松島のブランド力を高めるため地元産業の総合的な活性化を図り、近隣の観光客を誘致するための「マイクロツーリズム（近場での旅行・観光）」を推進する必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた情報発信を行い、誘客に向けた取り組みを行う必要がある。

観光客年別月別入込数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	
13年	145,000	172,000	193,000	302,000	415,000	305,000	372,000	633,000	323,000	374,000	339,000	130,000	3,703,000	13年	宮城国体開催
14年	149,000	176,000	194,000	292,000	408,000	298,000	370,000	652,000	335,000	376,000	345,000	142,000	3,737,000	14年	ワールドカップサッカー競技開催・東北新幹線八戸開業
15年	163,000	179,000	207,000	286,000	393,000	303,000	371,000	626,000	318,000	373,000	343,000	136,000	3,698,000	15年	7月宮城県北部連続地震
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	3,660,000	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	3,419,000	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	3,711,000	18年	8月五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	3,685,000	19年	3月18日仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	3,473,000	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月'宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	3,735,000	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーウィーク、9月瑞巖寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	3,568,621	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	2,237,798	23年	3月11日：東日本大震災 4月7日：余震 9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	2,650,784	24年	8/19,8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	2,981,193	25年	4月～6月仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルツェルンフェスティバルアークノヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	2,931,249	26年	4/1消費税増税(8%) 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	2,809,753	27年	3月1日常磐自動車道全線開通 5月10日マリンピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	2,768,840	28年	3月26日北海道新幹線開業 4月5日瑞巖寺本堂再拝観開始 9月2日ザ・ミュージアム松島開館
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	2,746,785	29年	7月22日～9月10日Reborn-Art Festival開催 9月2日松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	3,054,759	30年	6月22日国宝瑞巖寺落慶慶祝前夜祭開催、6月24日国宝瑞巖寺落慶法要
31年 1年	137,010	181,601	190,319	221,053	316,807	239,124	234,554	399,082	266,907	259,114	371,814	164,131	2,981,516	31年 1年	8月3日～9月29日Reborn-Art Festival開催 10月12日台風19号
2年	147,773	197,429	115,921	9,957	6,708	46,128	86,997	159,264	162,208	223,674	331,578	119,535	1,607,172	2年	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行(4月7日緊急事態宣言) 10月17日宮城県松島離宮オープン

(過去20年分を記載)

観光客年別月別宿泊数

(単位:人)

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
13年	62,600	56,400	67,000	65,500	76,200	79,200	64,500	91,600	75,800	94,600	77,500	75,200	886,100
14年	55,000	54,700	62,600	62,000	69,700	70,700	62,000	93,700	66,600	78,900	75,400	74,400	825,700
15年	53,500	48,500	60,900	50,700	69,300	70,600	61,900	85,600	65,500	73,200	75,700	76,200	791,600
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052
31年・1年	40,633	39,006	48,477	41,905	44,838	47,644	45,317	64,063	47,142	47,869	53,754	48,997	569,645
2年	41,496	40,485	28,413	3,671	708	7,255	19,739	36,220	33,545	44,342	50,457	34,030	340,361

(過去20年分を記載)

松島町主要観光イベント入込数

(単位:人)

年度	瑞巖寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとおき松島
13	第 5 回 36,000	280,000		第13回 3,000		第47回 250人 1,866句	第24回 100,000	10,003
14	第 6 回 55,000	220,000		第14回 3,100		第48回 287人 2,072句	第25回 105,000	9,297
15	第 7 回 52,000	150,000		第15回 3,000		第49回 260人 2,087句	第26回 155,000	9,518
16	第 8 回 78,500	180,000		第16回 2,500		第50回 300人 2,536句	第27回 125,000	10,043
17	第 9 回 63,000	110,000		第17回 3,000		第51回 275人 2,019句	第28回 115,000	7,912
18	第10回 61,000	160,000		第18回 3,500	第 1 回 15,000	第52回 250人 2,145句	第29回 120,000	10,711
19	第11回 50,000	120,000		第19回 3,000	第 2 回 22,000	第53回 250人 2,098句	第30回 100,000	11,295
20	第12回 56,500	140,000		第20回 3,500	第 3 回 32,000	第54回 250人 1,839句	第31回 100,000	10,882
21	第13回 64,000	143,000		第21回 3,500	第 4 回 39,000	第55回 250人 1,722句	第32回 73,000	14,851
22	第14回 69,100	154,000		第22回 3,000	第 5 回 52,000	第56回 300人 2,054句	第33回 95,000	8,733
23	第15回 24,800	—	第1回 58,000	—	第 6 回 33,600	第57回 280人 2,108句	第34回 67,000	3,141
24	第16回 25,900	—	第2回 42,000	—	第 7 回 43,384	第58回 250人 1,710句	第35回 52,000	—
25	第17回 16,500	—	第3回 42,500	—	第 8 回 47,926	第59回 160人 1,852句	第36回 52,500	5,046
26	第18回 10,000	—	第4回 47,000	—	第 9 回 54,065	第60回 200人 1,893句	第37回 51,500	5,047
27	—	—	第5回 28,000	—	第10回 55,005	第61回 200人 1,758句	第38回 30,000	6,196
28	—	—	第6回 42,000	—	第11回 69,546	第62回 150人 1,790句	第39回 35,000	—
29	—	—	第7回 20,000	—	第12回 76,487	第63回 160人 1,710句	第40回 36,000	—
30	—	—	第8回 33,000	—	第13回 82,696	第64回 190人 1,731句	第41回 38,000	—
31・1	—	—	第9回 33,000	—	第14回 62,050	第65回 200人 1,731句	第42回 43,000	—
2	—	—	—	—	—	第66回 — 1,536句	—	—

(過去20年分を記載)

年度別観光案内所外国人観光客利用者実績

(単位:人)

国 名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
アメリカ	962	806	1,022	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333	2,803	260
台湾	449	629	324	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304	51,158	21
フランス	143	266	194	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425	431	37
シンガポール	54	109	65	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137	217	2
ドイツ	122	235	201	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331	403	13
韓国	471	729	517	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617	397	6
イギリス	158	306	201	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244	322	26
香港	1,341	1,995	899	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571	567	0
中国	263	480	383	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983	1,173	91
オーストラリア	159	168	204	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688	1,029	17
カナダ	112	162	178	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138	217	6
スイス	25	62	48	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71	142	0
スペイン	19	45	69	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133	140	9
ブラジル	28	31	51	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21	91	8
アフリカ諸国	7	7	6	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50	36	6
イスラエル	6	22	16	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118	186	1
タイ	60	116	74	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413	5,366	18
ロシア	33	33	43	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56	116	17
ポーランド	12	8	8	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34	40	4
フィリピン	14	25	12	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63	74	33
スウェーデン	10	70	12	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25	64	3
インド	109	65	60	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84	115	103
マレーシア	17	18	30	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79	399	2
イタリア	20	51	57	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53	107	9
その他	2,051	3,389	2,366	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041	1,262	168
人 数	6,645	9,827	7,040	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012	66,855	860
国 数	54	73	57	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92	85	49

※令和3年3月末現在の数値

※平成28年度まで松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績

※平成29年度から松島観光協会観光案内所外国人利用者実績

一 般 会 計

7	款	1	項	4	目	文化観光交流館費										
担当部署名				中央公民館				(単位:千円)								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳											
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	26,726		25,656						25,656							
目的	町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。															
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果										
	文化観光交流館施設維持管理経費		A	3.3	3.3	令和2年10月から指定管理が更新され、前指定管理者が継続して指定管理をすることとなった。これまでの経験と民間のノウハウにより、効果的な施設運営が図られた。										
	文化観光交流館運営経費		A	3.3	3.3	令和2年10月の指定管理更新に伴い、現在町が主体で行っている保守点検等の業務委託について指定管理者へ移行したことで、一体的な施設の維持管理が行えるようになった。										
実績	【文化観光交流館施設維持管理経費】															
	1 文化観光交流館指定管理															
	・ 指定管理料 21,260,440円 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)															
＜前契約＞																
・ 指定管理料 10,474,440 円 (令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)																
・ 指定管理期間 平成27年10月1日から令和2年9月30日まで (5年間)																
・ 指定管理者 株式会社BBI																
＜現契約＞																
・ 指定管理料 10,786,000 円 (令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)																
・ 指定管理期間 令和2年10月1日から令和7年9月30日まで (5年間)																
・ 指定管理者 株式会社BBI																
2 指定管理者主催事業																
<table><tr><td>名 称</td><td>内 容</td><td>実施日</td><td>来館者数</td></tr><tr><td>六華亭遊花独演会</td><td>新型コロナウイルスの影響により二人会ではなく六華亭遊花独演会として開催した。感染症対策を万全にし、コロナ禍でも町民に笑いを届けることができた。</td><td>2月7日</td><td>87人</td></tr></table>									名 称	内 容	実施日	来館者数	六華亭遊花独演会	新型コロナウイルスの影響により二人会ではなく六華亭遊花独演会として開催した。感染症対策を万全にし、コロナ禍でも町民に笑いを届けることができた。	2月7日	87人
名 称	内 容	実施日	来館者数													
六華亭遊花独演会	新型コロナウイルスの影響により二人会ではなく六華亭遊花独演会として開催した。感染症対策を万全にし、コロナ禍でも町民に笑いを届けることができた。	2月7日	87人													

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

3 利用状況

単位：人 () 内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	0 (0)	20 (1)	39 (5)	103 (6)	32 (3)	194 (15)
5月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	60 (5)	0 (0)	60 (5)
6月	75 (7)	101 (5)	90 (8)	204 (10)	443 (35)	913 (65)
7月	144 (9)	317 (14)	142 (15)	338 (15)	399 (35)	1,340 (88)
8月	41 (5)	89 (7)	57 (7)	159 (9)	334 (30)	680 (58)
9月	2,098 (6)	417 (9)	167 (11)	146 (11)	343 (31)	3,171 (68)
10月	159 (13)	436 (17)	72 (7)	278 (23)	434 (37)	1,379 (97)
11月	111 (9)	1,135 (42)	132 (12)	410 (17)	306 (31)	2,094 (111)
12月	35 (4)	793 (75)	36 (3)	113 (14)	255 (29)	1,232 (125)
1月	296 (10)	240 (12)	108 (7)	354 (54)	173 (16)	1,171 (99)
2月	232 (37)	342 (20)	97 (10)	183 (52)	187 (22)	1,041 (141)
3月	57 (12)	169 (14)	100 (10)	1,584 (51)	210 (24)	2,120 (111)
合計	3,248 (112)	4,059 (216)	1,040 (95)	3,932 (267)	3,116 (293)	15,395 (983)

※施設別利用状況

単位：人

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
7,730	1,700	4	706	1,403	1,111	1,999	742

【文化観光交流館運営経費】

4,395,221 円

・委託料	3,213,936 円
①機械警備業務委託	389,400 円
②自家用電気工作物保守点検業務委託	265,490 円
③エレベーター保守点検業務委託	501,600 円
④空調設備保守点検業務委託	528,000 円
⑤自動扉開閉装置保守点検業務委託	107,520 円
⑥消防設備保守点検業務委託	99,726 円
⑦油分分離沈殿槽清掃業務委託	22,000 円
⑧草刈清掃業務委託	211,200 円
⑨低濃度PCB廃棄物収集運搬処理業務委託	1,089,000 円

課題 方向性

新型コロナウイルス感染症の影響により、閉館期間や開館後の借り控えにより利用者数は前年度の3割程度となっている。また、計画していた4事業の内、3事業を中止するなどその影響は大きかった。
コロナ禍における事業の企画・運営については、より一層の新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、町民の生涯学習の機会が損なわれないようにしていく。

一 般 会 計

8	款	2	項	2	目	道路維持費					(単位:千円)
担当部署名				建設課建設班・管理班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	153,491		74,142		3,059			25,689	45,394		
目的	町道等を健全な状態に保つため、補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、住民等が利用しやすい道路環境を保全する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	道路面補修事業		A	5.0	3.7	復旧・復興事業の大型工事車両の往来により損傷の著しい町道の舗装補修工事を実施し、通行車両の安全確保が図られた。					
	定期点検		A	5.0	4.7	道路法に基づき町道橋の定期点検を実施し、施設の状態、健全性の把握に努めた。					
	道路維持工事経費		A	4.3	4.7	水路改修工事を実施し、雨水対策事業の進捗が図られた。					
	道路維持管理経費		B	-	3.7	町道等の維持管理を実施したことにより、道路環境の保全が図れた。また、地域住民と協同で草刈及び除融雪を実施し交通安全等に努めた。					
実績	■建設課 建設班所管										
	【定期点検】道路附属物点検事業（社会資本整備総合交付金） 町道橋の定期点検を実施した。										
	1 委託料										
	・松島町橋梁定期点検業務委託 町道橋点検 N=25橋 5,562,700 円										
	【道路維持工事経費】 水路改修工事を実施した。										
1 工事請負費											
・初原字樋田地区水路改修工事 水路改修工 L=8m 2,499,200 円											
(繰越明許費)											
【道路面補修事業】（東日本大震災復興交付金） 復旧・復興事業の大型車両の通行により損傷の著しい町道の舗装補修工事を実施した。											
1 工事請負費											
・町道手樽・富山駅線舗装補修工事 舗装補修工 L=1,320m 26,062,600 円											
(次頁へ続く)											

実績	■建設課 管理班所管 【道路維持管理経費】 1 需用費（消耗品費） - 融雪剤購入費 730袋（18,100kg） 1,012,787 円 - 融雪箱等 80箇所（補充回数42回） - 草刈機刈刃購入費 400枚 695,200 円 - 各行政区の除草作業時支給（年1枚／人） 2 委託料 29,184,100 円 - 道路維持管理業務委託（その1～その3） 10,941,700 円 - 道路補修、側溝補修、側溝清掃、道路支障木伐採等 - 道路除草業務委託 3,245,000 円 8路線（年2回）、通学路等（随時実施） - 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 8,957,300 円 - 幹線道路等（12月1回、1月2回） - 小型除雪機4台を3地区に配置 - 道路融雪剤散布業務委託 6,040,100 円 7路線（12月8回、1月6回、2月3回） 3 原材料費 - 維持管理用原材料 2,385,943 円 - 常温合材、セメント、碎石、側溝蓋等
課題 方向性	■建設課 建設班所管 道路附属物点検事業については、業務量の平準化を図りつつ事業を継続する。結果を長寿命化修繕計画へ反映させる。 道路施設長寿命化対策事業については、ランニングコストの縮減を図りつつ、適切な維持管理を継続的に行うため、各施設の長寿命化修繕計画を策定し、計画的に補修工事を行っていく。 道路維持工事経費については、道路環境の保全のため、舗装補修等を行っていく。町全体のなかで優先順位を付け、継続して進めて行く。 ■建設課 管理班所管 復旧・復興事業が順次完了し、新設町道や避難道路を供用開始したことにより利便性が向上した一方、道路維持管理費の増加が見込まれる。また、除草や除雪・融雪についても地域要望が増加しており、業務委託・直営・地域と調整を図りながら、より効率的な道路維持管理を実施していく。

一 般 会 計

8	款	2	項	3	目	道路新設改良費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 015, 977		944, 333					713, 328	231, 005	
目的	震災復興計画の具体化に向け、東日本大震災復興交付金事業として避難道路を整備し、沿岸部住民の迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。 また、新たに品井沼地区地区計画に加えられた区域内の既存道路で、幅員が4 mに満たない道路を拡幅整備し、住宅建築が可能な幅員の確保を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	避難道路整備事業		A	5.0	3.7	東日本大震災の地震や津波により、甚大な被害を受けた松島地区、高城・磯崎地区、手樽地区において、住民や観光客を高台の避難場所へ迅速かつ安全に避難させるため避難道路整備の進捗が図られた。				
	品井沼地区道路整備事業		A	5.0	4.0	幅員が4 mに満たない道路の測量調査を行い、事業進捗が図られた。				
実績	【避難道路整備事業】（東日本大震災復興交付金） 避難道路整備工事を実施した。									
	1 委託料								82,898,630 円	
	・ 東北本線塩釜・松島間霞ヶ浦踏切安全対策工事委託に関する協定（令和2年度分）								82,898,630 円	
	2 工事請負費								243,465,200 円	
	・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備工事（前払金・出来高払金）								25,845,600 円	
	・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備その2工事 道路付属施設工 L=30m								3,786,200 円	
	・ 町道普賢堂・道珍浜線避難道路整備工事 道路改良工 L=77m								10,907,600 円	
	・ 町道霞ヶ浦枝線避難道路整備その2工事 道路改良工 L=14m								10,120,000 円	
	・ 町道垣ノ内幹線避難道路整備その3工事 道路改良工 L=425m								3,251,600 円	
	・ 町道上竹谷・高城線避難道路整備工事 道路改良工 L=237m								26,348,300 円	
	・ 町道白萩南線外避難道路整備工事 道路改良工 L=310m								49,984,000 円	
	・ 町道白萩南線外避難道路整備附帯工事 道路付属施設工 L=360m								13,972,200 円	
	・ 町道松島・磯崎線避難道路整備工事 避難誘導施設工 L=610m								19,310,500 円	
										(次頁へ続く)

8 款	2 項	3 目	
実績		・ 町道農協・高城町駅線避難道路整備工事 避難誘導施設工 L=220m	3,328,600 円
		・ 町道高城・桜渡戸線避難道路整備工事 道路改良工 L=27m	8,388,600 円
		・ 町道華園団地幹線外避難道路整備その3工事 道路改良工 L=181m	9,693,200 円
		・ 町道磯崎・手樽線外道路整備工事 道路改良工 L=800m	56,309,000 円
		・ 町道磯崎・手樽線外道路整備附帯工事 道路付属施設工 L=460m	2,219,800 円
		(繰越明許費)	
	3 委託料		31,810,317 円
		・ 町道松島海岸・湯ノ原線外避難道路測量・設計業務委託	25,300,000 円
		・ 仙石線高城町駅前整備に伴う支障移転工事委託に関する協定	5,272,817 円
		・ 町道華園団地幹線外測量業務委託	1,237,500 円
	4 工事請負費		398,264,600 円
		・ 町道高城・松島線避難道路整備その5工事 道路改良工 L=732m	19,929,800 円
		・ 町道高城・松島線避難道路整備その6工事 道路改良工 L=68m	12,497,100 円
		・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備その2工事 道路改良工 L=209m	15,972,800 円
		・ 町道霞ヶ浦枝線避難道路整備工事 道路改良工 L=53m	38,316,300 円
		・ 町道垣ノ内幹線避難道路整備工事 道路改良工 L=425m	68,100,000 円
		・ 町道垣ノ内幹線避難道路整備その2工事 避難誘導施設工 L=425m	10,621,600 円
		・ 町道垣ノ内幹線避難道路整備その3工事 道路改良工 L=425m	16,027,000 円
		・ 町道華園団地幹線外避難道路整備工事 道路改良工 L=805m	54,967,000 円
		・ 町道華園団地幹線外避難道路整備その2工事 附帯工 L=220m	15,977,500 円
		・ 町道長田1号線避難道路附帯工事 附帯工 1式	2,090,000 円
		・ 町道磯崎・高城線外避難道路附帯工事 附帯工 1式	1,670,900 円
			(次頁へ続く)

8 款	2 項	3 目
-----	-----	-----

実績

・町道磯崎・高城町駅線避難道路整備工事 道路改良工 L=460m	80,300,000 円
・町道磯崎・高城町駅線避難道路整備その2工事 道路改良工 L=152m	19,708,700 円
・町道手樽・富山駅線避難道路整備工事 道路改良工 L=208m	32,616,000 円
・町道銭神・大浜線外避難道路整備附帯その2工事 避難誘導施設工 L=985m	9,469,900 円
5 公有財産購入費	33,019,266 円
・町道高城・松島線外3路線道路整備事業土地購入費	1,763,048 円
・町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業土地購入費	14,845,284 円
・高城・磯崎地区避難路整備事業土地購入費	13,524,370 円
・町道手樽富山駅線道路整備事業土地購入費	2,023,425 円
・町道磯崎・手樽線外道路整備事業土地購入費	863,139 円
6 補償金	142,367,818 円
・町道高城・松島線外3路線道路整備事業物件等移転補償金	222,300 円
・普賢堂外避難道路整備事業物件等移転補償金	346,520 円
・町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業物件等移転補償金	38,206,257 円
・高城・磯崎地区避難路整備事業物件等移転補償金	96,332,088 円
・町道磯崎・手樽線外道路整備事業物件等移転補償金	7,260,653 円

避難道路整備工事進捗状況

(令和2年度末現在)

事業名	全体計画		令和元年度迄整備済		令和2年度整備済		整備済累計		進捗率
	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	
町道高城・松島線外3路線道路整備事業	6	3,420	4	2,220	1	977	5	3,197	93.5%
松島地区避難路整備事業	4	935	3	775	1	160	4	935	100.0%
普賢堂外避難路整備事業	2	610	1	190	1	420	2	610	100.0%
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	13	6,100	12	4,693	1	1,407	13	6,100	100.0%
高城・磯崎地区避難路整備事業	5	915	4	435	1	480	5	915	100.0%
町道手樽富山駅線避難道路整備事業	4	5,595	3	5,387	1	208	4	5,595	100.0%
手樽柿ノ浦地区避難路整備事業	1	360	1	360	—	—	1	360	100.0%
合計	35	17,935	28	14,060	6	3,652	34	17,712	98.8%

(次頁へ続く)

8	款	2	項	3	目
実績	【品井沼地区道路整備事業】 品井沼地区道路の測量を実施した。				
	1 委託料			1,188,000 円	
	・ 品井沼地区道路整備測量業務委託			1,100,000 円	
	・ 品井沼地区道路整備事業に伴う標準地鑑定評価書作成業務委託			88,000 円	
課題 方向性	避難道路整備事業については、松島、高城・磯崎、手樽地区で35路線、約17.9kmを計画しており、令和2年度末までに34路線、約17.7kmが完成している。残り1路線、0.2kmについても令和3年5月末に完了しており、すべての事業が完了した。 品井沼地区道路整備事業については、測量を実施しており、今後も継続して進めていく。				

一 般 会 計

8	款	3	項	1	目	河川総務費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,810		2,653						2,653	
目的	河川公園施設について住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	明治潜穴公園等維持管理 経費		B	-	3.7	河川公園の清掃・除草及び高城川桜並木の剪定を実施することで、住民や見学者等が立ち寄りやすい環境整備を行った。また、明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託については、公益社団法人松島町シルバー人材センター他に委託することにより、高齢者等の就労機会確保と社会参加に寄与した。				
実績	【明治潜穴公園等維持管理経費】									
	明治潜穴公園、ふれあいの広場、やすらぎの水辺、かたらいの水辺の維持管理									
実績	1 役務費（手数料）		178,750 円							
	・ 除草した草の処理料									
	2 委託料		1,733,737 円							
	・ 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託 明治潜穴公園（週6回）、その他の河川公園（月2回）		798,600 円							
	・ 河川公園遊具定期点検業務委託（年1回）		17,600 円							
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）		77,137 円							
	・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）		290,400 円							
課題 方向性	・ 高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回）		550,000 円							
	宮城県が実施した明治潜穴公園環境整備事業により、施設の利便性は向上した。 今後も河川公園施設の適切な維持管理に努め、住民や見学者等が利用しやすい環境を提供してい く。									

一 般 会 計

8	款	5	項	1	目	都市計画総務費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	8,664		7,991					41	7,950	
目的	本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	都市計画事業運営経費		B	-	3.3	宮城県都市計画マスタープランにおいて市街化区域編入予定地として位置付けされている明神地区について、5月に都市計画決定することができた。 現在一般保留地区である初原地区において、令和4年度の一般保留地区解除に向けた協議を、決定権者である宮城県と実施したことにより、申請手続きの進捗が図れた。				
	地区計画事業推進経費		A	5.0	3.7	明神地区における地区整備計画について、5月に都市計画決定することができた。				
実績	【都市計画事業運営経費】									
	(1) 明神地区における仙塩広域都市計画の変更決定に向けた各種手続きを実施									
	・仙塩広域都市計画用途地域の変更に関する宮城県知事協議回答 令和 2年 4月 6日 ・仙塩広域都市計画区域区分の変更告示 (宮城県) 令和 2年 5月15日 ・仙塩広域都市計画用途地域の変更告示 令和 2年 5月15日									
課題 方向性	(2) 地区計画内における行為の届出に関する業務 (くぬぎ台)									
	・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。 届出件数:1件									
	(3) 建築の許可に関する業務 (都市計画法第53条第1項)									
課題 方向性	・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。 申請件数:0件									
	【地区計画事業推進経費】									
	明神地区における仙塩広域都市計画地区計画の決定に向けた各種手続きを実施									
課題 方向性	・仙塩広域都市計画地区計画の決定に関する宮城県知事協議回答 令和 2年 4月 6日 ・仙塩広域都市計画地区計画の決定告示 令和 2年 5月15日									
	「品井沼地区」は仙塩広域都市計画地区計画を変更して新たに駅前を地区整備計画の区域に加え、また、「明神地区」は令和2年5月に市街化区域に編入され、仙塩広域都市計画用途地域の変更及び地区計画の決定をした区域において、都市計画マスタープランに基づき計画的な土地利用を図っていく必要がある。									
	現在、一般保留地区解除申請中の「初原地区」については、決定権者である宮城県と協議を実施し、令和4年度の市街化区域への編入を目指す。									

一 般 会 計

8	款	5	項	3	目	公園管理費				
担当部署名				教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	64, 147		63, 745					63	63, 682	
目的	スポーツを通じた町民の健康増進及びスポーツ競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全にそして快適にスポーツを楽しめるよう施設の充実を図る。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	運動公園管理事務所経費		A	4. 0	3. 3	新型コロナウイルス感染症による休館措置や各種大会等が中止となり大きく利用者が減少し、前年比で7割5分程度となった。貸し出しについてはコロナ禍の状況を考慮し、感染症対策を講じた運営を実施した。				
	温水プール管理経費		A	4. 0	3. 3	新型コロナウイルス感染症による休館措置と影響により利用者が大きく減少し、利用者数は前年比で7割3分程度となった。施設運営についてはコロナ禍の状況を考慮し、感染症対策を講じた運営を実施した。				
実績	【運動公園管理事務所経費】									
	1 松島運動公園指定管理料								15, 933, 704 円	
	2 松島運動公園月別利用状況								(単位:人)	
	月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合 計			
	4	0	9	0	0	16	25			
	5	0	0	0	21	0	21			
	6	508	438	2, 190	48	102	3, 286			
	7	238	622	2, 493	15	22	3, 390			
	8	519	622	2, 100	36	95	3, 372			
	9	440	589	1, 491	8	46	2, 574			
	10	389	708	3, 030	48	297	4, 472			
	11	233	473	2, 978	144	140	3, 968			
	12	210	410	1, 296	4	139	2, 059			
	1	0	281	858	22	20	1, 181			
	2	0	296	1, 312	40	94	1, 742			
	3	0	324	1, 599	36	257	2, 216			
	計	2, 537	4, 772	19, 347	422	1, 228	28, 306			
※4月・5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により施設の利用を制限したことから、利用者数が大幅に減少した。										
(次頁へ続く)										

【温水プール管理経費】

(1) 松島運動公園（温水プール）指定管理料

37,990,740 円

(2) 温水プール施設別利用状況

(プール)

(単位：人)

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		無料	幼児	教室		合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			参加者数	件数	
4	37	9	46	16	24	40	53	33	86	0	0	0	0	0	0	86
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	150	163	313	6	37	43	156	200	356	188	15	2	17	10	1	573
7	277	248	525	51	151	202	328	399	727	302	23	5	46	30	3	1,110
8	842	437	1,279	167	267	434	1,009	704	1,713	257	18	3	112	28	3	2,113
9	240	281	521	51	232	283	291	513	804	178	15	0	40	26	3	1,048
10	145	156	301	33	140	173	178	296	474	178	16	1	12	25	3	690
11	157	198	355	34	154	188	191	352	543	195	16	3	12	29	4	782
12	142	164	306	51	195	246	193	359	552	170	15	1	6	31	4	760
1	106	153	259	16	181	197	122	334	456	59	8	1	8	15	2	539
2	100	131	231	31	299	330	131	430	561	116	10	2	7	0	0	686
3	137	163	300	14	175	189	151	338	489	165	13	2	7	0	0	663
計	2,333	2,103	4,436	470	1,855	2,325	2,803	3,958	6,761	1,808	149	20	267	194	23	9,050

(トレーニングジム)

(単位：人)

月	町内計	町外計	講習会		無料	合計
			参加者数	件数		
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	125	1	7	3	76	209
7	174	61	6	2	102	343
8	161	65	11	4	83	320
9	164	69	4	3	105	342
10	125	52	8	5	93	278
11	156	65	12	7	109	342
12	170	63	9	4	118	360
1	192	61	8	5	106	367
2	222	75	8	5	105	410
3	153	60	10	4	119	342
計	1,642	572	83	42	1,016	3,313

(シルバートレーニングルーム (単位：人)

月	町内計	町外計	教室		無料	合計
			参加者数	件数		
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	2	0	0	0	0	2
7	0	0	24	5	0	24
8	0	0	18	4	0	18
9	4	0	0	0	0	4
10	3	5	6	2	0	14
11	12	0	10	4	0	22
12	7	0	8	3	0	15
1	9	0	5	2	0	14
2	7	0	0	0	0	7
3	2	0	0	0	0	2
計	46	5	71	20	0	122

(スタジオ)

(単位：人)

月	一 般		教 室		合 計	
	利用者数	件数	参加者数	件数	人数計	件数計
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	9	1	161	8	170	9
7	18	2	237	8	255	10
8	10	2	198	6	208	8
9	17	3	241	8	258	11
10	20	4	204	6	224	10
11	32	4	285	8	317	12
12	22	3	270	8	292	11
1	16	3	280	8	296	11
2	18	3	284	8	302	11
3	19	3	275	8	294	11
計	181	28	2,435	76	2,616	104

(会員)

(単位：人)

月	スクール	フルタイム	ナイト	合計
4	30	42	0	72
5	0	0	0	0
6	526	592	15	1,133
7	654	846	16	1,516
8	659	774	14	1,447
9	803	765	19	1,587
10	603	635	5	1,243
11	816	691	1	1,508
12	802	639	3	1,444
1	795	616	0	1,411
2	767	701	0	1,468
3	714	696	0	1,410
計	7,169	6,997	73	14,239

(次頁へ続く)

8 款	5 項	3 目
-----	-----	-----

実績	(温水プール全施設月別集計人数) (単位：人)					
	月	プール	トレーニングジム	シルバートレーニングルーム	スタジオ	会員
	4	86	0	0	0	72
	5	0	0	0	0	0
	6	573	210	2	170	1,133
	7	1,110	342	24	255	1,516
	8	2,113	320	18	208	1,447
	9	1,048	342	4	258	1,587
	10	690	278	14	224	1,243
	11	782	342	22	317	1,508
	12	760	360	15	292	1,444
	1	539	367	14	296	1,411
	2	686	410	7	302	1,468
	3	663	342	2	294	1,410
	計	9,050	3,313	122	2,616	14,239
	(3) 温水プールリース料 (令和2年度分)					
	・ トレーニングマシンリース料					4,199,040 円
	・ 複合機リース料					171,600 円
	(4) 需用費 (修繕料)					
	・ 温水プール天井内換気扇等修繕					907,500 円
	・ 温水プール自動塩素管理装置修繕					253,000 円
	(5) 工事請負費					
	・ 温水プール施設排煙窓改修工事					3,740,000 円
課題 方向性	社会体育施設として町民がスポーツをする機会を確保するとともに、適切な利用者負担について検討していくことで、施設の効率的な維持管理について模索していく。					
	また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた予防対策を実施し、利用者が安心して利用できる施設運営を目指していく。					

一 般 会 計

8 款	5 項	5 目	街路事業費							
担当部署名		建設課建設班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	1, 329, 059	745, 269		394, 709		13, 100	70, 009	267, 451		
目的	震災復興計画の具現化に向けて東日本大震災復興交付金事業として避難道路を築造し沿岸部の集落から迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。また、被災地と防災拠点及び緊急輸送路線等を結ぶ道路築造を行い防災道路ネットワークの構築を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	根廻・磯崎線道路整備事業 (磯崎側)(復興交付金)	A	4. 7	3. 7	JR仙石線こ線橋前後の避難道路整備工事を実施し、事業の進捗が図られた。					
	根廻磯崎線道路整備事業 (根廻側)	A	5. 0	3. 7	道路築造工事等を実施すると共に警察との協議を進め、事業の進捗が図られた。					
実績	【根廻・磯崎線道路整備事業(磯崎側)(復興交付金)】 (東日本大震災復興交付金) JR仙石線こ線橋工事をJR東日本へ委託し実施した。また、避難道路築造工事、県道交差点排水構造物改良工事及び附帯工事を実施した。									
	(繰越明許費)									
	1 委託料								1, 868, 900 円	
	・ 町道根廻・磯崎線高城こ線橋新設工事建物等事後調査業務委託							1, 868, 900 円		
	2 工事請負費								85, 505, 200 円	
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備その2工事 施工延長 L=118m、盛土工 V=1, 050m ³ 、U型側溝工 L=172m							34, 623, 600 円		
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路舗装工事 施工延長 L=483m、車道舗装工 A=1, 606m ³							49, 580, 300 円		
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路附帯その2工事 目隠しフェンス設置 L=18m、防草シート設置 A=99m ²							1, 301, 300 円		
	3 補償金								138, 373 円	
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路高城こ線橋新設工事建物等補償金							138, 373 円		
	【根廻・磯崎線道路整備事業(根廻側)】 (社会資本整備総合交付金) 道路築造工事を実施するとともに、工事に伴う支障物の物件移転補償を行った。									
	(繰越明許費)									
	1 委託料								3, 218, 600 円	
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備用地測量業務委託							1, 568, 600 円		
	・ 松島運動公園都市公園台帳修正業務委託							1, 650, 000 円		
	(次頁へ続く)									

8 款	5 項	5 目																								
実績	2	工事請負費	234,104,595 円																							
		・町道根廻・磯崎線国道45号交差点改良工事 (前払金)	48,400,000 円																							
		・町道根廻・磯崎線国道45号情報ボックス移設工事 (出来高払金)	10,528,555 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備工事 施工延長 L=1,200m、切土工 V=108,000m³、盛土工 V=64,700m³	101,696,040 円																							
		・町道根廻・磯崎線舗装整備工事 施工延長 L=960m、車道舗装工 A=7,730m²	73,480,000 円																							
	3	公有財産購入費	2,021,729 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）土地購入費	1,401,416 円																							
		・松島運動公園用地付け替え事業土地購入費	620,313 円																							
	4	補償金	7,353,160 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）物件等移転補償金	2,957,677 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）架空配電線路など移転工事補償金	433,958 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）水道管移設補償金	3,961,525 円																							
		(事故繰越費)																								
	5	工事請負費	378,965,520 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備工事 道路整備工 L=1,200m	378,965,520 円																							
	6	補償金	32,092,636 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）電線移設工事補償金	762,486 円																							
		・町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）水道管移設補償金	31,330,150 円																							
	道路整備工事進捗状況 (令和2年度末現在)																									
	<table><tr><th rowspan="2">事業名</th><th>全体計画</th><th>令和元年度迄整備済</th><th>令和2年度整備済</th><th>整備済累計</th><th rowspan="2">進捗率</th></tr><tr><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th><th>延長 (m)</th></tr><tr><td>町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）</td><td>550</td><td>320</td><td>230</td><td>550</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）</td><td>1,550</td><td>576</td><td>758</td><td>1,334</td><td>86.1%</td></tr></table>				事業名	全体計画	令和元年度迄整備済	令和2年度整備済	整備済累計	進捗率	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）	550	320	230	550	100.0%	町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）	1,550	576	758	1,334	86.1%
	事業名	全体計画	令和元年度迄整備済	令和2年度整備済		整備済累計	進捗率																			
		延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)																					
町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）	550	320	230	550	100.0%																					
町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）	1,550	576	758	1,334	86.1%																					
課題 方向性	町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）については、全体計画延長550mが完成した。平成29年度から実施したJR仙石線のご線橋前後の避難道路について道路整備を実施した。 町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）については、全体計画延長1,550mのうち1,334mが完成している。残りの国道45号交差点改良工事についても、令和3年6月末に完了し、すべての事業が完了した。																									

一 般 会 計

8	款	6	項	1	目	住宅管理費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
	10, 839		10, 566		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
						3, 400	7, 166			
目的	住宅に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅を提供し、町民生活の安定と福祉増進に寄与すること。また、入居者の居住性を確保するため維持管理を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	町営住宅管理経費		B	-	3. 7	町営住宅入居者から要望のあった箇所の修繕を実施し、入居者の生活環境の維持を図った。 また、愛宕町営住宅については、空き家を解体し衛生環境向上に努めた。				
実績	【町営住宅管理経費】									
	町営住宅（156戸77棟） 災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理									
	1 需用費（修繕料）									
	・住宅別修繕内訳									
	住宅名	設置年数	修 繕 内 訳				金 額			
	愛 宕	S39～43	外壁、瓦屋根				81, 400 円			
	上初原	S42～45	床、浴室、水栓、建具				440, 143 円			
	幡 谷	S42	外壁、台所				49, 500 円			
	小石浜	S45	浴室、トイレ、電気設備				96, 250 円			
	高 城	S56～57 H7	浴室、水栓、便器、排水管、床、電気設備、給湯器、建具				2, 771, 334 円			
	災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	給湯器、電気設備				60, 724 円			
	合 計						3, 499, 351 円			
	2 役務費（火災保険料）									
	470, 535 円									
	・町営住宅火災共済（208戸）									
3 委託料										
1, 306, 800 円										
・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回）										
34, 100 円										
・町営住宅除草業務委託（年2回）										
601, 700 円										
・町営住宅高城団地污水管渠清掃業務委託（年1回）										
176, 000 円										
・町営住宅高城団地定期調査業務委託										
495, 000 円										
4 工事請負費										
・愛宕町営住宅解体工事（4棟解体）										
3, 795, 000 円										
(次頁へ続く)										

5 町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	住宅使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
愛 宕	11	747,600	747,600	0	100.0%	
上初原	50	2,088,500	2,088,500	0	100.0%	
幡 谷	10	313,200	313,200	0	100.0%	
小石浜	7	162,200	162,200	0	100.0%	
高 城	78	19,796,600	19,646,800	149,800	99.2%	
災害公営住宅 華園・美映の丘	52	14,317,800	13,181,300	1,136,500	92.1%	
現年度分	208	37,425,900	36,139,600	1,286,300	96.6%	
滞納繰越分		3,553,107	179,450	3,373,657	5.1%	
合 計		40,979,007	36,319,050	4,659,957	88.6%	

実績

6 町営住宅駐車場利用数及び駐車場使用料徴収状況

住宅名	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
高城現年度分	39	923,200	923,200	0	100.0%	
合 計		923,200	923,200	0	100.0%	

7 町営住宅敷金会計別状況

	戸 数 (戸)	金 額 (円)	備 考
一般会計分	77	2,082,600	4世帯退居 ▲120,600円
歳計外現金分	54	2,303,340	4世帯退去 ▲ 94,170円 4世帯入居 202,500円
合 計	131	4,385,940	

課題
方向性

町営住宅の建築年数経過に伴い修繕箇所も増加傾向にあるが、軽微な修繕は直営で行い経費を抑えながら、入居者の居住性確保のため適切に維持管理を行っていく。
また、今後について社会情勢を見ながら住宅ストック数を検討する必要がある。
町営住宅使用料については、滞納者と納付折衝の機会を多くし滞納額の縮減を目指していく。

一 般 会 計

8	款	6	項	2	目	木造住宅等震災対策事業費				
担当部署名				建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,259		3,259		1,484	642			1,133	
目的	昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対し耐震化の促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での住宅倒壊を最小限に抑えるための助成を行う。 また、通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却・設置に対し助成を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	木造住宅等震災対策事業		A	3.7	3.7	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業、並びに危険ブロック塀等除却助成事業について事業の推進に努め震災対策を図った。				
実績	【木造住宅等震災対策事業】									
	1 木造住宅耐震診断助成事業業務委託									
	・ 事業概要		町が耐震診断士を派遣して耐震一般診断及び耐震改修計画の作成をすることにより、住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。							
	・ 実績		4件（耐震性あり 0件・耐震性なし 4件） 【国1/2・県1/4の補助あり】							
	2 木造住宅耐震改修工事助成事業補助金									
	・ 事業概要		大規模地震による住宅被害を減ずるために、町内にある木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は同じ場所で建替工事を実施する場合に補助金を交付するもの。							
	・ 交付実績		2件（耐震改修工事 1件、建替工事 1件） 【国2/5・県1/5の補助あり】							
	3 危険ブロック塀等除却事業補助金									
	・ 事業概要		通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付するもの。							
	・ 交付実績		3件（除却事業 3件・設置事業 3件） 【国1/2の補助あり】							
課題 方向性	木造住宅の耐震化及び危険ブロック塀等除却の実施に当たっては、所有者の経済的負担や高齢化問題等もあり、大幅な事業進捗は難しい状況となっている。 地震防災対策は生命の安全面からも必要な事業であるため、今後も耐震助成事業の活用を促していく。									

一般會計

8	款	6	項	3	目	住宅環境整備費					(単位:千円)
担当部署名						企画調整課					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,048		2,048					2,000	48		
目的	東日本大震災により地盤沈下の影響を強く受けている沿岸部で浸水の恐れがある地域の浸水被害対策の促進と、被災した宅地等所有者の生活再建の負担軽減を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	住宅環境整備費		B	-	3.3	松島町宅地かさ上げ等事業費補助金及び松島町津波被災住宅再建支援事業補助金（宅地かさ上げ分）を活用し、被災した住宅所有者の住宅再建に係る負担軽減に寄与することができた。					
実績	【住宅環境整備費】										
	1 松島町宅地かさ上げ等事業費補助金										
	交付世帯数 町内 2世帯 6人 町外 0世帯 0人 2,000,000 円										
	交付状況										
	地 区	交付件数	うち盛土		うち基礎かさ上げ						
	手樽	1件	1件		0件						
	磯崎	1件	0件		1件						
課題 方向性	本事業の財源のひとつとなっている東日本大震災復興基金交付金（津波被災住宅再建支援分）制度については、令和2年度末で終了したことから、基金の余剰金について適切に取り扱うこととする。										

一 般 会 計

9 款	1 項	1 目	非常備消防費						
担当部署名			総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	40,664	35,978		12,194	1,800	1,388	20,596		
目的	住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、防災関係機関等との連携強化、情報共有、資機材等の充実を図り、消防防災活動に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	消防団活動運営経費	B	-	4.3	消防団活動を安全かつ円滑に行うため、耐切創性手袋、防塵マスク、保護ゴーグルを配備し、消防団装備品の充実を図ることができた。				
	出初式関係経費	C	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出初式は中止したが、団本部及び各分団長出席の下、無火災祈願を実施した。				
	消防団訓練経費	A	4.0	3.7	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため団全体の各種訓練は中止としたが、火災や地震等災害時においては、昨年まで実施してきた訓練の成果を発揮し、人的被害を未然に防ぐことができた。				
	火災予防運動経費	B	-	4.3	10月と3月にそれぞれ秋・春の火災予防運動として、町内全世帯への啓発チラシの配布及び防火査察を実施し、防災意識の啓発を図ることができた。				
	消防施設整備事業	A	5.0	4.7	有事に消防機能が果たせるよう、消防団車両の更新及び背負い式消火水のうの配備並びに消火栓の修繕を行い、消防資機材の充実強化と適正管理を図ることができた。				
	自主防災組織運営経費	A	3.7	3.0	自主防災組織の訓練実施の支援を行い、地域防災力（共助）の強化を図ることができた。				
実績	1 松島町内における火災発生状況 (単位:件)								
		令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年		
	発生件数 (前年比)	4 (1)	3 (△ 1)	4 (△ 2)	6 (3)	3 (△ 1)	4 (△ 4)		
	建物火災	1	1	4	2	1	2		
	林野火災	0	0	0	3	0	0		
	車両火災	1	1	0	0	1	1		
	そ の 他	2	1	0	1	1	1		
	※期間は、各年1月1日から12月31日まで								
	2 消防団員数 208人 (令和2年4月1日現在) 役職: 団長1人・副団長2人・分団長6人・副分団長14人・班長41人・団員144人								
	本 部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団		
3 人	24 人	41 人	52 人	21 人	46 人	21 人			
3 消防団員出場状況									
○ 火災出場					26 人				
○ 警戒出場									
・ 災害警戒 (宮城県沖地震・福島県沖地震警戒)					166 人				
・ 火気警戒 (行事等)					77 人				
○ 火災予防啓発									
・ 春・秋の火災予防運動一斉広報・防火査察及び消防水利点検等					236 人				
○ 無火災祈願					7 人				
(次頁へ続く)									

9	款	1	項	1	目					
実績	4 防火思想啓発事業									
	・ 火災予防運動【秋：令和2年11月9日～11月15日 春：令和3年3月1日～3月7日】 活動内容（消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動【防災行政無線他】）									
	5 災害時の消防団活動状況									
	・ 2月13日～14日 福島県沖地震に係る警戒活動等 延べ 75名									
	・ 3月20日～21日 宮城県沖地震に係る警戒活動等 延べ 91名									
	活動内容（警戒巡回、広報活動）									
	6 車両及び安全装備品等購入（第6分団配備）									
	・ 消防小型動力ポンプ付積載車 9,218,000 円									
	・ 背負い式消火水のう 110個 3,872,000 円									
	・ 消防団用耐切創性手袋 220双 491,260 円									
・ 消防団用保護ゴーグル 220個 459,800 円										
・ 消防団用防塵マスク 220枚 435,600 円										
7 消防施設整備										
・ 手樽字元手樽地内消火栓補修工事負担金(手樽区) 2,658,810 円										
8 自主防災組織育成事業										
・ 自主防災組織訓練運営補助金 90,000 円 （実施団体数 2団体）										
<table><tr><td>訓 練 実 施 地 区</td><td>実施日</td></tr><tr><td>1 初原区</td><td>9 月 13 日</td></tr><tr><td>2 松島区松島一地区</td><td>10 月 25 日</td></tr></table>					訓 練 実 施 地 区	実施日	1 初原区	9 月 13 日	2 松島区松島一地区	10 月 25 日
訓 練 実 施 地 区	実施日									
1 初原区	9 月 13 日									
2 松島区松島一地区	10 月 25 日									
※ 自主防災組織以外の訓練として新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設置運営訓練を各行政区で実施。										
課題 方向性	より多くの消防団員が消防ポンプ操作や資機材の取扱いができるよう、常備消防からの指導を仰ぎながら各種訓練を実施するなど、迅速な消火・災害活動のための対応力向上に努めていく。 また、老朽化した消防車両や消火栓(水利)など各種施設の定期的な更新を図っていく。 自主防災組織については、各自主防災組織の活動(訓練)が活発化するよう育成支援することで、自助、共助による地域防災力の強化を図り、更には結成率向上にも努めていく。									

一 般 会 計

9	款	1	項	2	目	水防費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,058		760			302			458	
目的	大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒・防御し、被害を軽減するため、日頃から水防重点箇所等の確認や陸開などの水防施設の点検を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	水防活動経費		B	-	3.0	毎月の陸開点検による、水防施設の設置箇所及び操作方法の確認や、河川の重要水防合同巡視を関係機関で行うことにより、水防施設の適正管理と、水防活動の強化を図ることができた。				
実績	【水防活動経費】									
	1 漁港・海岸・河川の陸開点検【毎月1回】 延べ 164人 対象箇所： ○松島区【15箇所】（第1分団） ○高城区【 6箇所】（第2分団）（河川） ○磯崎区【 6箇所】（第3分団） ○手樽区【23箇所】（第3分団） ※復興事業による工事箇所は現状把握を兼ねた確認作業を実施 2 河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視 目 的： 台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。 実 施 日： 令和2年6月9日（火） 巡視箇所： ① 吉田川右岸 7.2km付近 重要水防箇所（R2災害復旧箇所） ② 吉田川右岸 8.2km付近 重要水防箇所（R1法尻補強箇所） ③ 吉田川右岸 12.6km付近 重要水防箇所、重点監視区間 参 加 者： 22名 北上川下流河川事務所【河川管理者】 8名 各行政区代表（北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長） 4名 水防団【消防団】（第5分団長、第6分団長） 2名 松島消防署（署長） 1名 宮城県（仙台土木事務所） 2名 町 （町長、総務課、産業観光課、建設課） 5名									
課題 方向性	港湾、漁港、農地海岸などにおける防潮堤門扉が、東日本大震災からの復旧・復興事業により更新された。有事の際、開閉作業に支障を来さないよう、事前に所管毎の合同巡視など、関係機関と連携していく。 更には、洪水時に使用する水防資機材の充実を図っていく。									

一 般 会 計

9 款	1 項	3 目	災害対策費							
担当部署名		総務課環境防災班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	23, 285	21, 559				6, 644	14, 915			
目的	地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓蒙活動や訓練をととして防災意識の高揚を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	防災会議運営経費	C	-	-	地域防災計画見直しに向けて防災会議を開催し、地域 防災計画見直しに係る提案内容、近年の課題等の共有が 図られた。					
	防災行政無線関係経費	A	4. 0	3. 0	防災情報通信機器の保守等を実施し、災害時の情報伝 達や情報収集を効率的に行うことで、災害対応力の強化 を図ることができた。					
	防災訓練経費	B	-	3. 0	実効性のある訓練ができるよう、総合防災訓練の準備 を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中 止となった。					
	災害応急対策経費	C	-	-	災害対応にあたった職員に対し、手当等を支払った。					
	災害対策経費	A	4. 7	3. 7	情報技術が高度化し、行政から住民への災害時におけ る情報伝達手段の多様化が求められていることから、登 録制メールやSNS等を活用した避難情報等の発信に努めた ことによって、迅速な情報提供を行うことができた。					
	地域防災計画見直し関係 経費	A	4. 7	3. 3	法改正や上位計画、ガイドライン等と整合性を図り、 地域防災計画の実効性を確保することができた。					
実績	1 地域防災計画見直しに係る防災会議の実施									
	実 施 日 : 令和2年10月26日 (月) ・ 令和3年3月29日 (月) 【書面開催】									
	2 委 員									
	No	委員区分	委 員							
	1	会長	松島町長							
	2	町長部局	松島町 副町長							
	3	教育部局	松島町 教育委員会 教育長							
	4	指定地方行政機関	北上川下流河川事務所長							
	5	指定地方行政機関	仙台河川国道事務所長							
	6	宮城県	宮城県仙台保健福祉事務所長							
	7	宮城県	宮城県仙台土木事務所長							
	8	宮城県	宮城県仙台地方振興事務所長							
	9	警察	宮城県塩釜警察署長							
	10	消防	塩釜地区消防事務組合消防本部消防長							
	11	松島町消防団	松島町消防団 団長							
	12	防災上の必要性	宮城海上保安部長							
	13	防災上の必要性	公益社団法人 宮城県塩釜医師会 理事							
	14	防災上の必要性	松島町自主防災組織 (初原区自主防災組織代表)							
	15	指定地方公共機関	日本郵政事業株式会社 松島郵便局長							
16	指定地方公共機関	東日本旅客鉄道株式会社 松島海岸駅長								
17	指定地方公共機関	東北電力ネットワーク株式会社 塩釜電力センター所長								
18	指定地方公共機関	東日本電信電話株式会社 宮城事業部 災害対策室長								
(次頁へ続く)										

(次頁へ続く)

9	款	1	項	3	目
実績	2 防災行政無線・全国瞬時警報システム(J-ALERT) ・親局 1箇所 (松島町役場) ・遠隔操作卓 2箇所 (松島消防署・石田沢防災センター) ・屋外拡声子局 38箇所 (町内各所) ・施設スピーカー連動 2箇所 (松島海岸レストハウス・石田沢防災センター) ※全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動 3 委託料 ・防災行政無線等施設保守点検業務委託 4,400,000 円 ・地域防災計画見直し業務委託 ※繰越明許費 4,050,000 円 4 備品購入費 ・防災行政無線戸別受信機等備品購入 (140台) 6,644,000 円 5 安心安全メール配信状況 ・登録件数(令和3年3月31日現在) 2,587 件 ・配信件数 85 件 - 防災情報 31 件 (災害:7件・訓練:8件・防災無線放送内容:16件) - 防犯情報 8 件 (不審者:4件・特殊詐欺等:4件) - 交通情報 7 件 (町民バス:6件・交通安全啓発:1件) - 生活情報 39 件 (熊:9件・その他:30件)				
課題 方向性	自然災害が常襲化、激甚化している状況を踏まえ、継続して住民参加型の総合防災訓練を実施し、防災意識の向上に努め、防災関係機関との相互連携の強化を図る必要がある。 また、防災訓練の他にも身の安全を守る方法や災害リスクを考える機会をつくるため積極的な広報活動を行う必要がある。 情報技術が高度化し、行政から住民への災害時における情報伝達手段の多様化が求められていることから、今後も継続して登録制メールやSNS等を活用した避難情報等の発信に努める。				

一 般 会 計

9 款	1 項	4 目	避難施設管理費					(単位:千円)
担当部署名		総務課環境防災班						
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
	19,566	17,855	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
						2,445	15,410	
目的	避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。 また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を計画的に購入し充足させるとともに、防災関連施設の維持管理に努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	松島地区復興まちづくり 拠点施設維持管理費	C	-	-	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、適切な管理を行うことができた。			
	手樽地区復興まちづくり 拠点施設管理費	C	-	-	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、適切な管理を行うことができた。			
	松島地区等避難施設管理 費	C	-	-	避難施設（8施設）について、災害時に避難者を受け入れ出来るよう適切な管理を行うことができた。			
	東浜避難場所管理費	C	-	-	災害時に緊急避難場所としての機能を果たせるよう、業務委託（草刈及び倒木処理）により適切な管理を行うことができた。			
	備蓄倉庫管理費	B	-	3.0	災害時の避難者に対して提供する食料品、飲料水及び感染症対策用の衛生用品、更には災害時の避難所で使用する資機材などを計画的に購入し、備蓄品を充足することができた。			
	高城津波避難施設管理経 費	B	-	3.0	災害時に避難者を受け入れ出来るよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。			
	石田沢防災まちづくり拠 点施設管理費	B	-	3.0	防災まちづくり拠点施設及び避難施設として避難者を受け入れ出来るよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。			
	自家発電装置整備管理費	C	-	-	災害時に停電となった状況において、最小限の電力を確保し、避難生活等に支障がでないよう、適切な管理を行うことができた。			
実績	1 災害時用備蓄品購入事業							
	○ 消耗品類							
	・ 災害時用備蓄食料品購入					804,100 円		
	アルファ米					1,500 食		
	ビスケット					3,000 食		
	飲料水（500ml）					2,400 本		
	・ 災害時用資機材					687,727 円		
	ハンドソープ					220 本		
	ペーパータオル					22,000 枚		
	使い捨て手袋（ニトリル製）					11,000 枚		
	使い捨て手袋（ポリエチレン製）					11,000 枚		
	サージカルマスク					5,000 枚		
	○ 備品購入費					490,050 円		
	毛布					180 枚		
	避難所用マット					6 枚		
	(次頁へ続く)							

(次頁へ続く)

9 款	1 項	4 目																				
実績	2 委託料																					
	・ 避難施設指定管理業務委託（10施設）	3,062,196 円																				
	・ 高城避難所機械警備業務委託	620,400 円																				
	・ 石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託	715,000 円																				
	・ 石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託	397,115 円																				
	・ 石田沢防災センター機械警備業務委託	290,400 円																				
	・ 石田沢防災センター清掃業務委託	682,000 円																				
	・ 石田沢防災センター草刈業務委託（年3回）	643,500 円																				
	・ 石田沢防災センター自家用電気工作物保守点検業務委託	192,095 円																				
	・ 石田沢防災センター消防設備保守点検業務委託	123,326 円																				
	・ 石田沢防災センター調整池等草刈業務委託	275,000 円																				
	・ 石田沢防災センター駐車場除雪業務委託	99,000 円																				
	・ 石田沢防災センター危険樹木伐採業務委託	209,000 円																				
	・ 石田沢防災センター他施設管理業務委託	2,634,382 円																				
	・ 東浜避難場所倒木処理他業務委託	407,000 円																				
	・ 東浜避難場所草刈業務委託（年3回）	247,500 円																				
	3 負担金補助及び交付金																					
	・ 高城避難所維持管理負担金 （清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検）	1,100,880 円																				
	・ 高城避難所防火設備点検負担金	66,000 円																				
	・ 高城避難所昇降機機能維持修理負担金	50,160 円																				
	4 石田沢防災センター利用状況																					
	<table><tr><th>年度</th><th>令和2年度</th><th>令和元年度</th><th>平成30年度</th></tr><tr><td>内訳</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>駐車場利用台数</td><td>4,947 台</td><td>12,236 台</td><td>13,522 台</td></tr><tr><td>防災まちづくりセンター棟 利用者数</td><td>1,272 人</td><td>5,485 人</td><td>6,763 人</td></tr><tr><td>会議室棟利用者数</td><td>602 人</td><td>1,886 人</td><td>2,119 人</td></tr></table>	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	内訳				駐車場利用台数	4,947 台	12,236 台	13,522 台	防災まちづくりセンター棟 利用者数	1,272 人	5,485 人	6,763 人	会議室棟利用者数	602 人	1,886 人	2,119 人	
	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																		
	内訳																					
	駐車場利用台数	4,947 台	12,236 台	13,522 台																		
	防災まちづくりセンター棟 利用者数	1,272 人	5,485 人	6,763 人																		
	会議室棟利用者数	602 人	1,886 人	2,119 人																		
	5 高城避難所利用者数																					
	<table><tr><th>年度</th><th>令和2年度</th><th>令和元年度</th><th>平成30年度</th></tr><tr><td>内訳</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>多目的室利用者数</td><td>396 人</td><td>1,370 人</td><td>1,316 人</td></tr></table>	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	内訳				多目的室利用者数	396 人	1,370 人	1,316 人									
	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度																		
内訳																						
多目的室利用者数	396 人	1,370 人	1,316 人																			
課題 方向性	現在、業務委託により高城避難所及び石田沢防災センターの管理を実施しているものの、有効活用並びに管理手法についての検討が必要である。																					

一 般 会 計

10 款	1 項	2 目	事務局費												
担当部署名			教育課学校教育班											(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
	110, 592		108, 072		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
					4, 302		1	103, 769							
目的 児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせることを目標とする。															
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果									
	事務局運営経費		B	-	3. 7	教育指導専門員を任用し、学校等の指導を行った。□									
	子供安全対策事業		B	-	3. 0	スクールガードリーダーを配置し、週2回の見守り活動を実施し、小学校の登下校時における安全確保が図られた。（長期休暇時等を除く）年間計80回									
	学び支援センター事業		A	3. 3	3. 3	各小・中学校の放課後を利用し、学び支援事業を継続実施した。学び支援としての事業は令和2年度で終了となった。									
	外国青年招致事業		B	-	3. 3	外国語指導助手（ALT）を小学校、中学校、幼稚園、保育所等へ派遣し、国際教育の機会を増やすことで、外国語及び外国文化に慣れ親しむ国際理解教育一助となった。									
	心のケア・不登校対策事業		B	-	3. 3	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が抱える諸問題に対し、面談や教職員等とのケース会議等を通して、児童生徒の置かれている様々な環境への働きかけや関係機関等との連携・調整を行った。									
	心のケアハウス事業		B	-	3. 0	心理的要因等により不登校（傾向含む。）となっている児童生徒やその保護者に対し、教育相談、生活相談及び学習支援等を通して、児童生徒の自立及び学校生活への自発的な復帰に向けた支援を行った。									
実績	小中連携英語教育推進事業		B	-	3. 0	小学校・中学校の教員同士が、それぞれの指導法を理解し、学びの連続性を考えたプログラムの作成に取り組んだ。全小中学校において研究授業を実施した。									
	【子供安全対策事業】 （スクールガードリーダーの配置） 児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動の実施 1名（活動回数 80回にかかる報償）480, 000 円														
	【外国青年招致事業】 （外国語指導助手（ALT）事業） ○ 年間指導実績（単位:延べ日数）														
	学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	松島第一小学校	0	0	9	8	4	8	9	7	8	7	7	7	74	
	松島第二小学校	0	0	9	8	6	7	8	8	7	6	7	7	73	
	松島第五小学校	0	0	9	7	5	9	7	8	7	6	8	7	73	
	小計	0	0	27	23	15	24	24	23	22	19	22	21	220	
	松島中学校	0	0	12	12	6	13	14	12	11	11	11	9	111	
	総計	0	0	39	35	21	37	38	35	33	30	33	30	331	
※ 上記の学校教育活動の他、幼稚園に計24回、保育所に計21回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。															
(次頁へ続く)															

【学び支援センター事業】

(県補助事業 学び支援コーディネーター等配置事業)

○年間利用者数及び開設日数 上段：延べ利用者数(単位：人) 下段：開設日数(単位：日)

学校名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	R2	0	0	0	0	0	0	23	22	8	20	22	25	120
		0	0	0	0	0	0	3	3	1	3	3	2	15
	R1	0	39	124	111	214	96	27	116	69	65	68	0	929
		0	2	8	6	5	8	2	8	6	7	7	0	59
松島第二小学校	R2	0	0	0	0	0	0	51	46	52	40	50	32	271
		0	0	0	0	0	0	3	3	3	2	3	2	16
	R1	0	292	385	395	96	430	492	487	383	465	495	0	3,920
		0	14	16	18	4	17	17	17	16	15	16	0	150
松島第五小学校	R2	0	0	0	0	0	0	67	61	22	62	54	62	328
		0	0	0	0	0	0	3	2	1	3	2	3	14
	R1	0	41	178	182	79	123	202	160	60	226	242	0	1,493
		0	2	7	7	6	5	7	6	2	7	8	0	57
松島中学校	R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R1	0	0	96	253	0	0	0	30	0	0	0	0	379
		0	0	5	5	0	0	0	3	0	0	0	0	13
計	R2	0	0	0	0	0	0	141	129	82	122	126	119	719
		0	0	0	0	0	0	9	8	5	8	8	7	45
	R1	0	372	783	941	389	649	721	793	512	756	805	0	6,721
		0	18	36	36	15	30	26	34	24	29	31	0	279

【心のケア・不登校対策事業】

(県委託事業 スクールソーシャルワーカー活用事業)

- ・SSW活動にかかる報償 (24回)
- ・SSWとして雇用した実人数 1人

440,190 円

実績

- ・年間勤務時間数及び年間勤務日数

年間勤務時間数	83.0 時間
年間勤務日数	24.0 日
平均勤務時間数	3.5 時間／日

- ・訪問活動の回数

学校	27 回
家庭	0 回
教育委員会	9 回
その他関係機関	16 回

- ・ケース会議の開催状況

①教職員等とのケース会議

開催回数	9 回
ケース件数	6 件
参加教職員数	30 人
参加関係機関の人数	0 人

②関係機関等とのケース会議

開催回数	9 回
ケース件数	12 件
参加教職員数	0 人
参加関係機関の人数	6 人

【心のケアハウス事業】

(県補助事業 みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業)

○ 年間活動状況

(単位：延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数(人)	4	1	5	5	3	5	3	8	6	2	3	5	50
保護者支援人数(人)	4	1	7	2	3	4	2	8	3	4	5	4	47
開所日数(日)	3	0	22	21	13	20	22	19	19	17	18	18	192

(次頁へ続く)

10	款	1	項	2	目
----	---	---	---	---	---

実績	【小・中連携英語教育推進事業】	
	推進体制	・「松島町小中連携英語教育推進委員会」を設立し、全5回の会議を実施 ・小中連携英語教育事業の担当教諭（各小中学校）により実務者会議を月1回実施
	実施内容	・「コミュニケーション能力の育成」を研究主題に設定し、各学校において実践授業を実施した。 ・小学校実務者が中学校の英語科の授業を見学し、中学校英語科と系統性を持たせる小学校の外国語活動・外国語科の学びを意識しながら研究を重ねた。 ・研究の成果の発表の場として全小中学校において研究授業を実施した。（9月～11月） ・町内県立高等学校（松島高等学校）との事業間連携を実施した。 ・令和元・2年度の研究の成果について「松島町の研究紀要」として冊子を作成した。
課題 方向性	外国語指導助手（ALT）を学校に配置し、幼児教育から中学生まで全学年において、生きた英語を学ぶ機会をさらに増やしていく。 令和元・2年度と県の指定を受けて実施した小中連携英語教育推進事業の成果を令和3年度以降も英語の授業や松島こども英語ガイド事業に取り入れながら英語教育を実践していく。 心のケアハウス事業については、事業の財源となっている県補助金が令和3年度から補助対象経費の見直しや補助率の引き下げが行われる。本事業は不登校等様々な問題を抱える児童生徒や保護者を支援する存在として今後ますます重要性が増すと考えられるため、継続可能な事業の在り方を検討する。	

一 般 会 計

10 款	2 項	1 目	小学校管理費									
担当部署名			教育課学校教育班						(単位:千円)			
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	55, 525	54, 337		3, 182				51, 155				
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。											
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	第一小学校	B	-	3.0	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。							
	第二小学校	B	-	3.0	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。							
	第五小学校	B	-	3.0	学校施設の維持管理等を実施し、児童の安全・安心な教育環境を維持することができた。							
実績	1 児童数及び学校職員数 (令和2年5月1日現在) (単位:人)											
	学 校 名		児童数	教職員数								
				学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計		
	松島第一小学校		308	24	1	1	0	2	1	29		
	松島第二小学校		143	13	1	1	0	1	1	17		
	松島第五小学校		78	13	1	1	0	1	1	17		
	合計		529	50	3	3	0	4	3	63		
	2 校務用コンピュータ整備状況											
	項目/学校名		整備年度	整備台数								
	松島第一小学校		H29	29台								
	松島第二小学校		R1	17台								
	松島第五小学校		R2	17台								
	合計			63台								
	3 需用費 (修繕料)											
	・ 松島第一小学校		家庭科室コンセント修繕ほか	(17件)	1, 725, 539 円							
・ 松島第二小学校		ホームタンク送油管修繕ほか	(7件)	574, 296 円								
・ 松島第五小学校		足洗場排水管用修繕ほか	(9件)	590, 370 円								
4 工事請負費												
・ 松島第二小学校		体育館LED照明化工事	N=11台	1, 664, 300 円								
・ 松島第五小学校		体育館LED照明化工事	N=12台	1, 647, 800 円								
(次頁へ続く)												

10 款	2 項	1 目
実績	5 備品購入費 (庁用備品) ・松島第一小学校 生徒用机・椅子、冷蔵庫ほか (14 品目、 22 個) 966,460 円 ・松島第二小学校 生徒用机、冷蔵庫ほか (8 品目、 9 個) 1,001,660 円 ・松島第五小学校 ガス給湯器、冷蔵庫ほか (7 品目、 7 個) 509,157 円 (消防備品) ・松島第五小学校 消火器 (2 本) 11,000 円	
	各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要となる学校が多い状況となっている。 学校施設長寿命化計画に基づき、経費の平準化や計画的な維持管理を行い、子ども達の安全確保を図っていく。併せて、環境配慮と経費節減のため、学校体育館のLED照明化事業を継続して実施していく。	

一 般 会 計

10 款	2 項	2 目	教育振興費（小学校）						
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	43,901	41,525	17,415	681		610	22,819		
目的	児童の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の児童の保護者に対し、必要な援助を行う。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	義務教育教材費	B	-	3.0	児童がよりよい環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備が図られた。				
	要保護・準要保護関係経費	B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
	特別支援教育就学奨励経費	B	-	4.0	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。				
	小学校ICT端末整備事業	A	4.0	3.7	GIGAスクール構想のもと小学校の児童生徒に1人1台の端末を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備が図られた。				
	遠隔学習機能強化事業	A	3.7	3.3	リモートで全校集会等を実施するための機器を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備が図られた。				
	GIGAスクールサポーター配置支援事業	A	4.0	3.7	GIGAスクール構想のもと急激なICT環境整備に対応するためソフト面でのサポートを実施し機器の有効的な活用を図った。				
実績	1 教育用コンピュータ整備状況								
	項目／学校名		松一小	松二小	松五小	計			
	賃 貸 借	整備年度	R2	R1	R1	—			
		整備台数	85 台	72 台	43 台	200 台			
		(うちタブレット)	44 台	40 台	20 台	104 台			
	購 入	整備年度	R2			—			
		整備台数 (タブレット)	276 台	131 台	77 台	484 台			
	2 備品購入費								
	(教材備品)								
	・ 松島第一小学校	プログラミング 理科教材ほか	(5 品目、	12 個)	164,274 円				
	・ 松島第二小学校	プログラミング 理科教材ほか	(5 品目、	15 個)	197,274 円				
	・ 松島第五小学校	プログラミング 理科教材ほか	(5 品目、	9 個)	155,925 円				
	(図書備品)								
	・ 松島第一小学校	課題図書、一般図書	(59 冊)	120,528 円					
	・ 松島第二小学校	課題図書、一般図書	(54 冊)	108,862 円					
	・ 松島第五小学校	課題図書、一般図書	(68 冊)	109,874 円					
	(学校ICT整備)								
・ 可動式教育用コンピュータ		(354台)	16,160,100 円						
・ 遠隔学習用カメラ・スピーカーフォン		(3台)	128,700 円						
・ 教育用ディスプレイ		(4台)	552,860 円						
		(内、繰越明許費分	510,000 円)						
(次頁へ続く)									

- 3 委託料
 ・ スクールサポーター配置支援事業
 （可動式教育用コンピュータ導入・運用支援） 1,320,000 円

4 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費

（単位：円）

学校名 該当人員	就学援助費				特別支援 教育就学 奨励費	合計
	松一小	松二小	松五小	小計		
内容(一人当たり限度額)	41 人	17 人	2 人	60 人	8 人	68 人
学用品費 11,630	410,929	156,035	23,260	590,224	45,551	635,775
通学用品費 2,270	68,287	25,915	4,540	98,742	6,621	105,363
校外活動費(泊有) 3,690	11,070	3,690	3,690	18,450	3,690	22,140
校外活動費(泊無) 1,600	34,259	0	0	34,259	1,805	36,064
新入学用品費 51,060	0	0	0	0	51,060	51,060
通学交通費 9,720	0	0	0	0	0	0
修学旅行費 21,890	137,520	37,185	0	174,705	11,048	185,753
医療費 (実費) 0	0	0	0	0	0	0
給食費 (実費) 1,697,157	669,480	95,120	2,461,757	189,380	2,651,137	
入学準備金 51,060	195,020	123,040	0	318,060	0	318,060
支給総額	2,554,242	1,015,345	126,610	3,696,197	309,155	4,005,352

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 小学校全体：就学援助費60人【要保護1人・準要保護（従来要件）46人・準要保護（被災要件）9人・就学予定者4人】
 特別支援教育就学奨励費8人

実績

課題
方向性

教科書改訂や授業内容の充実のため、必要となる教材や備品等を計画的に整備していく。
 また、GIGAスクール構想のもと1人1台端末の整備を行い、今後は、学習ソフトの充実と機器更新を計画的に進めていく。

一 般 会 計

10 款	2 項	3 目	学校保健衛生費（小学校）					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,475	10,762		1,839			217	8,706
目的	学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童及び教職員の健康保持増進に努める。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	就学時健康診断費	B	-	3.0	学校保健安全法に基づき、就学前の児童に各種健康診断を実施した。健康な状態または就学が可能な心身の状態で入学できるように適切な治療勧告や保健上の助言を行った。			
	児童健康診断費	B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童及び教職員の健康保持増進が図られた。			
	その他学校保健衛生経費	B	-	3.0	小学校における児童の健康面や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。			
	感染症のためのマスク等購入支援事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症対策として、必要となるマスク等の保健衛生消耗品を購入し、感染予防とした。			
	学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症による休業後の学校再開に伴い、感染症予防等の徹底及び児童の学習保障をするために必要となる物品を購入することで対策を図った。			
実績	1 教職員検診 (単位:人)							
	項 目			受診者	結果	備考		
	結核検診 (全教職員対象)			53	要精検 1人	※異常なし		
	胃がん検診 (30歳以上希望者)			21		※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。		
	一般健診 (20歳以上希望者)			46	要精検14人	※重篤な疾患なし。		
	2 備品購入費 (保健衛生備品)							
	・ 松島第一小学校		加湿器	(1 品目、 2 個)	27,060 円			
	・ 松島第二小学校		抗菌防臭敷布団	(1 品目、 2 個)	38,060 円			
	3 新型コロナウイルス感染症対策費【学校保健特別対策事業費補助金】							
	事業名	費目	松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校			
感染症のためのマスク等購入支援事業	消耗品費	104,720 円	48,620 円	26,520 円				
学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業		1,517,570 円	1,075,260 円	1,000,042 円				
	消耗品費	100,000 円	100,000 円	99,120 円				
	備品購入費	非接触体温計ほか (8品目、67個) 1,417,570 円	非接触体温計ほか (5品目、54個) 975,260 円	非接触体温計ほか (12品目、46個) 900,922 円				
(次頁へ続く)								

4 児童検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載
(単位：人)

学年 項目			小学校							備考	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
在籍者数			88	75	85	84	90	100	522		
内科	肥満傾向		9	7	10	20	14	24	84	※肥満傾向=軽度肥満以上	
	脊柱・胸郭		0	0	0	0	0	0	0		
	心雑音		0	0	0	2	0	1	3		
	皮膚	アトピー	3	2	1	3	0	1	10		
		その他	0	0	0	0	0	1	1		
	尿	1次所見有り	0	1	0	1	0	3	5		
		2次所見有り	蛋白	0	0	0	0	0	0	0	
			糖	0	0	0	0	0	0	0	
		潜血	0	0	0	0	0	2	2		
	四肢	事前問診所見有り	0	0	0	0	0	0	0		
精密検査		0	0	0	0	0	0	0			
血液（貧血検査）			—	—	—	—	—	0	0	※ 要再検（130mg/dl以上）	
血液（LDLコレステロール）			—	—	—	—	—	14	14		
心電図二次検査			0	1	0	1	0	0	2		
結核	問診 要検討者		0	0	0	0	0	0	0		
	結核対策委員会		0	0	0	0	0	0	0		
眼科	視力矯正0.7未満		2	3	8	10	14	23	60	※裸眼視力1.0未満の割合 小学校 35.5% （県34.2%、国34.1%）	
	アレルギー・結膜炎		12	4	8	3	9	11	47		
	その他（斜視他）		7	5	13	7	9	6	47		
耳鼻科	聴力所見有り		3	1	3	0	1	0	8		
	耳疾患（中耳炎等）		0	5	1	0	2	0	8		
	鼻・副鼻腔疾患等		0	1	4	0	4	0	9		
歯科	健全歯者		35	35	35	31	46	53	235	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町1.00本 （県1.10本、国0.74本）	
	C0所有者		11	2	15	12	19	18	77		
	処置完了者		11	6	13	22	12	29	93		

5 保健教育

	内 容	対 象	日 程
松島第一小学校	スマホ・ケータイ安全教室	6年生	2月17日
松島第二小学校	スマホ・ケータイ安全教室	全学年	9月
	薬物乱用防止教室	6年生	8月26日
	いじめ予防教室	4, 5年生	12月8日
松島第五小学校	家庭学習強調週間	全学年	7月・12月・2月
	飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室	6年生	1月27日

課題
方向性

児童及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。
新型コロナウイルス感染症対策による感染予防・学校休業への対応、保健衛生用品の調達等に今後
も努めていく。
スマホ・ケータイ安全教室、薬物乱用防止等をテーマに各学校の児童を対象に研修を実施した。新
型コロナウイルス感染症により、活動が制限される場面もあったが、感染症対策を実施しながら児
童・保護者が学校・地域・家庭と連携して安全対策を行う一助となったため、今後も継続していく。
各小学校において、コロナによる差別を生まない取組「シトラスリボン運動」を実施し、学校毎に
児童が自ら参画して運動を展開することができた。この成果を今後も継続し、思いやりのある学校づ
くりを推進する。

一 般 会 計

10	款	2	項	4	目	学校建設費（小学校）				(単位:千円)	
担当部署名				教育課学校教育班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	85, 237		48, 216		13, 875		34, 220	121	0		
目的	学校施設の老朽化対策など安全・安心な施設環境の整備を計画的かつ着実に実施するとともに，学校における情報化を推進する。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業		A	3. 7	3. 7	GIGAスクール構想による1人1台端末整備にあわせ小中学校の校内ネットワーク及び電源キャビネットを整備し、校内通信環境の整備が図られた。					
実績	(繰越明許費)										
	1 委託料 ・ 町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備実施設計業務委託 2, 794, 355 円 ・ 町立学校ルータ等設定業務委託 932, 250 円 2 工事請負費 ・ 町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事 44, 352, 096 円 校内LAN設備 一式 充電保管庫 一小 N=13台 二小 N= 7台 五小 N= 7台										
課題 方向性	各学校の現状に応じ、必要な工事を実施して環境整備に努めているが、築年数の経過に伴い大規模な工事が必要になる施設も増加していることから、学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を図っていく。 GIGAスクール構想による1人1台端末の整備と、校内の高速大容量通信ネットワークを一体的に整備した。今後も、学習指導に支障がでることがないようにネットワーク環境の適切な保守・管理を行っていく。										

一 般 会 計

10 款	3 項	1 目	中学校管理費							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	27, 232	24, 275						24, 275		
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	中学校管理経費	B	-	3.0	学校施設の維持管理等を実施し、生徒の安全・安心な教育環境を維持することができた。					
実績	1 生徒数及び学校職員数 (令和2年5月1日現在) (単位:人)									
	学 校 名	生徒数	教職員数							
			学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計	
	松島中学校	271	22	1	1	1	2	1	28	
	2 校務用コンピュータ整備状況									
	項目／学校名		整備年度		整備台数					
	松島中学校		R2		34台					
	3 需用費 (修繕料)									
	・ 松島中学校		給食搬入口照明修繕ほか (14 件)				587, 431 円			
	4 備品購入費 (庁用備品)									
	・ 松島中学校		冷蔵庫		(1 品目、 2 個)				842, 600 円	
(消防備品)										
・ 松島中学校		消火器		(1 本)				6, 010 円		
課題 方向性	必要な維持修繕等を随時実施しているが、建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要な状況となっている。 学校施設長寿命化計画に基づき、維持管理経費の平準化や計画的な維持管理を行い、生徒達の安全確保を図っていく。									

一 般 会 計

10 款	3 項	2 目	教育振興費（中学校）					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	23, 659	22, 456	9, 032	635			12, 789	
目的	生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	義務教育教材経費	B	-	3.0	中学校用教科書改訂に伴う指導用教材など、教育上必要な教材の整備が図られた。			
	要保護・準要保護経費	B	-	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。			
	特別支援教育就学奨励経費	B	-	4.0	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を与え、経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。			
	中学校ICT端末整備事業	A	4.0	3.7	GIGAスクール構想のもと中学校の児童生徒に1人1台の端末を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備が図られた。			
	遠隔学習機能強化事業	A	3.7	3.3	リモートで全校集会等を実施するための機器を整備し、学校の臨時休業等に備えたICT環境の整備が図られた。			
実績	1 教育用コンピュータ整備状況							
	項目／学校名		松島中学校					
	貸 借	整備年度	R1					
		整備台数	42 台					
		(うちタブレット)	0 台					
	購 入	整備年度	R2					
		整備台数 (タブレット)	304 台					
	2 備品購入費							
	(教材備品)							
	・ 松島中学校	CDラジカセ、マグネットシート	(2 品目 、	3 個)	43,010 円			
(図書備品)								
・ 松島中学校	課題図書、一般図書	(133 冊)	206,910 円					
(学校ICT整備)								
・ 可動式教育用コンピュータ	(194 台)	8,856,100 円						
・ 遠隔学習用カメラ・スピーカーフォン	(1 台)	42,900 円						
(次頁へ続く)								

10 款	3 項	2 目
------	-----	-----

3 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級生徒に対する教育扶助費
(単位：円)

内容(一人当たり限度額)	該当人員	就学援助費	特別支援 教育就学 奨励費	合計
		57 人	5 人	62 人
学用品費	22,730	858,056	56,825	914,881
通学用品費	2,270	63,748	3,405	67,153
校外活動費(泊有)	6,210	0	0	0
校外活動費(泊無)	2,310	0	0	0
新入学用品費	60,000	0	60,000	60,000
通学交通費	26,180	123,510	43,870	167,380
修学旅行費	60,910	351,075	15,513	366,588
体育実技用具費(柔道着)	7,570	0	0	0
医療費	(実費)	0	0	0
給食費	(実費)	2,055,240	111,870	2,167,110
入学準備金	60,000	1,026,000	0	1,026,000
支給総額		4,477,629	291,483	4,769,112

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 中学校： 就学援助費57人【要保護1人・準要保護（従来要件）37人・準要保護（被災要件）4人・就学予定者15人】
特別支援教育就学奨励費5人

実績

課題
方向性

教科書改訂や授業内容の充実のため、必要となる教材や備品等を計画的に整備していく。
また、GIGAスクール構想のもと1人1台端末の整備を行い、今後は、学習ソフトの充実と機器更新を計画的に進めていく。

一 般 会 計

10 款	3 項	3 目	学校保健衛生費（中学校）					(単位:千円)	
担当部署名		教育課学校教育班							
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,841	4,242		546			103	3,593	
目的	学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	生徒健康診断経費	B	-	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。				
	その他学校保健衛生経費	B	-	3.0	中学校における生徒の健康面や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。				
	感染症のためのマスク等 購入支援事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症対策として、必要となるマスク等の保健衛生消耗品を購入し、感染予防とした。				
	学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業	A	3.7	3.3	新型コロナウイルス感染症による休業後の学校再開に伴い、感染症予防等の徹底及び生徒の学習保障をするために必要となる物品を購入することで対策を図った。				
実績	1 教職員検診 (単位:人)								
	項 目			受診者	結果	備考			
	結核検診 (全教職員対象)			21	要精検 2人	※異常なし			
	胃がん検診 (30歳以上希望者)			8	要精検 2人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。			
	一般健診 (20歳以上希望者)			20	要精検 3人	※重篤な疾患なし。			
	2 備品購入費								
	(保健衛生備品)								
	・ 松島中学校 布団セット、熱中症指針計 (2 品目、 2 個) 39,050 円								
	3 新型コロナウイルス感染症対策費【学校保健特別対策事業費補助金】								
	(1)感染症のためのマスク等購入支援事業								
	・ 消耗品費 46,070円								
	(2)学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 1,041,708 円								
	・ 消耗品費 99,580円								
	・ 備品購入費 942,128円 (非接触体温計ほか 6品目、57個)								

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

4 生徒検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検、要受診となった人数を掲載
(単位：人)

学年			中学校				備考	
項目			1年	2年	3年	計		
在籍者数			82	95	95	272		
内科		肥満傾向		8	6	8	22	※肥満傾向=軽度肥満以上
		脊柱・胸郭		2	0	0	2	
		心雑音		0	1	1	2	
		皮膚	アトピー		0	0	3	3
	その他		0	0	0	0		
	尿	1次所見有り		0	2	2	4	
		2次所見有り	蛋白	0	1	1	2	
			糖	0	0	0	0	
			潜血	0	1	1	2	
	四肢	事前問診所見有り		3	4	3	10	
精密検査		0	0	0	0			
血液（貧血検査）				1		1	※ 要再検（130mg/dl以上）	
血液（LDLコレステロール）				3		3		
心電図二次検査			2			2		
結核	問診 要検討者		0	0	0	0		
	結核対策委員会		0	0	0	0		
眼科	視力矯正0.7未満		8	14	15	37	※裸眼視力1.0未満の割合 中学校 33.1% （県58.5%、国56.0%）	
	アレルギー結膜炎		0	0	0	0		
	その他（斜視他）		0	0	0	0		
耳鼻科	聴力所見有り		0		0	0		
	耳疾患（中耳炎等）		0		0	0		
	鼻・副鼻腔疾患等		0		2	2		
歯科	健全歯者		48	59	50	157	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町1.00本 （県1.10本、国0.74本）	
	CO所有者		21	23	41	85		
	処置完了者		23	16	24	63		

5 保健教育

	内 容	対 象	日 程
松島中学校	保健講話「歯科」	1, 2年	11月
	薬物乱用防止教室	全学年	7月

課題
方向性

生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。
新型コロナウイルス感染症対策による感染予防・学校休業への対応、保健衛生用品の調達等に今後も努めていく。
薬物乱用防止をテーマに生徒を対象に研修や、町の保健師による歯に関する講話を実施した。新型コロナウイルス感染症により、活動が制限される場面もあったが、感染症対策を実施しながら生徒・保護者が学校・地域・家庭と連携して安全対策を行う一助となったため、今後も継続していく。
中学校において、コロナによる差別を生まない取組「シトラスリボン運動」を実施し、生徒が自ら参画して運動を展開することができた。この成果を今後も継続し、思いやりのある学校づくりを推進する。

一 般 会 計

10 款	3 項	4 目	学校建設費（中学校）					
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	96, 224	49, 061	4, 693		33, 880	47	10, 441	
目的	学校施設の老朽化対策など安全・安心な施設環境の整備を計画的かつ着実に実施するとともに，学校における情報化を推進する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	中学校校舎水道管改修事業	A	3. 6	3. 0	学校施設内の水道管改修設計業務が完了し、事業の進捗が図られた。			
	中学校プール解体事業	A	3. 3	3. 0	施設の老朽化に伴い、プール解体工事を実施し屋外教育施設の環境整備が図られた。			
	町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	A	3. 7	3. 7	GIGAスクール構想による1人1台端末整備にあわせ小中学校の校内ネットワーク及び電源キャビネットを整備し、校内通信環境の整備が図られた。			
実績	1 委託料							
	・ 松島中学校校舎水道管改修設計業務委託					2, 200, 000 円		
	・ 松島中学校プール解体工事建物等事前調査業務委託					1, 650, 000 円		
	2 工事請負費							
	・ 松島中学校プール解体工事 水泳プール解体工 A=756. 00㎡ 付属棟解体工 A= 62. 93㎡					19, 153, 200 円		
	・ 松島中学校屋外教育環境整備工事 ネットフェンス L=50. 0m 防砂ネット L=10. 0m					4, 620, 000 円		
	(繰越明許費)							
	1 委託料							
	・ 町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備実施設計業務委託					1, 055, 645 円		
	・ 町立学校ルータ等設定業務委託					310, 750 円		
	2 工事請負費							
	・ 町立学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事 校内LAN設備一式 充電保管庫 N=10台					19, 997, 904 円		
課題 方向性	学校の現状に応じ、必要な工事を実施して環境整備に努めているが、築年数の経過に伴い大規模な工事が必要な箇所が増えており、学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理を図っていく。 GIGAスクール構想による1人1台端末の整備と、校内の高速大容量通信ネットワークを一体的に整備した。学習指導に支障がでることがないようにネットワーク環境の適切な保守・管理を行っていく。							

一 般 会 計

10 款	4 項	1 目	社会教育総務費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22, 054	20, 903		504			20, 399
目的	松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を家庭・地域・学校との協働により展開し、子供から高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	ジュニア・リーダー育成等研修経費	A	3.7	3.0	例年参加している地域行事や児童館行事等は新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止となり、活動機会が大幅に減少した。なお、次年度以降の活動に向けて定例会や研修会で研鑽を積んだ。		
	女性団体指導者研修経費	A	3.7	3.0	女性の社会促進・連携協力を図るための事業を実施することができた。		
	子ども会育成事業経費	A	4.7	4.3	松島町子ども会育成連合会を通して、各地区の子ども会活動への支援を行うことができた。毎年、開催される「松っ子まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。		
	家庭教育推進事業等経費 (1)地域学校協働活動推進事業に関する事務	A	3.7	3.3	家庭・地域・学校が協働した各種事業を実施することにより、郷土愛の醸成、子供と高齢者の交流を図ることができた。参加者や関係者からの評価、満足度が高い事業となっている。		
	家庭教育推進事業等経費 (2)こころ・はぐくみ隊に関する事務	A	3.3	3.0	創作活動を通して児童の芸術に関する関心・意欲や表現力が向上した。また、異年齢間の交流を通じて社会性や思いやり、我慢強さ、責任感などを育む場が創出できた。		
	芸術文化振興経費	A	4.3	3.0	芸術・文化の振興を図るための事業を実施することができた。また、将来を担う子ども達へ芸術・文化の良さを体感してもらうことができた。		
	青少年健全育成経費	A	3.3	3.7	秋田県にかほ市と交流を行う中学生リーダー研修会並びに町民対象の研修会など新型コロナ感染症拡大防止の観点から、実施を見送った。		
	その他社会教育関係経費 (2)協働による家庭教育・地域活動の推進	A	3.0	3.0	令和2年度は社会教育活動を中心的に担う社会教育主事の育成(資格取得)のための講習への受講が無かったため、計画的に社会教育主事の育成を図っていく。		
	マイクロバス貸出に要する経費	B	-	3.3	学校行事等によりマイクロバスが積極的に活用された。利用の多くは学校行事によるものであるが、社会教育・社会体育での行事に幅広く利用された。		
	社会教育委員経費	B	-	3.7	年4回の会議（内1回書面会議）を開催し、各種社会教育事業に対する貴重な意見を得た。特に地域学校協働活動推進事業については、今後に繋がる評価・検証を得ることができた。		
	その他社会教育関係経費 (1)	C	-	-	社会教育関係事務を円滑に図るため、各種経理、照会・調査等への対応を行った。		
(次頁へ続く)							

【ジュニア・リーダー育成等研修経費】 ※登録者数 40人（令和3年3月末時点） 75,261 円

実施日	内 容	参加人数	場 所
令和2年 6月14日	見学・体験会	16 人	文化観光交流館
令和2年 7月 5日	新入会員交流会	11 人	文化観光交流館
令和2年 9月 6日	初級仮認定研修会	14 人	文化観光交流館
令和2年11月 8日	野外炊飯研修	8 人	野外活動センター
令和2年12月13日	二市三町ジュニア・リーダー交流会	7 人	七ヶ浜町生涯学習センター
令和2年12月20日	クリスマス会	10 人	文化観光交流館
令和2年 2月21日	松島第五小学校6年生を送る会	8 人	松島第五小学校体育館
令和3年3月20～21日	初級研修会	延べ26 人	松島海岸

定例会 5回 参加者数 延べ52人

【女性団体指導者研修経費】 200,000 円

- ・松島町女性団体連絡協議会の運営
（加盟団体数：7団体）

	日時	場所
総会	令和2年 5月	書面開催
役員会	令和2年 4月17日	文化観光交流館
	令和2年 7月 8日	文化観光交流館
	令和2年 9月18日	文化観光交流館
	令和2年12月 9日	高城避難所
	令和3年 2月10日	文化観光交流館
移動研修会	令和2年10月 9日	松島町内

実績 【社会教育団体、社会教育活動の育成・補助事業】

- ・青少年健全育成松島町民会議 200,000 円
 - ・松島町芸術文化協会 29,000 円
 - ・松島町子ども会育成連合会 130,000 円
 - ・松島町PTA連合会 110,000 円
 - ・松島町女性団体連絡協議会 40,000 円
 - ・松島町婦人会 160,000 円
 - ・松島町小・中・高生徒指導連絡協議会 40,000 円
- ※ジョイントコンサート事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【家庭教育推進事業等経費(1)地域学校協働活動推進事業に関する事務】 504,643 円

- 1 「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催）
歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施
小学4年生 : 品井沼干拓学習（2学期） 計 83人参加
・品井沼干拓に関する史跡・施設 計14箇所を見学

小学5年生 : 森林学習（1～3学期） 延べ267人参加
・檀山での見学・チェーンソー体験、松食い虫の講話、木工体験 等

小学6年生 : 歴史出前授業 延べ429人参加
・出前授業「縄文時代の松島」（7月、9月）
・出前授業「瑞巖寺の歴史」（7月、9月）
・瑞巖寺の見学（7月、10月）
・座禅体験（2学期）
・松島海岸付近の史跡見学（松二小、松五小）

（次頁へ続く）

2 「松島町放課後子ども教室」事業

児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアによる見守りを実施

・日常活動：令和2年9月～令和3年2月（各小学校月に約1回 合計18回）

各小学校体育館・校庭・特別教室を利用

参加者数 松一小 延べ154人、松二小 延べ183人、松五小 延べ248人

【家庭教育推進事業等経費(2) ころ・はぐくみ隊に関する事務】

278,062 円

・ころ・はぐくみ隊パート19の実施

小学校低学年(1～3年生)を対象とした創作活動ワークショップ

実施日	テーマ(内容)	参加人数	場 所
令和2年10月 4日	じしゃくくんをつくろう	14 人	手樽地域交流センター
令和2年10月18日	おかいもののおともに	14 人	手樽地域交流センター
令和2年11月 8日	ながーいかみにかいちゃおう	11 人	手樽地域交流センター
令和2年11月29日	へんしんへんしん	14 人	手樽地域交流センター

【芸術文化振興経費】

214,500 円

・宮城県巡回小劇場（演劇公演）の実施

令和2年9月29日 演目：角 いじめっこ姫の物語

松島第一小学校4・5年生94人鑑賞

【青少年健全育成経費】

350,000 円

実績

1 秋田県にかほ市中学生リーダー研修会 中止

2 青少年健全育成講演会 中止

【マイクロバス貸出に要する経費】

1,801,845 円

マイクロバス貸出件数

1 社会教育・社会体育等行事	3 件
2 学校行事	40 件
3 その他（他課事業への貸出等）	2 件

【社会教育委員経費】

166,396 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和2年5月	社会教育団体への補助金の交付について	12人	書面開催
令和2年10月26日	地域学校協働活動推進事業の評価・検証事例紹介『松島まるごと学』	9人	松島町役場
令和2年12月22日	地域学校協働活動推進事業の評価・検証事例紹介『まつしま放課後子ども教室』	9人	文化観光交流館
令和3年 2月24日	地域学校協働活動推進事業の評価・検証	9人	松島町役場

(次頁へ続く)

10 款	4 項	1 目	
実績	【その他社会教育関係経費(1)】 319,608 円 1 社会教育関係研修・会議への参加 18 件		
	課題 方向性 ジュニア・リーダー活動については、継続して高校生から中学生への技術継承の場を設けるなど全体のレベルの底上げを図るとともに魅力ある活動を検討していく。松島町女性団体連絡協議会については、各団体の連携を図れるよう調整を図り活動内容の充実を図る。地域学校協働活動推進事業については、地域・学校・家庭の連携を深め地域ぐるみで学習・交流するための学校と地域の人々や団体等が参画するネットワーク(地域学校協働本部)を形成する必要がある。 こころ・はぐくみ隊については、新型コロナウイルス感染症を踏まえた活動内容等の検討を行い継続して実施していく。宮城県巡回小劇場については、各学校と連携しながら事業をとおして子ども達に芸術に触れる機会をつくり豊かな感受性を育んでいく。青少年健全育成については、青少年の心と体への健全な発展を目指す環境づくりに努める。更には秋田県にかほ市との交流事業であるリーダー研修会の本町開催の実現に向けて取り組む。 社会教育委員の会議については、地域学校協働活動推進事業の評価・検証とともに、本町の社会教育の振興に資するよう調整していく。		

一 般 会 計

10 款	4 項	2 目	公民館費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
	25,544	21,202		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
							117	21,085		
目的	町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	成人教育事業	A	3.3	3.0	モニターやスクリーンを使い、気をつけながらコロナ感染拡大防止対策をして教室を開いた。また、コロナ禍において講師の指導の下、受講者同士が教え合ったり学び合ったりしてお互いの教養を高めた。					
	文化観光交流祭事業	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。					
	成人式典関係経費	B	-	3.3	アトラクションの中止、来賓の縮小など感染症対策を十分に行った上で開催することができた。					
	分館活動経費	A	4.0	3.0	上期は新型コロナウイルスの影響により、事業を自粛していたが、後期は分館毎の状況により事業を開催することができた。					
	公民館一般活動経費	A	3.0	3.0	印刷機の貸出などを実施することで、利用者が利用しやすく、円滑な公民館活動に寄与することができた。					
実績	【成人教育事業】 66,464 円 ・中央公民館教室・講座									
	名 称	内 容				開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数 (回)		
	つまみ細工教室	江戸時代から伝わる日本の工芸、技法であるつまみ細工で髪飾りを作成した。				2月24日	12	1		
	紙粘土細工教室	紙粘土細工講座では、自分だけのカワイイおひなさまの制作をした。				2月26日	16	1		
	御朱印帳教室	表紙をカシューナッツでできた千代紙4種類の中で選び御朱印帳を作成した。				3月 6日	9	1		
	ヨガ教室	勤労青少年ホーム共同企画でヨガ教室を行った。 コロナ禍での気疲れを解消。気持ちの良い呼吸と動きで、身体と心のバランスを改善しましょう。				3月23日	1部12人 2部14人	1		
(次頁へ続く)										

【文化観光交流祭事業】

0 円

新型コロナウイルス感染症の影響により、共催である松島町文化芸術協会と協議の上、中止とした。

【成人式典関係経費】

384,189 円

名 称	内 容	開催日	参加人数
第72回成人式	新成人を祝い、励ますと共に社会人としての自覚を高めることを目的に成人式を開催した。 また、式典は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、アトラクション中止や来賓者の人数を絞ることなどで規模を縮小して開催した。	令和3年 1月10日	新成人出席者 89人

【分館活動経費】

2,426,240 円

コロナ禍の中ではあったが分館毎状況に合わせて、グラウンド・ゴルフ大会等のスポーツイベントや絵手紙展などの地域イベントを開催した。

- ・ 分館数 12 分館
- ・ 松島町公民館分館事業補助金 930 千円

○ 主な分館活動

グラウンド・ゴルフ大会、バザー、新成人お祝い、絵手紙展 等

- ・ 分館長会議開催回数 6 回
- ・ 第60回町民ふれあいスポーツ大会
新型コロナウイルス感染症の影響により、主管である松島町分館長会と協議の上、中止とした。

【公民館一般活動経費】

2,965,073 円

実績

課題
方向性

コロナ禍で健康志向も高まっていることから、気疲れを解消するヨガやストレッチ教室を開催した。アンケート等から受講者のニーズに合った教室・講座を展開していく。

分館活動については、コロナ禍において、地域の実情に応じた分館活動を実施している。中止となった町民ふれあいスポーツ大会や分館長移動研修をはじめ、各分館の事業においてコロナ禍でも実施可能な事業を検討し、分館活動が停滞しないようにする必要がある。

一 般 会 計

10 款	4 項	3 目	文化財保護費							
担当部署名		教育課生涯学習班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	21,528	20,119		259				19,860		
目的	文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	文化財啓蒙普及に要する経費 町所蔵資料の公開・活用に関する業務	A	4.3	3.7	新型コロナウイルス感染症の影響により「松島れきし再発見講座」が開催中止となったため、代替展示を観瀾亭松島博物館で実施した。 更には、利府町・七ヶ浜町と連携した「三町文化財展」を含め、充実した展示公開を行うことができた。					
	文化財調査保存に要する経費 文化財史料整理に関する業務	A	3.7	2.3	基礎資料調査を行うための時間確保ができず作業進捗が低下し、調査整理を予定どおり進めることができなかった。					
	文化財調査保存に要する経費 指定文化財修理管理費補助に関する事務	A	4.0	3.3	瑞巖寺の防災設備整備事業に加え、陽徳院霊屋美観向上整備事業が実施され、国補助事業としての事務指導・助言を行った。					
	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を縮小し、県外でのPR活動も自粛した。認定ガイド養成講座は継続して実施している。					
	品井沼干拓資料館の管理に要する経費	B	-	3.0	町内小学校を含む小学生及び一般向けの資料館利用に対応し、展示の解説を行った。また、展示資料の整理及び解説パネルの見直しを行い、小学生の利用者に分かりやすい展示を心がけた。					
	文化財保護委員会運営経費	B	-	4.3	2回の会議を行い、町の文化財に関する意見を聴取した。					
	文化財啓蒙普及に要する経費 文化財防火デーに関する事務	B	-	3.0	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、文化財防火デーの訓練を中止した。					
	文化財調査保存に要する経費 特別名勝松島現状変更及び埋蔵文化財包蔵地に係る申請等に関する事務	B	-	3.0	特別名勝松島現状変更の申請事務並びに埋蔵文化財包蔵地における開発行為に係る届出事務及び立会等を行い適正な諸手続きが行われるよう努めた。 なお、宮城県文化財保護地区指導員とともに文化財パトロールを実施した。					
	文化財調査保存に要する経費 西の浜貝塚公園管理に関する事務	B	-	3.0	国史跡西の浜貝塚の調査及び維持管理を行った。					
	歴史文化基本構想活用事業	C	-	-	各種講座やガイド依頼の際に、積極的に歴史文化基本構想をPRすることができている。その効果か、行政区単位など地域主体の行事で歴史講座や町歩きを依頼されることも増えてきた。					
(次頁へ続く)										

10	款	4	項	3	目	
実績	【文化財啓蒙普及に要する経費】					280,690 円
	1	文化財防火デーの訓練			新型コロナウイルス感染症対策により中止	
	2	町所蔵資料の公開・活用に関する業務				
		ア)文化財の展示				
		①町民スペース				
		～ 8月 6日	浅井元義原画展			
		8月 7日 ～	松島の太平洋戦争			
		②松島博物館				
		～ 7月 9日	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」展			
		7月10日 ～	9月27日	松島湾三町文化財展		
		10月 2日 ～	11月19日	世界で最も美しい湾クラブパネル展		
		11月21日 ～	1月29日	松島芭蕉祭並びに全国俳句大会		
		1月30日 ～	日本遺産パネル展・れきし再発見講座代替展示			
		③松島湾三町文化財展（利府町、七ヶ浜町と共同）				
		10月 8日 ～	11月29日	瑞巖寺境内遺跡出土木簡	七ヶ浜歴史資料館	
		12月12日 ～	2月14日	松島真景図	利府町郷土資料館	
		イ)出前講座の実施				
		・ 学校向け出前授業・見学学習（松島まると学等）			16 件	延べ 392 人
		・ 一般向け（町内所在の文化財に関する講演、町歩き等）			17 件	514 人
	【文化財調査保存に要する経費】					4,924,155 円
	1	文化財資料整理に関する業務				
		・ 町内石碑調査				31 点
		・ 瑞巖寺境内遺跡出土五輪塔・供養塔整理				93 点
		・ 西の浜貝塚出土資料整理				180 点
	2	指定文化財の保存修理等事業補助				
		・ 瑞巖寺・圓通院・陽徳院維持管理事業補助（自動火災報知設備維持等）			112,000 円	
	3	特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達			219 件	
	4	埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査）			5 箇所	
	5	埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達			16 件	
	6	国指定史跡西の浜貝塚公園管理（公園管理・樹木剪定業務委託料、光熱水費、修繕費）			3,332,665 円	
	【日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」普及啓発事業】					
	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用					
		・ 認定ガイド養成講座			2 回	参加者数 35 人
		・ 紹介パネル展示			2 回	見学者数 2,120 人
	【品井沼干拓資料館の管理に要する経費】					
	1	品井沼干拓遺構・資料館維持管理（穴頭・ずり穴・穴尻草刈業務委託、浄化槽保守点検・清掃、消防施設保守点検、火災保険料、光熱水費含む）			1,050,834 円	
	2	品井沼干拓資料館の利用（町内小学校も含む）			27 件	429 人
(次頁へ続く)						

（次頁へ続く）

	【文化財保護委員会運営経費】											
	文化財保護委員会の開催	56,684 円										
	<table><tr><th>実施日</th><th>主な協議事項</th><th>出席委員数</th><th>場 所</th></tr><tr><td>令和2年6月8日</td><td>現地視察（高城一里塚・解脱院）</td><td>6人</td><td>役場会議室</td></tr><tr><td>令和3年3月22日</td><td>・令和2年度事業報告 ・現地視察 陽徳院霊屋美観向上整備事業</td><td>6人</td><td>松島町役場</td></tr></table>	実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所	令和2年6月8日	現地視察（高城一里塚・解脱院）	6人	役場会議室	令和3年3月22日	・令和2年度事業報告 ・現地視察 陽徳院霊屋美観向上整備事業	6人
実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所									
令和2年6月8日	現地視察（高城一里塚・解脱院）	6人	役場会議室									
令和3年3月22日	・令和2年度事業報告 ・現地視察 陽徳院霊屋美観向上整備事業	6人	松島町役場									
実績												
課題 方向性	文化財の展示公開については産業観光課と連携し年間計画を立て、効果的な展示替えを行うことができた。展示場所や資料の収蔵スペースのモニタリング結果（温湿度等）は、資料保存に不適切な状態であるため、環境改善のための対策を模索検討する必要がある。 文化財資料については、本来であれば調査整理に人員を配置する必要があるが、現状の手法では全数の調査終了までに多くの時間を要する。 腐朽・老朽化等により改修が必要な文化財もあり、現在進行している各種国庫補助事業に関する書類の作成等についても指導助言を積極的に実施するよう努める。 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」については、PR活動が思うようにできなかったが、今後はSNSの効果的な活用を含め、関係自治体との連携を図っていく。 品井沼干拓資料館については、主な利用者である小学校4年生に標準を合わせた展示になるよう引き続き展示内容の見直しを行う。 特別名勝松島及び埋蔵文化財包蔵地の開発に係る事務については、申請件数が震災以降と同様に増加したままであることから、申請・届出者の不利益を生じないよう、効率的な運用を図っていく。併せて今特別名勝松島保存管理計画改訂についても、地域住民の声を反映できるよう県と協議して進めていく。 西の浜貝塚公園の維持管理業務については、今後とも周辺住民のニーズに合わせるとともに優先度を見極めた管理を行っていく。 歴史文化基本構想策定から3年が経過し、個別の文化財保存活用計画の策定など次の段階に向けて具体的な検討に入っていく必要がある。											

10 款	4 項	4 目	町民の森費						
担当部署名			中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,416	13,403				81	13,322		
目的	民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	町民の森維持管理経費	A	3.3	3.3	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少しているが、コロナ禍でもアウトドアブームは続いており、町内利用者を中心に増えてきている。				
	町民の森運営経費	A	3.7	3.0	長松園まつり事業については、実行委員会の協力により規模を縮小して実施し、コロナ禍でも事業を継続することができた。				
実績	【町民の森維持管理経費】								12,600,000 円
	1 指定管理業務委託								
	・ 指定管理料	12,600,000円（令和2年4月から令和3年3月まで）							
	・ 指定管理期間	令和2年4月から令和7年3月まで（5年間）							
	・ 指定管理者	特定非営利活動法人 ウイザス							
	2 利用状況								
	(単位：人)								
		利用者数	内 訳						
			センター ロッジ	テント	多目的 ホール	研修室	円形広場	炊事棟	
	4月	1,113	0	56	0	0	1,057	0	
	5月	234	0	0	0	0	234	0	
	6月	1,128	0	330	0	0	798	0	
	7月	761	0	259	0	0	502	0	
	8月	1,581	0	565	0	0	1,005	11	
	9月	1,363	0	270	0	0	1,078	15	
10月	1,478	18	349	33	33	1,036	9		
11月	1,167	0	291	18	10	838	10		
12月	315	0	30	0	0	285	0		
1月	291	0	0	0	0	291	0		
2月	439	0	0	0	0	439	0		
3月	794	0	179	0	0	615	0		
合計	10,664	18	2,329	51	43	8,178	45		
利用者内訳 町内 3,940 人 町外 6,724 人									
3 指定管理者自主事業									
事 業 名			実 施 日			参加人数			
松島の四季写真コンテスト			12月1日～2月末日			41人			

(次頁へ続く)

10	款	4	項	4	目
実績	【町民の森運営経費】				802,278 円
	・ 補助金 長松園まつり事業補助金				100,000 円
課題 方向性	野外活動センターは、令和2年4月から5箇年の期間で指定管理者を指定している。新型コロナウイルスへの対応、キャンプブームにおける利用者増への施策、施設の老朽化による修繕など指定管理者と情報交換を密に行いながら、利用者の充実した自然体験ができる施設として運営をしていく。				

一 般 会 計

10 款	4 項	5 目	地域交流センター費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	5, 127	4, 397				47	4, 350			
目的	地域活動の拠点施設として、生涯学習の振興と新型コロナウイルス感染拡大防止、町民相互の交流促進に努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	手樽地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染拡大により利用者は減少している。今後の活用方法や建物老朽化対応を検討していく。					
	松島東部地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	新型コロナウイルス感染拡大により体育館は定期的に利用されているが、校舎の利用者が大幅に少ない。今後の活用方法や建物老朽化対応を検討していく。					
実績	1 松島町地域交流センター施設利用一覧表 (単位:人)									
	区分	利用者数	内訳 (手樽地域交流センター)		内訳 (松島東部地域交流センター)					
			センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館			
	4月	37	37	0	0	0	0			
	5月	33	33	0	0	0	0			
	6月	191	103	50	0	0	38			
	7月	169	99	70	0	0	0			
	8月	199	49	60	0	90	0			
	9月	213	113	80	0	20	0			
	10月	346	136	90	0	0	120			
	11月	417	312	77	0	0	28			
	12月	93	79	0	0	0	14			
	1月	101	39	0	0	62	0			
	2月	163	38	0	32	32	61			
	3月	497	63	280	0	0	154			
	合計	2, 459	1, 101	707	32	204	415			
	2 主催事業									
	※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止									
	手樽地域交流センター教室・講座			親子工作教室						
	松島東部地域交流センター教室・講座			陶芸教室						
			そば作り教室							
			手作り教室 (クリスマスお楽しみ料理)							
課題 方向性	両施設ともに、利用者が少ない状況である。 施設の老朽化も進んでいるため、今後の維持管理を計画的に進めていく。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、参加者が安心して受講することができる教室を開催していく。									

一 般 会 計

10 款	5 項	1 目	保健体育総務費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,758	8,824					8,824
目的	町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。 また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域における生涯スポーツの普及と振興を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	スポーツ推進委員経費	A	3.7	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会への運営協力や様々な研修会等が中止となり、活動機会が大きく減少した。		
	スポーツ団体等育成経費	A	3.7	3.3	体育協会へ補助金を交付し、各種スポーツイベント等を通じたスポーツの振興並びに全国・東北大会に出場する対する団体等への助成を行った。		
	東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費	A	4.0	3.3	新型コロナウイルス感染症により東京2020大会が1年延期されたが、聖火リレー開催に向けて宮城県実行委員会に協力を行うとともに、ミニセレブレーションの準備を行った。		
	町民グラウンド管理経費	B	-	3.0	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が前年の3割程度と大きく減少したが、コロナ禍における町民の健康増進と体力向上に寄与することができた。		
	管内社会体育担当者研究協議会経費	B	-	3.0	「生涯スポーツの推進」というテーマで、講話や研修を行ったことで、地域における課題を再確認することができた。		
	社会体育一般経費	B	-	3.0	クイーンズ駅伝の運営協力を行うことで、町民がプロスポーツに身近に触れる機会となった。また、各種スポーツ団体が運営に参画することで、ボランティアの育成が図られた。		
実績	【スポーツ推進委員経費】						152,750 円
	1 心の震災復興・障がい者就労支援グラウンド・ゴルフ大会の運営協力 2 宮城県スポーツ推進委員協議会・仙台管内スポーツ推進委員協議会等の研修会への参加						
	【スポーツ団体等育成経費】 松島町体育協会への補助金の交付						1,870,000 円
	【東京2020オリンピック・パラリンピック大会関連経費】						46,200 円
1 聖火リレー通過を周知する懸垂幕の掲示 2 宮城県実行委員会への聖火リレー実施に向けての協力 3 松島町ミニセレブレーションなどの準備 4 東京2020公式アートポスターの展示							
(次頁へ続く)							

(次頁へ続く)

実績	【町民グラウンド管理経費】																																															
	1	町民グラウンド指定管理料	1,153,971 円																																													
	2	町民グラウンド月別利用状況																																														
	<table><tr><th>区分</th><th>件数（件）</th><th>人数（人）</th></tr><tr><td>4月</td><td>1</td><td>10</td></tr><tr><td>5月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>6月</td><td>29</td><td>735</td></tr><tr><td>7月</td><td>11</td><td>287</td></tr><tr><td>8月</td><td>19</td><td>888</td></tr><tr><td>9月</td><td>34</td><td>869</td></tr><tr><td>10月</td><td>24</td><td>819</td></tr><tr><td>11月</td><td>31</td><td>791</td></tr><tr><td>12月</td><td>9</td><td>297</td></tr><tr><td>1月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>2月</td><td>2</td><td>77</td></tr><tr><td>3月</td><td>15</td><td>535</td></tr><tr><td>計</td><td>175</td><td>5,308</td></tr></table>		区分	件数（件）	人数（人）	4月	1	10	5月	0	0	6月	29	735	7月	11	287	8月	19	888	9月	34	869	10月	24	819	11月	31	791	12月	9	297	1月	0	0	2月	2	77	3月	15	535	計	175	5,308				
	区分	件数（件）	人数（人）																																													
	4月	1	10																																													
	5月	0	0																																													
	6月	29	735																																													
	7月	11	287																																													
	8月	19	888																																													
9月	34	869																																														
10月	24	819																																														
11月	31	791																																														
12月	9	297																																														
1月	0	0																																														
2月	2	77																																														
3月	15	535																																														
計	175	5,308																																														
【管内社会体育担当者研究協議会経費】		4,000 円																																														
研究テーマ 国際交流を通じたスポーツの在り方																																																
・ 会議、研修を年7回開催																																																
・ 令和2年度研究のまとめの編集・発行																																																
【社会体育一般経費】		264,522 円																																														
1 松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）																																																
<table><tr><th colspan="2">学校名</th><th>松島第一小学校</th><th>松島第二小学校</th><th>松島第五小学校</th><th>松島中学校</th><th>合 計</th></tr><tr><td rowspan="2">体 育 館</td><td>利用人数（人）</td><td>2,048</td><td>1,048</td><td>80</td><td>1,996</td><td>5,172</td></tr><tr><td>利用件数（件）</td><td>147</td><td>48</td><td>1</td><td>127</td><td>323</td></tr><tr><td rowspan="2">校 庭</td><td>利用人数（人）</td><td>1,585</td><td>10</td><td>80</td><td>0</td><td>1,675</td></tr><tr><td>利用件数（件）</td><td>75</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>77</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>利用人数（人）</td><td>3,633</td><td>1,058</td><td>160</td><td>1,996</td><td>6,847</td></tr><tr><td>利用件数（件）</td><td>222</td><td>49</td><td>2</td><td>127</td><td>400</td></tr></table>		学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合 計	体 育 館	利用人数（人）	2,048	1,048	80	1,996	5,172	利用件数（件）	147	48	1	127	323	校 庭	利用人数（人）	1,585	10	80	0	1,675	利用件数（件）	75	1	1	0	77	合 計	利用人数（人）	3,633	1,058	160	1,996	6,847	利用件数（件）	222	49	2	127	400	
学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合 計																																										
体 育 館	利用人数（人）	2,048	1,048	80	1,996	5,172																																										
	利用件数（件）	147	48	1	127	323																																										
校 庭	利用人数（人）	1,585	10	80	0	1,675																																										
	利用件数（件）	75	1	1	0	77																																										
合 計	利用人数（人）	3,633	1,058	160	1,996	6,847																																										
	利用件数（件）	222	49	2	127	400																																										
2 クイーンズ駅伝in宮城 第40回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営協力																																																
・ 開催日時：令和2年11月22日 スタート 松島町文化観光交流館前																																																
・ 各スポーツ団体へのコース整理員の協力依頼、大会副賞の提供																																																

課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ推進委員の活動の場が大幅に減少していることから、コロナ禍の状況を考慮した活動内容等の検討を行っていく。 スポーツ団体の育成については継続して支援を行い各種スポーツ団体の活性化に務め、更には東京2020オリンピック聖火リレーの運営協力を求めている。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会関係については、東京オリンピック2020聖火リレーの松島町通過を契機として、オリンピックへ向けた機運醸成と生涯スポーツの推進へとつなげていく。 町民グラウンドについては、指定管理者と連携しながら町民の利用しやすい施設として運営していくとともに、長寿命化計画と合わせて計画的な修繕を行っていく。
-----------	---

一 般 会 計

10 款	5 項	2 目	海洋センター費					
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10, 226	10, 167					24	10, 143
目的	海洋性スポーツ事業を通して相互交流を図るとともに、安全に配慮しながら、誰でも安心して利用できる施設運営を目指す。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	施設管理運営経費	A	3. 3	3. 0	B&G海洋センターの指定管理者である総合型地域スポーツクラブの自主事業により、巡回教室など子供たちが楽しく気軽に運動遊びに親しむ機会の創出に寄与した。 なお、利用人数に関しては、新型コロナウイルス感染症の予防対策等により、大規模なスポーツ事業が中止となり大幅に減少している。			
実績	【施設管理運営経費】							
	1 海洋センター指定管理料						10, 166, 031 円	
							9, 884, 881 円	
	2 海洋センター事業							
	・ マリンスポーツフェスティバル、ウインタースポーツフェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
	3 海洋センター利用人数 (単位:人)							
	区分	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計			
	4月	30	9	16	55			
	5月	0	0	0	0			
	6月	939	69	211	1, 219			
	7月	975	165	242	1, 382			
	8月	740	100	283	1, 123			
	9月	800	124	265	1, 189			
	10月	774	146	271	1, 191			
	11月	784	209	235	1, 228			
	12月	838	123	127	1, 088			
	1月	819	107	200	1, 126			
	2月	926	108	112	1, 146			
	3月	923	173	220	1, 316			
計	8, 548	1, 333	2, 182	12, 063				
課題 方向性	利用者が利用しやすい施設となるよう指定管理者と協力しながら、利用方法の改善や施設の修繕を行っていく。 また、子ども等の運動機会を確保するため、指定管理者と連携を図りながらコロナ禍の状況を考慮した巡回教室やスポーツ体験などの事業を継続的に実施していく。							

一 般 会 計

10 款	5 項	3 目	給食施設費							
担当部署名		学校給食センター							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	116, 107	108, 099		725		49, 877	57, 497			
目的	栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	学校給食センター施設設備更新事業	A	4. 3	3. 0	施設・設備の管理費が増加傾向にあるが、主要な調理機の更新を計画的に行い、併せて修繕等を実施し施設の安全、衛生面での環境整備が図られた。					
	学校給食センター管理運営に要する経費	B	-	3. 3	献立や調理方法を工夫しながら栄養バランスの取れた給食の提供ができた。また、教育委員会のホームページを活用し、学校給食について広く情報を発信することができた。					
	学校給食センター運営審議会に要する経費	B	-	3. 7	学校給食の運営に関する重要事項の調査審議を行う組織であり、給食の運営方針等について審議を実施することができた。					
実績	【学校給食センター施設設備更新事業】									
	1 使用料及び賃借料								4, 234, 164 円	
	・ 厨房機器等リース（浸漬槽付超高压洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクション、オープン連続揚物機、フードスライサー）									
	・ 真空冷却機等リース（真空冷却機、包丁まな板殺菌庫）									
	・ 蒸気回転釜リース									
	2 備品購入費								2, 195, 429 円	
	・ スポットエアコン、デジタル秤、移動配膳台、移動台、ハイテクスパテラ、トレイ、包丁、料理バサミ、ザル、芽取り、食器（お椀）、食缶、スプーン用籠、へら、スノコ									
	3 工事請負費								1, 507, 000 円	
	・ 松島町学校給食センター温水式自動手指洗浄消毒設置工事 ○自動手指洗浄消毒器 1台 ○電気温水器 1台									
	【学校給食センター管理運営に要する経費】									
1 委託料								23, 958, 000 円		
・ 学校給食調理等業務委託 調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務										
(次頁へ続く)										

2 年間給食回数と給食費

区 分	給食人員 (人)	年間給食回数(回) 最多食数	1食当たりの給食費 (円)
幼稚園	98	157 (年少)	260
		157 (年中・年長)	
小学校	525	179	280
中学校	267	173 (1・2年)	330
		159 (3年)	

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年3月に第一小学校が臨時休業となり、2回減となった。

3 食育の推進

- ・ 栄養士による食育指導等
 - 松島第五小学校の一年生を対象に「何でも食べよう」をテーマに食育指導を行った。
 - 毎月の予定献立表・給食日よりや教育委員会のホームページを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。
(平成29年度から教育委員会のホームページに掲載)
- ・ 児童生徒のリクエスト献立の実施
 - 児童生徒を対象に給食で食べたいメニューを募り、給食の献立として提供した。

4 地場産品の利用促進

- ・ 松島産の野菜などの使用
給食メニューとして使用が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に取り入れた。
- ・ 学校給食用野菜等の使用状況
(野菜・主要品目)

品 目	令和元年度			令和2年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	3,151	478	15.2	2,597	185	7.1
白菜	1,079	866	80.3	1,137	801	70.4
大根	1,613	557	34.5	1,425	523	36.7
人参	1,894	0	0.0	1,873	0	0.0
ねぎ	1,280	747	58.4	1,250	830	66.4
キャベツ	1,844	182	9.9	2,138	270	12.6
玉ねぎ	3,056	743	24.3	3,288	242	7.4
きゅうり	1,097	186	17.0	869	33	3.8
合計	15,014	3,759	25.0	14,577	2,884	19.8

(米、その他の町内産使用数量・Kg)

品 目	令和元年度	令和2年度
環境保全米	7,786	8,111
玄米	60	310
トマト	247	266
赤かぼちゃ	175	289
ブルーベリー	10	10
たけのこ	84	20
なす	0	0
いちご	12	0
小松菜	30	0
さつまいも	0	0

(次頁へ続く)

・ 県産牛肉学校給食提供支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、和牛に消費が落ち込んでしまい、生産者を支援するため、宮城県産黒毛和牛を給食のメニューで2回提供した。

- 1回目 11月16日 すき焼き風煮
○2回目 1月29日 ハヤシライス（松島産トマト使用）

5 食物アレルギー対応

- ・ 食物アレルギーの児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の全部停止又は一部停止、詳細献立の提供）を実施した。
全部停止 1人 一部停止（牛乳停止）14人 一部停止（パン） 1人
詳細献立の提供13人

6 学校給食費の収入状況

- ・ 現年度分 単位：円、%

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調 定 額 (A)	51,488,745	45,298,515	49,285,146
収入済額 (B)	50,156,353	43,695,070	47,533,051
不納欠損額 (C)	0	0	0
収入未済額 (A-B-C)	1,332,392	1,603,445	1,752,095
徴収率 (B/A*100)	97.4	96.5	96.4

- ・ 滞納繰越分 単位：円、%

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調 定 額 (A)	9,755,793	9,737,578	9,148,179
収入済額 (B)	1,272,805	1,222,515	1,679,435
不納欠損額 (C)	0	1,034,109	384,018
収入未済額 (A-B-C)	8,482,988	7,480,954	7,084,726
徴収率 (B/A*100)	13.1	12.6	18.4

- （不納欠損処分の件数）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
債権放棄	0	0	0
時効援用	0	9	0
その他	0	0	1
計	0	9	1

【学校給食センター運営審議会に要する経費】

- ・ 学校給食センター運営審議会（年1回） 12月4日 書面開催
（運営委員数 10名）
・ 学校給食担当者会議（1回） 1月22日開催

実績

課題
方向性

学校給食を通して行っている食の重要性や感謝の心などを養う食育を家庭にも推進し、併せて、毎日の給食や給食だよりを教育委員会ホームページを活用して広く情報を提供していく。
給食施設については、設備（機器類・食器類など）の更新や学校給食衛生管理基準に基づき、腸内細菌検査等を行い適切な環境衛生対策及び従事者の安全対策の徹底に努める。
学校給食費の未納対策については、保護者への催告や納付相談などを実施し、徴収率の向上に努める。

一 般 会 計

10 款	6 項	1 目	幼稚園費							
担当部署名		教育課学校教育班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	77,885	75,577		3,044	777		600	71,156		
目的	幼稚園教育方針の趣旨に基づく、「元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	第1幼稚園管理費	B	-	3.0	松島第一幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。					
	第2幼稚園管理費	B	-	3.0	松島第二幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。					
	第5幼稚園管理費	B	-	3.0	松島第五幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。園運営を円滑にするための定期的な職員会議の開催、人材育成のための研修会への積極的な参加を行った。					
	保健診療費	B	-	3.7	生活習慣病予防の早期指導や食育・生活習慣・運動習慣の指導等を実施した。健診結果は各学校保健委員会等で報告し、様々な健康問題について研究協議した。					
	幼保無償化関係事業	B	-	3.0	幼児教育の無償化の実施により、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減するため、市町村の確認を受けた幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費に関して給付費を支払う。					
実績	1 園児数及び教諭数 (令和2年5月1日現在)									
	(単位:人)									
	幼稚園名	定員		園児数		教職員数				
	松島第一幼稚園	70		49		6				
	松島第二幼稚園	40		33		6				
	松島第五幼稚園	40		17		6				
	計	150		99		18				
	※教職員数は、園長・兼務職員・臨時職員を含む									
	2 一時預かり保育事業									
	(単位:人)									
幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由							
松島第一幼稚園	23	44	学校行事(授業参観、懇談会、役員会)、健診、通院等							
松島第二幼稚園	19	68								
松島第五幼稚園	13	59								
計	55	171								
(次頁へ続く)										

3 幼保小等の交流の取組

事業名	内容
親と子の合同学習会	新型コロナウイルス感染症対策として、町内幼稚園毎に園児のみ参加するコンサートを開催
小学校との交流	小学校見学・小学1年生と相互交流を実施
保育所との交流	日常の保育・行事などにおける園児の交流を第二幼稚園と高城分園とで実施
小学校との合同行事	小学校と合同で避難訓練に参加

4 幼稚園教育推進の取組

事業名	内容
体力づくり事業	体づくり運動（スポーツ推進委員）の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	ALTを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進
保護者アンケート	子どもの生活状況、幼稚園の行事や保育に関するアンケート調査を通して、保護者のニーズや教育環境についてのニーズを把握するため実施
巡回支援専門員整備事業（のびっ子クラブ）	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得（全6回）

実績

5 需用費（修繕料）

・松島第一幼稚園	給水管修繕ほか	（ 3 件 ）	337,062 円
・松島第二幼稚園	職員室コンセント修繕ほか	（ 2 件 ）	36,509 円
・松島第五幼稚園	放送設備配線修繕ほか	（ 4 件 ）	67,881 円

6 備品購入費

（庁用備品）

・松島第一幼稚園	インクジェット複合機、事務用椅子ほか	（ 6 品目 、 13 個 ）	633,710 円
・松島第二幼稚園	デジタルピアノ、サイクロン式掃除機ほか	（ 4 品目 、 4 個 ）	114,950 円
・松島第五幼稚園	給食台ワゴン、カー玉入れボールほか	（ 4 品目 、 4 個 ）	141,460 円

（次頁へ続く）

7 園児検診

(単位：人)

項目		学年	幼稚園			
			年少	年中	年長	計
在籍者数			27	30	42	99
内科	肥満傾向		1	1	2	4
	脊柱・胸郭		0	0	0	0
	心雑音		0	0	0	0
	皮膚	アトピー	0	1	0	1
		その他湿疹	0	0	0	0
	尿	1次所見有り	0	0	0	0
		2次所見有り	0	0	0	0
		蛋白	0	0	0	0
		糖	0	0	0	0
		潜血	0	0	0	0
眼科	視力矯正0.7未満		-	-	-	0
	アレルギー結膜炎		1	0	1	2
	その他（斜視他）		0	0	1	1
歯科	健全歯者		19	18	27	64
	う歯所有者		4	7	9	20
	処置完了者		1	0	1	2

8 施設等利用給付費

- ・子育てのための施設等利用給付
利用料（3人）
預かり保育料(4人)

358,270 円
187,900 円

9 新型コロナウイルス感染症対策費【令和2年度国公立学校緊急環境整備費補助金】

- ・備品購入費
加湿空気清浄機、非接触型体温計ほか（10品目、74個） 1,342,880 円
- ・消耗品費
マスク、泡ハンドソープ、消毒液ほか 147,151 円

実績

課題
方向性

特別な支援を必要とする園児が多くなっているため、関係機関と連携しながら相談や支援体制の充実を図っていく。
新型コロナウイルス感染症等の対策を講じながら、食育、体づくり、自然のふれあい等、幼児教育の充実を図っていく。

一 般 会 計

11 款	1 項	1 目	農地災害復旧費					(単位:千円)
担当部署名			建設課建設班					
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	35, 373	27, 903		12, 801		4, 100		11, 002
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した、農地の復旧を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	農地災害復旧費（雨災）	B	-	3.0	令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した農地について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づく災害復旧工事を行うとともに、国庫負担対象外の小規模な箇所について災害復旧工事を実施し、営農に向けて農地の復旧が図られた。			
実績	【農地災害復旧費（雨災）】							
	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した農地について、国庫補助の災害復旧事業に向けて、実施設計を行い、災害復旧工事を実施した。 （繰越明許費） 1 委託料 2, 145, 000 円 ・ 台風第19号農地災害復旧実施設計業務委託 2, 145, 000 円 2 工事請負費 25, 757, 526 円 ・ 元災第17-1号四反田外地区農地災害復旧工事 15, 560, 600 円 災害復旧工 N= 2箇所 ・ 台風第19号農地災害復旧その2工事 3, 729, 395 円 災害復旧工 N=10箇所 ・ 台風第19号農地災害復旧その3工事 896, 875 円 災害復旧工 N= 1箇所 ・ 台風第19号農地災害復旧その4工事 776, 289 円 災害復旧工 N= 2箇所 ・ 台風第19号農地災害復旧その5工事 824, 382 円 災害復旧工 N= 2箇所 ・ 台風第19号農地災害復旧その6工事 3, 969, 985 円 災害復旧工 N= 4箇所							
課題 方向性	災害復旧事業採択を受けた農地（2箇所）及び小規模被災の農地について、令和2年度ですべて復旧した。							

一 般 会 計

11 款	1 項	2 目	農業用施設災害復旧費					
担当部署名		建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	106,908	73,518	36,578		9,900		27,040	
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）及び令和2年度福島県沖地震で被災した農業用施設の復旧を行う。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	農業用施設災害復旧費 （地震災・雨災）	B	-	3.0	令和元年東日本台風（台風第19号）及び令和2年度福島県沖地震により被災した農業用施設について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づく災害復旧工事を行うとともに、国庫負担対象外の小規模な箇所について災害復旧工事を実施し、営農に向けて施設の復旧が図られた。			
実績	【農業用施設災害復旧費（地震災）】							
	福島県沖地震で被災した農業用施設に対し、災害復旧工事を実施した。							
	1 工事請負費						275,510 円	
	・ 福島県沖地震農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 N= 3箇所（道路3箇所）						275,510 円	
	【農業用施設災害復旧費（雨災）】							
	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した農業用施設について、国庫補助の災害復旧事業に向けて、実施設計を実施するとともに、災害復旧工事を実施した。							
	（繰越明許費）							
	1 委託料						6,347,000 円	
	・ 台風第19号農業用施設災害復旧実施設計業務委託						6,347,000 円	
	2 工事請負費						66,894,517 円	
	・ 元災第17-108号小沢外1地区農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 N= 2箇所（水路2箇所）						4,462,700 円	
	・ 元災第17-110号沢乙外1地区農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 N= 2箇所（道路2箇所）						3,293,400 円	
	・ 元災第17-111号滝ノ入外1地区農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 N= 2箇所（ため池2箇所）						4,194,300 円	
	・ 元災第17-114号雁ヶ沢2地区農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 N= 1箇所（水路1箇所）						26,880,700 円	
	・ 台風第19号農業用施設災害復旧その2工事 災害復旧工 N=28箇所（水路21箇所、道路4箇所、ため池3箇所）						9,968,055 円	
(次頁へ続く)								

11 款	1 項	2 目
実績	・ 台風第19号農業用施設災害復旧その3工事 災害復旧工 N= 5箇所（水路5箇所）1, 524, 985 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧その4工事 災害復旧工 N= 3箇所（水路3箇所）2, 559, 053 円 ・ 台風第19号農業用施設災害復旧その5工事 災害復旧工 N= 7箇所（水路3箇所、ため池4箇所）14, 011, 324 円	
	課題 方向性 災害復旧事業採択を受けた農業用施設（水路3箇所、道路2箇所、ため池2箇所）及び小規模被災の農業用施設について、令和2年度で小森地区（ため池）を除くすべての施設が復旧した。 また、福島県沖地震で被災した、農業用施設（道路3箇所）についてもすべて復旧した。 残りの小森地区については、令和4年3月末の復旧を目指す。	

一 般 会 計

11	款	2	項	1	目	公共土木施設災害復旧費				
担当部署名				建設課建設班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 355, 756		623, 197		551, 988		23, 900		47, 309	
目的	平成23年の東日本大震災により被害を受けた、公共土木施設（漁港・道路・橋梁）の復旧を行う。 また、令和元年東日本台風（台風第19号）および令和2年福島県沖を震源とする地震により被害を受けた、公共土木施設（道路・河川）の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	公共土木施設災害復旧費（松島大橋）		A	4. 7	4. 3	東日本大震災で被災した、町道松島・磯崎線及び松島大橋の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。				
	公共土木施設災害復旧事業（雨災）		-	-	-	令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した、道路、河川の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。				
実績	【公共土木施設災害復旧費（松島大橋）】 公共土木施設災害復旧事業（補助・地震災） 東日本大震災で被災した町道松島・磯崎線及び松島大橋の災害復旧工事を実施した。									
	1 委託料								7, 580, 100 円	
	・ 町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事施工監理業務委託（出来高払金）								7, 580, 100 円	
	2 工事請負費								527, 288, 300 円	
	・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事（債務負担行為 令和2年度分 前払金）								523, 600, 000 円	
	・ 松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事関連信号機移転工事 信号機移設工 車道用 N=1箇所、歩道用 N=2箇所								3, 688, 300 円	
	【公共土木施設災害復旧事業（地震災）】 公共土木施設災害復旧事業（単独・地震災） 令和2年福島県沖地震で被災した箇所の災害復旧工事を実施した。									
	1 工事請負費								6, 886, 619 円	
	・ 福島県沖地震公共土木施設災害復旧工事 災害復旧工 N=66箇所（道路62箇所、水路4箇所）								6, 886, 619 円	

(次頁へ続く)

11 款	2 項	1 目
実績	【公共土木施設災害復旧事業（雨災）】 公共土木施設災害復旧事業（補助・雨災） 令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した箇所の災害復旧工事を実施した。 （繰越明許費） 1 工事請負費 37,031,500 円 - 元災第29002号 町道片町・品井沼駅線外道路災害復旧工事 道路災害復旧工 N=4箇所、L=60.8m 11,880,000 円 - 元災第29006号 町道西行戻しの松線外道路災害復旧工事 道路災害復旧工 N=3箇所、L=38.4m 9,799,900 円 - 元災第29009号 普通河川館ヶ沢川河川災害復旧工事 河川災害復旧工 N=1箇所、L=268.2m 15,351,600 円 公共土木施設災害復旧事業（単独・雨災） 令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した箇所の災害復旧工事を実施した。 （繰越明許費） 1 工事請負費 14,088,800 円 - 台風第19号災松島町公共土木施設災害復旧工事 災害復旧工 N=12箇所（法面8箇所、舗装2箇所、防護柵1箇所、撤去工1箇所） 5,413,100 円 - 台風第19号災松島町公共土木施設災害復旧その2工事 災害復旧工 N=21箇所（法面12箇所、土のう4箇所、防護柵1箇所、撤去工4箇所） 8,675,700 円	
	課題 方向性 東日本大震災により被災した公共土木施設（道路、橋梁）の災害復旧事業については、被災した105箇所の内103箇所が完了、残りの町道松島・磯崎線および松島大橋の2箇所についても、令和5年3月末の完了を目指す。 また、令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した公共土木施設（道路・河川）の災害復旧工事については、令和2年度中に完了した。	

一 般 会 計

11	款	3	項	2	目	保健体育施設災害復旧費				
担当部署名				学校給食センター					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,852		1,852						1,852	
目的	令和3年2月13日の福島県沖地震により被災した保健体育施設の復旧を行う。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	保健体育施設災害復旧費		B	-	3.0	令和3年2月13日の福島県沖地震により被災した保健体育施設の復旧が図られた。				
実績	【保健体育施設施設災害復旧費】									
	1 工事請負費								1,851,300 円	
課題 方向性	施設の老朽化も進んでいる状態であるため、今後の災害に対応できるよう施設の設備の補強や改修等を図っていく。									

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

- 款		- 項		- 目		国民健康保険特別会計								
担当部署名				町民福祉課町民サービス班								(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳									
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	1,795,136		1,682,185		17,917		1,284,838				211,792		167,638	
目的														
国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。 また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。														
評価 成果	事務事業名称			業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果							
	【国保】総務費			B	-	3.0	国保被保険者の資格及び給付管理を適切に行い、被保険者の適正な医療の確保に努めた。また、国民健康保険税の賦課徴収が適正に行われ、令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響があった世帯に対しては、国民健康保険税の減免を行い、世帯の負担軽減を図ることができた。							
	【国保】保険給付費			B	-	3.0	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡の際の保険給付について、速やかに行うことができた。また、新型コロナウイルスによる社会情勢に鑑み、新たに傷病手当金の制度を設け、独自に支給対象の範囲を広げることで被保険者の負担軽減を図った。							
	【国保】保健事業費			B	-	3.0	特定健診については、新型コロナウイルス感染症対策のもとに実施し、町民の健康維持管理に努めた。また、長期的な医療費適正化に向けた糖尿病性腎症重症化予防事業により、参加者が生活習慣の改善に取り組むことができた。また、第二期データヘルス計画の中間評価を行い、課題の明確化及び各事業内容の見直しを行った。							
	【国保】国民健康保険事業費納付金			B	-	3.0	財政の運営主体である宮城県に、国民健康保険事業費納付金を納めることにより、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。							
	【国保】基金積立金			B	-	3.0	国民健康保険の財政を調整し、健全な財政運営を確保できた。							
【国保】諸支出金			B	-	3.0	保険税や保険給付費の還付金等、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。								
実績	1 運用状況													
	年度				単位	令和2年度		令和元年度		比 較				
	区分													
	年間平均世帯数				世帯	2,013		2,026		△ 13				
	年間平均被保険者数				人	3,114		3,202		△ 88				
	年間平均介護保険第2号被保険者数				人	965		985		△ 20				
	2 保険給付状況													
	年度				令和2年度		令和元年度		比 較					
	区分				件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)	支給額 (千円)	件数 (件)	支給額 (千円)				
	療 養 給 付 費				56,293	1,053,723	60,930	1,104,979	△ 4,637	△ 51,256				
療 養 費				725	4,719	898	5,725	△ 173	△ 1,006					
高 額 療 養 費				2,621	158,199	2,586	180,241	35	△ 22,042					
出 産 育 児 一 時 金				5	2,100	3	1,244	2	856					
葬 祭 費				28	1,400	29	1,450	△ 1	△ 50					
傷 病 手 当 金				0	0			0	0					
計				59,672	1,220,141	64,446	1,293,639	△ 4,774	△ 73,498					
年度				令和2年度		令和元年度		比 較						
区分				(円)		(円)		(円)						
療 養 給 付 費		一般被保険者		338,382		343,073		△ 4,691						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		6,804,185		△ 6,804,185						
療 養 費		一般被保険者		1,515		1,785		△ 270						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		10,731		△ 10,731						
高 額 療 養 費		一般被保険者		50,803		55,466		△ 4,663						
平均1人当たりの額		退職被保険者等		0		2,695,383		△ 2,695,383						
(次頁へ続く)														

-	款	-	項	-	目
---	---	---	---	---	---

3 国民健康保険事業費納付金

年度 区分	令和2年度 (千円)	令和元年度 (千円)	比較 (千円)
医療給付費分	257,876	287,163	△ 29,287
後期高齢者支援金分	88,093	87,181	912
介護納付金分	26,870	32,841	△ 5,971

4 令和元年台風第19号の災害に伴う一部負担金免除状況

区分	世 帯 数	免除証明書発行枚数
半壊による免除	2	2
床上浸水による免除	36	57

5 保健事業 特定健康診査

年度 区分	令和2年度			令和元年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
特定健康診査	2,602人	1,275人	49.0%	2,618人	1,424人	54.4%

※受診者は、情報提供事業（116人）、データ提供（2人）を含む。

特定保健指導

年度	区分	対象者（人） A	参加者（人） B	参加率（%） B/A	終了者（人）
令和2年度	動機付け支援	166	19	11.4	18
	積極的支援	52	3	5.8	3
令和元年度	動機付け支援	172	50	29.1	38
	積極的支援	55	24	43.6	15

実績

6 データヘルス計画に基づく保健事業

事業名	事業内容	評価
特定健診・特定保健指導受診率向上事業	① 未受診者対策	特定健診受診率 49.0%
	② 医療機関からの情報提供事業	情報提供数 116件
	③ 特定健診・特定保健指導に関する啓発	追加健診・受診勧奨の実施：100%
	④ 特定健診早期介入保健指導事業	特定保健指導実施率 10.1%
糖尿病重症化予防事業	① 啓発普及事業	特定健診受診者のHbA1cの保健指導判定以上の割合：73.8% 糖尿病性腎症重症化予防事業 申込者数：2人 新規人工透析導入者数：4人
	② 地区組織活動育成・支援事業	
	③ 保健指導判定該当者に対する保健指導	
	④ 要医療判定で未受診者に対する受診勧奨	
	⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業	
生活習慣病予防事業	① 生活習慣病予防をテーマとした健康教育・健康相談の実施	肥満者の割合 男性：35.7% 女性：29.3% メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合：37.4% 運動習慣のある人の割合 男性：38.6% 女性：33.0% 生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合：29.6%
	② 地域における運動普及の推進	
	③ 地区組織やボランティア等の活用による啓発普及	
	④ 生活習慣病予防の取組に対するインセンティブの検討	
健診異常値放置者受診勧奨事業	① 血圧異常値放置者への受診勧奨	受診行動につながった人の割合 62.7%
	② 健診結果から至急受診連絡者への受診勧奨	
	③ e-GFR異常値放置者への受診勧奨	
	④ 健診後行動に関する普及啓発	
医療費適正化指導事業	① 重複・頻回受診者への普及啓発	重複・頻回受診 調査対象者 120人 訪問指導対象者 なし
	② ジェネリック医薬品差額通知事業	
	③ 医療費通知事業	
	④ 普及啓発事業	

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

7 国民健康保険税課税状況

年度		令和2年度 (円)	令和元年度 (円)	比較 (円)
区分				
現年度課税分 調定済額	医療給付費分	157,529,700	173,449,500	△ 15,919,800
	後期支援金分	57,129,400	62,884,400	△ 5,755,000
	介護納付費分	19,835,100	23,251,800	△ 3,416,700
	計	234,494,200	259,585,700	△ 25,091,500
現年度課税分 収入済額	医療給付費分	152,609,320	169,254,768	△ 16,645,448
	後期支援金分	55,341,706	61,368,492	△ 6,026,786
	介護納付費分	18,652,037	22,414,735	△ 3,762,698
	計	226,603,063	253,037,995	△ 26,434,932

年度		令和2年度 (%)	令和元年度 (%)	比較 (%)
区分				
収 納 率	医療給付費分	96.88	97.58	△ 0.70
	後期支援金分	96.87	97.59	△ 0.72
	介護納付費分	94.04	96.40	△ 2.36
	計	96.63	97.48	△ 0.85

8 国民健康保険税軽減状況

	令和2年度		令和元年度	
	(世帯数)	(被保険者数)	(世帯数)	(被保険者数)
	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)
7割軽減	579	741	601	788
	10,337,583	17,959,970	10,693,525	19,161,794
5割軽減	351	590	358	631
	4,342,616	10,148,705	4,463,865	11,016,424
2割軽減	268	481	257	466
	1,308,607	3,259,882	1,305,172	3,280,600
計	1,198	1,812	1,216	1,885
	15,988,806	31,368,557	16,462,562	33,458,818

9 国民健康保険税減免状況

減 免 事 由	令和2年度		令和元年度	
	世帯数	金額 (円)	世帯数	金額 (円)
旧被扶養者減免 (社会保険加入者が、後期高齢者医療 制度に移行することにより、その被扶 養者であった者が国民健康保険に加入 することによる減免)	17	346,200	14	306,500
原子力災害対策特別措置法による避難世 帯に対する減免	1	8,600	1	30,200
令和元年台風第19号被災による減免	38	697,200	38	736,900
収監減免	0	0	1	8,800
新型コロナウイルス感染症の影響による 収入が減少した被保険者に対する減免	96	20,710,300	0	0
計	152	21,762,300	54	1,082,400

課題
方向性

国民健康保険の被保険者については、少子高齢化に伴う高齢化比率の上昇により、1人当たりの医療費が増加傾向にある。国保財政の長期安定的な運営のため、医療の適正化を図りながら、若い世代からの健康意識の向上と生活習慣病等の重症化予防事業を継続して行っていく。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

一 款	一 項	一 目	後期高齢者医療特別会計					
担当部署名			町民福祉課町民サービス班					
			(単位:千円)					
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	211, 439	205, 583				200, 557	5, 026	
目的	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	【後期高齢】 一般管理費	B	-	3. 7	後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨等を行い、高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。			
	【後期高齢】 徴収費	B	-	3. 7	後期高齢者医療保険料の納付及び還付事務を適切に行い、未納の解消や還付の早期振込を実施することができた。			
	【後期高齢】 納付奨励費	B	-	3. 7	後期高齢者医療保険料の納期内納付を行った納税貯蓄組合に対し事務費補助金を交付し、未納防止と納期内納付が確保できた。			
	【後期高齢】 後期高齢者医療広域連合納付金	B	-	3. 7	後期高齢者医療広域連合に保険料及び保険基盤安定負担金を納付し、高齢期における被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。			
実績	1 被保険者数 2, 829人 (令和3年3月末日現在)							
	2-1 申請書受付状況 (令和3年3月末日現在)							
		申請・届書名			受付件数 (件)			
	1	葬祭費支給申請書			175			
	2	受領申出・送付先届出書			184			
	3	高額療養費支給申請書			328			
	4	基準収入額適用申請書			12			
	5	限度額適用・標準負担額認定申請書			99			
	6	特定疾病認定申請書			5			
	7	療養費支給申請書			61			
	8 被保険者証等再交付申請書			95				
	9 資格取得喪失届出書			14				
	10 送付先変更申請書			1				
	11 高額介護合算療養費等支給申請書			189				
	12 負担区分等証明書・その他			25				
	計			1, 188				
	2-2 申請書受付状況							
	[令和元年東日本台風 (台風第19号) 関連]			[新型コロナウイルス感染症関連]				
	申請・届書名		受付件数 (件)		申請・届書名		受付件数 (件)	
	1	一部負担金免除証明書	58		1	保険料減免申請書	35	
	2	一部負担金還付申請書	2		計		35	
	3	保険料減免申請書	59					
	計		119					
	(令和3年3月末日現在)							
	3 保険料納付方法状況 (賦課期日現在)							
	(単位:人)			(再掲) 普通徴収内訳 (単位:人)				
	特別徴収	2, 633		口座振替	223			
	普通徴収	548		納税組合	18			
	計	3, 181		納付書	307			
	※うち併徴 270人			(次頁へ続く)				

款	項	目																																						
実績	4	保険料収納状況 現年分 (単位：円) <table><tr><th>徴収方法</th><th>調定額</th><th>収入済額※</th><th>不納欠損額</th><th>収入未済額</th><th>還付未済額</th><th>徴収率</th></tr><tr><td>特別徴収</td><td>115,192,500</td><td>115,231,600</td><td>0</td><td>0</td><td>39,100</td><td>100.00%</td></tr><tr><td>普通徴収</td><td>40,182,100</td><td>39,679,740</td><td>0</td><td>502,360</td><td>0</td><td>98.75%</td></tr><tr><td>計</td><td>155,374,600</td><td>154,911,340</td><td>0</td><td>502,360</td><td>39,100</td><td>99.70%</td></tr></table> ※収入済額には過誤納金還付未済額39,100円（相続放棄等）を含む 滞納繰越分 (単位：円) <table><tr><th>調定額</th><th>収入済額</th><th>不納欠損額</th><th>収入未済額</th><th>徴収率</th></tr><tr><td>762,800</td><td>292,400</td><td>163,300</td><td>307,100</td><td>38.33%</td></tr></table>	徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	徴収率	特別徴収	115,192,500	115,231,600	0	0	39,100	100.00%	普通徴収	40,182,100	39,679,740	0	502,360	0	98.75%	計	155,374,600	154,911,340	0	502,360	39,100	99.70%	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率	762,800	292,400	163,300	307,100	38.33%
	徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	徴収率																																	
	特別徴収	115,192,500	115,231,600	0	0	39,100	100.00%																																	
	普通徴収	40,182,100	39,679,740	0	502,360	0	98.75%																																	
	計	155,374,600	154,911,340	0	502,360	39,100	99.70%																																	
	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率																																			
	762,800	292,400	163,300	307,100	38.33%																																			
	5	保険料納付方法変更申請状況（令和3年3月末日現在） 70人（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）																																						
課題 方向性		高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、申請等の窓口として適正な申請受付事務及び保険証等の引渡し、並びに保険料徴収事務等を継続して行う。																																						

介護保険特別会計

介護保険特別会計

- 款 - 項 - 目			介護保険特別会計					
担当部署名			健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 997, 012	1, 951, 162	492, 760	293, 147		802, 836	362, 419	
目的	介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。 また、日常生活が自立している高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。 さらに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活をできる限り継続することができるよう、介護予防や生活支援、サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を強化する。							
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果			
	一般管理経費（含職員人件費）	B	-	3.7	令和2年度においては第8期介護保険事業計画の策定年度であり、介護保険料の改定を行うなど、介護保険制度の適切な運営を図った。			
	介護認定審査会負担金	B	-	4.0	令和2年度は更新申請件数が少ない年であることとコロナ感染防止のため認定有効期間を延長する特例を行ったことで全体の申請件数は例年より少なかった。申請から認定までの平均日数は二市三町で最も短く、問題なく実施している。			
	介護保険給付費	B	-	3.7	要介護認定者の増加や施設サービス利用者の増加により給付費が増えているが、適正に給付を実施することができた。また、令和元年東日本台風（台風第19号）の被災者に対して、利用者負担額の免除を実施した。			
	介護予防・日常生活支援サービス事業	B	-	4.0	介護保険給付費の削減及び柔軟なサービス利用につながっており、適正な運営が図られている。			
	介護予防ケアマネジメント事業費	B	-	4.0	介護予防・日常生活支援サービス事業と連動するものとなっており、適正なケアマネジメントが図られている。			
	介護予防普及啓発事業	A	4.0	4.0	介護予防教室「まつしま元気塾」を松島町社会福祉協議会に委託して実施しており、高齢者の介護予防の核として、問題なく運営が図られた。			
	地域介護予防推進事業	A	3.7	3.7	コロナ禍の中で、町内の各地域で高齢者の自主グループの活動が継続できるよう、動画の配信や介護予防のDVDを配布することで、介護予防活動の支援を図った。			
	包括的支援事業	A	4.3	4.0	地域包括支援センターの運営費であり、高齢者の増加により、ニーズも多様化・複雑化しているが、包括支援センター及び関係機関の連携により、適正な対応が図られている。			
	在宅医療・介護連携推進事業	A	4.7	3.7	塩釜地区二市三町や塩釜医師会と連携した会議や研修会は開催見合わせとなったが、地域包括支援センターが相談窓口として個別対応し、医療と介護の関係機関の連携推進に努めた。			
	生活支援体制整備事業	A	4.3	3.0	事業を松島町社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターが地域のサロンや団体からの相談に対応したり、普及啓発活動を行うことで、地域の繋がりが継続できるよう支援した。			
	認知症総合支援事業	A	4.7	3.7	認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員、関係機関と連携し、認知症の本人や家族の支援体制の構築が図られた。 また、認知症の知識の普及啓発を行った。			
(次頁へ続く)								

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

4 地域密着型（介護予防）サービス受給者数 ※1号・2号含む

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総数	2	1	40	37	35	19	7	141

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

5 施設介護サービス受給者数

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	1	5	14	43	20	83
第1号被保険者	1	5	14	43	20	83
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	19	25	20	39	29	133
第1号被保険者	19	25	20	38	29	131
第2号被保険者	0	0	1	1	0	2
介護医療院	0	0	3	14	17	34
第1号被保険者	0	0	3	14	16	33
第2号被保険者	0	0	0	0	1	1
総 数	20	30	37	93	66	246

6 介護保険給付費の推移

(単位：千円)

サービス区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
居宅介護サービス	507,402	503,994	486,571	482,367	461,742	495,732
地域密着型介護サービス	280,384	273,169	256,703	223,853	205,485	142,523
施設介護サービス	837,290	734,737	680,186	627,547	609,028	582,194
特定入所介護サービス	70,914	60,959	53,003	49,154	48,541	50,649
居宅介護サービス計画給付費	72,691	70,516	69,973	67,447	64,554	62,331
高額介護サービス	48,237	39,819	32,199	26,726	24,663	19,257
審査支払手数料	1,482	1,378	1,278	1,173	1,313	1,160
合計	1,818,400	1,684,572	1,579,913	1,478,267	1,415,326	1,353,846

実績

(単位：円)

	令和2年度	令和元年度
第1号被保険者1人当たりの給付月額		
町	29,387	27,073
県	23,932	23,308
国	24,722	24,138

※令和2年度は、令和2年3月から令和3年1月サービス利用分までの給付額から算出。

(単位：円)

	令和2年度		令和元年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	99,834	348,272	93,203	305,197
月平均給付総額	52,312,932	75,226,709	51,075,116	65,922,559

7 要介護度別支給限度額利用状況（月平均）

(単位：%)

	要介護度別対支給限度額比率						
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
令和2年度	35.4	22.8	52.2	67.6	58.5	72.1	79.2
令和元年度	35.4	21.6	47.6	58.4	64.2	63.4	71.1

(次頁へ続く)

8第7期介護保険事業計画値との比較（令和2年度）

区分	計画値		実績		計画値と実績の比較		
	件数 (件)	総額 (千円)	件数 (件)	総額 (千円)	件数 (件)	総額 (千円)	率
居宅介護サービス	12,828	594,046	12,769	507,402	-59	-86,644	85.4%
訪問サービス	4,020	138,549	4,769	137,647	749	-902	99.3%
通所サービス	3,168	270,290	2,958	213,433	-210	-56,857	79.0%
短期入所サービス	1,068	78,408	849	65,490	-219	-12,918	83.5%
福祉用具貸与	4,140	51,712	3,849	45,778	-291	-5,934	88.5%
福祉用具購入	72	1,814	54	1,376	-18	-438	75.9%
住宅改修費	60	5,889	52	6,119	-8	230	103.9%
特定施設入居者生活介護	300	47,384	238	37,559	-62	-9,825	79.3%
地域密着型介護サービス	2,016	291,479	1,909	280,384	-107	-11,095	96.2%
施設介護サービス	2,616	696,825	3,003	837,290	387	140,465	120.2%
介護老人福祉施設	888	206,386	970	240,827	82	34,441	116.7%
介護老人保健施設	1,428	385,073	1,624	441,275	196	56,202	114.6%
介護療養型医療施設	300	105,366	24	7,475	-276	-97,891	7.1%
介護医療院	0	0	385	147,713	385	147,713	0%
特定入所介護サービス	-	68,563	4,229	70,914	-	2,351	103.4%
居宅介護サービス計画給付費	7,308	79,991	5,997	72,691	-1,311	-7,300	90.9%
高額介護サービス	-	33,392	3,662	48,237	-	14,845	144.5%
審査支払手数料	25,026	1,577	23,525	1,482	-1,501	-95	94.0%
合計	49,794	1,765,873	55,094	1,818,400	5,300	52,527	103.0%

(対象期間：令和2年4月審査から令和3年3月審査まで)

※令和元年東日本台風(台風第19号)被災者に対する介護保険利用者負担額免除（床上浸水以上）
免除人数 17人、免除件数 172件、免除金額 2,128,029円

9介護予防・日常生活支援サービス事業
介護予防ケアマネジメント事業費

	件数（件）	費用総額（円）
訪問型・通所型サービス費	1,188	19,494,892
介護予防ケアマネジメント	631	2,797,050
高額介護予防サービス相当事業	44	43,055
審査支払手数料	1,819	114,597
合計	3,682	22,449,594

※利用件数：訪問型・通所型サービス 101件、介護予防ケアマネジメント 48件
審査支払手数料 149件（令和3年3月審査分）

10一般介護予防事業

① 介護予防普及啓発事業

ア 介護予防教室「まっしま元気塾」

事業を松島町社会福祉協議会へ委託し、概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内9カ所（12教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

地区	松島	高城		磯崎		品井沼	本郷	初原	全地区	計
会場	ほほえみの家	ふれあいの家	高城避難所	白萩避難所	華園集会所	農村環境改善センター	ふれあいセンター	コミュニティセンター	どんぐり	
開催頻度	週4日	週4日	週1日	週2日	週1日	週2日	週1日	週1日	週1日	—
開催回数（回）	140	147	37	74	38	73	37	37	35	618
実人数	7	20	14	8	6	17	7	14	4	97
延参加者数	517	600	423	536	185	573	203	472	136	3,645

※実人数に4人重複あり（品井沼）

(次頁へ続く)

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

イ 地域包括支援センター機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内 容
年4回	全戸配布並びに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、保健福祉に関するお知らせ、各種行事案内、介護予防や健康増進に関すること、生活支援体制整備事業に関すること、権利擁護に関する啓発、認知症に関する情報、終活に関すること等

② 地域介護予防活動支援事業

・地域サロン活動状況

時期	平成31年3月末	令和2年3月末	令和3年3月末
活動団体数	30団体	34団体	37団体

・講師派遣事業利用状況

利用団体数	利用回数	介護予防活動全般（運動器機能低下防止）、グループの自主活動に関する指導員を派遣
1団体	1回	

・高齢者ふれあい地域サロン補助金活用団体

地域支え合い活動の進展、定着を目的に、月2回以上サロン活動を実施する希望団体に対し、運営費補助として補助金を交付した。

申請団体数 3団体 交付団体数 3団体

③ 地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組を機能強化するため、専門職による研修会を実施した。

研修会 1回

11 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。

相談件数 991件 うち勤務時間外対応 4件

相談方法内訳

相談方法	件数（件）
来所	250
訪問	363
電話	375
その他	25

※その他：医療機関、介護施設等

相談者内訳

相談者内訳	件数（件）
本人	340
家族・親戚	400
ケアマネジャー	194
介護サービス事業所	59
医療機関	68
行政各係	31
その他	46

※その他：民生委員、地域住民、警察署等

相談内容内訳

相談内容	件数（件）
介護相談	38
健康疾病	35
認知症・精神	152
医療・入退院	59
介護保険関係	182
介護保険サービス	91
保険外サービス	9
虐待関係	19
財産管理・成年後見	32
独居等把握	13
施設入所	32
高齢福祉	50
経済困窮	27
生活全般	137
その他	86

他機関への連絡 137件

連絡先内訳

連絡先	件数（件）
ケアマネジャー	62
介護サービス事業所	30
医療機関	13
行政各係	19
県・保健所	23
家族・親戚	8
民生委員	5
地域住民	1
その他	4

（次頁へ続く）

- 款	- 項	- 目
-----	-----	-----

② 権利擁護業務

・権利擁護、財産管理に関する相談
高齢者本人の権利を擁護するため、成年後見制度、財産管理に関する手続き、入所措置事業などについて説明や対応を行った。また、関係機関と連携し支援を行った。

相談実人数 3件

(内訳) 親族申立て被後見人の支援 1件、財産管理に関する相談 2件

・虐待相談

虐待の疑いのあるケースについて、訪問等により状況確認を行い、その後、関係者による地域ケア会議の実施、ケアプランの見直しを行い、重症化を防ぐため迅速に対応した。また、各種福祉関係の諸制度の説明や紹介、利用手続き等の支援を行った。

相談実人数 5件 (うち、高齢者虐待と判断し、対応を実施した件数4件)

③ 在宅医療・介護連携推進事業

・例年、塩釜医師会や管内市町村と連携し、幹事会や研修会を開催しているが、感染症の影響で実施を見合わせた。

・地域包括支援センターの機関誌に、終活や人生会議について掲載し啓発を行った。

・地域包括支援センターが相談窓口となり、医療・介護連携の相談対応を行っている。

④ 生活支援体制整備事業

多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、事業を社会福祉協議会に委託し、関係機関と連携しながら、支援体制の充実・強化を図った。

・生活支援・介護サービス基盤整備事業

まつしま生活ささえ隊一覧・マップの更新

広報誌「つながるまつしま」の発行

・サロン活動団体への支援

相談・打合せ件数 74件

イベント件数 3件

活動状況確認件数 78件

実績

⑤ 認知症総合支援事業

・認知症初期集中支援チーム

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の早期診断や早期対応に向けた支援を行った。

対象者数 10件

チーム員会議

回数(回)	検討件数(件)	場所	参集者
3	新規7、継続2、終了8	文化観光交流館	チーム員(認知症サポート医、健康長寿課保健師、認知症相談員)計4名

・認知症への理解を深めるための普及・啓発

認知症の早期発見・早期対応及び認知症の方が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせる町を目指し、住民が認知症について正しい知識を持つことを目的とし、認知症ケアパスを改訂しホームページに掲載した他、広報誌に認知症特集を掲載し啓発を行った。

・小学生にパンフレット配布

	日程	対象	対象者数	啓発内容
1	R3. 2月	松島第一小学校6年生	57人	・高齢化に関する町の現状
2	R3. 2月	松島第二小学校6年生	30人	・認知症の症状
3	R3. 2月	松島第五小学校5年生	14人	・認知症の人とのかかわり方 等

(次頁へ続く)

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1 款	1 項	1 目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費							
担当部署名		健康長寿課高齢者支援班							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳						
	7,184	6,937		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
							6,937			
目的	要支援認定者及び総合事業対象者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが提供されるよう介護予防サービス計画もしくは介護予防ケアマネジメントを作成する。 また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。									
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	居宅介護支援事業費	B	-	4.0	介護予防サービス計画や介護予防ケアマネジメントの作成を居宅介護支援事業所に委託し、要支援状態の軽減や悪化防止を図ることができた。					
実績	【居宅介護支援事業】									
	・利用実人数 195人 ・作成人数 延べ 1,658人 ・事業費 6,936,400円									
	1 要支援認定者及び総合事業対象者サービス利用状況 (単位:人)									
		要支援認定者		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数	
		支援1	支援2			介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント			
	令和2年度	109	123	15	247	93	48	141	106	
	令和元年度	100	108	22	230	86	56	142	88	
	※人数及び利用状況については3月末時点集計									
	2 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況 (単位:件)									
		事業所名				介護予防 サービス計画	介護予防ケア マネジメント	計		
1	介護相談センター				353	181	534			
2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所				242	105	347			
3	松島町社協指定居宅介護支援事業所				150	136	286			
4	桜の家居宅介護支援事業所				105	55	160			
5	松島長松園居宅介護支援事業所				39	70	109			
6	ケアプランセンタービッグハート				85	13	98			
7	その他の事業所				73	51	124			
令和2年度合計					1,047	611	1,658			
令和元年度合計					992	617	1,609			
※介護予防サービス計画：要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成 ※介護予防ケアマネジメント：要支援認定者又は総合事業対象者が総合事業のサービスのみを利用する場合の計画作成										
課題 方向性	要支援者や総合事業事業対象者のうち、状態を維持している方がいる一方、要介護状態に移行する方もおり、状態悪化の防止にさらに力を入れていく必要がある。地域支援事業の地域リハビリテーション活動支援事業等と連携し、悪化防止に努めていく。									

觀瀾亭等特別會計

観瀾亭等特別会計

1	款	1	項	1	目	(観瀾亭等特別会計) 観瀾亭費：管理費				
担当部署名				産業観光課観光班					(単位：千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	29,189		27,308					495	26,813	
目的	松島の重要な観光財産である観瀾亭・松島博物館の維持管理等を行い、誘客に努める。									
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	観瀾亭博物館管理運営経費		A	3.3	2.3	運営については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を受け、全体の観覧料等の収入は減少した。特に、緊急事態宣言の発令や新しい生活様式に対応した旅行形態に変化したことに伴い、団体での利用が大幅に減少している。 プロモーション事業に関しては、例年仲秋の名月頃に開催している「月の松島in観瀾亭」を業種別ガイドラインに沿った運営方法で開催し、来場者が安心安全に松島の月景色を楽しめるよう努めた。 また、歴史・文化を後世に継承するための環境整備や、良好な施設管理に努めた。				
	観光施設感染拡大防止事業（観瀾亭分）		B	-	4.6	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サーマルカメラを導入したことにより観覧者の体温管理がスムーズに実施でき、業務の効率化が図られた。				
実績	【観瀾亭博物館管理運営経費】									
	1 観覧者数及び観覧料・売上収入									
	・観覧者数 (令和2年4月～令和3年3月) 13,960 人 (前年度 42,466 人)									
	・観覧収入 (令和2年4月～令和3年3月) 2,513,000 円 (前年度 8,056,056 円)									
	・売上収入 (令和2年4月～令和3年3月) 4,664,755 円 (前年度 15,943,150 円)									
	2 イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入									
	・月の松島in観瀾亭									
	○日 程 令和2年10月1日									
	○観覧者数 21 人 (前年 130 人)									
	○売上収入 21,000 円 (前年 121,600 円)									
3 観瀾亭・松島博物館及び明月庵の管理業務										
・観光施設清掃業務委託 360,000 円										
○内容 観光施設床清掃他										
・観光施設樹木剪定等業務委託 506,000 円										
○内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他										
・観光施設除草業務委託 397,100 円										
○内容 除草・集草・側溝清掃他										
・松島町各施設機械警備業務委託 382,800 円										
・観瀾亭火災報知器保守点検業務委託 447,700 円										
(次頁へ続く)										

1 款	1 項	1 目
実績	4 販売品等仕入	
	・菓子・抹茶他	1,341,639 円
	5 備品購入費	
	・観瀾亭備品購入 ○内容 除湿器4台、湿度計4台	269,500 円
	【観光施設感染拡大防止事業（観瀾亭分）】	
	1 備品購入費	
	・観光施設感染拡大防止事業 ○内容 サーマルカメラ1台	440,000 円
課題 方向性	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大状況により、今後も利用者数が増減する懸念があるが、観光客が安心安全な観光を楽しめるよう感染予防対策を講じた運営を継続して実施する。	
	観覧者数を増加させる取り組みとして、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」構成文化財のひとつとして、更なる情報発信を図っていく。また、関係自治体と連携した抹茶セットメニューの導入や、取り扱う土産物の見直しなど、観光スポットとしての魅力を高められるよう努めていく。	

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	101 人	106 人	673 人	1,061 人	1,743 人	1,734 人	2,657 人	3,532 人	1,002 人	369 人	393 人	589 人	13,960 人
	18,050 円	18,550 円	125,800 円	173,800 円	297,950 円	321,700 円	484,550 円	656,900 円	173,350 円	65,000 円	71,950 円	105,400 円	2,513,000 円
令和元年度	3,518 人	4,909 人	3,968 人	3,555 人	5,068 人	4,406 人	5,510 人	5,492 人	1,702 人	1,650 人	1,820 人	868 人	42,466 人
	628,850 円	1,171,600 円	646,800 円	779,700 円	808,400 円	796,790 円	1,006,850 円	1,053,406 円	358,810 円	325,900 円	331,250 円	147,700 円	8,056,056 円
比較増減	▲ 3,417 人	▲ 4,803 人	▲ 3,295 人	▲ 2,494 人	▲ 3,325 人	▲ 2,672 人	▲ 2,853 人	▲ 1,960 人	▲ 700 人	▲ 1,281 人	▲ 1,427 人	▲ 279 人	▲ 28,506 人
	▲ 610,800 円	▲ 1,153,050 円	▲ 521,000 円	▲ 605,900 円	▲ 510,450 円	▲ 475,090 円	▲ 522,300 円	▲ 396,506 円	▲ 185,460 円	▲ 260,900 円	▲ 259,300 円	▲ 42,300 円	▲ 5,543,056 円

令和2年度

個 人	13,082 人	2,340,450 円
団 体	878 人	172,550 円
合 計	13,960 人	2,513,000 円

令和元年度

個 人	31,503 人	5,892,450 円
団 体	10,963 人	2,163,606 円
合 計	42,466 人	8,056,056 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	25,900 円	9,000 円	224,550 円	273,000 円	579,100 円	608,900 円	948,500 円	1,112,750 円	325,750 円	123,955 円	147,300 円	286,050 円	4,664,755 円
令和元年度	1,367,610 円	1,883,070 円	1,293,130 円	1,488,850 円	1,644,210 円	2,006,230 円	2,205,470 円	1,870,130 円	577,200 円	696,460 円	692,130 円	218,660 円	15,943,150 円
比較増減	▲ 1,341,710 円	▲ 1,874,070 円	▲ 1,068,580 円	▲ 1,215,850 円	▲ 1,065,110 円	▲ 1,397,330 円	▲ 1,256,970 円	▲ 757,380 円	▲ 251,450 円	▲ 572,505 円	▲ 544,830 円	67,390 円	▲ 11,278,395 円

観瀾亭等特別会計

2 款	1 項	1 目	(観瀾亭等特別会計) 福浦橋費：管理費					(単位:千円)	
担当部署名		産業観光課観光班							
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	30,486	27,709				440	27,269		
目的	松島の重要な観光財産である福浦橋の維持管理等を行い、誘客に努める。 また、カフェ・ベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。								
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果				
	福浦橋等管理運営経費	A	3.3	3.3	運営については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を受け、全体の通行料収入等は減少したが、屋外レジャー需要の高まりに伴い新たなニーズが生まれたため、県内の感染者数等の状況により利用者数が増減した。 環境整備については、良好な施設維持管理に努め、以前から塗装の剥れなどにより景観の面で課題となっていた福浦橋塗装業務を実施した。加えて新たな通行券券売機を導入し、業務の効率化や施設の環境改善を図った。				
	観光施設感染拡大防止事業（福浦橋分）	B	-	4.6	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サーマルカメラを導入したことにより利用者の体温管理がスムーズに実施でき、業務の効率化が図られた。				
実績	【福浦橋等管理運営経費】								
	1 通行者数及び通行料・売上収入								
	・ 通行者数 (令和2年4月～令和3年3月) 167,860 人 (前年度 300,607 人)								
	・ 通行料収入 (令和2年4月～令和3年3月) 32,451,870 円 (前年度 57,963,030 円)								
	・ 売上収入 (令和2年4月～令和3年3月) 2,240,076 円 (前年度 5,832,580 円)								
	2 地場製品の提供に係る売上収入								
	・ かき料理売上収入 (令和2年4月～令和2年12月) 45,200 円								
	3 福浦橋を活用した観光PR								
	・ 松島の夜の魅力発信事業 ○ 内容 福浦橋のライトアップを実施。 (満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで)								
	・ 「橋の日」記念イベント ○ 日程 令和2年8月4日 ○ 内容 松島三橋のPRチラシとノベルティ (先着100名) の配布。								
4 福浦橋・福浦島パンフレット印刷 350,900 円									
○ 部数 110,000部 ○ 内容 漫画家の手代木史織氏 (松島町出身) による表紙デザインで作成。									
5 福浦橋及びカフェ・ベイランド管理業務等									
・ 観光施設清掃業務委託 108,000 円 ○ 床清掃他									
(次頁へ続く)									

2	款	1	項	1	目
実績				・ 松島町各施設機械警備業務委託	72,600 円
				・ 松島町役場他消防設備保守点検業務委託	6,851 円
				・ 福浦橋通行券券売機保守点検業務委託	118,800 円
				・ カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託	105,600 円
				・ カフェ・ベイランド厨房機器保守点検業務委託	79,200 円
				・ 福浦橋塗装業務委託	2,409,000 円
	6	主な使用料及び賃借料			
				・ 福浦橋券売機リース(12ヶ月)	572,000 円
				・ カフェ・ベイランド施設賃貸料(12ヶ月)	686,400 円
	7	販売品等仕入			
				・ ソフトクリーム・飲み物等	865,568 円
		【観光施設感染拡大防止事業（福浦橋分）】			
	1	備品購入費			
				・ 観光施設感染拡大防止事業 ○ 内容 サーマルカメラ1台	440,000 円
課題 方向性	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大状況により、今後も利用者数が増減する懸念があるが、観光客が安心安全な観光を楽しめるよう感染予防対策を講じた運営を継続して実施する。 福浦橋を活用した観光PRに関しては、SDGs（持続可能な開発目標）達成のため、松島湾の環境保全に関する取り組みを取り入れながら、時代に即した事業を行っていく必要がある。				

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	2,152 人	3,691 人	8,696 人	12,263 人	23,092 人	23,983 人	21,721 人	32,707 人	13,931 人	4,414 人	7,028 人	14,182 人	167,860 人
	400,400 円	684,900 円	1,671,900 円	2,375,800 円	4,427,400 円	4,639,460 円	4,204,730 円	6,355,570 円	2,723,210 円	850,220 円	1,362,460 円	2,755,820 円	32,451,870 円
令和元年度	24,850 人	38,333 人	17,803 人	21,970 人	45,420 人	31,170 人	20,645 人	26,458 人	16,228 人	15,010 人	18,404 人	24,316 人	300,607 人
	4,766,310 円	7,318,760 円	3,434,780 円	4,207,060 円	8,586,770 円	6,093,260 円	4,045,420 円	5,158,300 円	3,157,270 円	2,882,850 円	3,605,580 円	4,706,670 円	57,963,030 円
比較増減	▲ 22,698 人	▲ 34,642 人	▲ 9,107 人	▲ 9,707 人	▲ 22,328 人	▲ 7,187 人	1,076 人	6,249 人	▲ 2,297 人	▲ 10,596 人	▲ 11,376 人	▲ 10,134 人	▲ 132,747 人
	▲ 4,365,910 円	▲ 6,633,860 円	▲ 1,762,880 円	▲ 1,831,260 円	▲ 4,159,370 円	▲ 1,453,800 円	159,310 円	1,197,270 円	▲ 434,060 円	▲ 2,032,630 円	▲ 2,243,120 円	▲ 1,950,850 円	▲ 25,511,160 円

令和2年度

個 人	166,919 人	32,297,700 円
団 体	941 人	154,170 円
合 計	167,860 人	32,451,870 円

令和元年度

個 人	298,535 人	57,602,400 円
団 体	2,072 人	360,630 円
合 計	300,607 人	57,963,030 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	49,526 円	6,463 円	173,031 円	182,695 円	607,920 円	339,240 円	232,701 円	276,086 円	123,428 円	56,158 円	82,133 円	110,695 円	2,240,076 円
令和元年度	484,798 円	782,947 円	384,906 円	559,204 円	1,278,369 円	583,728 円	346,454 円	388,050 円	253,130 円	259,271 円	265,764 円	245,959 円	5,832,580 円
比較増減	▲ 435,272 円	▲ 776,484 円	▲ 211,875 円	▲ 376,509 円	▲ 670,449 円	▲ 244,488 円	▲ 113,753 円	▲ 111,964 円	▲ 129,702 円	▲ 203,113 円	▲ 183,631 円	▲ 135,264 円	▲ 3,592,504 円

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計

1	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 一般管理費					(単位:千円)
担当部署名				水道事業所施設班・経営班							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	246,396		233,250				7,800	151,864	73,586		
目的	町民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等を図るため、公共下水道施設の機能を維持保全し、適正な運転管理を行う。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	一般管理事務経費		B	-	3.0	排水設備公認業者及び責任技術者の登録や消費税申告等の一般管理事務を円滑に行うことができた。					
	汚水維持管理経費		A	3.7	3.7	松島浄化センターをはじめ、関連施設の維持保全と適正な運転管理が図られた。					
	雨水維持管理経費		A	3.7	3.3	雨水ポンプ場（14箇所）と幹線雨水路の維持保全により、適正な運転管理が図られた。					
	賦課徴収経費（受益者負担金）		B	-	3.0	下水道事業受益者負担金の賦課及び徴収を行った。					
	水質試験・調査経費		A	4.7	4.0	定期的な水質検査により放流水の確認を行い、また、河川及び湾内については、水質汚濁防止法に基づく水質の確認を行うことで、下水道法に基づく水質基準を遵守することができた。					
	下水道促進事業経費		B	-	3.0	水洗便所改造資金融資斡旋及び利子補給を行い、下水道の普及促進が図られた。					
実績	1 汚水系委託料 （8件）									101,329,580 円	
	・ 松島浄化センター運転管理業務委託 （松島浄化センターの運転管理）									79,105,000 円	
	・ 松島浄化センター汚泥脱水ケーキ運搬業務委託 （汚泥脱水ケーキの処理施設への運搬）									6,578,000 円	
	・ 公共下水道施設(汚水系)電気工作物点検業務委託 （松島浄化センター等の電気事業法に基づく電気工作物の点検）									562,980 円	
	・ 松島浄化センター他消防設備点検業務委託 （松島浄化センター等の消防法に基づく防災設備の点検）									184,800 円	
	・ 松島浄化センター他し渣運搬処分業務委託 （松島浄化センター等より発生するし渣の運搬処分）									679,800 円	
	・ 松島浄化センター機械警備業務委託 （松島浄化センターの機械警備）									462,000 円	
	・ 松島浄化センター濃縮汚泥引抜ポンプ点検整備業務委託 （松島浄化センターの濃縮汚泥引抜ポンプの点検整備）									2,970,000 円	
	・ 松島中継ポンプ場運転管理業務委託 （松島中継ポンプ場の運転管理）									10,787,000 円	
	(次頁へ続く)										

1 款	1 項	1 目
実績	2	雨水系委託料 (4件) 40,111,291 円
	・	新町雨水ポンプ場他運転管理業務委託 (新町他13箇所の雨水ポンプ場の運転管理) 29,392,000 円
	・	公共下水道施設(雨水系)電気工作物点検業務委託 (雨水ポンプ場の電気事業法に基づく電気工作物の点検) 2,724,491 円
	・	公共下水道雨水路等清掃業務委託 (幹線雨水路の清掃) 6,105,000 円
	・	公共下水道雨水路等除草業務委託 (幹線雨水路の除草) 1,889,800 円
	3	その他委託料 (3件) 16,062,280 円
	・	松島浄化センター放流水及び松島湾内水質調査業務委託 (松島浄化センター放流水及び松島湾内の水質調査) 3,828,000 円
	・	下水道使用料徴収事務委託 (下水道使用料の徴収事務委託) 4,369,280 円
	・	公共下水道事業公営企業会計移行業務委託 (固定資産調査及び評価、移行事務支援) 7,865,000 円
		委託料合計 (15件) 157,503,151 円
課題 方向性	(汚水系) 下水道法に基づく放流水質を堅持するため、今後も汚水処理施設の適切な維持管理を行っていく。 (雨水系) 浸水被害を防止し住民の安全安心を確保するため、今後も雨水処理施設の適切な維持管理を行っていく。	

業務概況の推移

項目／年度		H28	H29	H30	R1	R2	備考
下水道普及状況	行政区域内人口 (人)	14,632	14,366	14,073	13,820	13,594	A
	市街地人口 (人)	7,259	7,259	6,928	6,928	6,928	
	全体計画人口 (人)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	処理区域内人口 (人)	9,940	9,811	9,720	9,533	9,616	B
	処理区域内戸数 (戸)	3,988	3,980	3,974	3,970	4,117	C
	普及率(人口) (%)	67.9	68.3	69.1	69.0	70.7	B/A
	水洗化人口 (人)	9,238	8,950	8,993	8,939	9,182	D
	水洗化戸数 (戸)	3,553	3,580	3,597	3,617	3,924	E
	水洗化率(人口) (%)	92.9	91.2	92.5	93.8	95.5	D/B
	水洗化率(戸数) (%)	89.1	89.9	90.5	91.1	95.3	E/C
汚水処理	日最大処理水量 (m ³)	4,817	4,759	4,846	5,375	5,251	晴天時最大
	日平均処理水量 (m ³)	4,257	4,401	4,267	4,571	4,221	晴天時平均
	年間処理水量 (千m ³)	1,554	1,606	1,558	1,673	1,545	F
	年間有収水量 (千m ³)	1,341	1,325	1,289	1,238	1,111	G
	有収率 (%)	86.3	82.5	82.7	74.0	71.9	G/F

下水道事業特別会計決算の推移

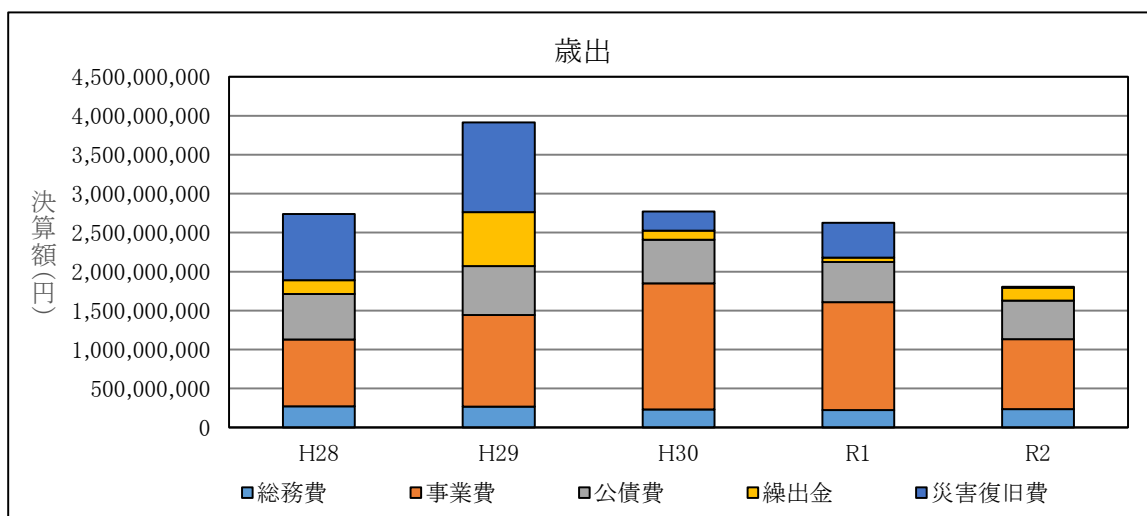
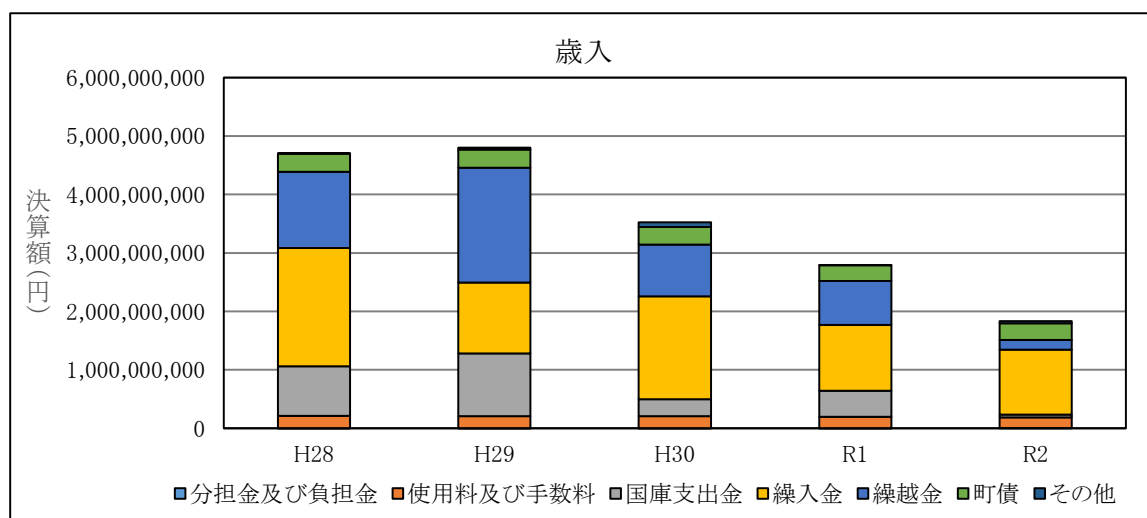
[歳入]

(単位:円)

項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2
分担金及び負担金	249,800	793,530	872,550	796,140	963,290
使用料及び手数料	215,257,830	208,972,290	205,140,410	198,303,480	183,460,610
国庫支出金	844,930,000	1,069,471,220	289,644,520	440,887,000	50,494,140
繰入金	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000	1,109,451,000
繰越金	1,306,740,658	1,963,778,645	887,945,926	754,041,100	165,645,037
町債	311,700,000	313,300,000	299,300,000	268,300,000	285,000,000
その他	129,600	33,750,343	81,904,289	129,600	37,180,811
計	4,702,319,888	4,803,817,028	3,524,766,695	2,791,050,320	1,832,194,888

[歳出]

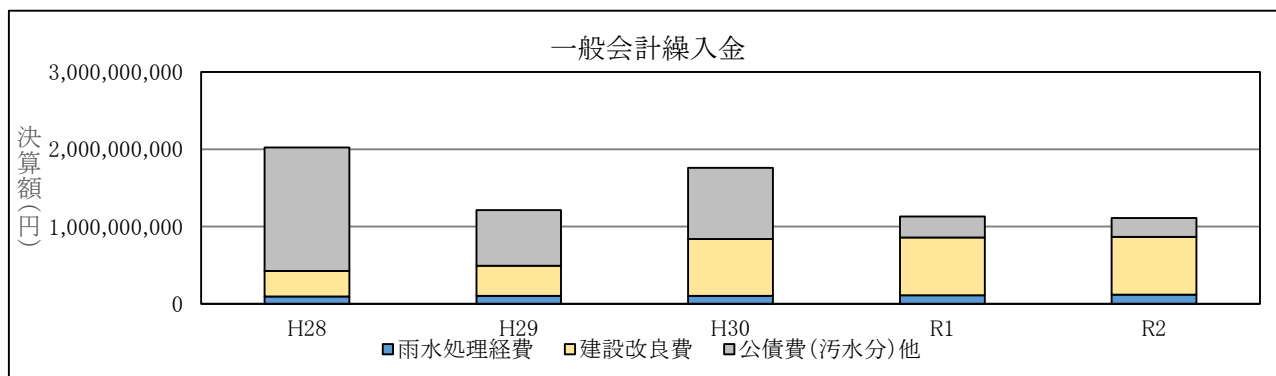
項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2
総務費	270,383,487	267,029,637	231,704,103	221,362,048	233,249,904
事業費	857,573,697	1,175,396,163	1,617,999,924	1,385,001,509	899,307,045
公債費	586,309,730	626,531,315	557,975,049	517,509,244	495,021,806
繰出金	175,000,000	693,823,000	117,546,000	54,194,000	164,646,000
災害復旧費	849,274,329	1,153,090,987	245,500,519	447,338,482	13,066,696
計	2,738,541,243	3,915,871,102	2,770,725,595	2,625,405,283	1,805,291,451



一般会計繰入金の推移

(単位:円)

項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2
一般会計繰入金	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000	1,128,593,000	1,109,451,000
雨水処理経費	95,333,134	103,229,654	103,571,787	109,291,579	117,000,058
建設改良費	330,986,978	391,079,215	736,588,254	749,912,369	750,863,755
公債費(汚水分)他	1,596,991,888	719,442,131	919,798,959	269,389,052	241,587,187

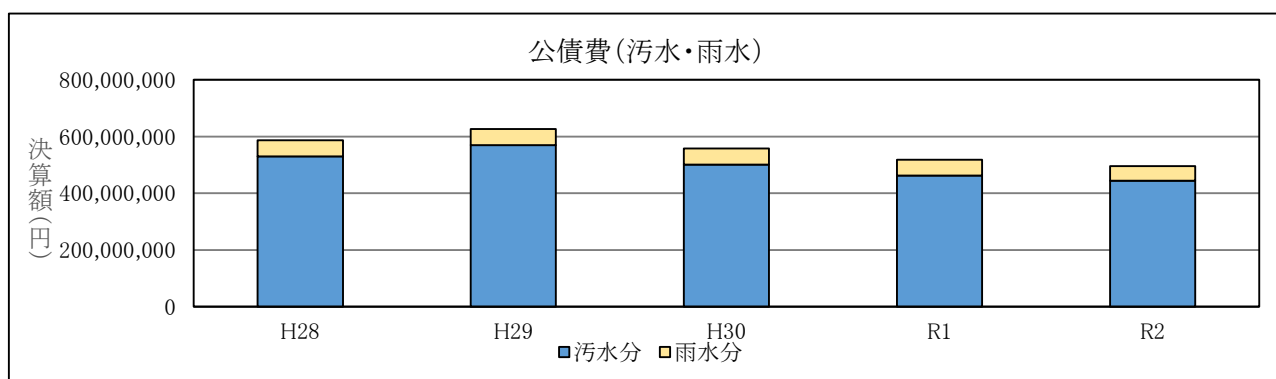
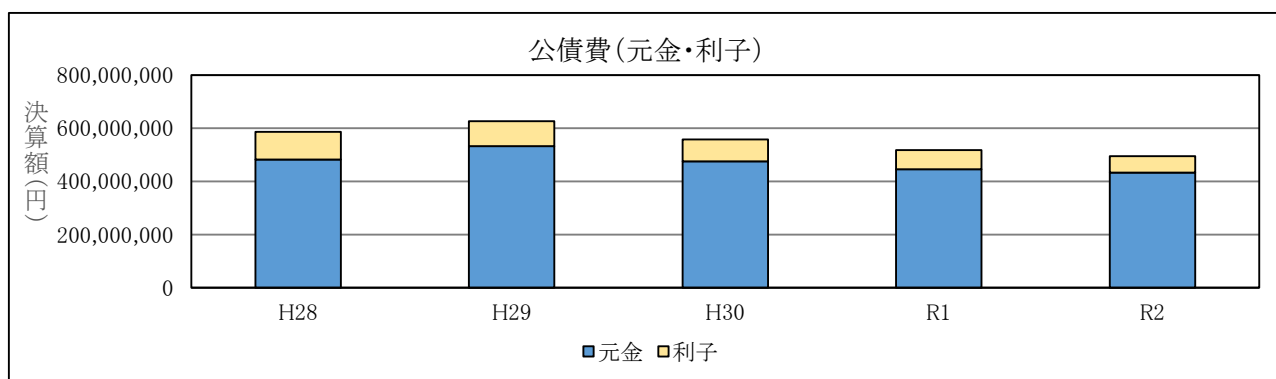


公債費の推移

(単位:円)

項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2
公債費	586,309,730	626,531,315	557,975,049	517,509,244	495,021,806
元金	482,677,742	533,239,581	475,795,344	445,838,242	432,736,167
利子	103,631,988	93,291,734	82,179,705	71,671,002	62,285,639

うち	汚水分	530,200,647	569,392,132	500,796,076	461,935,437	444,491,677
	雨水分	56,109,083	57,139,183	57,178,973	55,573,807	50,530,129



下水道等普及状況(令和3年3月31日現在)

[下水道整備状況]

(単位:ha)

行政区域面積 A	全体計画面積 B	整備済面積 C	整備率 C/B
5,356.0	338.0	293.8	86.9%

[污水处理普及状況]

(単位:人)

項目/年度	H28	H29	H30	R1	R2
行政区域内人口	14,632	14,366	14,073	13,820	13,594
下水道処理区域内人口	9,940	9,811	9,720	9,533	9,616
下水道水洗化人口	9,238	8,950	8,993	8,939	9,182
合併処理浄化槽人口	3,027	3,116	3,158	3,073	2,626
污水处理人口	12,265	12,066	12,151	12,012	11,808

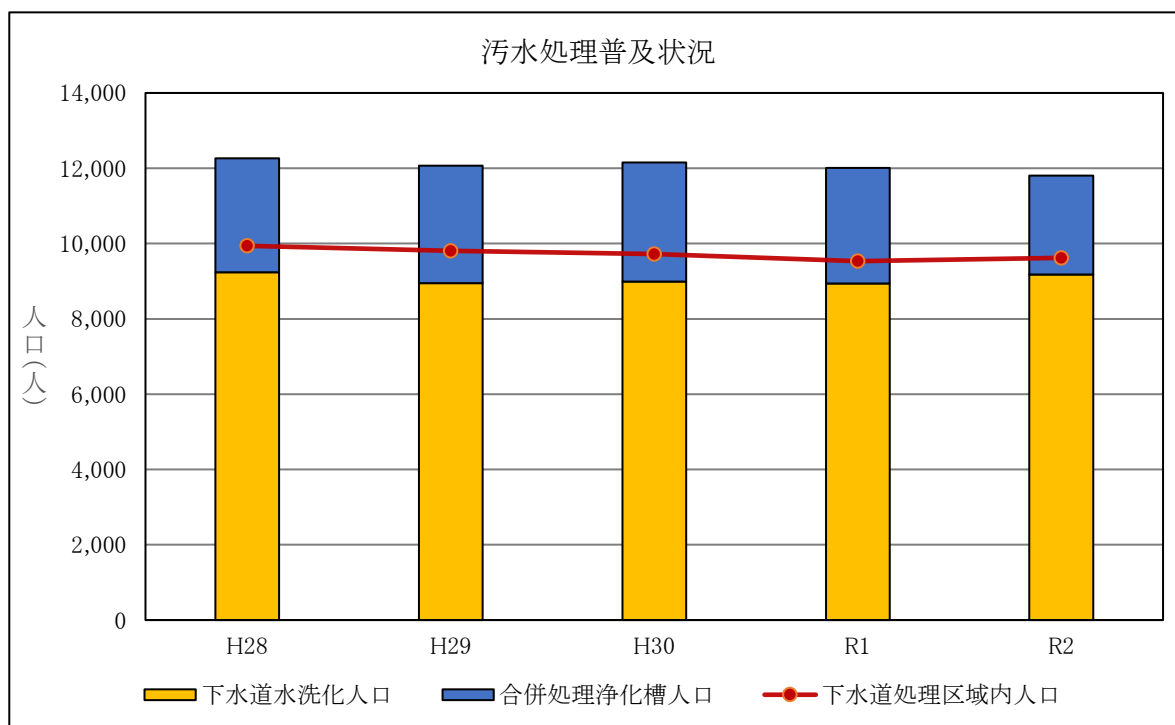
[下水道]

$$\begin{array}{lcl} \text{普及率} & = & \text{処理区域内人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 70.7 \% & = & 9,616 \text{ 人} \div 13,594 \text{ 人} \end{array}$$

$$\begin{array}{lcl} \text{水洗化率} & = & \text{水洗化人口} \div \text{処理区域内人口} \\ 95.5 \% & = & 9,182 \text{ 人} \div 9,616 \text{ 人} \end{array}$$

[下水道＋合併処理浄化槽]

$$\begin{array}{lcl} \text{污水处理率} & = & \text{污水处理人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 86.9 \% & = & 11,808 \text{ 人} \div 13,594 \text{ 人} \end{array}$$



汚水処理費の内訳

[決算状況]

項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2	備考
処理区域内人口 (人)	9,940	9,811	9,720	9,533	9,616	A
水洗化人口 (人)	9,238	8,950	8,993	8,939	9,182	B
年間処理水量 (m ³)	1,553,748	1,606,417	1,557,568	1,673,162	1,544,897	C
年間有収水量 (m ³)	1,341,314	1,325,385	1,288,610	1,237,825	1,110,558	D
使用料収入 (千円)	215,141	208,771	204,826	198,043	183,285	E
汚水処理費 (千円)	298,776	315,977	333,101	265,895	281,331	F
維持管理費 (千円)	228,135	220,939	185,311	165,992	166,779	G
資本費 (千円)	70,641	95,038	147,790	99,903	114,552	H

[経営指標]

項目／年度	H28	H29	H30	R1	R2	備考
(1) 施設の効率性						
①水洗化率 (%)	92.9	91.2	92.5	93.8	95.5	B/A
②有収率 (%)	86.3	82.5	82.7	74.0	71.9	D/C
(2) 経営の有効性						
①使用料単価 (円／m ³)	160.4	157.5	159.0	160.0	165.0	I=E/D
②汚水処理原価 (円／m ³)	222.7	238.4	258.5	214.8	253.3	J=F/D
維持管理費 (円／m ³)	170.1	166.7	143.8	134.1	150.2	K=G/D
資本費 (円／m ³)	52.7	71.7	114.7	80.7	103.1	H/D
③経費回収率 (%)	72.0	66.1	61.5	74.5	65.1	I/J
維持管理費 (%)	94.3	94.5	110.5	119.3	109.9	I/K
資本費算入率 (%)	0.0	0.0	13.2	32.1	14.4	

使用料対象経費は汚水維持管理費と汚水資本費の合計で算定される。

令和2年度決算では、汚水維持管理費166,779千円と汚水資本費114,552千円を合わせた281,331千円が使用料対象経費となる。

汚水処理原価は、令和2年度決算で汚水処理に要した経費281,331千円に対し、有収水量が1,110,558m³であるため、1m³あたり253円となっている。

使用料収入の183,285千円を有収水量で割り戻すと、1m³あたり165円の収入となり、その差額分である88円は資本費平準化債と一般会計繰入金で賄われている。

下水道使用料年度別未収額調書

[令和2年度滞納繰越分 収入状況及び不納欠損調べ]

賦課年度	調定額		収入額		不納欠損額		収入未済額	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
平成25年度	1	14,480	0	4,400	0	0	1	10,080
平成26年度	12	818,730	2	101,250	6	577,230	4	140,250
平成27年度	16	865,190	1	34,730	1	10,030	14	820,430
平成28年度	27	859,060	0	24,380	0	0	27	834,680
平成29年度	20	596,270	3	77,220	1	9,620	16	509,430
平成30年度	24	498,500	10	140,490	1	84,070	13	273,940
令和元年度	232	2,989,240	216	2,576,530	1	88,190	15	324,520
計	332	6,641,470	232	2,959,000	10	769,140	90	2,913,330

水洗便所改造資金融資斡旋状況

年度	確認申請 件数(件)	斡旋申請 件数(件)	斡旋率	斡旋金額 (円)	利子補給金額	
					予算額(円)	決算額(円)
平成2～27年度	3,430	849	24.8%	486,740,000	55,734,000	34,103,161
平成28年度	60	0	0.0%	0	106,000	179
平成29年度	49	2	4.1%	1,497,000	116,000	8,230
平成30年度	54	2	3.7%	1,600,000	126,000	19,215
令和元年度	53	0	0.0%	0	117,000	19,711
令和2年度	39	1	2.6%	930,000	107,000	17,030
計	3,685	854	23.2%	490,767,000	56,306,000	34,167,526

下水道事業特別会計

2	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 公共下水道建設費					
担当部署名				水道事業所施設班						(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	222, 894		135, 970		48, 880		68, 600	963	17, 527		
目的	公共下水道施設の整備を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。										
評価 成果	事務事業名称		業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果					
	汚水施設整備経費（補助 対象）		A	4. 3	3. 7	長寿命化計画に基づき、松島浄化センター水処理関連 設備（最終沈殿池、汚泥掻寄機等）の長寿命化改築工事 を実施し、事業の進捗が図られた。 また、初原地区で未普及対策工事を実施し、下水道の 整備推進が図られた。					
	汚水施設整備経費（単 独）		A	4. 3	3. 7	三居山地区で未普及対策工事を実施し、下水道の整備 推進が図られた。 また、下水道事業認可の期間延伸に係る法手続きを 行った。					
実績	1 委託料		(2件)		72, 595, 000 円						
	・ 松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定（前払金）		71, 000, 000 円								
	・ 公共下水道事業認可変更設計業務委託		1, 595, 000 円								
	2 工事請負費		(2件)		46, 612, 500 円						
	・ 公共下水道初原準幹線築造工事 硬質塩化ビニル管工 L=98m		19, 661, 400 円								
	・ 公共下水道三居山枝線工事 硬質塩化ビニル管工 L=94m		26, 951, 100 円								
課題 方向性	下水道未普及対策事業について、早期に整備完了することを目標に事業を実施していく。 また、松島浄化センターの長寿命化計画に基づき、計画的に事業を実施していく。										

下水道事業特別会計

2 款	1 項	2 目	下水道事業特別会計 復興推進費				
担当部署名		水道事業所施設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	776, 354	763, 338			30, 000	549, 830	183, 508
目的	震災復興計画に基づき、東日本大震災に伴う地盤沈下による雨水排水機能の低下を解消するため、各雨水ポンプ場及び雨水幹線を整備し、排水能力の強化を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	松島地区外下水道事業	A	4.3	3.7	西柳雨水ポンプ場建設工事及び雨水管渠築造付帯工事が完了し、排水能力の強化が図られた。		
実績	1 委託料 (1件)						746, 000, 000 円
	・ 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定						746, 000, 000 円
実績	2 工事請負費 (2件)						17, 108, 300 円
	・ 磯崎排水区雨水管渠築造付帯工事 舗装工 A=333㎡ 自由勾配側溝工 L=44m						6, 897, 000 円
実績	・ 普賢堂排水区雨水管渠築造付帯工事 既設水路底部調整工 L=49m 既設水路更正工 L=51m						10, 211, 300 円
課題 方向性	東日本大震災復興交付金事業については、令和2年度で事業が完了した。						

下水道事業特別会計

3 款	1 項	1 目	下水道事業特別会計 公共下水道施設災害復旧費				
担当部署名		水道事業所施設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,738	13,067	1,614		800		10,653
目的	令和元年東日本台風（台風第19号）により、浸水で被災した公共下水道施設の復旧を行い、現状回復を図る。						
評価 成果	事務事業名称	業務 タイプ	必要性 評価	有効性 評価	成果		
	公共下水道施設災害復旧費	A	3.3	3.3	松島中継ポンプ場について、排気設備及び照明設備復旧工事が完了し、現状回復が図られた。		
実績	1 工事請負費 (1件)						2,420,000 円
	(繰越明許費)						
	・ 松島中継ポンプ場災害復旧工事						2,420,000 円
	排気設備復旧工（吸引ファン） N=1基						
	照明設備復旧工（照明器具） N=12基						
課題 方向性	令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した公共下水道施設の災害復旧工事については、令和2年度で事業が完了した。						

